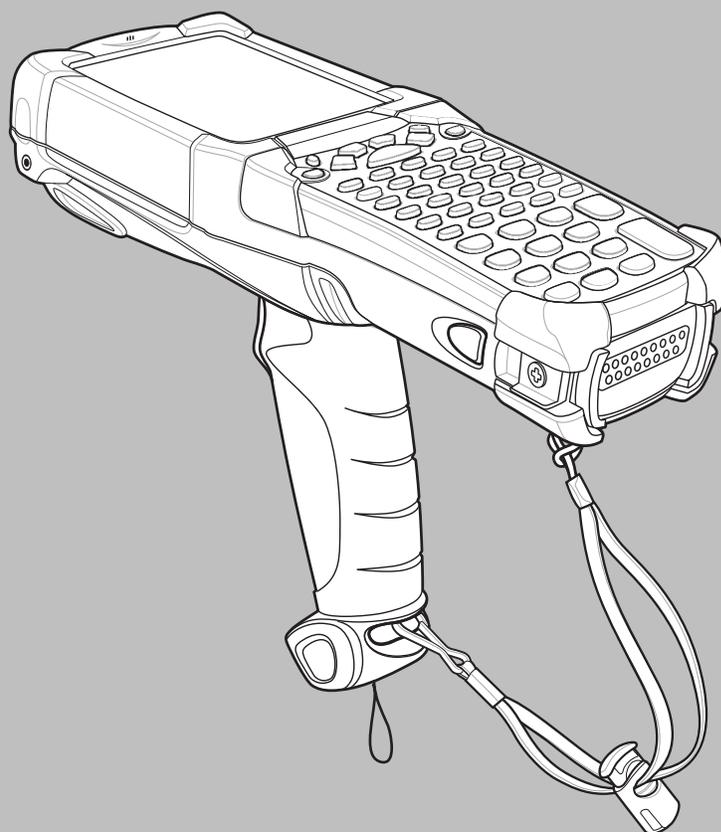


MC92N0-G

ユーザーガイド



MC92N0-G
ユーザー ガイド

72E-162536-05

改訂版 A

2015 年 8 月

Zebra の書面による許可なしに、本書の内容をいかなる形式でも、または電気的あるいは機械的な手段により、複製または使用することを禁じます。これには、コピー、記録、または情報の保存および検索システムなど電子的または機械的な手段が含まれます。本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアは、厳密に「現状のまま」提供されます。ファームウェアを含むすべてのソフトウェアは、ライセンスに基づいてユーザーに提供されます。本契約 (ライセンス プログラム) に基づいて提供される各ソフトウェアまたはファームウェアに対して、ユーザーに移譲不可で非排他的なライセンスを付与します。下記の場合を除き、事前に書面による Zebra の同意がなければ、ユーザーがライセンスを譲渡、サブライセンス、または移譲することはできません。著作権法で認められる場合を除き、ライセンス プログラムの一部または全体をコピーする権限はありません。ユーザーは、ライセンス プログラムを何らかの形式で、またはライセンス プログラムの何らかの部分を変更、結合、または他のプログラムへ組み込むこと、ライセンス プログラムからの派生物を作成すること、ライセンス プログラムを Zebra の書面による許可なしにネットワークで使用することを禁じられています。ユーザーは、本契約に基づいて提供されるライセンス プログラムについて、Zebra の著作権に関する記載を保持し、承認を受けて作成する全体または一部のコピーにこれを含めることに同意します。ユーザーは、提供されるライセンス プログラムまたはそのいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル、デコード、またはリバース エンジニアリングを行わないことに同意します。

Zebra は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的でソフトウェアまたは製品に変更を加えることができるものとします。

Zebra は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言、または Zebra Technologies Corporation の知的所有権上のいかなる方法によるかを問わず、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Zebra 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

改訂版履歴

元のマニュアルに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01 改訂版 A	2012 年 12 月	初期リリース
-02 改訂版 A	2013 年 5 月 31 日	Windows Embedded Handheld のサポートを追加
-03 改訂版 A	2014 年 12 月 1 日	Zebra への商標変更
-04 改訂版 A	2015 年 6 月	新しい標準レンジおよびミッドレンジ イメージャーを追加
-05 改訂版 A	2015 年 8 月	Android™ OS のサポートを追加

目次

改訂版履歴	iii
このガイドについて	
はじめに	xiii
マニュアルセット	xiii
構成	xiv
ソフトウェア バージョン	xiv
Windows Mobile および Windows CE	xiv
Android	xvi
章の説明	xvi
表記規則	xvii
関連文書およびソフトウェア	xvii
サービスに関する情報	xviii
第 1 章：ご使用前に	
はじめに	1-1
パッケージの開梱	1-2
ご使用前に	1-2
メインバッテリーの取り付け	1-2
バッテリーの充電	1-3
メインバッテリーとメモリ バックアップ バッテリーの充電	1-3
予備バッテリーの充電	1-5
メインバッテリーの取り外し	1-5
MC92N0-G の起動	1-6
スクリーンの調整	1-6
Windows デバイス	1-6
Android デバイス	1-6
バッテリー状態の確認	1-6
MC92N0-G 用ストラップ	1-7
バッテリー管理	1-7
バッテリー節約のヒント	1-7
電力設定の変更	1-8
ディスプレイのバックライトの設定変更	1-8

ディスプレイの輝度の変更	1-8
キーパッドのバックライトの設定変更	1-9
Windows デバイス	1-9
Android デバイス	1-9
無線通信をオフにする方法	1-10
Windows Embedded Handheld デバイスの場合	1-10
Windows CE デバイスの場合	1-10
WLAN 無線通信	1-10
StoneStreet One スタックを有効にした Bluetooth 無線	1-10
Android デバイスの場合	1-11
LED インジケータ	1-11
キーパッド	1-12
データを入力する	1-12
有線ヘッドセットの使用	1-13
Bluetooth ヘッドセットの使用	1-13

第 2 章 : Windows OS 搭載 MC92N0-G の操作

はじめに	2-1
Windows CE 7.0	2-1
[Start] (スタート) メニュー	2-3
コントロール パネル	2-4
Windows Embedded Handheld	2-5
指のスクロール	2-5
ホーム画面	2-5
クラシックの [Today] (今日) 画面	2-7
ステータス バー	2-9
タイル バー	2-11
[Start] (スタート) 画面	2-11
スピーカー アイコン	2-15
MC92N0-G のロック	2-15
PIN またはパスワードなしのロック	2-16
[Simple PIN] (数字の簡易パスワード) でのロック	2-16
強力なパスワードでのロック	2-17
パスワード ロックのセットアップ	2-17
電源ボタンの使用	2-18
無線 LAN	2-18
Windows CE デバイス	2-19
Windows Embedded Handheld デバイス	2-19
インターネットへの接続	2-20
サポートしているアプリケーション	2-20
Fusion のセットアップ	2-21
インタラクティブなセンサー テクノロジ	2-24
電源管理	2-24
ディスプレイの向き	2-24
自由落下検出	2-24
有線ヘッドセットの使用	2-25
Bluetooth ヘッドセットの使用	2-25

MC92N0-G のリセット	2-25
Windows CE デバイス	2-25
ウォーム ブートの実行	2-25
コールド ブートの実行	2-26
Windows Embedded Handheld デバイス	2-26
ウォーム ブートの実行	2-26
コールド ブートの実行	2-26
バッテリーの状態	2-27
MC92N0-G のウェイクアップ	2-27

第 3 章 : Android OS 搭載 MC92N0-G の操作

はじめに	3-1
ホーム画面	3-1
ステータス バー	3-2
ステータス アイコン	3-2
通知アイコン	3-4
通知の管理	3-4
[Quick Settings] (クイック設定)	3-5
アプリケーション ショートカットとウィジェット	3-6
アプリケーションまたはウィジェットをホーム画面に追加する	3-6
ホーム画面での項目の移動	3-7
アプリケーションまたはウィジェットをホーム画面から削除する	3-7
フォルダ	3-7
フォルダの作成	3-7
フォルダの名前付け	3-7
フォルダの削除	3-8
ホーム画面の壁紙	3-8
ホーム画面の壁紙の変更	3-8
タッチスクリーンの使用方法	3-8
画面キーボードの使用方法	3-9
テキストの編集	3-9
数字、記号、および特殊文字の入力	3-9
アプリケーション	3-9
アプリケーションへのアクセス	3-11
現在使用されているアプリケーションの切り替え	3-12
画面のロック解除	3-12
単一ユーザー モード	3-13
マルチユーザー モード	3-14
マルチユーザー ログイン	3-14
マルチユーザー ログアウト	3-15
Android デバイスのリセット	3-15
ソフト リセットの実行	3-15
ハード リセットの実行	3-16
サスペンド モード	3-16
アプリケーション	3-17
ファイル ブラウザ	3-17
連絡先	3-18
連絡先の追加	3-18

連絡先の編集	3-19
連絡先の削除	3-19
ギャラリー	3-19
アルバムの処理	3-20
アルバムの共有	3-20
アルバム情報の取得	3-21
アルバムの削除	3-21
写真の処理	3-21
写真の表示およびブラウズ	3-21
連絡先アイコンとしての写真の設定	3-23
写真の共有	3-23
写真の削除	3-24
ビデオの処理	3-24
ビデオの再生	3-24
ビデオの共有	3-25
ビデオの削除	3-25
DataWedge デモンストレーション	3-26
サウンド レコーダ	3-26
PTT Express Voice Client	3-27
PTT 音声通知	3-27
通知アイコン	3-28
トーク グループの選択	3-29
PTT 通信	3-29
グループ通話の作成	3-29
グループ通話の作成 (1 対 1)	3-30
PTT Express Voice Client 通信の無効化	3-30
MLog Manager	3-30
RxLogger	3-31
Elemex	3-31
Elemex データ収集の無効化	3-31
Elemex データ収集の有効化	3-32
端末エミュレーション	3-32
無線ローカル エリア ネットワーク	3-33
Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続	3-33
Wi-Fi ネットワークの設定	3-34
手動での Wi-Fi ネットワークの追加	3-36
プロキシ サーバーの設定	3-37
静的 IP アドレスを使用するためのデバイスの設定	3-38
Wi-Fi の詳細設定	3-39
Wi-Fi ネットワークの削除	3-40

第 4 章 : データ収集

スキャン LED インジケータ	4-1
レーザー スキャン	4-2
スキャン操作に関する考慮事項	4-2
イメージング	4-3
動作モード	4-3
イメージャー スキャン	4-4
画像の読み取り	4-5

DataWedge	4-5
DataWedge の有効化	4-5
DataWedge の無効化	4-6
ScanSample	4-7
RS507 のハンズフリー イメージャーの使用	4-7
Android HID を使用した RS507 ハンズフリー イメージャーのペアリング	4-8
Android SSI を使用した RS507 ハンズフリー イメージャーのペアリング	4-9

第 5 章 : Windows デバイスでの Bluetooth の使用方法

はじめに	5-1
適応型周波数ホッピング	5-1
セキュリティ	5-2
セキュリティ モード 3 (リンク レベル暗号化)	5-2
Microsoft Bluetooth スタック	5-2
StoneStreet One Bluetooth スタック	5-2
Bluetooth の設定	5-3
Bluetooth の電源の状態	5-4
サスペンド	5-4
再開	5-5
[BTUI] ウィンドウ	5-5
デバイス情報	5-5
FIPS の構成	5-5
デバイスの状況	5-6
Windows Embedded Handheld での Microsoft Bluetooth スタックの使用方法	5-7
Bluetooth 無線モードのオン/オフの切り替え	5-7
Bluetooth の有効化	5-7
Bluetooth の無効化	5-7
Bluetooth デバイスを検出する	5-7
使用可能なサービス	5-8
Object Push Services via Beam (ビームによるオブジェクト プッシュ) サービス	5-9
シリアル ポート サービス	5-10
シリアル ポートサービスを使用した ActiveSync	5-11
Windows CE での Microsoft Bluetooth スタックの使用方法	5-13
電力モード	5-13
Bluetooth デバイスを検出する	5-13
使用可能なサービス	5-14
Bluetooth StoneStreet One Bluetooth スタックの使用方法	5-14
Bluetooth 無線モードのオン/オフの切り替え	5-14
Bluetooth の無効化 (Windows CE)	5-14
Bluetooth の有効化 (Windows CE)	5-15
Bluetooth の無効化 (Windows Embedded Handheld)	5-15
Bluetooth の有効化 (Windows Embedded Handheld)	5-15
モード	5-15
[Wizard Mode] (ウィザード モード)	5-15
[Explorer Mode] (エクスプローラ モード)	5-15
Bluetooth デバイスを検出する	5-16
使用可能なサービス	5-19
File Transfer Service (ファイル転送サービス)	5-19
アクセス ポイントを使用したインターネットへの接続	5-21

Dial-Up Networking Service (ダイヤルアップ ネットワーク サービス)	5-22
ダイヤルアップ エントリの追加	5-24
Object Exchange Push Services (オブジェクト交換プッシュ サービス)	5-25
ヘッドセット サービス	5-29
シリアル ポート サービス	5-30
シリアル ポートサービスを使用した ActiveSync	5-30
パーソナル エリア ネットワーク サービス	5-31
A2DP/AVRCP サービス	5-31
HID デバイスの接続	5-32
検出したデバイスとのペアリング	5-33
Bluetooth の設定	5-35
[Device Info] (デバイス情報) タブ	5-35
[Services] (サービス) タブ	5-35
[Security] (セキュリティ) タブ	5-38
[Discovery] (検出) タブ	5-39
[Virtual COM Port] (仮想 COM ポート) タブ	5-40
[HID] タブ	5-40
[Profiles] (プロファイル) タブ	5-40
[System Parameters] (システム パラメータ) タブ	5-41
[Miscellaneous] (その他) タブ	5-41

第 6 章 : Android デバイスでの Bluetooth の使用方法

はじめに	6-1
適応型周波数ホッピング	6-1
セキュリティ	6-2
Bluetooth プロファイル	6-2
Bluetooth の電源の状態	6-3
Bluetooth 無線の電源	6-3
Bluetooth の有効化	6-3
Bluetooth の無効化	6-3
Bluetooth デバイスを検出する	6-4
Bluetooth の名前の変更	6-5
Bluetooth デバイスへの接続	6-5
Bluetooth デバイスでのプロファイルの選択	6-5
Bluetooth デバイスのペアリング解除	6-6

第 7 章 : アクセサリ

はじめに	7-1
SD (Secure Device) カード	7-5
シングル スロット シリアル/USB クレードル	7-6
4 スロット イーサネット クレードル	7-8
4 スロット 充電専用クレードル	7-9
4 スロット 予備バッテリー充電器	7-10
磁気ストライプ リーダー	7-11
取り付けと取り外し	7-12
セットアップ	7-12
バッテリー充電インジケータ	7-13
シリアル/USB 接続	7-13

MSR の使用	7-13
ケーブルアダプタ モジュール	7-15
取り付けと取り外し	7-16
セットアップ	7-16
バッテリー充電インジケータ	7-17
シリアル/USB 接続	7-17
ユニバーサル充電器 (UBC) アダプタ	7-18
バッテリーの挿入と取り外し	7-18
バッテリー充電インジケータ	7-18
モデム ドングル	7-20
セットアップ	7-21
MC92N0-G への接続	7-21
シングル スロット シリアル/USB クレードルへの接続	7-22
フォークリフト クレードル	7-23
MC92N0-G の挿入と取り外し	7-25
ロック装置の使用	7-26
外部デバイスの接続	7-26
サポートされているスキャナ	7-27

第 8 章：メンテナンスとトラブルシューティング

はじめに	8-1
MC92N0-G の保守	8-1
バッテリーの安全に関するガイドライン	8-1
クリーニング	8-2
使用可能な洗剤の活性成分	8-2
有害成分	8-3
クリーニング方法	8-3
クリーニングの際の注意事項	8-3
必要な材料	8-3
MC92N0-G のクリーニング	8-3
筐体	8-3
ディスプレイ	8-3
スキャナ ウィンドウ	8-3
バッテリー端子	8-4
クレードルのコネクタのクリーニング	8-4
クリーニングの頻度	8-5
トラブルシューティング	8-5
MC92N0-G	8-5
4 スロット予備バッテリー充電器	8-8
シングル スロット シリアル/USB クレードル	8-9
ケーブルアダプタ モジュール	8-10
磁気ストライプリーダー	8-11

付録 A：仕様

技術仕様	A-1
MC92N0-G	A-1

付録 B : キーパッド

はじめに	B-1
28 キー キーパッド	B-2
43 キー キーパッド	B-6
53 キー キーパッド	B-10
3270 エミュレータ キーパッド	B-14
5250 エミュレータ キーパッド	B-18
VT エミュレータ キーパッド	B-22
キーパッドの特殊機能	B-26
特殊文字	B-27

このガイドについて

はじめに

このガイドでは、MC92N0-G モバイル コンピュータとアクセサリの使用方法について説明します。

- ✓ **注** このガイドで示している画面とウィンドウの図は、例として示しているものであり、実際の画面と異なることがあります。

マニュアル セット

MC92N0-G のマニュアル セットは、ユーザーの個々のニーズに応じて、次のガイドに分かれています。

- **MC92N0-G Quick Start Guide** - MC92N0-G モバイル コンピュータの主な機能の使用方法について説明しています。
- **MC92N0-G User Guide** - MC92N0-G モバイル コンピュータの使用方法について説明しています。
- **MC92N0-G Integrator Guide** - MC92N0-G モバイル コンピュータとアクセサリの設定方法について説明しています。
- **MC92N0-G Regulatory Guide** - MC92N0-G モバイル コンピュータに関するすべての法規制、サービス、および EULA について説明しています。
- **Enterprise Mobility Developer Kit (EMDK) のヘルプ ファイル** - アプリケーション開発用 API について説明しています。

構成

このガイドは、以下の構成を対象としています。

構成	オペレーティングシステム	無線	ディスプレイ	メモリ	データ収集	キーパッド	その他
MC92N0-G Standard	Windows® Embedded Compact 7.0	WLAN: 802.11a/b/g/n WPAN: Bluetooth	3.7 インチ QVGA/VGA カラー	512MB RAM/ 2GB Flash	レーザー、ロングレンジレーザー、標準レンジイメージャー (SR) またはロングレンジイメージャー	28 キー、43 キー、53 キー、VT、3270、5250 エミュレータ	
MC92N0-G Standard	Windows® Embedded Handheld	WLAN: 802.11a/b/g/n WPAN: Bluetooth	3.7 インチ QVGA カラー	512MB RAM/ 2GB Flash	レーザー、ロングレンジレーザー、標準レンジイメージャー (SR) またはロングレンジイメージャー	28 キー、43 キー、53 キー、VT、3270、5250 エミュレータ	
MC92N0-G Premium	Windows® Embedded Compact 7.0	WLAN: 802.11a/b/g/n WPAN: Bluetooth	3.7 インチ QVGA/VGA カラー	1GB RAM/ 2GB Flash	レーザー、ロングレンジレーザー、標準レンジイメージャー (HD、DL、SR)、ミッドレンジイメージャー (MR)、またはロングレンジイメージャー	28 キー、43 キー、53 キー、VT、3270、5250 エミュレータ、53 キー高可視性	インタラクティブなセンサーテクノロジー、耐結露性 ¹
MC92N0-G Premium	Windows® Embedded Handheld	WLAN: 802.11a/b/g/n WPAN: Bluetooth	3.7 インチ QVGA カラー	1GB RAM/ 2GB Flash	レーザー、ロングレンジレーザー、標準レンジイメージャー (HD、DL、SR)、ミッドレンジイメージャー (MR)、またはロングレンジイメージャー	28 キー、43 キー、53 キー、VT、3270、5250 エミュレータ、53 キー高可視性	インタラクティブなセンサーテクノロジー、耐結露性 ¹
MC92N0-G Premium	Android 4.4.4	WLAN: 802.11a/b/g/n WPAN: Bluetooth v4.0 Low Energy	3.7 インチ QVGA カラー	1GB RAM/ 2GB Flash	レーザー、ロングレンジレーザー、標準レンジ (SR) またはミッドレンジイメージャー (MR)	28 キー、43 キー、53 キー、VT、3270、5250 エミュレータ、53 キー高可視性	インタラクティブなセンサーテクノロジー、耐結露性 ¹

¹ 耐結露性の構成では、MC92N0-G 内部の乾燥機能を使用して、高温多湿の環境から低温環境に移動したときに発生する内部の水分を吸収します。

ソフトウェアバージョン

Windows Mobile および Windows CE

このガイドでは、さまざまなソフトウェア構成について取り上げ、次のオペレーティングシステムまたはソフトウェアのバージョンについて言及しています。

- AKU バージョン

- OEM バージョン
- BTE Explorer バージョン
- Fusion バージョン

Windows Embedded Handheld デバイス用 AKU バージョン

Windows Embedded Handheld デバイスで Adaptation Kit Update (AKU) のバージョンを確認するには、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [About] (バージョン情報) > [Version] (バージョン) をタップします。

2 行目に、オペレーティング システムのバージョン番号とビルド番号が表示されます。ビルド番号の最後の部分が AKU 番号を表しています。たとえば、「Build 23103.5.3.3」は、デバイスで AKU バージョン 5.3.3 が実行されていることを示しています。

OEM バージョン

OEM ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

Windows Embedded Handheld デバイスで、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [System Information] (システム情報) > [System] (システム) をタップします。

Windows CE デバイスで、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Control Panel] (コントロール パネル) > [System Information] (システム情報) > [System] (システム) をタップします。

BTE Explorer ソフトウェア

- ✓ **注** デフォルトでは、Microsoft Bluetooth スタックが有効になっています。BTE Explorer アプリケーションは、StoneStreet One Bluetooth スタックが有効の場合のみ使用可能です。Bluetooth スタックの選択方法に関する詳細については、『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。

BTE Explorer ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

Windows Embedded Handheld デバイスで、[Start] (スタート) > [BTE Explorer] > [Menu] (メニュー) > [About] (バージョン情報) をタップします。

Windows CE デバイスで、BTE Explorer アイコン > [Show BTE Explorer] (BTE Explorer を表示) > [File] (ファイル) > [About] (バージョン情報) をタップします。

Fusion ソフトウェア

Fusion ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

Windows Embedded Handheld デバイスで、[Start] (スタート) > [Wireless Companion] > [Wireless Status] (無線ステータス) > [Versions] (バージョン) をタップします。

Windows CE デバイスで、[Wireless Strength] (無線信号強度) アイコン > [Wireless Status] (無線ステータス) > [Versions] (バージョン) をタップするか、[Start] (スタート) > [Programs] (プログラム) > [Fusion] > [Wireless Status] (無線ステータス) > [Versions] (バージョン) をタップします。

Android

現在のソフトウェアバージョンを確認するには、 > **[About device]** (デバイス情報) をタッチします。

- **[Serial number]** (シリアル番号) - シリアル番号を表示します。
- **[Model number]** (モデル番号) - モデル番号を表示します。
- **[Android version]** (Android バージョン) - オペレーティング システムのバージョン番号を表示します。
- **[Kernel version]** (カーネル バージョン) - カーネルのバージョン番号を表示します。
- **[Build number]** (ビルド番号) - ソフトウェアのビルド番号を表示します。

章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- **第 1 章の「ご使用の前に」** - モバイル コンピュータを初めて使用する際の手順について説明します。
- **第 2 章の「Windows OS 搭載 MC92N0-G の操作」** - Windows CE および Windows Mobile オペレーティング システムを搭載するモバイル コンピュータの使用方法について説明します。モバイル コンピュータの電源の入れ方とリセット方法、データの入力や収集方法などがあります。
- **第 3 章の「Android OS 搭載 MC92N0-G の操作」** - Android オペレーティング システムを搭載するモバイル コンピュータの使用方法について説明します。モバイル コンピュータの電源の入れ方とリセット方法、データの入力や収集方法などがあります。
- **第 4 章の「データ収集」** - さまざまな読み取りオプションを使用してデータを収集する方法について説明します。
- **第 5 章の「Windows デバイスでの Bluetooth の使用方法」** - Windows CE および Windows Mobile オペレーティング システムを搭載するモバイル コンピュータで Bluetooth 機能を実行する方法について説明します。
- **第 6 章の「Android デバイスでの Bluetooth の使用方法」** - Android オペレーティング システムを搭載するモバイル コンピュータで Bluetooth 機能を実行する方法について説明します。
- **第 7 章の「アクセサリ」** - モバイル コンピュータで使用可能なアクセサリ、およびモバイル コンピュータでのアクセサリの使用方法について説明します。
- **第 8 章の「メンテナンスとトラブルシューティング」** - モバイル コンピュータのクリーニングと保管方法、および操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。
- **付録 A 「仕様」** - モバイル コンピュータの技術仕様一覧表です。
- **付録 B 「キーパッド」** - キーパッドの機能およびキーパッドの特殊文字が記載されています。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- 「モバイル コンピュータ」とは Zebra MC92N0-G ハンドヘルド コンピュータを指します。
- **斜体**は、次の項目の強調に使用します。
 - このガイドの章およびセクション
 - 関連文書
- **太字**は、次の項目の強調に使用します。
 - ダイアログ ボックス、ウィンドウ、画面名
 - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
 - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
 - 画面上のアイコン
 - キーパッド上のキー名
 - 画面上のボタン名
- 中黒 (•) は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要はあるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要のある手順 (順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。

関連文書およびソフトウェア

MC92N0-G モバイル コンピュータに関するより詳しい情報については、次の資料を参照してください。

- **MC92N0-G 規制ガイド** (p/n 72-161752-xx)
- **MC92N0-G Integrator Guide** (p/n 72E-162537-xx)
- **Enterprise Mobility Developer Kits (EMDK)** は、<http://www.zebra.com/support> から入手可能です。
- Windows CE 7.0 搭載 MC92N0-G 用の Device Configuration Package (DCP for MC92N0c70) および Platform SDK (PSDK92N0c70) は、<http://www.zebra.com/support> から入手可能です。
- ActiveSync ソフトウェアは、<http://www.microsoft.com> から入手可能です。

本書およびすべてのガイドの最新バージョンは、<http://www.zebra.com/support> から入手可能です。

サービスに関する情報

本機器に問題が発生した場合は、お客様の地域の Zebra Solutions Global Customer Support (Zebra Solutions グローバル カスタマー サポート) にお問い合わせください。お問い合わせ先は、<http://www.zebra.com/support> に記載されています。

サポートへのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号

Zebra が、サービス契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。

Zebra サポートが問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。Zebra は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切な形で搬送すると、保証が無効になる場合があります。

Zebra ビジネス製品を Zebra ビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

第1章 ご使用前に

はじめに

この章では、バッテリーを充電して取り付け、ストラップを交換し、MC92N0-G を初めて起動する方法について説明します。

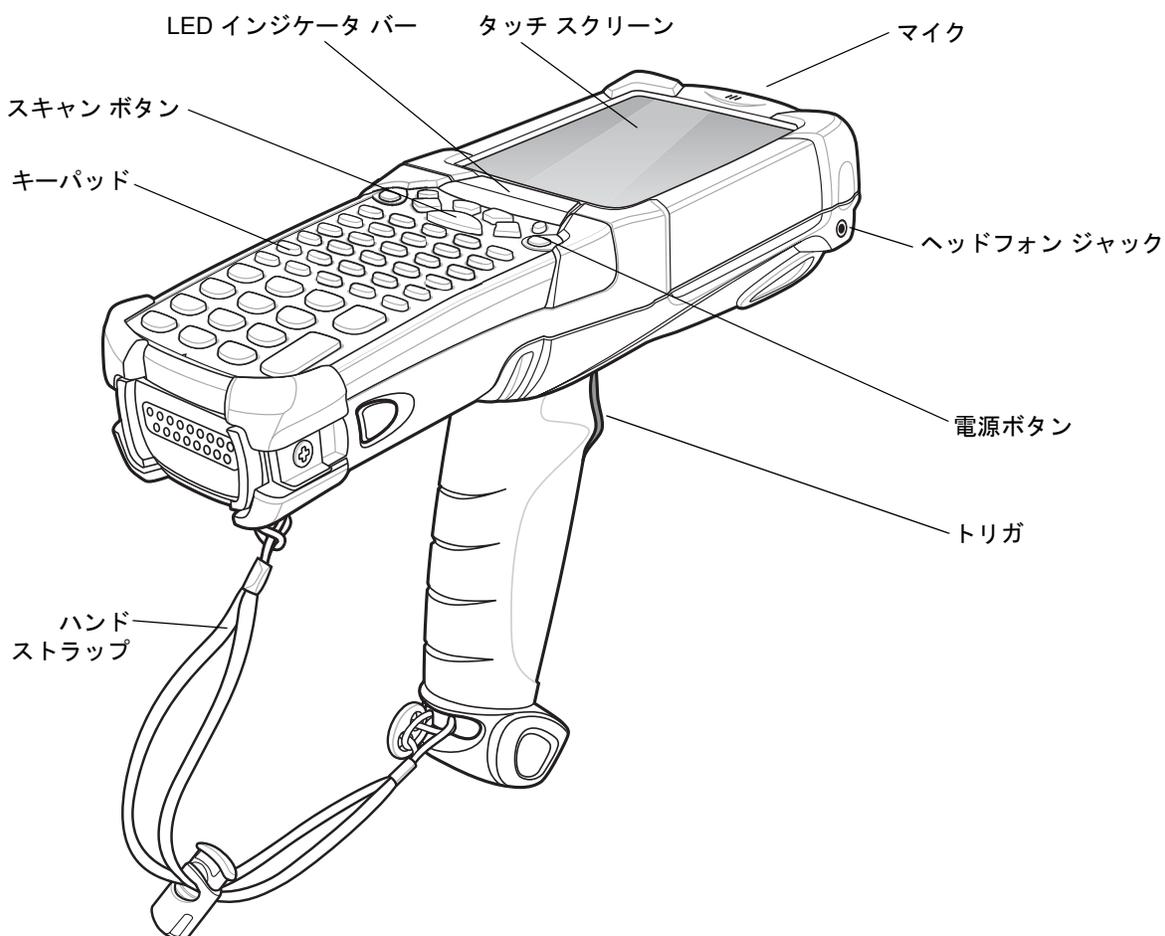


図 1-1 MC92N0-G

パッケージの開梱

MC92N0-G を覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。

以下をすべて受け取ったことを確認します。

- モバイル コンピュータ
- リチウム イオン バッテリ
- ストラップ。MC92N0-G に取り付け済み
- スタイラス。スタイラス容器内
- 規制ガイド

機器に破損がないか確認してください。同梱されているべき機器が足りない場合、またはそれらの機器が破損している場合は、すぐに Zebra サポート センターにお問い合わせください。連絡先については、[xviii ページ](#)を参照してください。

ご使用の前に

MC92N0-G を初めて使用する際には、次のことを行います。

- メイン バッテリの取り付け
- メイン バッテリとバックアップ バッテリの充電
- MC92N0-G の起動
- MC92N0-G の設定

メイン バッテリは、取り付ける前でも後でも充電できます。予備 バッテリ 充電器を使用する場合は、メイン バッテリを MC92N0-G から取り外します。クレードルを使用する場合は、メイン バッテリを MC92N0-G に取り付け たまま充電します。

メイン バッテリの取り付け

MC92N0-G を使用するには、その前に [図 1-2](#) に示すようにリチウム イオン バッテリを押し込んで MC92N0-G に取り付けます。

- ✓ **注** バッテリが完全に挿入されたかどうか確認してください。バッテリが完全に挿入されると、カチッという音が 2 回聞こえます。バッテリが途中までしか挿入されていないと、データが消失することがあります。

バッテリを初めて MC92N0-G に完全に挿入すると、最初の通電時にデバイスがブートし、自動的に電源がオンになります。

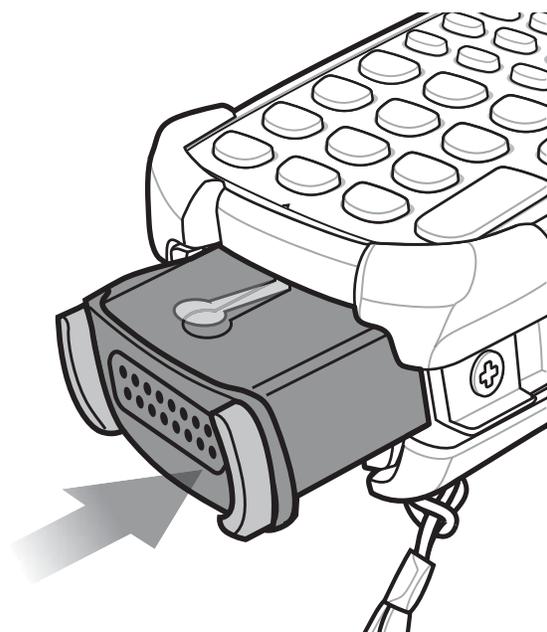


図 1-2 メインバッテリーの取り付け

バッテリーの充電



注意 8-1 ページの「バッテリーの安全に関するガイドライン」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

メインバッテリーとメモリ バックアップバッテリーの充電

MC92N0-G を初めて使用する場合は、充電インジケータ ランプが黄色で点灯し続けるまでメインバッテリーを充電します (充電の状態を表す LED 表示の意味については、1-4 ページの表 1-1 を参照してください)。メインバッテリーは 4 時間以内にフル充電が完了します。MC92N0-G は、クレードル、CAM、または MSR と電源を組み合わせることで充電できます。

MC92N0-G には、メモリ バックアップバッテリーも装備されています。このバッテリーは、MC92N0-G が動作中でもサスペンドモードでも、メインバッテリーから自動的に充電されます。メインバッテリーを MC92N0-G から取り外した場合、またはメインバッテリーの残量が完全になくなった場合、メモリ内のデータはメモリ バックアップバッテリーによって少なくとも 30 分間維持されます。MC92N0-G を初めて使用する時、またはメモリ バックアップバッテリーの残量が完全になくなった後に、メモリ バックアップバッテリーをフル充電するには約 15 時間かかります。メモリ バックアップバッテリーを確実にフル充電するため、15 時間は MC92N0-G からメインバッテリーを取り外さないでください。メインバッテリーを MC92N0-G から取り外すかメインバッテリーの残量が完全になくなった後、数時間でメモリ バックアップバッテリーの残量が完全になくなります。

メインバッテリーの残量が非常に少なくなった場合、メモリ内のデータはメインバッテリーとバックアップバッテリーの両方によって少なくとも 72 時間維持されます。



注 最初の 15 時間は、メインバッテリーを取り外さないでください。バックアップバッテリーが完全に充電される前にメインバッテリーを取り外すと、データが失われることがあります。

バッテリーの充電には、次のものを使用します。

- クレードル: MC92N0-G をクレードルに挿入すると、MC92N0-G のバッテリー (ある場合は、予備バッテリー) が充電されます。クレードルの取り扱い方法および充電手順については、『**MC92N0-G Integrator Guide**』を参照してください。
 - シングル スロット シリアル/USB クレードル
 - 4 スロット イーサネット クレードル
 - 4 スロット 充電専用クレードル
- アクセサリ: MC92N0-G のスナップオン アクセサリには充電機能があり、いずれかのアクセサリ充電ケーブルと組み合わせて使用します。スナップオンの取り扱い方法および充電手順については、『**MC92N0-G Integrator Guide**』を参照してください。
 - CAM
 - MSR
- 充電器: MC92N0-G の予備バッテリー充電アクセサリを使用すると、MC92N0-G から取り外した状態でバッテリーを充電できます。予備バッテリー充電アクセサリの取り扱い方法および充電手順については、『**MC92N0-G Integrator Guide**』を参照してください。
 - シングル スロット シリアル/USB クレードル
 - 4 スロット 予備バッテリー充電器
 - ユニバーサル充電器 (UBC) アダプタ

✓ **注** 複数の無線が搭載された MC92N0-G のバッテリーを長持ちさせるには、使用していない無線の電源をオフにしてください。詳細については、[1-10 ページの「無線通信をオフにする方法」](#)を参照してください。

メインバッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. メインバッテリーの充電に使用するアクセサリが、適切な電源に接続されていることを確認してください。
2. MC92N0-G をクレードルにセットするか、正しいスナップオン モジュールを接続します。
3. MC92N0-G の充電が自動的に開始されます。インジケータ LED バーの黄色の充電 LED が点灯して、バッテリーの充電状態が示されます。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[表 1-1](#) を参照してください。

通常、メインバッテリーは 4 時間以内にフル充電が完了します。

表 1-1 MC92N0-G の LED 充電インジケータ

LED	意味
消灯	MC92N0-G がクレードルにセットされていないか、CAM または MSR に接続されていません。MC92N0-G が正しくセットされていません。充電器に電力が供給されていません。
黄色で速く点滅	充電中のエラー。MC92N0-G が正しくセットされているか確認してください。
黄色でゆっくり点滅	MC92N0-G が充電中です。
黄色で点灯	充電が完了しました。 注: MC92N0-G に初めてバッテリーを取り付けたときに、バッテリー残量が少なかったり、バッテリーが正しく入っていなかったりすると、黄色の LED が 1 回点滅します。

予備バッテリーの充電

予備バッテリーの充電には、次の3つのアクセサリを使用します。

- シングル スロット シリアル/USB クレードル
- 4 スロット 予備バッテリー充電器
- UBC アダプタ

アクセサリを使用した予備バッテリーの充電方法については、[第7章の「アクセサリ」](#)を参照してください。

メインバッテリーの取り外し

メインバッテリーを取り外すには、次の手順に従います。

1. バッテリーを取り外すには、赤色の電源ボタンを押します。
2. [Safe Battery Swap] (安全にバッテリーを交換) をタップします。
3. インジケータ LED バーが赤く点灯します。
4. インジケータ LED が消灯したら、プライマリ バッテリー リリースを押します。バッテリーの一部が MC92N0-G から外に出ます。
5. バッテリー上面のセカンダリ バッテリー リリースを押し、バッテリーを MC92N0-G から引き出します。

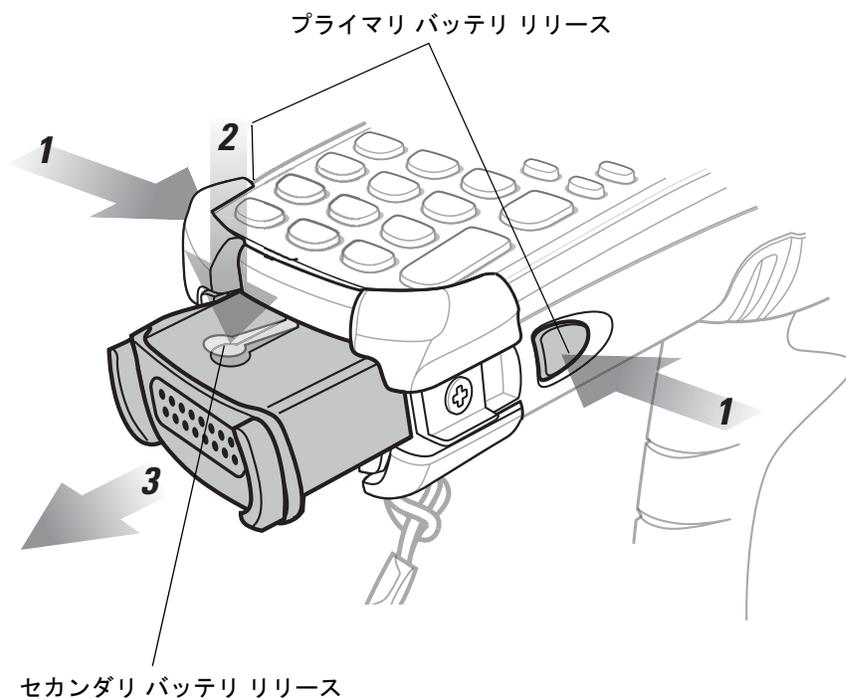


図 1-3 メインバッテリーの取り外し

MC92N0-G の起動

赤色の電源ボタンを押して、MC92N0-G の電源をオンにします。MC92N0-G の電源がオンにならない場合は、コールドブートを実行します。Windows デバイスの場合は [2-25 ページの「MC92N0-G のリセット」](#)、Android デバイスの場合は [3-15 ページの「Android デバイスのリセット」](#) を参照してください。

- ✓ **注** バッテリーを初めて MC92N0-G に完全に挿入すると、MC92N0-G の最初の通電時にデバイスがブートし、自動的に電源がオンになります。

MC92N0-G に初めて電源を入れると、システムの初期化が行われます。短時間、起動画面が表示されます。

スクリーンの調整

Windows デバイス

タッチスクリーンのカーソル位置とスタイラスの先端の位置が揃うようにスクリーンを調整するには、次の手順に従います。

1. スタイラスを慎重に使用し、スクリーンに表示される各ターゲットの中央を短時間押し続けます。

- ✓ **注** スクリーンはいつでも再調整できます。それには、MC92N0-G の **FUNC + ESC** を押し、スクリーン調整アプリケーションを起動します。

2. スクリーン上を移動するターゲットに対して同じ操作を繰り返すか、**ESC** をタップしてキャンセルします。

Android デバイス

タッチスクリーンのカーソル位置とスタイラスの先端の位置が揃うようにスクリーンを調整するには、次の手順に従います。

 > **[Display]** (表示) > **[Touch calibration]** (タッチ校正) をタッチします。

1. スタイラスを慎重に使用し、スクリーンに表示される各ターゲットの中央を短時間押し続けます。
2. ターゲットが移動したら、この動作を繰り返し行います。

バッテリー状態の確認

メインバッテリーまたはバックアップバッテリーの充電レベルを確認するには、次の手順に従います。

- Windows CE デバイスでは、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Control Panel]** (コントロールパネル) > **[Power]** (電源) をタップして、**[Battery Status]** (バッテリーの状態) ウィンドウを表示します。
- Windows Embedded Handheld デバイスでは、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) > **[Power]** (電源) をタップして、**[Power]** (電源) ウィンドウを表示します。
- Android デバイスでは、 > **[About]** (デバイス情報) > **[Status]** (ステータス) をタッチします。

バッテリー電力を節約するには、指定の時間が経過したら MC92N0-G がオフになるように設定します。

MC92N0-G 用ストラップ

ストラップは使用時の都合に応じて、MC92N0-G の左右どちらの側にも移動できます。

ストラップを移動するには、次の手順に従います。

1. 先端のループからボタンを抜き取り、ハンドルから取り外します。
2. ストラップのループを開き、ハンドストラップをループに通します。
3. コネクタ ポストからループを抜き取ります。
4. 逆の手順で、ストラップを再び取り付けます。MC92N0-G の本体には 2 つのストラップ コネクタがあります。ハンドストラップはどちらのコネクタにも取り付けられます。

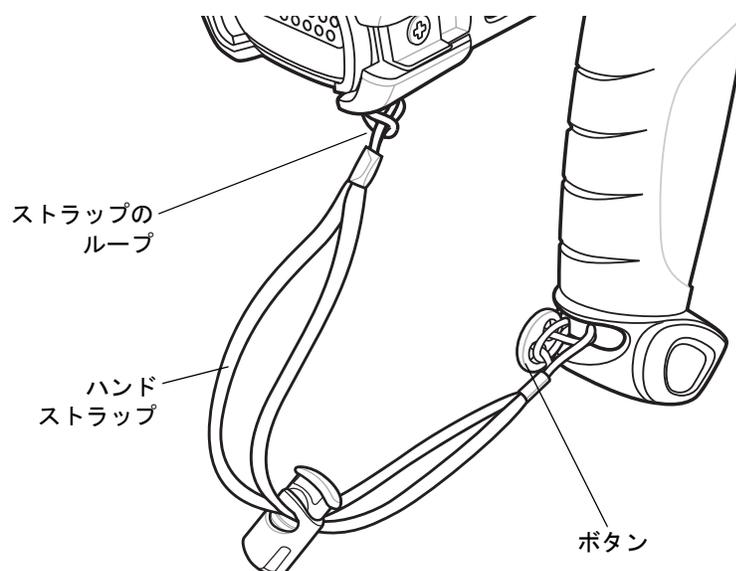


図 1-4 ストラップの移動

バッテリー管理

バッテリー節約のヒント

- アイドル状態で一定時間経過したら MC92N0-G がオフになるように設定します。
- バックライトが消灯または減光するようディスプレイを設定します。
- アイドル状態で一定時間経過したら、キーボードのバックライトがオフになるように設定します。
- 無線機能を使用していないときには、すべての無線機能をオフにします。
- 充電中は MC92N0-G の電源をオフにします。これにより、充電時間を短縮できます。

電力設定の変更

✓ **注** Windows Mobile および Windows CE にのみ適用されます。

アイドル状態で一定時間経過したら電源がオフになるように MC92N0-G を設定するには、次の手順に従います。

1. Windows CE デバイス で、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Control Panel]** (コントロール パネル) > **[Power]** (電源) > **[Advanced]** (詳細) をタップします。

または

Windows Embedded Handheld デバイス で、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) > **[Power]** (電源) > **[Advanced]** (詳細) をタップします。

2. **[On battery power: Turn off device if not used for]** (バッテリー使用時: 電源を切るまでのアイドル時間) チェック ボックスをオンにして、ドロップダウン リスト ボックスから値を選択します。
3. **[OK]** をタップします。

ディスプレイのバックライトの設定変更

✓ **注** Windows Mobile および Windows CE にのみ適用されます。

ディスプレイのバックライトの設定を変更してバッテリー電力を節約するには、次の手順に従います。

1. Windows CE デバイス で、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Control Panel]** (コントロール パネル) > **[Backlight]** (バックライト) > **[Battery Power]** (バッテリー電源) をタップします。

または

Windows Embedded Handheld デバイスで、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) > **[Backlight]** (バックライト) > **[Battery Power]** (バッテリー電源) をタップします。

2. **[On battery power: Disable backlight if not used for]** (バッテリー使用時: バックライトをオフにするまでのアイドル時間) チェック ボックスをオンにして、ドロップダウン リスト ボックスから値を選択します。
3. **[Brightness]** (輝度) タブをタップします。
4. **[Disable backlight]** (バックライトを無効にする) チェック ボックスをタップして、ディスプレイのバックライトを完全にオフにします。
5. スライダを使用して、バックライトの輝度を設定します。低い値に設定すると、バッテリー電力を節約できます。
6. **[OK]** をタップします。

ディスプレイの輝度の変更

✓ **注** Android デバイスにのみ適用されます。

ディスプレイの輝度の設定を変更してバッテリー電力を節約するには、次の手順に従います。

1.  >  [Display] (ディスプレイ) > [Brightness] (輝度) をタッチします。



図 1-5 [Brightness] (輝度) ダイアログ ボックス

2. [Brightness] (輝度) ダイアログ ボックスで、スライダを使用して、輝度レベルを設定します。
3.  をタッチします。

キーパッドのバックライトの設定変更

Windows デバイス

キーパッドのバックライトの設定を変更してバッテリー電力を節約するには、次の手順に従います。

1. Windows CE デバイス で、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Control Panel] (コントロール パネル) > [Keylight] (キーライト) > [Battery Power] (バッテリー電源) をタップします。
または
Windows Embedded Handheld デバイスで、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Keylight] (キーライト) > [Battery Power] (バッテリー電源) をタップします。
2. [On battery power: Disable keylight if not used for] (バッテリー使用時: キーライトをオフにするまでのアイドル時間) チェック ボックスをオンにして、ドロップダウン リスト ボックスから値を選択します。
3. [Advanced] (詳細) をタップします。
4. [Disable keylight] (キーライトを無効にする) チェック ボックスをタップして、キーパッドのバックライトを完全にオフにします。
5. [OK] をタップします。

Android デバイス

キーパッドのバックライトの設定を変更してバッテリー電力を節約するには、次の手順に従います。

1.  >  [Display] (ディスプレイ) > [Key light] (キー ライト) をタッチします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - [Always on] (常にオン) - 画面がオンのときはタッチ キー ライトがオンになります。
 - [6 seconds] (6 秒) - タッチ キー ライトは 6 秒間点灯した後、オフになります (デフォルト)。
 - [10 seconds] (10 秒) - タッチ キー ライトは 10 秒間点灯した後、オフになります。
 - [15 seconds] (15 秒) - タッチ キー ライトは 15 秒間点灯した後、オフになります。
 - [30 seconds] (30 秒) - タッチ キー ライトは 15 秒間点灯した後、オフになります。
 - [1 minute] (1 分) - タッチ キー ライトは 1 分間点灯した後、オフになります。

3.  をタッチします。

無線通信をオフにする方法

Windows Embedded Handheld デバイスの場合

Windows Embedded Handheld デバイスには、デバイスのすべての無線機能を 1 か所で有効にしたり、無効にしたり、設定したりすることができる **Wireless Manager** (ワイヤレス マネージャー) が搭載されています。

Wireless Manager (ワイヤレス マネージャー) を開くには、ステータス バーをタップしてから **[Connectivity]** (接続) アイコンをタップして **[Wireless Manager]** (ワイヤレス マネージャー) を選択するか、または **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Connections]** (接続) > **[Wireless Manager]** (ワイヤレス マネージャー) をタップします。

- 無線接続を有効または無効にするには、青いバーをタップします。
- すべての無線接続を有効または無効にするには、**[All]** (すべて) バーをタップして押し続けます。
- 接続の設定を行うには、**[Menu]** (メニュー) をタップします。

Windows CE デバイスの場合

WLAN 無線通信

WLAN 無線通信をオフにするには、タスク トレイの **[Fusion Signal Strength]** (Fusion 信号強度) アイコンをタップして、**[Disable Radio]** (無線通信の無効化) を選択します。アイコンの上に赤い X 印が付き、無線通信が無効 (オフ) になったことが示されます。



Fusion Signal Strength (Fusion 信号強度) アイコン

図 1-6 [Fusion Signal Strength] (Fusion 信号強度) アイコン

無線通信をオンに戻すには、タスク トレイの **[Fusion Signal Strength]** (Fusion 信号強度) アイコンをタップして、**[Enable Radio]** (無線通信の有効化) を選択します。アイコンの上の赤い X 印が消え、無線通信が有効 (オン) になったことが示されます。

StoneStreet One スタックを有効にした Bluetooth 無線

Bluetooth 無線通信をオフにするには、タスク トレイの **[Bluetooth]** アイコンをタップして、**[Disable Bluetooth]** (Bluetooth の無効化) を選択します。



Bluetooth アイコン

図 1-7 [Bluetooth] アイコン

Bluetooth 無線通信をオンに戻すには、タスク トレイの **[Bluetooth]** アイコンをタップして、**[Enable Bluetooth]** (Bluetooth の有効化) を選択します。

Android デバイスの場合

すべての無線をオフにするには、次の手順に従います。

1. 画面の上部からステータス バーを下にドラッグします。クイック設定アイコンが右上端に表示されます。
2. [Quick Settings] (クイック設定) パネルを表示するには、 をタッチします。
3. [Airplane mode] (機内モード) をタッチします。

[Quick Settings] (クイック設定) パネルの下部を画面の上部までドラッグして、[Quick Settings] (クイック設定) パネルを閉じます。

LED インジケータ

MC92N0-G には LED インジケータ バーがあり、スキャンと充電の状態を示す LED があります。表 1-2 で、LED 表示の意味について説明します。

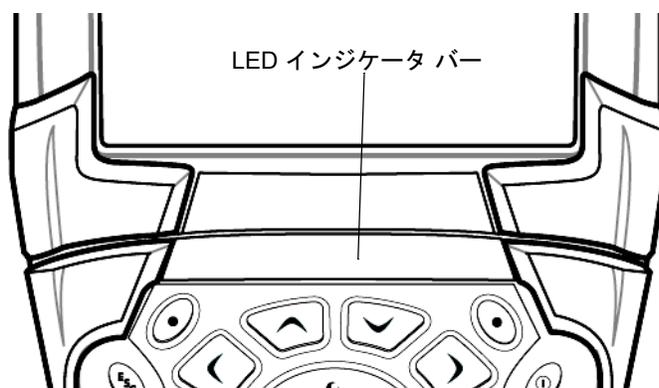


図 1-8 MC92N0-G の LED インジケータ バー

表 1-2 MC92N0-G の LED の意味

LED の状態	意味
赤色で点灯	レーザーは有効になっており、スキャン/イメージングを実行中です。
緑色で点灯	読み取り/収集が正常に完了しました。
黄色でゆっくり点滅	MC92N0-G 内のメイン バッテリーを充電中です。
黄色で速く点滅	充電中のエラー。MC92N0-G が正しくセットされているか確認してください。
黄色で点灯	MC92N0-G 内のメイン バッテリーがフル充電されました。

キーパッド

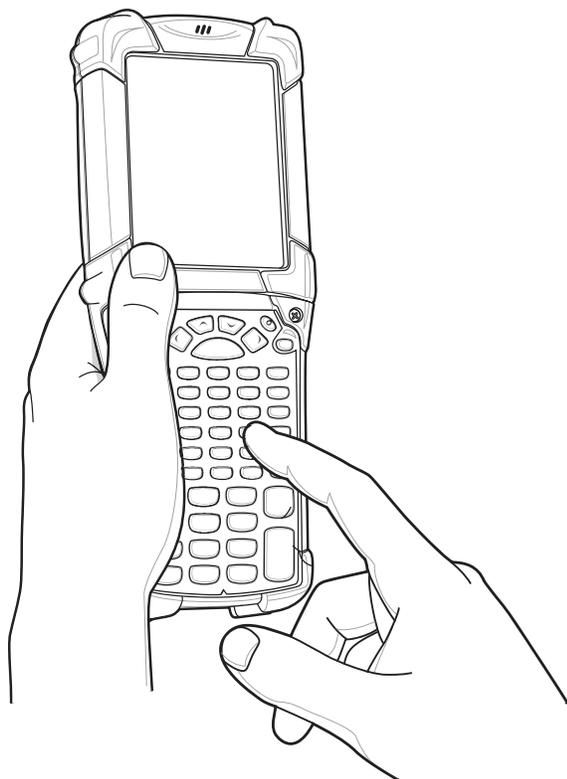
MC92N0-G には、次に示す交換可能なモジュラ式キーパッドがあります。

- 28 キー キーパッド
- 43 キー キーパッド
- 53 キー キーパッド
- 3270 エミュレータ
- 5250 エミュレータ
- VT エミュレータ

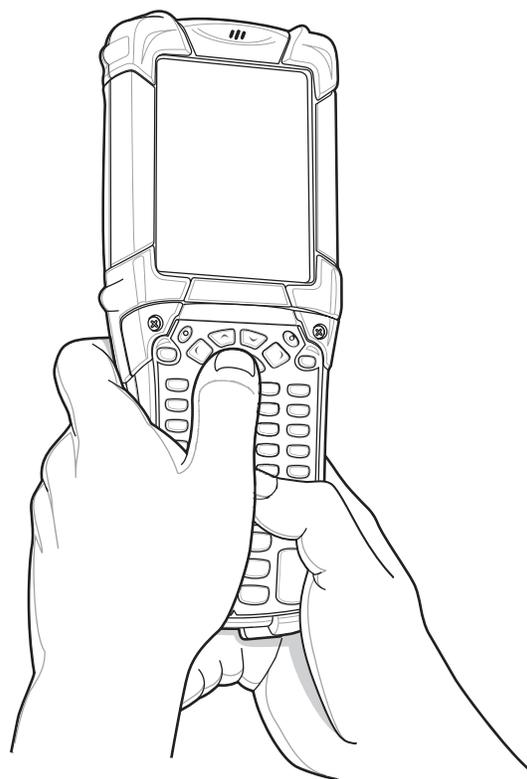
各キーパッドの詳細については、[付録 B「キーパッド」](#) を参照してください。

データを入力する

キーパッドでデータを入力する際には、片手または両手で入力します ([図 1-9](#) を参照)。



片手での操作



両手での操作

図 1-9 キーパッドでのデータの入力

有線ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、モノヘッドセットを使用して音声通信を行うことができます。ヘッドセットを使用するには、ヘッドセットのジャックを MC92N0-G の側面にあるオーディオコネクタに差し込みます。ヘッドセットを装着する前に、MC92N0-G の音量設定が適切かどうかを確認してください。ヘッドセットをジャックに差し込むと、スピーカーはミュートになります。

Zebra では 2.5mm ジャックのヘッドセットを推奨します。利用可能な Zebra のヘッドセットについては、[7-1 ページの表 7-1](#) を参照してください。

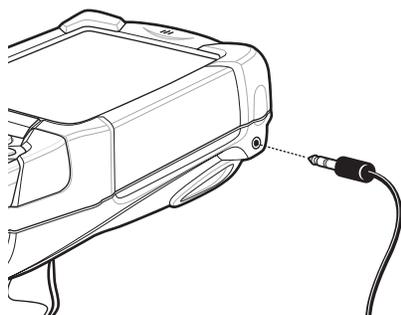


図 1-10 ヘッドセットの使用 (MC92N0-G の場合)

Bluetooth ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、Bluetooth ヘッドセットを使用して音声通信を行います。Bluetooth デバイスを MC92N0-G に接続する方法については、[第 5 章の「Windows デバイスでの Bluetooth の使用方法」](#) を参照してください。ヘッドセットを装着する前に、MC92N0-G の音量設定が適切かどうかを確認してください。Bluetooth ヘッドセットを接続すると、スピーカーフォンはミュートになります。

第 2 章 WINDOWS OS 搭載 MC92N0-G の操作

はじめに

この章では、MC92N0-G の物理ボタン、ステータス アイコン、およびコントロールについて説明します。また、電源オンやリセットの方法、スタイラスとヘッドセットの使用、情報の入力とデータ収集など、MC92N0-G の使用方法について説明します。

Windows CE 7.0

ウィンドウ下部のタスクバーに、アクティブなプログラム、現在時刻、バッテリー状態、および通信状態が表示されます。



図 2-1 タスクバー

タスクバーに表示されるステータス アイコンは、MC92N0-G の現在の状態を示します。一部のステータス アイコンをダブルタップすると、対応するセットアップ ウィンドウが表示され、そのウィンドウから設定の変更や調整を行えます。その他のステータス アイコンをシングルタップすると、対応するメニューが表示されます。

表 2-1 ステータス アイコン

ステータス アイコン	説明
	Clock (時計): 現在時刻が表示されます。
	Battery (バッテリー): このアイコンは、メインバッテリーが充電中であること、またはターミナルが AC 電力で動作中であることを示します。 このアイコンをダブルタップすると、[Power Properties] (電源プロパティ) ウィンドウが表示されます。
	AC Plug (AC プラグ): バッテリーがフル充電の状態、MC92N0-G が外部電源で動作していることを示します。
	Battery (バッテリー): このアイコンは、バッテリーがフル充電 (100% 充電) の状態であることを示します。 バッテリー状態アイコンでは、バッテリーの状態を 10% から 100% まで 10% 単位で確認できます。
	Serial Connection (シリアル接続): ターミナルがシリアル ケーブルでホスト コンピュータに接続されているときに表示されます。
	Wireless Connection Status (無線接続状態): WLAN の信号強度を示します。
	Bluetooth Enabled (Bluetooth 有効): Bluetooth 無線通信がオンになっていることを示します (BTExplorer のみ)。
	Bluetooth Disabled (Bluetooth 無効): Bluetooth 無線通信がオフになっていることを示します (BTExplorer のみ)。
	Bluetooth Communication (Bluetooth 通信): MC92N0-G が他の Bluetooth デバイスと通信中であることを示します (BTExplorer のみ)。
	DataWedge Running (DataWedge 実行中): DataWedge アプリケーションが実行中であることを示します。
	DataWedge Idle (DataWedge アイドル): DataWedge アプリケーションがアイドル状態であることを示します。
	Shift : SHIFT ボタン機能が選択されていることを示します。
	FUNC : FUNC ボタン機能が選択されていることを示します。
	CTRL : CTRL ボタン機能が選択されていることを示します。
ALT	ALT : ALT 文字選択が選択されていることを示します。
ALP	ALPHA : MC92N0-G が ALPHA ボタン モードになっていることを示します。

[Start] (スタート) メニュー

[Start] (スタート) メニューを開くには、画面の左下角の  をタップします。表 2-2 に [Programs] (プログラム) メニューにあるデフォルト アプリケーションを示します。

表 2-2 [Programs] (プログラム) メニューのアプリケーション

アイコン	説明	アイコン	説明
	BattSwap (バッテリー交換): バッテリー交換中に MC92N0 を正しくシャットダウンします。		Fusion フォルダ : Wireless Companion フォルダを開きます。
	Video Player (ビデオ プレイヤー): ビデオ ファイルを再生します。		Music Player (音楽プレイヤー): オーディオ ファイルを再生します。
	BTScanner CtlPanel : COM ポートを Bluetooth スキャナとともに使用する設定を行います。		Command Prompt (コマンド プロンプト): DOS コマンド プロンプト ウィンドウを開きます。
	CtlPanel : スキャナ パラメータ、ディスプレイ設定、オーディオ設定、プリンタ設定、日時設定、タッチ スクリーン設定など、MC92N0-G の設定を表示および変更します。		Internet Explorer : Web サイトや WAP サイトを参照したり、インターネットから新しいプログラムやファイルをダウンロードします。
	MotoBTUI : Bluetooth を介してバーコードを MC92N0-G とペアリングし、RS507 ハンズフリー イメージャーを使用してバーコード データを読み取ります。		Microsoft WordPad (Microsoft ワードパッド): 文書を作成します。
	MSP Agent (MSP エージェント): MSP Agent と通信して、監視情報および資産情報を収集し、MC92N0-G の構成、プロビジョニング、トラブルシューティングを行えるようにします。詳細については、『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。		Rapid Deployment Client (Rapid Deployment クライアント): Mobility Services Platform Console FTP サーバーから MC92N0-G ヘソフトウェアをダウンロードすることができます。詳細については、『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。
	Remote Desktop Connection (リモート デスクトップ接続): Windows NT サーバー環境のコンピュータにログオンして、そのコンピュータで使用可能なすべてのプログラムを MC92N0-G から使用します。		TelentCE : Wavelink Telnet クライアントを開きます。
	WarmBoot : MC92N0-G をウォームブートします。		Windows Explorer : デバイス上のファイルを整理および管理します。

コントロールパネル

表 2-3 に、[Control Panel] (コントロールパネル) にあるアプリケーションを示します。

表 2-3 [Control Panel] (コントロールパネル) のプログラム

アイコン	説明	アイコン	説明
	Backlight (バックライト): バックライトの輝度と電源設定を調整します。		Bluetooth Device Properties (Bluetooth デバイスのプロパティ): Bluetooth アプリケーションを起動します。
	Certificates (証明書): MC92N0-G にインストールされている証明書に関する情報を表示します。		DataWedge : サンプルのスキャン アプリケーション。インストールしないと、このアイコンは表示されません。
	Date/Time (日付/時刻): 日付、時刻、およびタイムゾーン情報を変更します。		Dialing (ダイヤル): モデム通信のダイヤル プロパティを設定し、電話設定を変更します。
	Volume & Sounds (音量とサウンド): サウンドを鳴らす操作の種類を選択し、さまざまなイベントの通知をカスタマイズします。		Display (ディスプレイ): デスクトップの背景、デザイン、バックライト、および輝度を変更します。
	Error Reporting (エラー報告): 重大なエラーが発生したときに使用するソフトウェア動作情報を、MC92N0-G が収集するかどうかを選択します。		Input Panel (入力パネル): 入力方法を切り替え、入力オプションを設定します。
	Internet Options (インターネットオプション): インターネットへの MC92N0-G の接続方法を制御します。		IST Settings (IST 設定): MC92N0-G のインタラクティブなセンサーテクノロジーを構成するための適切な設定を設定します。
	Keyboard (キーボード): キーボードのリピートの待ち時間とレートを変更します。		Keylight (キーライト): キーボードライトの設定を調整します。
	Mouse (マウス): ダブルクリックの感度に関して、速度とタイミングの両方を調整します。		Network and Dial-up Connections (ネットワークおよびダイヤルアップ接続): モデムを使用して、他のコンピュータ、ネットワーク、およびインターネットに接続します。
	Owner (オーナー): オーナーの個人プロフィールを変更します。		Password (パスワード): MC92N0-G のパスワードを設定します。
	PC Connection (PC 接続): ホストコンピュータ接続の設定を変更します。		Power (電源): MC92N0-G の電源設定を表示および制御します。
	Regional Settings (地域): 数値、通貨、日時の表示方法を変更します。		Remove Programs (プログラムの削除): MC92N0-G にインストールしたプログラムを削除します。

表 2-3 [Control Panel] (コントロール パネル) のプログラム (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	Screen Resolution (画面解像度) : 画面の解像度を QVGA または VGA に設定します。詳細は、『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。		Stylus (スタイラス) : タッチ スクリーンを調整し、ダブルタップのタイミングを調節します。
	System (システム) : システム情報を表示し、メモリ設定を変更します。		System Info (システム情報) : MC92N0-G のシステム コンポーネントに関する情報を表示します。
	USBConfig (USB 構成) : MC92N0-G の USB ポートを設定します。		

Windows Embedded Handheld

ここでは、Windows Embedded Handheld オペレーティング システムの動作について説明します。

指のスクロール

Windows Embedded Handheld には、指のスクロール機能がディスプレイに追加されています。指をスクロールさせると、Web ページ、ドキュメント、一覧 (連絡先、ファイル、メッセージ、予定表など) を上下にスクロールさせることができます。

指でスクロールする場合は、スクリーンを指でスワイプするか、軽くはじきます。下方向にスクロールするには、指でスクリーンを上方向にスワイプします。上方向にスクロールするには、指でスクリーンを下方向にスワイプします。自動スクロールするには、指でスクリーンを上方向または下方向に軽くはじきます。スクリーンをタッチすると、スクロールが停止します。

ホーム画面

MC92N0-G のデフォルトのホーム画面は、Windows Handheld のホーム画面です。ホーム画面には、画面上部にステータス バーが、画面下部にタイル バーがあります。

ホーム画面はスクロール可能で、この画面にはアプリケーション プラグインの一覧と情報ステータス バーがあります。情報ステータス バーでは、その下のアプリケーション プラグインが強調表示され、追加情報が表示されます。



図 2-2 Windows Embedded Handheld のホーム画面

指で画面に触れたまま、ホーム画面を上下に移動させます。アプリケーション名が情報ステータス バーの下に移動すると、そのアプリケーションに関連する情報がバーに表示されます。



図 2-3 [Today] (今日) 画面の移動

情報ステータス バーに触れてそのままの状態を維持すると、アプリケーション名の上で上下させることができます。指を離すと、情報ステータス バーとアプリケーション名が画面中央になります。



図 2-4 情報ステータス バーの移動



図 2-5 情報バーの例

ホーム画面をカスタマイズするには、 > [Settings] (設定) > [Today] (今日) をタップします。背景をカスタマイズするには [Appearance] (デザイン) タブを使用し、表示形式を変更するには [Items] (項目) タブを使用します。

クラシックの [Today] (今日) 画面

ユーザーは、Windows Mobile 6.1 で使用されるクラシックの [Today] (今日) 画面レイアウトに変更できます。



図 2-6 クラシックの [Today] (今日) 画面

クラシック ビューに変更するには、 > [Settings] (設定) > [Home] (ホーム) > [Items] (項目) の順にタップします。



図 2-7 ホーム画面の設定

[Windows Default] (Windows 既定) の選択を解除し、他のチェックボックスを選択して  をタップします。

画面下部のタスク バーには、表 2-4 に示しているタスクトレイアイコンが表示されます。

表 2-4 タスクトレイアイコン

アイコン	説明
	Wireless connection status (無線接続状態): WLAN の信号強度を示し、無線アプリケーションメニューを開きます。
	Bluetooth Enabled (Bluetooth 有効): Bluetooth 無線通信がオンになっていることを示します (StoneStreet One Bluetooth スタックが有効な場合のみ表示されます)。
	Bluetooth Disabled (Bluetooth 無効): Bluetooth 無線通信がオフになっていることを示します (StoneStreet One Bluetooth スタックが有効な場合のみ表示されます)。
	Bluetooth Communication (Bluetooth 通信): MC92N0-G が他の Bluetooth デバイスと通信していることを示します (StoneStreet One Bluetooth スタックが有効な場合のみ表示されます)。
	ActiveSync : MC92N0-G と開発用コンピュータ間のシリアル接続が有効であることを示します。
	DataWedge Running (DataWedge 実行中): DataWedge アプリケーションが実行中であることを示します。
	DataWedge Idle (DataWedge アイドル): DataWedge アプリケーションがアイドル状態であることを示します。
	Shift : SHIFT ボタン機能が選択されていることを示します。
	FUNC : FUNC ボタン機能が選択されていることを示します。

表 2-4 タスクトレイアイコン(続き)

アイコン	説明
	CTRL: CTRL ボタン機能が選択されていることを示します。
ALT	ALT: ALT 文字選択が選択されていることを示します。

ステータスバー

画面の上部のステータスバーには、表 2-5 に示しているステータスアイコンが表示されます。

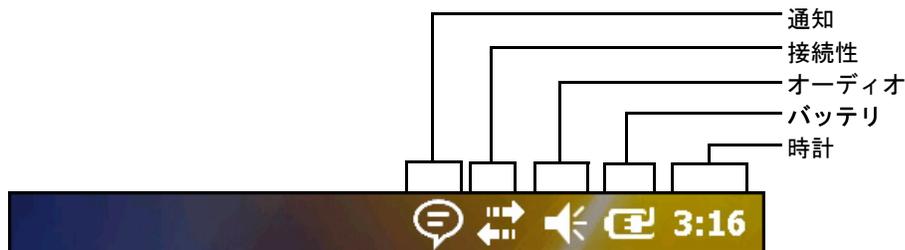


図 2-8 ステータスバーのアイコン

表 2-5 ステータスバーのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
通知			
	今後のカレンダー イベントの通知を示します。		1 つまたは複数のインスタントメッセージを受信したことを示します。
	1 つまたは複数の電子メール/テキストメッセージを受信したことを示します。		表示しきれない通知アイコンがあります。
接続性			
	接続がアクティブです。		接続が非アクティブです。
	同期中です。		WLAN が利用可能です。
	WLAN を使用中です。		
オーディオ			
	すべてのサウンドがオンになっています。		すべてのサウンドがオフになっています。
バッテリー			
	バッテリーが充電中です。		バッテリーがフル充電されています。

表 2-5 ステータス バーのアイコン (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	バッテリーの充電残量は十分あります。		メインバッテリーの充電残量が中程度です。
	メインバッテリーの充電残量が少なくなっています。		メインバッテリーの充電残量が非常に少なくなっています。

ステータスバーをタップすると、アイコンバーが表示されます。アイコンをタップすると、通知またはステータスの追加情報を表示できます。



図 2-9 アイコンバー

表 2-6 アイコンバーのアイコン

アイコン	説明
	Magnify (虫眼鏡): スクリーンを拡大します。
	Connectivity (接続): [Connectivity] (接続) ダイアログボックスが表示されます。
	Volume (音量): [Volume] (音量) ダイアログボックスが表示されます。
	Power (電源): [Power] (電源) ウィンドウが表示されます。
	Clock & Alarms (時計とアラーム): [Clocks & Alarms] (時計とアラーム) ウィンドウが開きます。

タイルバー

スクリーンの一番下にあるタイルバーには [Start] (スタート) タイル  があり、ここで [Start] (スタート) メニューを開きます。また、開いているアプリケーションにより、異なるタイルが表示されます。



図 2-10 タイルバーの例

[Start] (スタート) 画面

[Start] (スタート) 画面を開くには、スクリーンの左下角の  をタップします。

その他のプログラムとフォルダのアイコンを表示するには、上方向にスワイプします。

頻繁に使用するプログラムとフォルダアイコンを、[Start] (スタート) 画面の任意の場所に移動すると、使いやすい場所に配置できます。アイコンを押したまま移動します。目的の場所に移動して離します。

表 2-7 に、[Start] (スタート) 画面に表示されるデフォルトのアイコンを示します。

表 2-7 [Start] (スタート) 画面のプログラム

アイコン	説明	アイコン	説明
	Home (ホーム): ホーム画面を表示します。		Text (テキスト): SMS テキストメッセージを送信します。
	Contacts (連絡先): 友人および同僚の連絡先を管理します。		E-mail (電子メール): 電子メールを送信します。
	Internet Explorer: Web サイトや WAP サイトを参照したり、インターネットから新しいプログラムやファイルをダウンロードします。		Battery Swap (バッテリー交換): バッテリー交換時に MC92N0-G を正常にシャットダウンします。
	Calendar (カレンダー): 予定を管理したり、会議出席依頼を作成します。		Settings (設定): [Settings] (設定) フォルダを開きます。表 2-8 に、[Settings] (設定) フォルダに表示されるデフォルトのアイコンを示します。
	Pictures & Videos (画像とビデオ): 画像、アニメーション GIF、ビデオファイルを表示および管理します。		Getting Started (ご使用の前に): Getting Started (ご使用の前に) アプリケーションを起動します。
	Windows Media: オーディオファイルとビデオファイルを再生します。		Alarms (アラーム): デバイスの時計を自分の地域の日時に設定します。また、指定した曜日の時間にアラームを設定します。
	Marketplace (マーケットプレイス): マーケットプレイスからアプリケーションを購入します。		Messenger: モバイルバージョンの Windows Live Messenger を使用します。

表 2-7 [Start] (スタート) 画面のプログラム (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	Windows Live: モバイルバージョンの Windows Live™ を使用して、Web で情報を検索します。		Calculator (電卓): 加算、減算、乗算、除算などの基本的な演算と計算を行います。
	MSN Money (MSN マネー): ファイナンスを管理します。		MSN Weather (MSN 天気予報): 地域の天気予報を確認します。
	Tasks (タスク): タスクを管理します。		Games (ゲーム): ゲームをします。
	Office Mobile: モバイル デバイスで Microsoft® Office アプリケーションスイートのすべてのアプリケーションを使用できます (Premium のみ)。		Notes (メモ): 手書きのメモやタイプしたメモ、図、音声録音を作成します。
	File Explorer (エクスプローラー): デバイス上のファイルを整理および管理します。		ActiveSync: MC92N0-G とホストコンピュータまたは Exchange Server 間で情報を同期します。
	Search Phone (電話の検索): MC92N0-G 上の連絡先、データ、その他の情報を検索します。詳細については、『Microsoft Applications for Windows Mobile 6 User Guide』を参照してください。		Internet Sharing (インターネット共有): MC92N0-G のデータ接続を使用して、ノートブックコンピュータをインターネットに接続します。
	Help (ヘルプ): オンラインヘルプピックにアクセスします。		Task Manager (タスク マネージャ): メモリと CPU の割り当てを表示し、実行中のプロセスを停止します。詳細については、『Microsoft Applications for Windows Mobile 6 User Guide』を参照してください。
	Adobe Reader: pdf ファイルを表示します。		Wireless Companion: [Wireless Companion] フォルダを開きます。
	BTScanner CtlPanel: COM ポートを Bluetooth スキャナとともに使用する設定を行います。		BTE Explorer: StoneStreet One Bluetooth 接続を管理します。詳細については、『MC92N0-G Series MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。StoneStreet One Bluetooth スタックが有効の場合のみ表示されます。

表 2-7 [Start] (スタート) 画面のプログラム (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	BT Information (BT 情報): Bluetooth 無線に関する情報を表示し、Bluetooth アドレス バーコードを生成します。		MSP Agent (MSP エージェント): MSP Agent と通信して、監視情報および資産情報を収集し、MC92N0-G の構成、プロビジョニング、トラブルシューティングを行えるようにします。詳細については、『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。
	Remote Desktop Mobile (リモート デスクトップ モバイル): Windows NT サーバー環境のコンピュータにログオンして、そのコンピュータで使用可能なすべてのプログラムを MC92N0-G から使用します。		Rapid Deployment Client (Rapid Deployment クライアント): Mobility Services Platform Console FTP サーバーから MC92N0-G ヘソフトウェアをダウンロードすることができます。詳細については、『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。
	RTLogExport : Zebra サポート スタッフ からリアルタイム データをログ ファイルに抽出するように指示があったときに使用します。または F9 キーを押して、データをログ ファイルに抽出します。ログ ファイルは、/ExportLogs フォルダにあります。		

表 2-8 Settings (設定) アプリケーション

アイコン	説明	アイコン	説明
	Clock & Alarms (時計とアラーム): デバイスの時計を自分の地域の日時に設定します。また、指定した曜日の時間にアラームを設定します。		Lock (ロック): MC92N0-G のパスワードを設定します。
	Home (ホーム): ホーム画面の外観と表示される情報をカスタマイズします。		Sounds & Notifications (サウンドと通知): イベントや通知などのサウンドを有効にしたり、各イベントの通知の種類を設定します。
	Personal (パーソナル) フォルダ: 個人設定アプリケーションが含まれています。		Connections (接続) フォルダ: 接続設定アプリケーションが含まれています。
	System (システム) フォルダ: システム設定アプリケーションが含まれています。		

表 2-8 Settings (設定) アプリケーション (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
Connections (接続) フォルダ			
	Beam (ビーム): 受光ビームを受信するように MC92N0-G を設定します。		Connections (接続): 電話のダイヤルアップ、Bluetooth など、1 つまたは複数の種類のモデム接続を設定して、デバイスがインターネットやプライベート ローカル ネットワークにアクセスできるようにします。
	Bluetooth: Microsoft or StoneStreet One Bluetooth アプリケーションを開き、MC92N0-G を可視モードに設定し、範囲内の他の Bluetooth デバイスをスキャンします。		Domain Enroll (ドメインへの登録): デバイス管理およびセキュリティのため、AD ドメイン メンバーに登録します。詳細については、『 Microsoft Applications for Windows Mobile 6 User Guide 』を参照してください。
	Wi-Fi: 無線ネットワーク接続をセットアップしたり、設定をカスタマイズします。		USB to PC (USB から PC): 拡張ネットワーク接続を有効または無効にします。
	Wireless Manager (ワイヤレス マネージャー): MC92N0-G の無線通信を有効または無効にしたり、Wi-Fi、Bluetooth の設定をカスタマイズします。		
Personal (個人) フォルダ			
	Buttons (ボタン): ボタンにプログラムを割り当てます。		Owner Information (オーナー情報): 個人情報を入力します。
System (システム) フォルダ			
	About (バージョン情報): Windows Handheld® のバージョンや MC92N0-G に搭載されているプロセッサの種類などの基本的な情報を表示します。		Certificates (証明書): MC92N0-G にインストールされている証明書に関する情報を表示します。
	Backlight (バックライト): ディスプレイのバックライトの輝度とタイムアウト設定を設定します。		Customer Feedback (カスタマ フィードバック): Windows Handheld 6 ソフトウェアに関するフィードバックを送信します。
	Encryption (暗号化): ストレージカード上のファイルを暗号化できます。暗号化されたファイルは、自分のデバイスでのみ読み取ることができます。		DataWedge: サンプルのスキャン アプリケーション。
	Error Reporting (エラー報告): Microsoft のエラー報告機能を有効または無効にします。		IST Settings (IST 設定): デバイスのインタラクティブなセンサー テクノロジーを構成するための適切な設定を設定します。

表 2-8 Settings (設定) アプリケーション (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	Keylight (キーライト): キーパッドのバックライトのタイムアウト設定を設定します。		Memory (メモリ): デバイスのメモリ割り当てステータスとメモリカードの情報を確認したり、現在実行中のプログラムを停止します。
	Managed Programs (管理プログラム): Mobile Device Manager を使用して MC92N0-G にインストールされたプログラムを表示します。		Power (電源): バッテリー残量を確認したり、バッテリー電力を節約するためにディスプレイをオフにするタイムアウトを設定します。
	Remove Programs (プログラムの削除): MC92N0-G にインストールしたプログラムを削除します。		Regional Settings (地域): 数字、通貨、日付、時刻の表示形式など、MC92N0-G で使用する地域設定を行います。
	Screen (画面): 画面の向きを変更したり、画面を調整したり、画面のテキストのサイズを変更したりできます。		Task Manager (タスク マネージャ): プログラムとプロセスの実行を停止します。
	System Info (システム情報): MC92N0-G のソフトウェアおよびハードウェア情報を表示します。		UI Settings (UI 設定): [Start] (スタート) メニューのグリッド表示を設定します。
	USB Config (USB 構成): MC92N0-G の USB ポートを設定します。		

スピーカー アイコン

スピーカー アイコンを使用して、システムの音量を調節します。

1. ステータス バーをタップして、**スピーカー アイコン**をタップします。[Volume] (音量) ダイアログ ボックスが表示されます。
2. スライド バーをタップして移動し、音量を調節します。
3. [On] (オン) または [Off] (オフ) ラジオ ボタンを選択して、スピーカーのオン/オフを切り替えます。

✓ **注** システム音量は、[Sounds & Notifications] (サウンドと通知) ウィンドウまたはキーパッドで調整することもできます。

MC92N0-G のロック

キーやスクリーン タップを無効にするか、あるいはパスワードを要求することで MC92N0-G をロックします。

MC92N0-G をロックすると、キーボードとタッチ スクリーン機能がオフになります。MC92N0-G がオンになっている状態で、キーの誤操作を防止するのに役立ちます。

デバイスをロックするには、 >  の順にタップします。

PIN またはパスワードなしのロック

MC92N0-G がロックされると、[Lock] (ロック) 画面が表示されます。



図 2-11 [Lock] (ロック) 画面

画面をロック解除するには、ロック ボタンを左または右にスライドします。

[Simple PIN] (数字の簡易パスワード) でのロック

MC92N0-G がロックされると、[Lock] (ロック) 画面が表示されます。



図 2-12 簡易 PIN での [Lock] (ロック) 画面

PIN を入力して、[Unlock] (ロック解除) をタップします。

強力なパスワードでのロック

MC92N0-G がロックされると、[Lock] (ロック) 画面が表示されます。



図 2-13 強力なパスワードでのロック画面

強力なパスワードを入力して、[Unlock] (ロック解除) をタップします。

パスワード ロックのセットアップ

[Password] (パスワード) ウィンドウでパスワードを設定し、MC92N0-G への不正なアクセスを防止します。

- ✓ **注** ネットワークに接続できるよう設定されている場合は、強力な (解読されにくい) パスワードを設定してネットワークのセキュリティを保護します。パスワード解読ツールは日々向上しており、パスワードの解読に使用されるコンピュータはかつてないほど性能がよくなっています。

1.  > [Settings] (設定) > [Lock] (ロック) をタップします。



図 2-14 [Password] (パスワード) ウィンドウ

2. [Prompt if device unused for] (パスワード入力が必要になるまでの時間) チェック ボックスをオンにして、パスワード保護を有効にします。
3. アイドル状態からパスワード保護を有効にするまでの時間をドロップダウン リストから選択します。

4. **[Password type:]** (パスワードタイプ:) ドロップダウン リストから、**[Simple PIN]** (数字の簡易パスワード) または **[Strong alphanumeric]** (強力な英数字のパスワード) のいずれかを選択します。
5. 簡易パスワードの場合は、4桁のパスワードを **[Password]** (パスワード) フィールドに入力します。
強力なパスワードの場合は、
 - a. **[Password:]** (パスワード:) フィールドに7文字のパスワードを入力します。強力なパスワードは7文字以上で、大文字、小文字、数字、句読点から3種類以上を含める必要があります。
 - b. **[Confirm:]** (確認:) フィールドにパスワードを再入力します。
6.  をタップします。

電源ボタンの使用

赤色の電源ボタンを押すと、MC92N0-G の画面のオン/オフ (サスペンド モード) が切り替わります。画面がオンのときは MC92N0-G がオン、画面がオフのときは MC92N0-G がサスペンド モードになっています。詳細については、[1-6 ページの「MC92N0-G の起動」](#)を参照してください。

電源ボタンは、ウォーム ブートまたはコールド ブートを実行して MC92N0-G をリセットする際にも使用します。

Windows CE デバイスの場合

- ウォーム ブート - MC92N0-G をリセットします。
- コールド ブート - MC92N0-G をリセットし、Application (アプリケーション) フォルダに格納されていないすべての追加アプリケーションを削除し、工場出荷時のデフォルト設定をすべて復元します。
- Windows Embedded Handheld デバイスの場合
 - ウォーム ブート - MC92N0-G をリセットします。オペレーティング システムとすべてのアプリケーションが再起動します。ファイル ストレージは保持されます。
 - コールド ブート - MC92N0-G をリセットします。オペレーティング システムとすべてのアプリケーションが再起動します。ファイル ストレージは保持されます。通常は、ウォーム ブートで初期化されない場合のみ使用します。

✓ **注** Application (アプリケーション) フォルダに追加されたアプリケーションは、コールド ブートを実行しても削除されません。Application (アプリケーション) フォルダはフラッシュ メモリです。

MC92N0-G のブートの詳細については、[2-26 ページの「Windows Embedded Handheld デバイス」](#)を参照してください。

無線 LAN

✓ **注** デフォルトでは、MC92N0-G の起動時に WLAN がオンになります。MC92N0-G の起動時に WLAN 無線通信をオフにする設定方法については、『[MC92N0-G Integrator Guide](#)』を参照してください。

MC92N0-G を構成するため、無線アプリケーションには MC92N0-G の無線機能を構成およびテストするためのツールが用意されています。無線プロファイルの設定の詳細については、『[Wireless Fusion Suite User Guide for Version X2.01](#)』を参照してください。このガイドの最新バージョンは、<http://www.zebra.com/support> から入手できます。MC92N0-G の Fusion のバージョンは、[xiv ページの「ソフトウェア バージョン」](#)で確認してください。

Windows CE デバイス

Signal Strength (信号強度) アイコンをタップし、**[Wireless Launcher]** (無線起動プログラム) メニューを表示します。



[Signal Strength] (信号強度) アイコン

図 2-15 [Wireless Application] (無線アプリケーション) メニュー

Windows Embedded Handheld デバイス

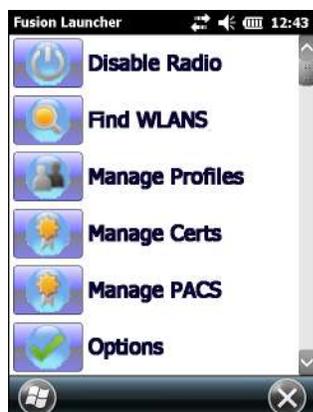
- ✓ **注** Windows Embedded Handheld が搭載されたデバイスでは、ホーム画面から無線起動プログラムにアクセスします。Fusion プラグインを選択してから、**[Fusion Menu]** (Fusion メニュー) ボタンをタップします。

Windows Embedded Handheld のデフォルトの [Today] (今日) 画面にある、**Signal Strength** (信号強度) アイコンと **[Wireless Launcher]** (無線起動プログラム) へのインターフェースが変更されました。**[Wireless Launcher]** (無線起動プログラム) を表示するには、[Today] (今日) 画面で Fusion プラグインを選択し、**[Fusion Menu]** (Fusion メニュー) ソフトキーをタップします。



図 2-16 [Today] (今日) 画面の Fusion プラグイン

このダイアログの機能は [Wireless Launch] (無線起動) メニューと似ています。ウィンドウを上下にドラッグすると、すべてのメニュー項目を表示できます。項目の横のアイコンをタップすると、それが開きます。



[Wireless Launcher] (無線起動プログラム) ウィンドウ

インターネットへの接続

Fusion Wireless Companion を使用しているときに WLAN 上でインターネットに接続するには、ネットワークカード設定が [インターネット] に設定されていることを確認します。

1. Fusion が有効になっていて、プロファイルが設定されていることを確認します。
2.  > [Settings] (設定) > [Connections] (接続) > [Wi-Fi] の順にタップします。
3. [My network card Connects to] (ネットワーク カードの接続先) ドロップダウン リストで、[The Internet] (インターネット) を選択します。
4. [OK] をタップします。

サポートしているアプリケーション

表 2-9 は、Fusion のメニュー項目と対応するアプリケーションについてまとめたものです。

表 2-9 サポートしているアプリケーション

アプリケーション	説明
Find WLAN (WLAN の検出)	通信圏内で有効な WLAN の一覧を表示する Find WLAN (WLAN の検出) アプリケーションを起動します。
Manage Profiles (プロファイルの管理)	WLAN プロファイルの管理および編集を行う Manage Profiles (プロファイルの管理) アプリケーション (プロファイル編集ウィザード を含む) を起動します。
Manage Certs (証明書の管理)	認証に使用する証明書を管理できる Manage Certs (証明書の管理) アプリケーションを起動します。
Manage PACs (PAC の管理)	Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secure Tunneling (EAP-FAST) 認証に使用する Protected Access Credentials の一覧を管理できる PAC Manager (PAC マネージャ) アプリケーションを起動します。

表 2-9 サポートしているアプリケーション (続き)

アプリケーション	説明
Options (オプション)	Fusion のオプションを設定できる Options (オプション) アプリケーションを起動します。
Wireless Status (無線ステータス)	現在の無線接続のステータスを表示できる Wireless Status (無線ステータス) アプリケーションを起動します。
Wireless Diagnostics (無線の診断)	無線接続時の問題を診断するツールを提供する Wireless Diagnostics (無線の診断) アプリケーションを起動します。
Log on/off (ログオン/ログオフ)	特定のプロファイルにログオンしたり、現在アクティブになっているプロファイルからログオフしたりできる [Network Login] (ネットワーク ログイン) ダイアログを表示します。
Fusion Help (Fusion ヘルプ)	オンデバイスのヘルプを表示する Fusion Help (Fusion ヘルプ) アプリケーションを起動します。

Fusion のセットアップ

Fusion を使用した WLAN のセットアップの詳細については、『**Wireless Fusion Enterprise Mobility Suite User Guide for Version X2.01**』を参照してください。

Fusion を使用して WLAN をセットアップするには、次の操作を行います。

- ✓ **注** システム管理者から適切な WLAN の設定情報を入手してから、Fusion のセットアップ手順を実行してください。
- 次のセットアップ手順は、Wired Equivalent Privacy (WEP) 暗号化を使用した場合の WLAN のセットアップの一例です。

1.  > **[Wireless Companion]** > **[Wireless Launch]** (無線起動) > **[Manage Profiles]** (プロファイルの管理) をタップします。**[Manage Profiles]** (プロファイルの管理) ウィンドウが表示されます。
2. ウィンドウをタップしたままにして、ポップアップメニューから **[Add]** (追加) を選択します。**[Wireless LAN Profile Entry]** (無線 LAN プロファイル エントリ) ウィンドウが表示されます。
3. **[Profile Name]** (プロファイル名) テキストボックスにプロファイルの名前を入力します。
4. **[ESSID]** テキストボックスに該当する ESSID を入力します。

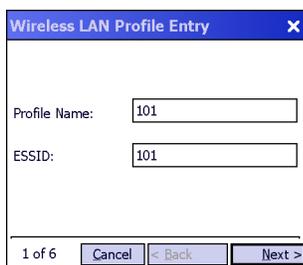


図 2-17 プロファイル ID を設定するダイアログ ボックス

5. **[Next]** (次へ) をタップします。動作モードを設定するダイアログ ボックスが表示されます。
6. **[Operating Mode]** (動作モード) ドロップダウン リストから、**[Infrastructure]** (インフラストラクチャ) または **[Ad-hoc]** (アドホック) を選択します。

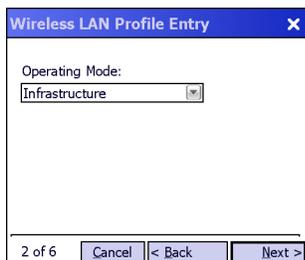


図 2-18 動作モードを設定するダイアログ ボックス

7. **[Next]** (次へ) をタップします。セキュリティ モードを設定するダイアログ ボックスが表示されます。
8. **[Security Mode]** (セキュリティ モード) ドロップダウン リストから **[Legacy (Pre-WPA)]** (従来式 (Pre-WPA)) を選択します。



図 2-19 セキュリティと認証を設定するダイアログ ボックス

9. **[Authentication Type]** (認証の種類) ドロップダウン リストから **[None]** (なし) を選択します。
10. **[Next]** (次へ) をタップします。暗号化を設定するダイアログ ボックスが表示されます。
11. **[Encryption Type]** (暗号化の種類) ドロップダウン リストから **[WEP-40 (40/24)]** を選択します。

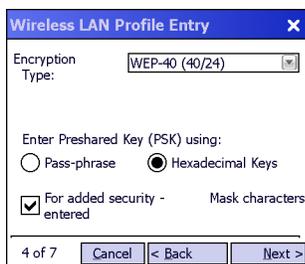


図 2-20 暗号化を設定するダイアログ ボックス

12. **[Pass-phrase]** (パスフレーズ) または **[Hexadecimal Keys]** (16 進キー) ラジオ ボタンを選択して、パスフレーズや 16 進キーを次のページに入力するかどうかを指定します。
13. **[For added security - Mask characters entered]** (追加したセキュリティの場合 - 入力した文字を非表示にする) チェック ボックスをオンにして、入力した文字を非表示にします。入力した文字を表示するには、このチェック ボックスをオフにします。

14. **[Next]** (次へ) をタップします。

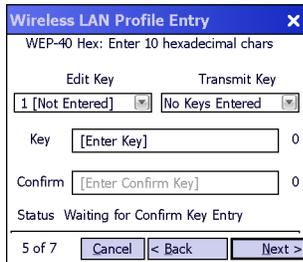


図 2-21 WEP-40 WEP キーを設定するダイアログ ボックス

15. **[Edit Key]** (キーの編集) ドロップダウン リストから、入力するキーを選択します。

16. **[Key]** (キー) フィールドに 10 桁の 16 進文字列を入力します。

17. **[Confirm]** (確認) フィールドに文字列を再入力します。キーが一致すると、一致したことを示すメッセージが表示されます。

18. WEP キーごとに手順を繰り返します。

19. **[Transmit Key]** (キーの送信) ドロップダウン リストから送信するキーを選択します。

20. **[Next]** (次へ) をタップします。IPv4 アドレス エントリを設定するダイアログ ボックスが表示されます。

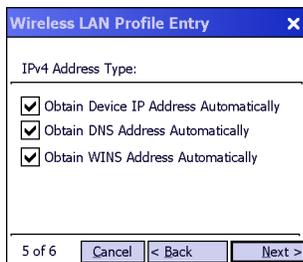


図 2-22 IP アドレス エントリを設定するダイアログ ボックス

21. 3 つのチェック ボックスがすべてオンになっていることを確認します。

22. **[Next]** (次へ) をタップします。バッテリーの使用を設定するダイアログ ボックスが表示されます。

23. **[Battery Usage Mode]** (バッテリーの使用モード) ダイアログ ボックスで、いずれかの消費電力のオプションを選択します。

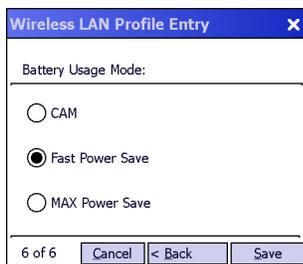


図 2-23 バッテリーの使用を設定するダイアログ ボックス

24. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Performance Settings]** (パフォーマンス設定) ダイアログ ボックスが表示されます。

25. [Performance Settings] (パフォーマンス設定) ダイアログ ボックスで、[Optimize for Data] (データに対して最適化) または [Optimize for Voice] (音声に対して最適化) を選択します。
26. [Save] (保存) をタップします。

インタラクティブなセンサー テクノロジ

✓ **注** インタラクティブなセンサー テクノロジ機能は、Premium 構成のみで利用できます。

ここでは、MC92N0-G でのインタラクティブなセンサー テクノロジ (IST) 機能の使用方法について説明します。IST は以下の機能をサポートしています。

- パワー マネージメント – IST を設定しバックライトのオン/オフ スイッチを制御して電源を管理したり、動きや向きを監視して MC92N0-G のサスペンド モードを制御します。
- ディスプレイの向き – MC92N0-G の向きに応じてスクリーンの向きをランドスケープまたはポートレイトに切り替えます。
- 自由落下検出 – 自由落下の期間を監視して、落下の時間とタイプを記録します。

電源管理

MC92N0-G の向きと動きを感知するデータは、MC92N0-G の使用状況のインジケータとして使用したり、バッテリー残量の監視に使用したりできます。たとえば、ユーザーがスクリーンを下向きに置くジェスチャに応じて、バックライトのオン/オフ機能を制御したり、サスペンド状態にしたりするように、IST を構成できます。また、この機能を使用して、移動中でも MC92N0-G をアクティブにし、使用中にサスペンドモードになったりしないようにすることができます。

ディスプレイの向き

スクリーンは、MC92N0-G の物理的な向きに応じて、自動的にポートレイトとランドスケープの間を回転させることができます。たとえば、MC92N0-G を 90° 反時計回りに回転させると、IST はディスプレイが正しく表示されるようにディスプレイを反時計回りに 90° 回転させます。

この機能は、スクリーンの角度を監視し、変更に対応するようにディスプレイを回転させることにより実現しています。IST では、スクリーンは 90° の倍数でのみ回転します。

自由落下検出

IST は、MC92N0-G にかかる重力を現在の位置に応じて継続的に監視します。MC92N0-G が自由落下すると、IST は重力がかかっていないことを検出します。1 メートル近くの落下に相当する 450 ミリ秒を超える自由落下を検出した場合、そのイベントのデータを記録します。このデータは、乱用または誤用の可能性を示すインジケータとして使用できます。

IST には、自由落下のイベントを記録するログ機能が備わっています。このログには、日時と自由落下の時間の長さが記録されます。

有線ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、モノヘッドセットを使用して音声通信を行うことができます。ヘッドセットを使用するには、ヘッドセットのジャックを MC92N0-G の側面にあるオーディオコネクタに差し込みます。ヘッドセットを装着する前に、MC92N0-G の音量設定が適切かどうかを確認してください。ヘッドセットをジャックに差し込むと、スピーカーはミュートになります。

Zebra では 2.5mm ジャックのヘッドセットを推奨します。利用可能な Zebra のヘッドセットについては、[7-1 ページの表 7-1](#) を参照してください。

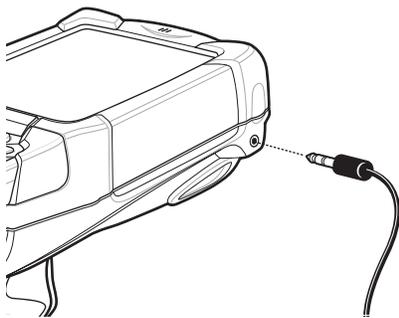


図 2-24 ヘッドセットの使用 (MC92N0-G の場合)

Bluetooth ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、Bluetooth ヘッドセットを使用して音声通信を行います。Bluetooth デバイスを MC92N0-G に接続する方法については、[第 5 章の「Windows デバイスでの Bluetooth の使用方法」](#) を参照してください。ヘッドセットを装着する前に、MC92N0-G の音量設定が適切かどうかを確認してください。Bluetooth ヘッドセットを接続すると、スピーカーフォンはミュートになります。

MC92N0-G のリセット

Windows CE デバイス

ウォーム ブートとコールド ブートの 2 つのリセット機能があります。ウォーム ブートは、実行中の全プログラムを終了して MC92N0-G を再起動します。

コールド ブートも、MC92N0-G を再起動します。ただし、RAM に保存されている記録やデータをすべて消去します。フラッシュメモリやメモリカードに保存したデータは失われません。また、コールドブートを実行すると、フォーマット、基本設定およびその他の設定が工場出荷時の設定に戻ります。

最初に、ウォームブートを実行します。MC92N0-G が再起動します。**保存しているレコードやエントリはすべて保持されます。**それでも MC92N0-G が応答しない場合は、コールドブートを実行します。

ウォームブートの実行

電源ボタンを約 5 秒間押し続けます。MC92N0-G がウォームブートの実行を開始したら、すぐに電源ボタンを放します。

コールド ブートの実行

コールド ブートは、MC92N0-G を再起動し、フラッシュ メモリ (アプリケーション フォルダとプラットフォーム フォルダ) またはメモリ カードに保存されていない、ユーザーのすべてのレコードとエントリが消去されます。ウォーム ブートで問題を解決できなかった場合にのみ、コールド ブートを実行するようにしてください。



注意 リセット中は、電源ボタン以外のキーを押したままにしないでください。コールド ブートを実行すると、フォーマット、優先設定、およびその他の設定がデフォルト設定に戻ります。



注 以前にコンピュータと同期したすべてのデータは、次回の ActiveSync 動作で復元できます。

コールド ブートを実行するには、以下の手順に従います。

1. 赤色の電源ボタンを押します。[PowerKey Action] (PowerKey アクション) ウィンドウが表示されます。
2. [Safe Battery Swap] (安全にバッテリーを交換) をタップします。
3. MC92N0-G のプライマリ バッテリー リリースを押すと、バッテリーの一部が MC92N0-G から外に出ます。
4. バッテリーの一部が出た状態で、ハンドルのトリガと電源ボタンを同時に押し放します。
5. バッテリーを MC92N0-G 内部に完全に押し込み直します。バッテリーが完全に挿入されると、カチッという音が 1 回聞こえます。
6. MC92N0-G が再起動します。
7. スクリーンを調整します。MC92N0-G のスクリーンを調整する方法については、[1-6 ページの「スクリーンの調整」](#)を参照してください。

Windows Embedded Handheld デバイス

ウォーム ブートとコールド ブートの 2 つのリセット機能があります。

- ウォーム ブートは、MC92N0-G を再起動し、実行中の全プログラムを終了します。
- コールド ブートも、実行中の全プログラムを終了してモバイル コンピュータを再起動しますが、同時に一部のドライバもインストールします。

フラッシュ メモリやメモリ カードに保存したデータは失われません。最初に、ウォーム ブートを実行します。MC92N0-G が再起動します。保存しているレコードやエントリはすべて保持されます。それでも MC92N0-G が応答しない場合は、コールド ブートを実行します。

ウォーム ブートの実行

電源ボタンを約 5 秒間押し続けます。MC92N0-G がウォーム ブートの実行を開始したら、すぐに電源ボタンを放します。

コールド ブートの実行

コールド ブートは、MC92N0-G を再起動します。オペレーティング システムとすべてのアプリケーションが再起動します。ファイル ストレージは保持されます。ウォーム ブートで問題を解決できなかった場合にのみ、コールド ブートを実行するようにしてください。

コールド ブートを実行するには、以下の手順に従います。

1. 赤色の電源ボタンを押します。[PowerKey Action] (PowerKey アクション) ウィンドウが表示されます。
2. [Safe Battery Swap] (安全にバッテリーを交換) をタップします。インジケータ LED バーが赤く点灯します。
3. MC92N0-G のプライマリ バッテリー リリースを押すと、バッテリーの一部が MC92N0-G から外に出ます。
4. バッテリーの一部が出た状態で、トリガと電源ボタンを同時に押し放します。
5. バッテリーを MC92N0-G 内部に完全に押し込み直します。バッテリーが完全に挿入されると、カチッという音が 1 回聞こえます。
6. MC92N0-G が再起動します。

バッテリーの状態

バッテリーの状態は、MC92N0-G 電源のアプレットで確認できます。

Windows CE デバイス で、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Control Panel] (コントロール パネル) > [Power] (電源) アイコン > [BatteryMgmt] タブをタップします。Windows Embedded Handheld デバイス で、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Power (電源)] > [BatteryMgmt] タブをタップします。

表 2-10 [BatteryMgmt] ウィンドウ

項目	説明
[State of Health] (状態)	バッテリーの現在の状態 ([Healthy] (劣化なし) または [Unhealthy] (劣化あり)) を示します。
Battery Usage Indicator (バッテリーの使用インジケータ)	バッテリーの使用状況を示します。
Battery Usage Threshold (バッテリーの使用のしきい値)	使用インジケータのしきい値を示します。
Battery Serial # (バッテリー シリアル番号)	バッテリーのシリアル番号を表示します。

バッテリーの使用状況のしきい値については、『MC92N0-G Mobile Computer Integrator Guide』を参照してください。

MC92N0-G のウェイクアップ

ウェイクアップ条件によって、MC92N0-G がサスペンド モードからウェイクアップする操作を定義します。MC92N0-G は、電源ボタンを押した場合に、または [Control Panel] (コントロール パネル) のタイムアウト設定によって自動的に、サスペンド モードになります。これらの設定は変更可能です。表 2-11 に工場出荷時のデフォルト設定を示します。ウェイクアップ条件を設定するには、Windows Embedded Handheld の場合は [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Power] (電源) > [Wakeup] (ウェイクアップ) タブをタップし、Windows CE デバイスの場合は [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Control Panel] (コントロール パネル) > [Power] (電源) > [Wakeup] (ウェイクアップ) タブをタップします。

表 2-11 ウェイクアップのデフォルト設定

ウェイクアップの条件	電源ボタン	自動タイムアウト
MC92N0-G をシリアル アクセサリに接続した。	×	○
MC92N0-G を USB デバイスに接続した。	○	○
スキャン トリガを押した。	×	○
スクリーンをタッチした。	×	×
Bluetooth 機能	○	○
移動中	×	○
USB ホスト	×	×
キーが押された。	×	○
リアルタイム クロック アラーム	○	○
IST 加速度計	○	○

第 3 章 ANDROID OS 搭載 MC92N0-G の操作

はじめに

この章では、MC92N0-G の物理ボタン、ステータス アイコン、およびコントロールについて説明します。また、電源オンやリセットの方法、スタイラスとヘッドセットの使用、情報の入力とデータ収集など、MC92N0-G の使用方法について説明します。

ホーム画面

ホーム画面は、MC9200 をオンにすると表示されます。設定によって、ホーム画面に表示される内容は異なります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

サスペンドまたは画面タイムアウトの後、ホーム画面にはロック スライダが表示されます。🔒 を 🔓 の方へ右にスライドして、画面のロックを解除します。画面のロックの詳細については、[3-12 ページの「画面のロック解除」](#)を参照してください。

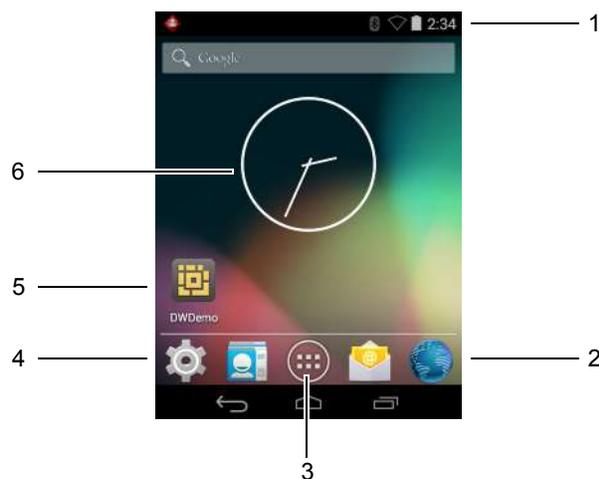


図 3-1 ホーム画面

表 3-1 ホーム画面の項目

項目	説明
1 — ステータス バー	時間、ステータス アイコン (右側)、および通知アイコン (左側) が表示されます。詳細については、 3-2 ページの「ステータス アイコン」 および 3-4 ページの「通知の管理」 を参照してください。
2 — ブラウザ アイコン	ブラウザ アプリケーションを開きます。
3 — [All Apps] (すべてのアプリケーション) アイコン	[APPS] (アプリ) ウィンドウを開きます。
4 — ショートカット アイコン	MC9200 にインストールされているアプリケーションが開きます。詳細については、 3-6 ページの「アプリケーション ショートカットとウィジェット」 を参照してください。
5 — ウィジェット	ホーム画面で実行するスタンドアロン型のアプリケーションを起動します。詳細については、 3-6 ページの「アプリケーション ショートカットとウィジェット」 を参照してください。

ホーム画面には、ウィジェットとショートカットを配置するための 4 つの追加画面があります。画面を左右にスワイプすると、追加画面が表示されます。

ステータス バー

ステータス バーには、時間、通知アイコン (左側)、およびステータス アイコン (右側) が表示されます。



図 3-2 通知アイコンおよびステータス アイコン

ステータス バーに表示可能な数より多くの通知がある場合は、他にも通知があることを示す  が表示されます。[Notifications] (通知) パネルを開き、すべての通知とステータスを表示します。

ステータス アイコン

表 3-2 ステータス アイコン

アイコン	説明
	アラームが有効であることを示します。
	メディアとアラーム以外のすべてのサウンドがサイレンスに設定され、バイブ モードが有効になっていることを示します。

表 3-2 ステータス アイコン (続き)

アイコン	説明
	MC92N0-G がサイレント モードになっていることを示します。
	バッテリーが完全に充電された状態であることを示します。
	バッテリーの一部が消費された状態であることを示します。
	バッテリーの充電が少ないことを示します。
	バッテリーの充電が非常に少ないことを示します。
	バッテリーが充電中であることを示します。
	機内モードがアクティブであることを示します。すべての無線がオフになります。
	Bluetooth がオンになっていることを示します。
	MC9200 が Bluetooth デバイスに接続されていることを示します。
	Wi-Fi ネットワークに接続されていることを示します。
	Wi-Fi 信号がないことを示します。
	Alpha キーが押されていることを示します。
	ブルー キーが押されていることを示します。
	ALT キーが押されていることを示します。
	CTRL キーが押されていることを示します。
	Shift キーが押されていることを示します。
	Shift キーがロックされていることを示します。

通知アイコン

表 3-3 通知アイコン

アイコン	説明
	表示可能な通知が他にもあることを示します。
	データを同期していることを示します。
	間近に迫ったイベントを示します。
	オープン Wi-Fi ネットワークを使用できることを示します。
	音楽が再生されていることを示します。
	サインインまたは同期に関する問題が発生したことを示します。
	MC9200 がデータをアップロードしていることを示します。
	動画表示の場合は MC9200 がデータのダウンロード中であることを示し、静止画表示の場合はダウンロードが完了したことを示します。
	MC9200 が USB ケーブルを使用して接続されていることを示します。
	MC9200 が仮想プライベート ネットワーク (VPN) を介して接続または切断されていることを示します。
	SD カードを準備しています。
	MC9200 で USB デバッグが有効になっていることを示します。
	マルチユーザー機能が有効になっていることを示します。マルチユーザー管理者アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。
	新しいユーザーがログインしていることを示します。マルチユーザー管理者アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。
	PTT Express Voice クライアントのステータスを示します。PTT Express 通知アイコンの一覧については、 3-4 ページの「通知アイコン」 を参照してください。

通知の管理

通知アイコンは、新しいメッセージの到着、カレンダー イベント、およびアラームに加えて、進行中のイベントも報告します。通知が行われると、簡単な説明とともにアイコンがステータス バーに表示されます。表示される可能性のある通知アイコンとその説明のリストについては、[3-4 ページの「通知アイコン」](#)を参照してください。すべての通知のリストを表示するには、[Notifications] (通知) パネルを開きます。

[Notifications] (通知) パネルを開くには、画面の上部からステータス バーを下にドラッグします。

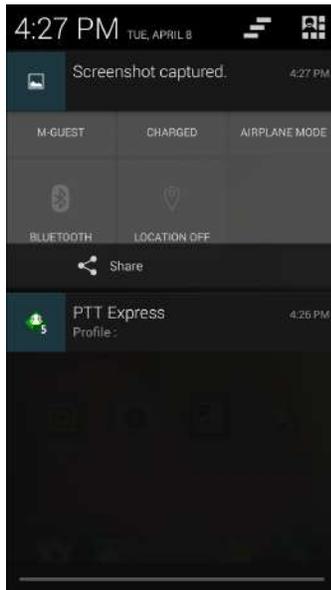


図 3-3 [Notification] (通知) パネル

通知に応答するには、[Notifications] (通知) パネルを開いて、通知をタッチします。[Notifications] (通知) パネルが閉じます。この後の操作は、通知によって異なります。

すべての通知をクリアするには、[Notifications] (通知) パネルを開き、 をタッチします。イベントベースのすべての通知が削除されます。進行中の通知はそのままリストに残ります。

 をタッチし、[Quick Settings] (高速設定) 画面を開きます。

[Notifications] (通知) パネルを閉じるには、[Notifications] (通知) パネルの下部を画面の上部までドラッグするか、 をタッチします。

[Quick Settings] (クイック設定)

[Quick Settings] (クイック設定) パネルを使用すると、使用頻度の高い設定に簡単にアクセスできます。

画面の上部からステータスバーを下にドラッグします。クイック設定アイコンが右上端に表示されます。[Quick Settings] (クイック設定) パネルを表示するには、 をタッチします。

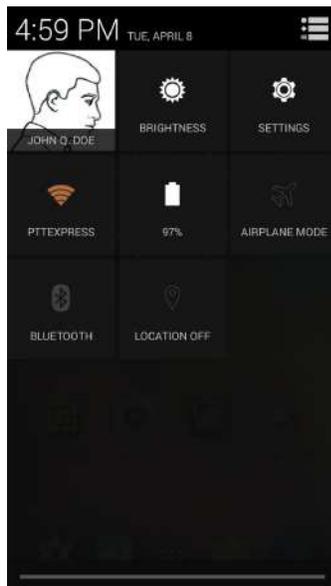


図 3-4 [Quick Settings] (クイック設定)

- **[Owner]** (オーナー) – オーナーの連絡先の画像を表示します。タッチすると、オーナーの連絡先情報が表示されます。
- **[Brightness]** (輝度) – [Brightness] (輝度) ダイアログ ボックスを開いて画面の輝度を設定します。
- **[Settings]** (設定) – [Settings] (設定) 画面を開きます。
- **[Wi-Fi]** – 現在の Wi-Fi 接続を表示します。タッチすると、[Wi-Fi] 設定画面が開きます。
- **[Battery]** (バッテリー) – 現在のバッテリー充電レベルを表示します。タッチすると、[Battery] (バッテリー) 画面が開きます。
- **[Airplane Mode]** (機内モード) – 機内モード ステータスを表示します。タッチして、機内モードのオン/オフを切り替えます。機内モードをオンにすると、すべての無線がオフになります。
- **[Bluetooth]** – 現在の Bluetooth 無線の状態を表示します。タッチすると、[Bluetooth] 設定画面が開きます。
- **[Location]** (ロケーション) – [Location] (ロケーション) 設定の現在の状態を表示します。タッチすると、[Location] (ロケーション) 設定画面が開きます。

[Quick Settings] (クイック設定) パネルを閉じるには、[Quick Settings] (クイック設定) パネルの下部を画面の上部までドラッグするか、画面の右上隅の  をタッチするか、 をタッチします。

アプリケーション ショートカットとウィジェット

アプリケーション ショートカットはホーム画面に置かれており、アプリケーションにすばやく簡単にアクセスできます。ウィジェットとはホーム画面に置かれた内蔵型のアプリケーションであり、これを使用して、頻繁に使用する機能にアクセスできます。

アプリケーションまたはウィジェットをホーム画面に追加する

1. ホーム画面に移動します。
2.  をタッチします。

3. 必要に応じて、右にスワイプし、アプリケーションアイコンまたはウィジェットを探します。
4. ホーム画面が表示されるまで、アイコンまたはウィジェットをタッチしてその状態を維持します。
5. アイコンを画面に配置したら、指を離します。

ホーム画面での項目の移動

1. 画面でフローティングするまで項目をタッチしてその状態を維持します。
2. 項目を新しい場所にドラッグします。画面の端で一時停止し、隣接するホーム画面まで項目をドラッグします。
3. 指を持ち上げ、項目をホーム画面に配置します。

アプリケーションまたはウィジェットをホーム画面から削除する

1. ホーム画面に移動します。
2. アプリケーションのショートカットアイコンまたはウィジェットアイコンを、画面でフローティングするまでタッチしてその状態を維持します。
3. 画面上部の  Remove までアイコンをドラッグし、マウスを放します。

フォルダ

フォルダを使用して、同様のアプリケーションを整理します。フォルダをタップして、フォルダ内の項目を開き、表示します。

フォルダの作成

フォルダを作成するには、ホーム画面に2つ以上のアプリのアイコンが必要です。

1. ホーム画面に移動します。
2. 1つのアプリケーションアイコンをタッチし、その状態を維持します。
3. アイコンをドラッグし、別のアイコン上に重ねます。
4. 指を離します。

フォルダの名前付け

1. フォルダをタッチします。

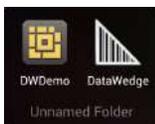


図 3-5 フォルダを開く

2. タイトルのエリアをタッチし、キーボードを使用してフォルダ名を入力します。
3. [Done] (完了) をタッチします。
4. ホーム画面の任意の場所をタッチし、フォルダを閉じます。フォルダ名がフォルダの下に表示されます。



図 3-6 名前が変更されたフォルダ

フォルダの削除

1. フォルダ アイコンをタッチして、アイコンが拡大され、デバイスが振動するまで、その状態を維持します。
2. アイコンを **X Remove** までドラッグして放します。

ホーム画面の壁紙

- ✓ **注** [Live Wallpaper] (ライブ壁紙) を使用すると、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。

ホーム画面の壁紙の変更

- ✓ **注** [Live Wallpaper] (ライブ壁紙) を使用すると、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。

1. ホーム画面で、メニューが表示されるまでタッチしてその状態を維持します。
2. [Choose wallpaper from] (壁紙の選択) メニューから、[Gallery] (ギャラリー)、[Live wallpapers] (ライブ壁紙)、または [Wallpapers] (壁紙) をタッチします。
 - [Gallery] (ギャラリー) - デバイスに保存されている画像を使用する場合に選択します。
 - [Live wallpapers] (ライブ壁紙) - 動画表示の壁紙画像を使用する場合に選択します。
 - [Wallpapers] (壁紙) - 壁紙画像を使用する場合に選択します。
3. [Save] (保存) または [Set wallpaper] (壁紙の設定) をタッチします。

タッチスクリーンの使用方法

高感度のマルチタップスクリーンを使用して、デバイスを操作します。

- **タップ** - タップして次を行います。
 - 画面上の項目を選択します。
 - 画面キーボードを使用して、文字や記号を入力します。
 - 画面ボタンを押します。
- **タップしてその状態を維持** - 次の項目をタップして維持し、以下を行います。
 - ホーム画面の項目をタッチして、それを新しい場所かゴミ箱に移動します。
 - [Apps] (アプリ) の項目をタッチして、ホーム画面にショートカットを作成します。
 - ホーム画面をタッチして、ホーム画面をカスタマイズするためのメニューを開きます。
 - ホーム画面の何も表示されていないエリアをタッチし続けると、メニューが表示されます。

- **ドラッグ** - 項目をタップしてしばらくの間その状態を維持した後、画面上の新しい位置まで指を移動します。
- **スワイプ** - 画面上で上下または左右に指を移動して、次を行います。
 - 画面のロックを解除します
 - 別のホーム画面を表示します
 - [Launcher] (起動プログラム) ウィンドウに追加のアプリケーション アイコンを表示します
 - アプリケーションの画面についての詳細情報を表示します
- **ダブルタップ** - Web ページ、マップ、または他の画面を 2 回タップして、ズームインやズームアウトを行います。

画面キーボードの使用方法

テキスト フィールドにテキストを入力するには、画面キーボードを使用します。キーボード設定を行うには、(カンマ) >  をタッチし、[**Android keyboard settings**] (Android キーボード設定) を選択します。

テキストの編集

入力したテキストを編集して、メニュー コマンドを使用し、アプリケーション内または複数のアプリケーション間でテキストの切り取り、コピー、および貼り付けを行います。アプリケーションの中には、表示しているテキストの一部またはすべての編集をサポートしていないものや、テキストの選択に独自の方法を提供しているものもあります。

数字、記号、および特殊文字の入力

数字および記号を入力するには、次の手順に従います。

- メニューが表示されるまで最上部の行にあるキーの 1 つをタッチして、数字を選択します。キーに代替文字が設定されている場合、文字の下に省略文字 (...) が表示されます。
- Shift キーを 1 本の指でタッチしてその状態を維持しながら、1 つまたは複数の大文字または記号をタッチして入力し、両方の指を放して小文字のキーボードに戻ります。
-  にタッチすると、数字と記号のキーボードに切り替わります。
- 数字と記号のキーボードで  キーにタッチすると、別の記号が表示されます。

特殊文字を入力するには、数字または記号のキーをタッチして、その他の記号のメニューが開くまでその状態を維持します。

- キーボードの上に、より大きいバージョンのキーが短時間表示されます。
- キーに代替文字が設定されている場合、文字の下に省略文字 (...) が表示されます。

アプリケーション

[APPS] (アプリ) 画面には、インストールされているすべてのアプリケーションのアイコンが表示されます。次の表は、デバイスにインストールされているアプリケーションの一覧です。アプリケーションのインストールとアンインストールの詳細については、『**MC9200-G Integrator Guide**』を参照してください。

表 3-4 アプリケーション

アイコン	説明
	[App Gallery] (アプリ ギャラリー) - MC9200 にインストールできるユーティリティとデモンストレーションアプリケーションへのリンクが表示されます。
	[Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ) - バーコードをスキャンして MC9200 と RS507 ハンズフリー イメージャーをペアリングするために使用します。
	[Browser] (ブラウザ) - インターネットまたはイントラネットにアクセスするために使用します。
	[Calculator] (電卓) - 基本演算機能および科学演算機能を備えています。
	[Calendar] (カレンダー) - イベントおよび予定を管理するために使用します。
	[Clock] (時計) - 予定のアラームをスケジュール設定するために使用したり、目覚ましとして使用したりします。
	[DataWedge] - イメージャーを使用したデータ収集を有効にします。
	[Downloads] (ダウンロード) - すべてのダウンロード ファイルをリストします。
	[DWDemo] - イメージャーを使用したデータ収集機能をデモンストレーションする手段を提供します。詳細については、 3-26 ページの「DataWedge デモンストレーション」 を参照してください。
	[elemez] — 診断情報を提供するために使用します。詳細については、 3-31 ページの「Elemez」 を参照してください。
	[Email] (電子メール) - 電子メールを送受信するために使用します。
	[File Browser] (ファイル ブラウザ) - MC9200 上のファイルを整理および管理します。詳細については、 3-17 ページの「ファイル ブラウザ」 を参照してください。
	[Gallery] (ギャラリー) - SD カードに保存されている写真を表示するために使用します。詳細については、 3-19 ページの「ギャラリー」 を参照してください。
	[MLog Manager] (MLog マネージャ) - 診断用にログ ファイルを読み取るために使用します。詳細については、 3-30 ページの「MLog Manager」 を参照してください。
	[MobiControl Stage] (Mobi コントロール ステージ) - [Mobi Control Stage] (Mobi コントロール ステージ) アプリケーションを開いて、デバイスのステージングを行います。
	[MSP Agent] (MSP エージェント) - MSP Server から MC9200 を管理できます。必要なレベルの管理機能を使用するには、デバイスごとに適切な MSP クライアント ライセンスを購入する必要があります。

表 3-4 アプリケーション (続き)

アイコン	説明
	[Music] (音楽) - SD カードに保存されている音楽を再生します。
	[People] (連絡先一覧) - 連絡先の情報を管理するために使用します。詳細については、 3-18 ページの「連絡先」 を参照してください。
	[PTT Express] - VoIP 通信のための PTT Express クライアントを起動するのに使用します。
	[Rapid Deployment] (高速導入) - 設定、ファームウェア、およびソフトウェアの導入を開始することで、初めての使用に向けて MC9200 がデバイスをステージングできるようにします。デバイスごとに MSP クライアント ライセンスを購入する必要があります。
	[RxLogger] - デバイスおよびアプリケーション問題を診断するために使用します。詳細については、『MC9200 Integrator Guide』を参照してください。
	[Search] (検索) - Google 検索エンジンを使用して、インターネットおよび MC9200 を検索します。
	[Settings] (設定) - MC9200 を設定するために使用します。
	[Sound Recorder] (サウンドレコーダ) - 音声を録音するために使用します。
	[StageNow] - 設定、ファームウェア、およびソフトウェアの導入を開始することで、初期使用に向けて MC9200 がデバイスをステージングできるようにします。
	[Terminal Emulation] (端末エミュレーション) - Wavelink 端末エミュレーションアプリケーションが起動されます。
	[AppLock Administrator] (アプリケーションロック管理者) - アプリケーションロック機能を設定するために使用します。このアイコンは、オプションのアプリケーションがインストールされた後に表示されます。
	[MultiUser Administrator] (マルチユーザー管理者) - マルチユーザー機能を設定するために使用します。このアイコンは、オプションのアプリケーションがインストールされた後に表示されます。
	[Secure Storage Administrator] (ストレージ保護管理者) - ストレージ保護機能を設定するために使用します。このアイコンは、オプションのアプリケーションがインストールされた後に表示されます。

アプリケーションへのアクセス

デバイスにインストールされたすべてのアプリケーションには、[APPS] (アプリ) ウィンドウを使用してアクセスできます。

1. ホーム画面で  をタッチします。



図 3-7 [APPS] (アプリ) ウィンドウ

2. [APPS] (アプリ) ウィンドウを左右にスライドすると、その他のアプリケーションアイコンが表示されます。アプリケーションを開くには、アイコンをタッチします。

✓ **注** ホーム画面にショートカットを作成する方法の詳細については、[3-6 ページの「アプリケーションショートカットとウィジェット」](#)を参照してください。

現在使用されているアプリケーションの切り替え

1.  をタッチし、その状態をしばらく維持します。現在使用されているアプリケーションのアイコンが表示されたウィンドウが画面に表示されます。



図 3-8 現在使用されているアプリケーション

2. ウィンドウを上下にスライドすると、現在使用されているすべてのアプリケーションを表示できます。
3. 左右にスワイプしてリストからアプリケーションを削除し、強制的にアプリケーションを終了します。
4. アイコンをタッチして開くか、 をタッチして現在の画面に戻ります。

画面のロック解除

[Lock] (ロック) 画面を使用して、MC9200 上のデータへのアクセスを保護します。電子メール アカウントによっては、画面をロックする必要があります。ロック機能の設定の詳細については、『[MC9200 Integrator Guide](#)』を参照してください。ロック機能は、単一ユーザー モードとマルチユーザー モードで動作が異なります。

単一ユーザー モード

画面がロックされた場合にデバイスのロックを解除するには、パターン、PIN、またはパスワードが必要です。電源ボタンを押して、画面をロックします。定義済みのタイムアウト時間が経過した場合もデバイスはロックされます。

デバイスをウェイクアップするには、電源ボタンを押して放します。

[Lock] (ロック) 画面が表示されます。🔒 を 🔓 の方へ右にスライドして、画面のロックを解除します。

[Pattern] (パターン) 画面のロック解除機能が有効な場合は、[Lock] (ロック) 画面ではなく、[Pattern] (パターン) 画面が表示されます。

[PIN] 画面または [Password] (パスワード) 画面のロック解除機能が有効な場合は、画面をロック解除した後に、PIN またはパスワードを入力します。

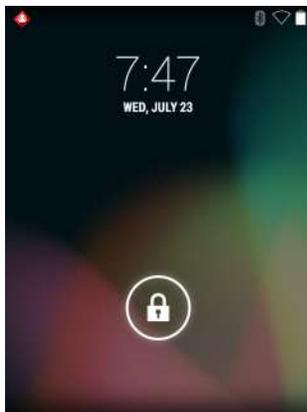


図 3-9 [Lock] (ロック) 画面



図 3-10 [PIN] 画面

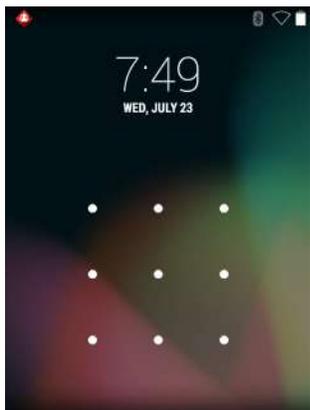


図 3-11 [Pattern] (パターン) 画面

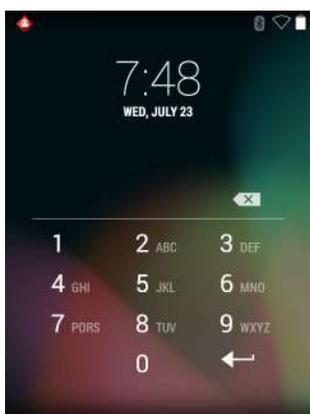


図 3-12 [Password] (パスワード) 画面

マルチユーザー モード

マルチユーザー ログインを使用すると、複数のユーザーがデバイスにログインし、各ユーザーがさまざまなアプリケーションや機能へのアクセス権を持つことができます。これが有効になっている場合は、電源がオンになった後、リセットされた後、またはサスペンド モードからデバイスがウェイクアップした後に [Login] (ログイン) 画面が表示されます。

マルチユーザー ログイン

1. [Login] (ログイン) テキスト フィールドに、ユーザー名を入力します。



図 3-13 マルチユーザー ログイン画面

2. [Password] (パスワード) テキスト フィールドに、パスワードを入力します。
3. [OK] をタッチします。サスペンドから再開した後、ユーザーはパスワードを入力する必要があります。

マルチユーザー ログアウト

1. 画面の上部からステータス バーを下にドラッグします。
2. [MultiUser is active] (マルチユーザーが有効) をタッチします。
3. [Logout] (ログアウト) をタッチします。
4. [Login] (ログイン) 画面が表示されます。

Android デバイスのリセット

ソフト リセットとハード リセットという 2 つのリセット機能があります。

ソフト リセットの実行

アプリケーションが応答を停止した場合は、ソフト リセットを実行します。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. [Reset] (リセット) をタッチします。
3. デバイスはシャットダウンした後、再起動します。

ハードリセットの実行



注意 MC9200 に SD カードが取り付けられている状態でハードリセットを実行すると、SD カードの損傷やデータ破損が発生する可能性があります。

ハードリセットを実行するには、次の手順に従います (デバイスがまったく応答しない場合は、ステップ 1 および 2 をスキップします)。

1. 赤色の電源ボタンを押します。
2. [Safe Battery Swap] (安全にバッテリーを交換) をタップします。インジケータ LED バーが赤く点灯します。
3. MC92N0-G のプライマリ バッテリー リリースを押すと、バッテリーの一部が MC92N0-G から外に出ます。
4. バッテリーの一部が出た状態で、トリガと電源ボタンを同時に押し放します。
5. バッテリーを MC92N0-G 内部に完全に押し込み直します。バッテリーが完全に挿入されると、カチッという音が 1 回聞こえます。
6. MC92N0-G が再起動します。
7. 画面がオフになったら、ボタンを放します。
8. MC9200 が再起動します。

サスペンドモード

ユーザーが電源ボタンを押したときや、([Display settings] (ディスプレイの設定) ウィンドウで設定した) 一定の期間にわたって非アクティブな状態が続いた場合に、MC9200 はサスペンドモードになります。

MC9200 をサスペンドモードからウェイクアップするには、電源ボタンを押します。あるいは、トリガを押して、デバイスをウェイクアップします。

[Lock] (ロック) 画面が表示されます。🔒 を 🔓 の方へ右にスライドして、画面のロックを解除します。[Pattern] (パターン) 画面のロック解除機能が有効な場合は、[Lock] (ロック) 画面ではなく、[Pattern] (パターン) 画面が表示されます。3-12 ページの「画面のロック解除」を参照してください。



注 正しくない PIN、パスワードまたはパターンを 5 回入力すると、再試行するまで 30 分待たなければなりません。

PIN、パスワードまたはパターンを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。

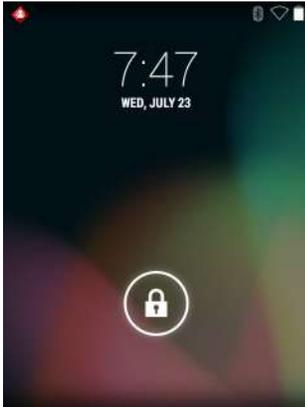


図 3-14 [Lock] (ロック) 画面

アプリケーション

このセクションでは、デバイスにインストールされているアプリケーションについて説明します。

ファイル ブラウザ

ファイル ブラウザ アプリケーションを使用して、デバイス上のファイルを表示および管理します。

ファイル ブラウザを開くには、 >  をタッチします。



図 3-15 ファイル ブラウザの画面

アドレス バー (1) に、現在のフォルダのパスが表示されます。パスとフォルダ名を手動で入力するには、現在のフォルダのパスをタッチします。

複数のファイル/フォルダを選択するには、 (2) を使用します。

内部ストレージのルート フォルダを表示するには、 (3) を使用します。

SD カードのルート フォルダを表示するには、 (4) を使用します。

前のフォルダを表示するか、アプリケーションを終了するには、 (5) を使用します。

項目に何らかの操作を行うには、その項目をタッチして、その状態を維持します。[File Operations] (ファイル操作) メニューの次のオプションから 1 つを選択します。

- [Information] (情報) - ファイルまたはフォルダについての詳細情報を表示します。
- [Move] (移動) - ファイルまたはフォルダを新しい場所に移動します。
- [Copy] (コピー) - 選択したファイルをコピーします。
- [Delete] (削除) - 選択したファイルを削除します。
- [Rename] (名前変更) - 選択したファイルを名前変更します。
- [Open as] (次のタイプとして開く) - 選択したファイルを特定のファイルタイプとして開きます。
- [Share] (共有) - ファイルを他のデバイスと共有します。

その他の機能を開くには、 をタッチします。

- 現在のフォルダ内に新しいフォルダを作成するには、 > [New Folder] (新しいフォルダ) をタッチします。
- ファイルまたはフォルダを検索するには、 > [Search] (検索) をタッチします。
- リストを名前、タイプ、サイズ、または日付ごとに分類するには、 > [Sort] (分類) をタッチします。
- 現在のフォルダの内容を再表示するには、 > [Refresh] (最新表示) をタッチします。
- フォルダの表示方法をタイル形式からリスト形式に変更するには、 > [List View] (リストの表示) をタッチします。
- アイコンのサイズを [Large] (大)、[Normal] (中)、または [Small] (小) に変更するには、 > [Change Size] (サイズの変更) をタッチします。
- アプリケーションのバージョン番号を確認するには、 > [About File Browser] (ファイル ブラウザについて) をタッチします。

連絡先

[People] (連絡先一覧) アプリケーションを使用して連絡先を管理します。

ホーム画面または [Apps] (アプリ) 画面で、 をタッチします。[People] (連絡先一覧) が開き、連絡先のメインリストが表示されます。連絡先は、画面の上部で、[Groups] (グループ)、[All contacts] (すべての連絡先)、[Favorites] (お気に入り) という 3 つの方法で表示できます。タブをタッチすると、連絡先の表示方法が変化します。上下にスワイプして、リストをスクロールします。

連絡先の追加

1. [People] (連絡先一覧) アプリケーションで、 をタッチします。
2. 複数の連絡先をもつ複数のアカウントがある場合は、使用するアカウントをタッチします。
3. 連絡先の名前とその他の情報を入力します。フィールドをタッチして入力を開始し、下にスワイプしてすべてのカテゴリを表示します。

- 1つのカテゴリに複数のエントリを追加する場合は(個人の住所を入力した後に会社の住所を追加する場合など)、そのフィールドの **[Add new]** (新規追加) をタッチします。電子メール アドレスの **[Home]** (ホーム) または **[Work]** (仕事) など、事前に設定されたラベルが付けられたメニューを開くには、連絡先の項目の右にあるラベルをタッチします。または、独自のラベルを作成するには、メニューで **[Custom]** (カスタム) をタッチします。
5. **[Done]** (完了) をタッチします。

連絡先の編集

1. **[People]** (連絡先一覧) アプリケーションで、 タブをタッチします。
2. 編集する連絡先をタッチします。
3.  をタッチします。
4. **[Edit]** (編集) をタッチします。
5. 連絡先情報を編集します。
6. **[Done]** (完了) をタッチします。

連絡先の削除

1. **[People]** (連絡先一覧) アプリケーションで、 タブをタッチします。
2. 編集する連絡先をタッチします。
3.  をタッチします。
4. **[Delete]** (削除) をタッチします。
5. **[OK]** をタッチして確定します。

ギャラリー

✓ **注** デバイスでは、jpeg、gif、png、および bmp の画像形式がサポートされています。

デバイスでは、H.263、H.264、および MPEG4 シンプル プロファイルのビデオ形式がサポートされています。

ギャラリーを使用して、次を行えます。

- 写真を表示する
- ビデオを再生する
- 写真の基本編集を行う
- 壁紙として写真を設定する
- 連絡先用の写真として写真を設定する
- 写真やビデオを共有する

Gallery (ギャラリー) アプリケーションを開くには、 >  をタッチするか、カメラ アプリケーションで右上のサムネイル画像をタッチします。

[Gallery] (ギャラリー)には、SD カードおよび内部メモリに保存されたすべての写真とビデオが表示されます。



図 3-16 ギャラリー - アルバム

- アルバムにタッチすると、アルバムが開き、コンテンツが表示されます。アルバム内の写真とビデオは時系列で表示されます。
- アルバム内の写真かビデオにタッチすると、それが表示されます。
-  アイコン (左上隅) をタッチすると、メインの [Gallery] (ギャラリー) 画面に戻ります。
-  アイコンをタッチすると、メインの [Gallery] (ギャラリー) 画面に戻ります。

アルバムの処理

アルバムには、画像やビデオがフォルダに分類されています。アルバムにタッチして、開きます。写真やビデオは時系列のグリッド表示でリストされます。アルバムの名前は画面の上部に表示されます。



図 3-17 アルバム内の写真

左右にスワイプすると、画面間で画像をスクロールできます。

アルバムの共有

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。

3. アルバムが強調表示されるまで、アルバムをタッチしてその状態を維持します。
4. 必要に応じて、他のアルバムをタッチします。
5.  をタッチします。[Share] (共有) メニューが開きます。選択したアルバムを共有するために使用するアプリケーションをタッチします。
6. 選択したアプリケーションの指示に従います。

アルバム情報の取得

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. アルバムが強調表示されるまで、アルバムをタッチしてその状態を維持します。
4.  をタッチします。
5. [Details] (詳細情報) をタッチします。

アルバムの削除

SD カードからアルバムとそのコンテンツを削除するには、次の手順に従います。

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. アルバムが強調表示されるまで、アルバムをタッチしてその状態を維持します。
4. 削除するその他のアルバムにチェックマークを付けます。その他のアルバムが選択されていることを確認します。
5.  をタッチします。
6. [Delete selected item?] (選択した項目を削除しますか?) メニューで、[OK] をタッチしてアルバムを削除します。

写真の処理

[Gallery] (ギャラリー) を使用して、SD カード内の写真を表示し、写真の編集および共有を行います。

写真の表示およびブラウズ

写真を表示するには、次の手順に従います。

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. アルバムにタッチして、開きます。
4. 写真をタッチします。



図 3-18 写真の例

5. アルバム内の次の写真または前の写真を表示するには、左または右にスワイプします。
6. デバイスを回転させると、写真が縦向き (ポートレート) または横向き (風景) で表示されます。写真は新しい向きで表示されます (保存は行われません)。
7. 写真をタッチすると、コントロールが表示されます。
8. 画面をダブルタップしてズームインするか、2本の指を画面において指の間隔を狭めたり、離したりして、ズームインやズームアウトを行います。
9. 写真の見えない部分を表示するには、写真をドラッグします。

写真のトリミング

1. ギャラリーで、写真をタッチしてコントロールを表示します。
2.  をタッチします。
3. **[Crop]** (トリミング) をタッチします。青色/白色のトリミング ツールが表示されます。
4. トリミング ツールを使用して、写真をトリミングする部分を選択します。
 - トリミング ツールの内側からドラッグすると、トリミング部分が移動します。
 - トリミング ツールの縁をドラッグすると、トリミング部分が任意の比率でサイズ変更されます。
 - トリミング ツールの角をドラッグすると、トリミング部分が一定の比率でサイズ変更されます。

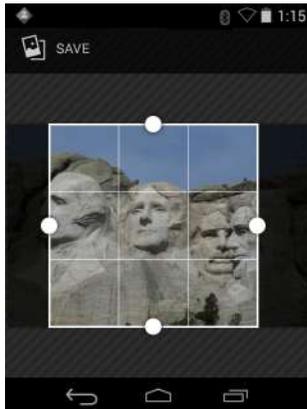


図 3-19 トリミングツール

5. [Save] (保存) をタッチして、トリミングした写真のコピーを保存します。元のバージョンは保持されます。

連絡先アイコンとしての写真の設定

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. アルバムにタッチして、開きます。
4. 写真にタッチして、開きます。
5.  をタッチします。
6. [Set picture as] (写真の設定) をタッチします。
7. [Contact photo] (連絡先用の写真) をタッチします。
8. [People] (連絡先一覧) アプリケーションで、連絡先をタッチします。
9. 青色のボックスをタッチし、写真を適切にトリミングします。
10. [OK] をタッチします。

写真の共有

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. アルバムにタッチして、開きます。
4. 写真にタッチして、開きます。
5.  をタッチします。
6. 選択した写真を共有するために使用するアプリケーションをタッチします。選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージに写真が添付されます。

写真の削除

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. アルバムにタッチして、開きます。
4. 写真にタッチして、開きます。
5.  をタッチします。
6.  をタッチします。
7. [Delete] (削除) をタッチします。
8. [OK] をタッチして、写真を削除します。

ビデオの処理

[Gallery] (ギャラリー) を使用して、SD カード内のビデオを表示し、ビデオを共有します。

ビデオの再生

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. アルバムにタッチして、開きます。
4. ビデオにタッチします。



図 3-20 ビデオの例

5.  をタッチします。ビデオの再生が開始されます。



図 3-21 ビデオの例

6. 画面をタッチすると、再生コントロールが表示されます。

ビデオの共有

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. アルバムにタッチして、開きます。
4. ビデオにタッチして、開きます。
5.  をタッチします。[Share] (共有) メニューが表示されます。
6. 選択したビデオを共有するために使用するアプリケーションをタッチします。選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージにビデオが添付されます。

ビデオの削除

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。
3. アルバムにタッチして、開きます。
4. ビデオにタッチして、開きます。
5.  をタッチします。
6.  をタッチします。
7. [Delete] (削除) をタッチします。
8. [OK] をタッチします。

DataWedge デモンストレーション

データ収集機能のデモンストレーションを実行するには、[DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) を使用します。

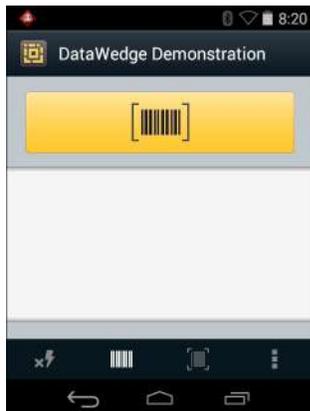


図 3-22 [DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) ウィンドウ

表 3-5 [DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) のアイコン

アイコン	説明
	使用不可。
	データ収集機能を内部スキャナ、イメージャーまたは RS507 ハンズフリー Bluetooth イメージャ (接続されている場合) 間で切り替えます。
	イメージャーを使用してバーコード データを収集するときに、通常のスキャン モードとピックリスト モード間で切り替えます。
	アプリケーション情報を表示するため、アプリケーションの DataWedge プロファイルを設定するためのメニューを開きます。

✓ DataWedge の設定の詳細については、『MC9200 Integrator Guide』を参照してください。

データ収集を有効にするには、トリガ ボタンを押すか、黄色のスキャン ボタンをタッチします。収集したデータは、黄色のボタンの下にあるテキスト フィールドに表示されます。

サウンド レコーダ

サウンド レコーダを使用して、音声メッセージを録音します。

録音は SD カード (取り付けられている場合) または内蔵ストレージに保存され、Music アプリケーション内の "My Recordings" というタイトルの再生リストで使用できます。

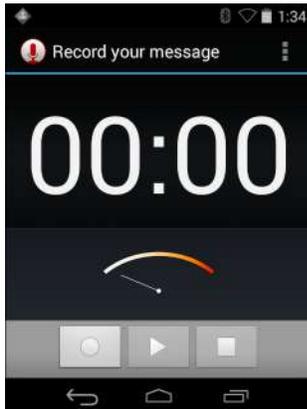


図 3-23 サウンドレコーダアプリケーション

PTT Express Voice Client

✓ **注** PTT Express Voice Client には、個別のエンタープライズ デバイス間でプッシュトゥトーク (PTT) 通信を行う機能があります。PTT Express は、既存の無線ローカル エリア ネットワーク (WLAN) インフラストラクチャを利用して、音声通信サーバーなしでシンプルな PTT 通信機能を提供します。

- **グループ通話**: 緑色のグループ通話ボタンを押したままにして、他の音声クライアント ユーザーとの通信を開始します。
- **プライベート応答**: 直前のブロードキャストの発信元に応答したり、プライベート応答を行ったりするには、赤色のプライベート通話ボタンを押して、その状態を維持します。

PTT 音声通知

音声クライアントを使用するときに、以下の通知音が役立ちます。

- **トーク トーン**: 2 回鳴ります。グループ (またはプライベート) ボタンを押すと再生されます。これは、通話の開始をユーザーに要求します。
- **アクセス トーン**: 1 回のビーブ音です。別のユーザーがブロードキャストまたは応答を終了したときに再生されます。これで、ユーザーはグループ通話またはプライベート通話を開始できるようになります。
- **ビジー トーン**: 連続的に鳴ります。グループ (またはプライベート) ボタンを押すと再生され、同じトークグループで別のユーザーがすでに通信を開始しています。許容される最大送信時間 (60 秒) の経過後に再生されます。
- **ネットワーク トーン**:
 - 徐々に高くなるビーブ音が 3 回鳴ります。PTT Express が WLAN 接続を取得し、サービスが有効になると、再生されます。
 - 徐々に低くなるビーブ音が 3 回鳴ります。PTT Express の WLAN 接続が切断されるか、サービスが無効になると、再生されます。



図 3-24 PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェース

表 3-6 PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェースの説明

項目	説明
通知アイコン	PTT Express クライアントの現在の状態を示します。
サービス状態の表示	PTT Express クライアントのステータスを示します。オプション: [Service Enabled] (サービスが有効)、 [Service Disabled] (サービスが無効) または [Service Unavailable] (サービスが利用不可)。
トークグループ	PTT 通信で利用可能な 32 のトーク グループすべてのリストを表示します。
設定	[PTT Express Settings] (PTT Express 設定) 画面を開きます。
有効化/無効化スイッチ	PTT サービスをオンまたはオフにします。

通知アイコン

PTT Express Voice クライアントの現在の状態を示します。

表 3-7 PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェースの説明

ステータスアイコン	説明
	PTT Express Voice クライアントが無効であることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効であるが、WLAN に接続されていないことを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、WLAN に接続されており、アイコンの隣にある番号によって示されるトーク グループをリスンしていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、WLAN に接続されており、アイコンの隣にある番号によって示されるトーク グループと通信を行っていることを示します。

表 3-7 PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェースの説明 (続き)

ステータス アイコン	説明
	PTT Express Voice クライアントが有効で、WLAN に接続されており、プライベート応答を行っていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、ミュートになっていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効であるが、VoIP テレフォニー コールが進行中であるために通信できないことを示します。

トーク グループの選択

PTT Express ユーザーは、32 のトーク グループの 1 つを選択できます。ただし、デバイスで一度に有効にできるのは、1 つのトーク グループのみです。32 のトーク グループのいずれか 1 つをタッチします。選択したトーク グループが強調表示されます。

PTT 通信

- ✓ **注** このセクションでは、デフォルトの PTT Express クライアント設定について説明します。クライアントの使用に関する詳細については、『PTT Express V1.2 User Guide』を参照してください。

PTT 通信は、グループ通話またはプライベート通話として確立されます。PTT Express が有効になると、デバイスの左側のボタンが PTT 通信に割り当てられます。有線ヘッドセットを使用する場合は、ヘッドセットの送信ボタンを押して、グループ通話とプライベート通話を開始することもできます。

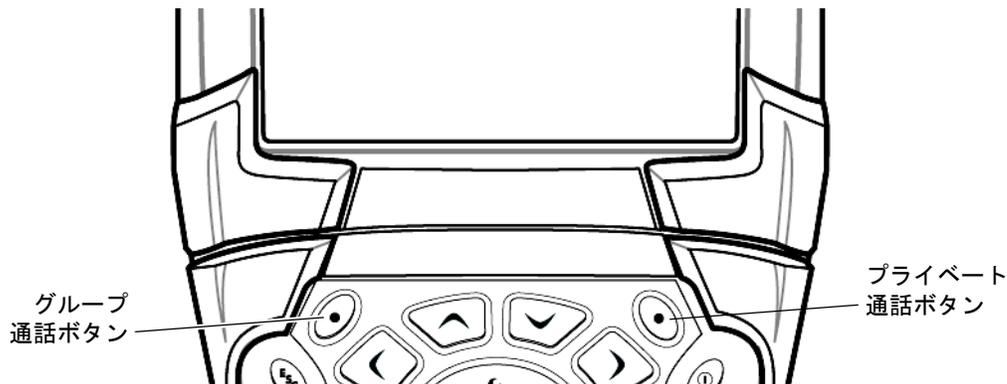


図 3-25 PTT ボタン

グループ通話の作成

1. 緑色のグループ通話ボタンを押したままにすると、トーク トーンが再生されます。
2. ビジー トーンが再生される場合は、緑色のグループ通話ボタンを放して、次の動作までしばらく待ちます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認します。
3. トーク トーンが再生されたら、通話を開始します。

- ✓ **注** ボタンを 60 秒 (デフォルト) 以上押し続けると、通話が終了して、他のユーザーがグループ通話を開始できるようになります。通話が終わったら、ユーザーはボタンを放して他のユーザーが通話を開始できるようにする必要があります。

4. 通話が終わったら、ボタンを放します。

グループ通話の作成 (1 対 1)

プライベート通話を開始できるのは、グループ通話が確立されてからです。

最初のプライベート通話は、グループ通話の最後の話し手に対してのみ行うことができます。

1. アクセス トーンが鳴るまで待ちます。
2. 10 秒以内に赤色のプライベート通話ボタンを押したままにすると、トーク トーンが再生されます。
ビジー トーンが再生される場合は、赤色のプライベート通話ボタンを放して、次の動作までしばらく待ちます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認します。
3. トーク トーンが再生されたら、通話を開始します。
4. 通話が終わったら、プライベート通話ボタンを放します。

PTT Express Voice Client 通信の無効化

1.  >  の順にタッチします。
2. 有効化/無効化スイッチを [OFF] (オフ) の位置にスライドします。ボタンが [OFF] (オフ) に変わります。
3.  をタッチします。

MLog Manager

MLog Manager を使用して、診断用のログ ファイルを収集します。アプリケーションの設定の詳細については、『MC9200 Integrator Guide』を参照してください。

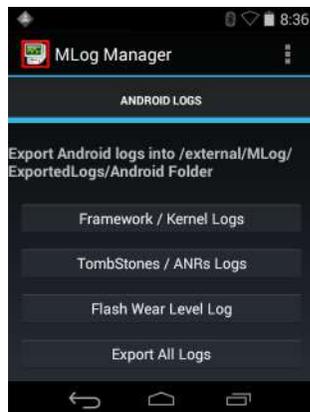


図 3-26 MLog Manager

RxLogger

RxLogger は、アプリケーションとシステム メトリックを提供する包括的な診断ツールです。このツールを使用してカスタム プラグインを作成し、シームレスに作業を進めることができます。RxLogger はデバイスやアプリケーションの問題の診断に使用されます。情報追跡には、CPU 負荷、メモリ負荷、メモリのスナップショット、バッテリー消費、電源の状態、無線ロギング、セルラ ロギング、TCP ダンプ、Bluetooth ロギング、LogCat、FTP ブッシュ/プル、ANR ダンプなどが含まれます。作成されたログやファイルはすべて、デバイスのフラッシュストレージ (内部または外部) に保存されます。



図 3-27 RxLogger

Elemez

- ✓ **注** Elemez は、バックグラウンドで特定のデバイス情報を収集し、製品機能の向上に役立てる目的でその情報を送信します。この機能は無効にできます。[3-31 ページの「Elemez データ収集の無効化」](#)を参照してください。

Elemez を使用する前に、日付、時間およびタイムゾーンが正しく設定されていることを確認してください。

Elemez を使用して、診断情報を Zebra に送信します。[**Submit Diagnostics**] (診断の送信) ボタンをタッチしてデータを送信します。

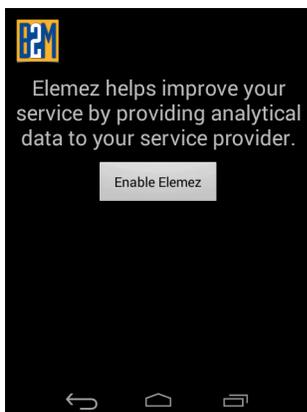


図 3-28 Elemez アプリケーション

Elemez データ収集の無効化

バックグラウンドで特定のデータを収集して送信する Elemez アプリケーションは、無効化することができます。

1.  > **[Apps]** (アプリ) をタッチします。
2. **[ALL]** (すべて) タブが表示されるまで、左または右にスワイプします。
3. リストをスクロールし、**[Elemesz]** をタッチします。
4. **[App info]** (アプリ情報) 画面で、**[Uninstall updates]** (更新のアンインストール) をタッチします。
5. **[Uninstall updates]** (更新のアンインストール) ダイアログ ボックスで、**[OK]** をタッチします。
6. **[OK]** をタッチします。
7. アンインストールが完了した後、**[OK]** をタッチします。
8. **[All]** (すべて) タブで、リストをスクロールし、**[Elemesz]** をタッチします。
9. **[Disable]** (無効化) をタッチします。
10. **[Disable built-in app?]** (組み込みアプリを無効化しますか?) ダイアログ ボックスで、**[OK]** をタッチします。
11.  をタッチします。

Elemesz データ収集の有効化

Elemesz アプリケーションを再び有効化して、バックグラウンドで特定のデータを収集し、送信するように設定できます。

1.  > **[Apps]** (アプリ) をタッチします。
2. **[ALL]** (すべて) タブが表示されるまで、左または右にスワイプします。
3. リストをスクロールし、**[Elemesz]** をタッチします。
4. **[App info]** (アプリ情報) 画面で、**[Enable]** (有効化) をタッチします。
5.  をタッチします。
6.  >  の順にタッチします。
7. **[Enable Elemesz]** (Elemesz の有効化) をタッチします。

端末エミュレーション

Wavelink 端末エミュレーション アプリケーションは、5250、3270、および VT のエミュレーションを使用して、ホストシステムにあるアプリケーションへの接続の確立および管理を行う包括的なソリューションを提供します。



図 3-29 Wavelink 端末エミュレーション

無線ローカル エリア ネットワーク

ワイヤレス ローカル エリア ネットワーク (WLAN) を使用すると、MC9200 は屋内でも無線で通信できるようになります。WLAN で MC9200 を使用するには、WLAN を実行するために必要なハードウェア (インフラストラクチャとも呼ばれる) を施設に設定する必要があります。この通信を有効にするには、インフラストラクチャと MC9200 を正しく設定する必要があります。

インフラストラクチャの設定方法については、インフラストラクチャ (アクセス ポイント (AP)、アクセス ポート、スイッチ、Radius サーバーなど) に付属しているマニュアルを参照してください。

選択した WLAN セキュリティ方式を適用するようにインフラストラクチャを設定したら、**[Wireless & networks]** (無線とネットワーク) 設定を使用して、そのセキュリティ方式に適合するように MC9200 を設定してください。

MC9200 は、次の WLAN セキュリティ オプションをサポートします。

- Open (オープン)
- Wireless Equivalent Privacy (WEP)
- Wi-Fi Protected Access (WPA)/WPA2 Personal (PSK)
- Extensible Authentication Protocol (EAP)
 - Protected Extensible Authentication Protocol (PEAP) - MSCHAPV2 と GTC 認証が使用可能です。
 - Transport Layer Security (TLS)
 - TTLS - Password Authentication Protocol (PAP)、MSCHAP、MSCHAPv2、および GTC 認証が使用可能です。

ステータス バーには、Wi-Fi ネットワークが利用できるかを示すアイコンと、Wi-Fi の状態を示すアイコンが表示されます。詳細については、[3-2 ページの「ステータス バー」](#)を参照してください。

✓ **注** 使用しないときは Wi-Fi をオフにすると、バッテリーの消費を避けられます。

Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続

1.  をタッチします。



図 3-30 [Settings] (設定) 画面

2. Wi-Fi のスイッチを [ON] (オン) の位置にスライドさせます。
3.  [Wi-Fi] をタッチします。MC9200 はエリア内の WLAN を検索して一覧表示します。



図 3-31 [Wi-Fi] 画面

4. リスト内をスクロールして、使用する WLAN ネットワークを選択します。
5. オープン ネットワークの場合は、プロフィールを一度タッチするか、または押し続けてから [Connect to network] (ネットワークに接続) を選択します。また、セキュア ネットワークの場合は、要求されるパスワードまたはその他の資格情報を入力してから、[Connect] (接続) をタッチします。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。
6. MC9200 は、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) プロトコルを使用してネットワークからネットワークアドレスと他の必須情報を取得します。固定インターネット プロトコル (IP) アドレスで MC92N0-G を設定するには、[3-38 ページの「静的 IP アドレスを使用するためのデバイスの設定」](#)を参照してください。
7. Wi-Fi の設定フィールドに、[Connected] (接続済み) が表示され、MC92N0-G が WLAN に接続されていることが示されます。

Wi-Fi ネットワークの設定

Wi-Fi ネットワークを設定するには、次の手順に従います。

1.  をタッチします。

2.  [Wi-Fi] をタッチします。
3. スイッチを [ON] (オン) の位置にスライドします。
4. エリア内に WLAN があるか検索が開始され、画面にリストが表示されます。
5. リスト内をスクロールして、使用する WLAN ネットワークを選択します。
6. 必要なネットワークをタッチします。ネットワーク セキュリティが [Open] (オープン) の場合、デバイスは自動的にネットワークに接続されます。その他すべてのネットワーク セキュリティについては、ダイアログボックスが表示されます。

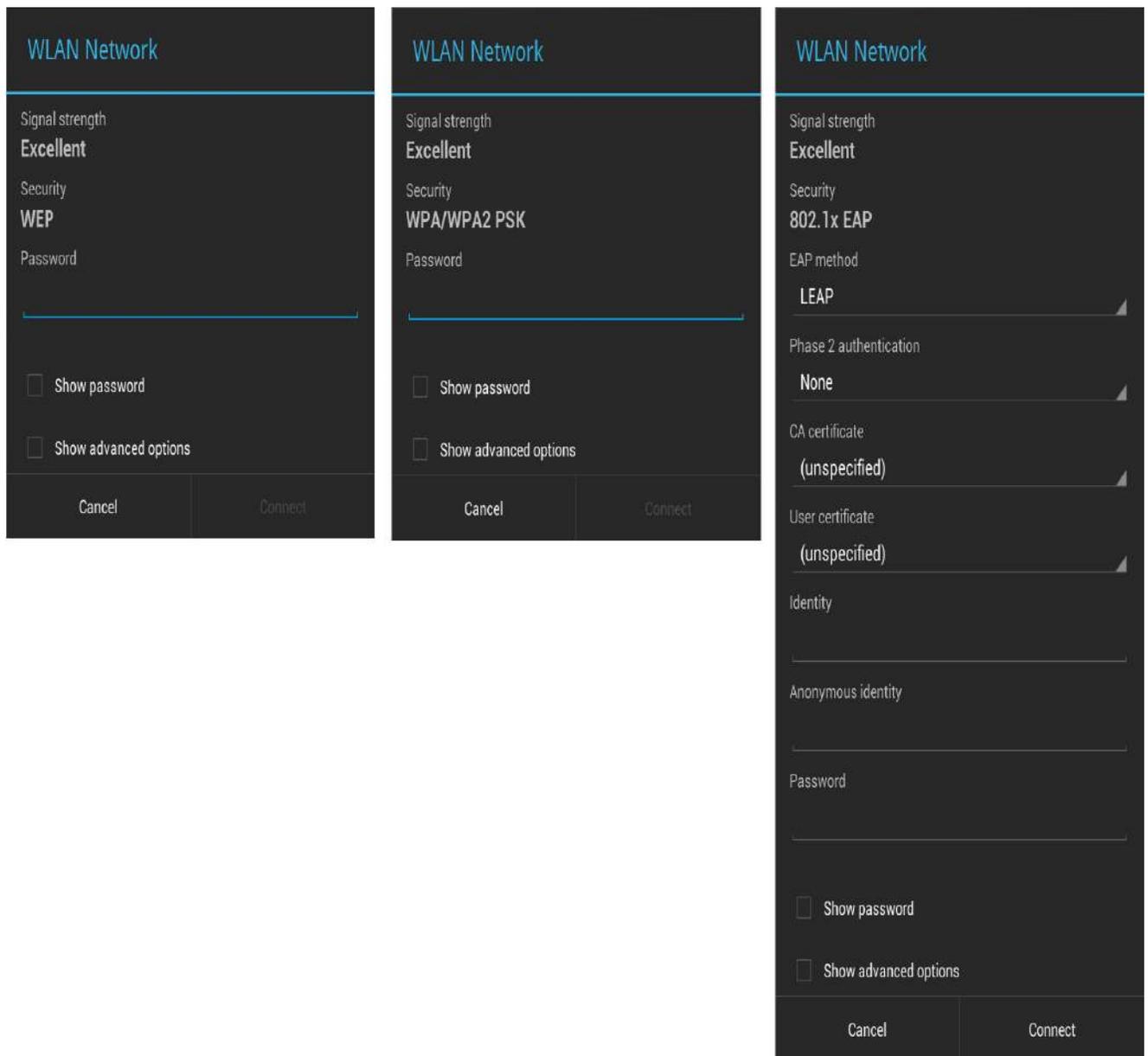


図 3-32 WLAN ネットワーク セキュリティ ダイアログ ボックス

7. ネットワーク セキュリティが **[WEP]** または **[WPA/WPS2 PSK]** の場合、必要なパスワードを入力し、**[Connect]** (接続) をタッチします。
8. ネットワーク セキュリティが **[802.1x EAP]** の場合は、次の手順に従います。
 - **[EAP method]** (EAP メソッド) のドロップダウン リストをタッチし、**[PEAP]**、**[TLS]**、**[TTLS]**、**[LEAP]** または **[FAST]** を選択します。
 - **[Phase 2 authentication]** (フェーズ 2 認証) ドロップダウン リストをタッチし、認証方法を選択します。
 - 必要に応じて、**[CA certificate]** (CA 証明書) をタッチし、認証局 (CA) 証明書を選択します。注: 証明書は **[Security]** (セキュリティ) 設定を使用してインストールします。
 - 必要に応じて、**[User certificate]** (ユーザー証明書) をタッチし、ユーザー証明書を選択します。注: ユーザー証明書は、**[Location]** (場所) および **[Security]** (セキュリティ) 設定を使用してインストールします。
 - 必要に応じて、**[Identity]** (ID) テキスト ボックスにユーザー名の認証情報を入力します。
 - 必要に応じて、**[Anonymous identity]** (匿名 ID) テキスト ボックスに匿名 ID ユーザー名を入力します。
 - 必要に応じて、**[Password]** (パスワード) テキスト ボックスに指定された ID のパスワードを入力します。

✓ **注** デフォルトで、ネットワーク プロキシは **[None]** (なし) に設定され、IP 設定は **[DHCP]** に設定されます。プロキシ サーバーへの接続の設定については、[3-37 ページの「プロキシ サーバーの設定」](#)、静的 IP アドレスを使用するためのデバイスの設定については、[3-38 ページの「静的 IP アドレスを使用するためのデバイスの設定」](#) を参照してください。

9. **[Connect]** (接続) をタッチします。

10.  をタッチします。

手動での Wi-Fi ネットワークの追加

ネットワークがその名前 (SSID) をブロードキャストしない場合、またはエリア外にいるときに Wi-Fi ネットワークを追加するには、手動で Wi-Fi ネットワークを追加します。

1.  をタッチします。
2.  **[Wi-Fi]** をタッチします。
3. Wi-Fi のスイッチを **[On]** (オン) の位置にスライドさせます。
4. 画面の右上隅にある **[+]** をタッチします。
5. **[Network SSID]** (ネットワーク SSID) テキスト ボックスで、Wi-Fi ネットワーク名を入力します。
6. **[Security]** (セキュリティ) ドロップダウン リストで、セキュリティの種類を選択します。以下のオプションを選択できます。
 - None (なし)
 - WEP
 - WPA/WPA2 PSK
 - 802.1x EAP
7. ネットワーク キュリティが **[None]** (なし) の場合、**[Save]** (保存) をタッチします。

8. ネットワーク セキュリティが **[WEP]** または **[WPA/WPA2 PSK]** の場合、必要なパスワードを入力し、**[Save]** (保存) をタッチします。
9. ネットワーク セキュリティが **[802.1x EAP]** の場合は、次の手順に従います。
 - **[EAP method]** (EAP メソッド) のドロップダウン リストをタッチし、**[PEAP]**、**[TLS]**、**[TTLS]**、**[LEAP]** または **[FAST]** を選択します。
 - **[Phase 2 authentication]** (フェーズ 2 認証) ドロップダウン リストをタッチし、認証方法を選択します。
 - 必要に応じて、**[CA certificate]** (CA 証明書) をタッチし、認証局 (CA) 証明書を選択します。注: 証明書は **[Security]** (セキュリティ) 設定を使用してインストールします。
 - 必要に応じて、**[User certificate]** (ユーザー証明書) をタッチし、ユーザー証明書を選択します。注: ユーザー証明書は、**[Security]** (セキュリティ) 設定を使用してインストールします。
 - 必要に応じて、**[Identity]** (ID) テキスト ボックスにユーザー名の認証情報を入力します。
 - 必要に応じて、**[Anonymous identity]** (匿名 ID) テキスト ボックスに匿名 ID ユーザー名を入力します。
 - 必要に応じて、**[Password]** (パスワード) テキスト ボックスに指定された ID のパスワードを入力します。
- ✓ デフォルトで、ネットワーク プロキシは **[None]** (なし) に設定され、IP 設定は **[DHCP]** に設定されます。プロキシ サーバーへの接続の設定については、[3-37 ページの「プロキシ サーバーの設定」](#)、静的 IP アドレスを使用するためのデバイスの設定については、[3-38 ページの「静的 IP アドレスを使用するためのデバイスの設定」](#) を参照してください。
10. **[Connect]** (接続) をタッチします。

11.  をタッチします。

プロキシ サーバーの設定

プロキシ サーバーは、他のサーバーのリソースを探しているクライアントからの要求に対して仲介役として動作するサーバーです。クライアントは、プロキシ サーバーに接続し、別のサーバーから利用できる、ファイル、接続、Web ページ、またはその他のリソースなどのサービスを要求します。プロキシ サーバーは、フィルタリングのルールに従って、要求を評価します。たとえば、IP アドレスまたはプロトコルによってトラフィックをフィルタできます。フィルタにより要求が検証された場合、プロキシは、該当サーバーに接続し、クライアントに代わってサービスを要求することにより、リソースを提供します。

企業の顧客にとって、社内にセキュリティ保護されたコンピューティング環境を設定できることは重要であり、プロキシ設定はそのための不可欠な要素です。プロキシ設定は安全防壁として機能し、インターネットとイントラネットの間のすべてのトラフィックは、プロキシ サーバーによって監視されます。通常、これは、イントラネット内の企業ファイアウォールでセキュリティを実施するために不可欠な要素です。

1. **[Network]** (ネットワーク) ダイアログ ボックスで、任意のネットワークをタッチします。
2. **[Show advanced options]** (高度なオプションの表示) チェックボックスをタッチします。
3. **[Proxy settings]** (プロキシ設定) をタッチして、**[Manual]** (手動) を選択します。

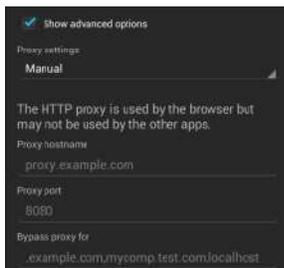


図 3-33 プロキシ設定

4. **[Proxy hostname]** (プロキシ ホスト名) テキスト ボックスにプロキシ サーバーのアドレスを入力します。
5. **[Proxy port]** (プロキシ ポート) テキスト ボックスにプロキシ サーバーのポート番号を入力します。

✓ **注** **[Bypass proxy for]** (プロキシのバイパス) フィールドにプロキシ アドレスを入力する際は、アドレスとアドレスの間にスペースや改行を使用しないでください。

6. **[Bypass proxy for]** (プロキシのバイパス) テキスト ボックスに、プロキシ サーバーを経由する必要がない Web サイトのアドレスを入力します。アドレスとアドレスの間には区切り記号「|」を使用します。
7. **[Connect]** (接続) をタッチします。
8.  をタッチします。

静的 IP アドレスを使用するためのデバイスの設定

デフォルトでは、デバイスは、無線ネットワークに接続されたときに、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) を使用してインターネット プロトコル (IP) アドレスを割り当てるように設定されます。静的 IP アドレスを使用してネットワークに接続するようにデバイスを設定するには、次の手順に従います。

1. **[Network]** (ネットワーク) ダイアログ ボックスで、任意のネットワークをタッチします。
2. **[Show advanced options]** (高度なオプションの表示) チェックボックスをタッチします。
3. **[IP settings]** (IP 設定) をタッチして、**[Static]** (静的) を選択します。

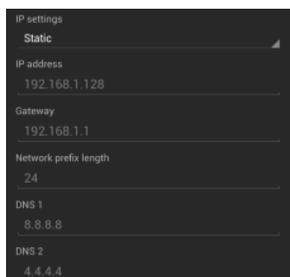


図 3-34 静的 IP 設定

4. **[IP address]** (IP アドレス) テキスト ボックスにデバイスの IP アドレスを入力します。
5. 必要に応じて、**[Gateway]** (ゲートウェイ) テキスト ボックスにデバイスのゲートウェイ アドレスを入力します。
6. 必要に応じて、**[Network prefix length]** (ネットワーク プリフィックスの長さ) テキスト ボックスにプリフィックスの長さを入力します。

7. 必要に応じて、[DNS 1] テキスト ボックスにドメイン ネーム システム (DNS) アドレスを入力します。
8. 必要に応じて、[DNS 2] テキスト ボックスに DNS アドレスを入力します。
9. [Connect] (接続) をタッチします。
10.  をタッチします。

Wi-Fi の詳細設定

✓ **注** Wi-Fi の詳細設定は、特定の無線ネットワークを対象としたものではなく、デバイスを対象にしています。

追加の Wi-Fi 設定を行うには、[Advanced] (詳細) 設定を使用します。詳細設定を表示するには、[Wi-Fi] 画面で、 > [Advanced] (詳細) をタッチします。

- 全般
 - [Network notification] (ネットワーク通知) - 有効にすると、オープン ネットワークが使用可能なときにそのことをユーザーに通知します。
 - [Keep Wi-Fi on during sleep] (スリープ中に Wi-Fi を有効にする) - Wi-Fi 無線をオフにするかどうか、およびオフにする状況を設定するためのメニューを開きます。
 - [Always on] (常にオン) - デバイスがサスペンド モードになったときも無線をオンのままにします (デフォルト)。
 - [Only when plugged in] (電源接続中のみ) - デバイスが外部電源に接続されている間は無線をオンのままにします。
 - [Never On] (接続しない) - デバイスがサスペンド モードになっているときは無線をオフにします。
 - [Install Certificates] (証明書のインストール) - タッチして、証明書をインストールします。
 - [Wi-Fi optimization] (Wi-Fi の最適化) - タッチして、Wi-Fi がオンのときにバッテリー使用量を削減します (デフォルト - 無効)。
 - [MAC address] (MAC アドレス) - Wi-Fi ネットワークに接続しているときにデバイスのメディア アクセス制御 (MAC) アドレスを表示します。
- 規制
 - [Country selection] (国の選択) - 802.11d が有効なときに取得された国コードを表示します。802.11d が有効でないときは、現在選択されている国コードを表示します。
- 帯域とチャネルの選択
 - [Wi-Fi frequency band] (Wi-Fi 周波数帯) - 周波数帯を選択するのに使用します。オプション: [Auto] (自動) (デフォルト)、[5 GHz only] (5GHz 専用)、および [2.4 GHz only] (2.4GHz 専用)。
 - [Available channels (2.4 GHz)] (使用可能なチャネル (2.4GHz)) - 特定のチャネルを選択するのに使用します。タッチして、[Available channels] (使用可能なチャネル) メニューを表示します。特定のチャネルを選択します。[OK] をタッチします。
 - [Available channels (5 GHz)] (使用可能なチャネル (2.4GHz)) - 特定のチャネルを選択するのに使用します。タッチして、[Available channels] (使用可能なチャネル) メニューを表示します。特定のチャネルを選択します。[OK] をタッチします。

- ログイング
 - **[Advanced Logging]** (詳細ロギング) – タッチして、詳細ロギングを有効にします。
 - **[Wireless logs]** (無線ログ) - Wi-Fi ログ ファイルを読み取るのに使用します。
 - **[Fusion Logger]** (Fusion ロガー) - タッチして、**[Fusion Logger]** (Fusion ロガー) アプリケーションを開きます。このアプリケーションは、高レベルの WLAN イベントの履歴を保持するため、接続のステータスを理解するのに役立ちます。



図 3-35 **[Fusion Logger]** (Fusion ロガー) 画面

- **[Fusion Status]** (Fusion ステータス) - タッチして、WLAN 状態のライブステータスを表示します。また、デバイスおよび接続されたプロファイルの情報を提供します。



図 3-36 **[Fusion Status]** (Fusion ステータス) 画面

- バージョン情報
 - **[Version]** (バージョン) - 現在の Fusion 情報を表示します。

Wi-Fi ネットワークの削除

認識または接続されているネットワークを削除するには、次の手順に従います。

1.  をタッチします。
2.  **[Wi-Fi]** をタッチします。
3. **[Wi-Fi networks]** (Wi-Fi ネットワーク) リストで、ネットワークの名前をタッチし、その状態を維持します。

4. メニューで、**[Forget network]** (ネットワークの削除) をタッチします。
5.  をタッチします。

第 4 章 データ収集

MC92N0-G には、バーコードをスキャンしてデータを収集するレーザー スキャナまたはイメージャーが内蔵されています。

- SE-965 標準レンジ レーザー
- SE-1524-ER 拡張レンジ レーザー
- SE4500-SR 標準レンジ レーザー
- SE4500-DL - 運転免許証イメージャー (Windows のみ)
- SE4500-HD - 高密度イメージャー (DPM) (Windows のみ)
- SE-4750-SR 標準レンジ イメージャー (Premium のみ)
- SE-4750-MR ミッドレンジ イメージャー (Premium のみ)
- SE4600-LR ロングレンジ イメージャー (Windows のみ)

スキャン LED インジケータ

インジケータ LED バーにある赤/緑のスキャン LED インジケータ は、スキャンの状態を示します。スキャン LED インジケータの位置については、[1-1 ページの図 1-1](#) を参照してください。

表 4-1 スキャン LED インジケータ

LED の状態	意味
オフ	スキャンしていません。
赤色で点灯	レーザーは有効になっており、スキャンを実行中です。
緑色で点灯	読み取りが正常に完了しました。

レーザー スキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。MC92N0-G には、スキャナでバーコードデータを読み取り、バーコードの内容を表示することができる **DataWedge** および **ScanSample** (Windows CE デバイスのみ) アプリケーションが付属しています。**DataWedge** を有効化する方法は、[4-5 ページの「DataWedge」](#) を参照してください。**ScanSample** アプリケーションの起動方法は、[4-7 ページの「ScanSample」](#) を参照してください。

1. スキャン アプリケーションまたはサンプル スキャン アプリケーション (**DataWedge** または **ScanSample**) を起動します。
2. MC92N0-G の上部にあるスキャナ ウィンドウをバーコードに向けます。
3. トリガまたはスキャン ボタンを押します。赤色のスキャン光線がバーコード全体をカバーしていることを確認します。レーザーがオンになっていると、スキャン LED インジケータが赤く点灯します。正しく読み取れた場合は、スキャン LED インジケータが緑色に点灯してビープ音が鳴ります。

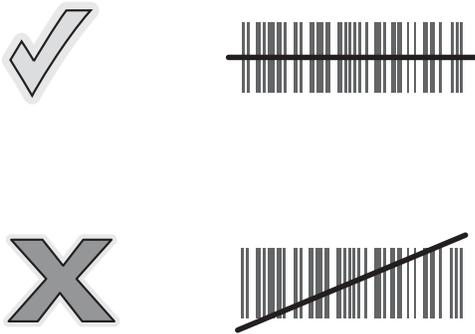


図 4-1 レーザー照準

4. トリガまたはスキャン ボタンを放します。

スキャン操作に関する考慮事項

スキャン操作は、照準、スキャン、および読み取りで構成されます。スキャンの範囲と角度を考慮することで、スキャン性能を最適化できます。

- 範囲

スキャン デバイスは、特定の読み取り幅 (バーコードからの最小距離と最大距離の範囲内) にある場合に正しく読み取りを行います。この範囲は、バーコードの密度とスキャン デバイスの光学系によって異なります。

範囲内でスキャンすることで、すばやく連続して読み取ることができます。近すぎたり遠すぎたりすると、正しく読み取ることができません。スキャナを近づけたり遠ざけたりして、スキャンするバーコードの適切な読み取り幅を見つけてください。ただし、この条件は内蔵スキャン モジュールの可用性とも複雑に関連しています。バーコードの密度に対して適切な読み取り範囲を特定する最良の方法は、各スキャン モジュールのデコードゾーンという図を参考にすることです。デコードゾーンとは、バーコードの最小エレメント幅に応じて読み取り範囲を割り出したものです。

- 角度

読み取り性能を最適化するためには、スキャン角度が重要です。バーコードに当たったレーザー光線が反射してスキャナに直接戻ってくるような角度でスキャンした場合、この正反射によりスキャナは読み取れなくなります。

これを回避するには、光線が正反射しないような角度でバーコードをスキャンしてください。ただし、正しく読み取るためにスキャナは散乱した反射光線を集める必要があるため、あまりに鋭角な角度ではスキャンしないでください。練習することで、適切な作業範囲をすばやく確認できます。

- ✓ **注** うまくスキャンできない状態が続く場合は、Zebra サポートにお問い合わせください。バーコードが適切に印刷されている場合は、読み取りは短時間で問題なく実行されます。

イメージング

イメージャー搭載の MC92N0-G は、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、PDF417 コード、2D マトリックス コードを含む、各種バーコード シンボルの無指向 (360°) 読み取り。
- 画像を収集して、各種画像処理アプリケーションで処理するためにホストにダウンロードする機能。
- 容易な読み取り操作を可能にする直感的な高性能レーザー照準機能。

イメージャーは、デジタル カメラの技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

動作モード

統合イメージャー搭載の MC92N0-G は、次の 3 つの動作モードをサポートしています。各モードを有効にするには、スキャンボタンを押します。

- 読み取りモード: このモードでは MC92N0-G は、読み取り幅内にあるバーコードを見つけて読み取ります。スキャン ボタンを押している間、またはバーコードを読み取るまで、イメージャーはこのモードのままになります。

- ✓ **注** ピック リスト モードを有効にするには、Windows CE の CtlPanel アプレットを使用するか、Support Central Web サイト (<http://www.zebra.com/support>) から Windows Mobile の Control Panel (コントロール パネル) アプレットをダウンロードしてください。ピック リストは、API コマンドを使用してアプリケーション内で設定することもできます。

- ピック リスト モード: このモードでは、MC92N0-G の読み取り幅内に複数のバーコードが存在する場合に、選択的にバーコードを読み取ることができます。選択的に読み取るには、目的のバーコードに照準の十字の中央点を合わせて、そのバーコードのみを読み取ります。この機能は、複数のバーコードが含まれているピック リストや、複数のタイプ (1D または 2D) のバーコードが含まれている製造ラベルや輸送ラベルを読み取るのに適しています。
- 画像読み取りモード: このモードは、MC92N0-G の読み取り幅内にある画像を読み取るのに使用します。この機能は、署名を収集したり、損傷した箱の画像などを収集したりするのに便利です。

イメージャー スキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。MC92N0-G には、スキャナでバーコード データを読み取り、バーコードの内容を表示することができる **DataWedge** および **ScanSample** (Windows CE デバイスのみ) アプリケーションが付属しています。DataWedge の起動方法は、**5 ページの「DataWedge」** を参照してください。ScanSample の起動方法は、**4-7 ページの「ScanSample」** を参照してください。

1. スキャン アプリケーションまたはサンプル スキャン アプリケーション (**DataWedge** または **ScanSample**) を起動します。
2. MC92N0-G の上部にあるスキャナ ウィンドウをバーコードに向けます。
3. トリガまたはスキャン ボタンを押します。赤色のスキャン光線がバーコード全体をカバーしていることを確認します。レーザーがオンになっていると、スキャン LED インジケータが赤く点灯します。正しく読み取れた場合は、スキャン LED インジケータが緑色に点灯してビープ音が鳴ります。

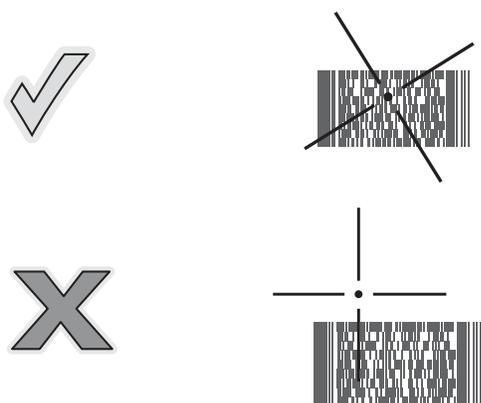


図 4-2 標準レンジ/ミッドレンジ イメージャーの照準パターン

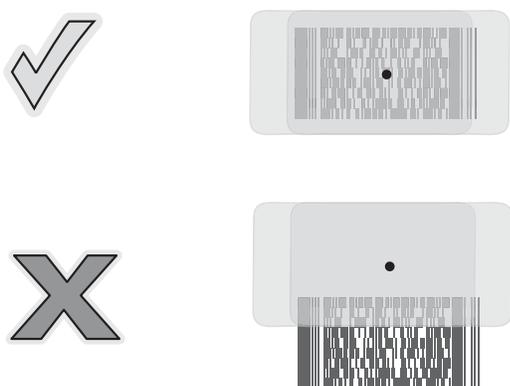


図 4-3 ロングレンジ イメージャーの照準パターン

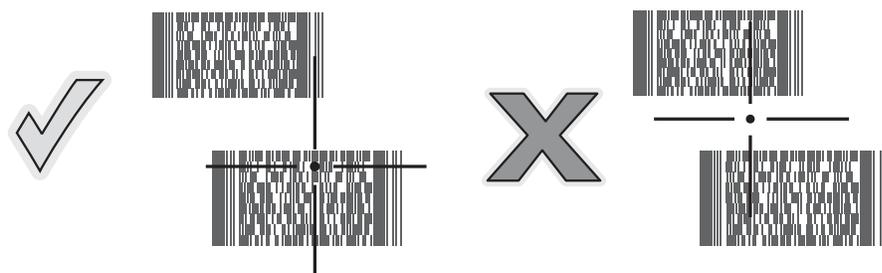


図 4-4 複数のバーコードがある場合の標準レンジ/ミッドレンジ イメージャー ピック リスト モード



図 4-5 複数のバーコードがある場合のロングレンジ ピック リスト モード

4. スキャン ボタンを放します。

画像の読み取り

画像を読み取るには、画像読み取りアプリケーションが必要です。

1. 画像読み取りアプリケーションを起動します。
2. MC92N0-G の上部にあるスキャナ ウィンドウを読み取り対象に向けます。
3. トリガまたはスキャン ボタンを押します。読み取られた画像が画面に表示されます。

DataWedge

- ✓ **注** DataWedge は、Windows CE 構成の場合はデスクトップから、Windows Embedded Handheld 構成の場合はホーム画面からアクセスすることもできます。

DataWedge の有効化

Windows CE または Embedded Handheld デバイスで DataWedge を有効化するには、次の手順に従います。

1. Windows CE デバイスで、デスクトップ上のアイコンをダブルタップするか、または **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Control Panel]** (コントロール パネル) > **[DataWedge]** をタップします。または Windows Embedded Handheld デバイスで、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) > **[DataWedge]** をタップします。
2. **[Basic configuration]** (基本設定) > **[1 Barcode input]** (1. バーコード入力) をタッチします。
3. **[1. 1D Scanner Driver]** (1. 1D スキャナ ドライバ) または **[1. Block Buster Imager]** (1. ブロック ブラスト イメージャー) または **[2. Bluetooth SSI Scanner Driver]** (2. Bluetooth SSI スキャナ ドライバ) をタップします。
4. **[1. Enabled]** (1. 有効) の横にチェックマークが付いていることを確認します。付いていない場合は、**[1. Enabled]** (1. 有効) をタップします。
5. **[OK]** をタップします。
6. **[Running]** (実行中) をタップして、DataWedge プロセスを開始します。DataWedge ステータスが **[Ready]** (対応) に変わります。
7. **[OK]** をタップします。

Android デバイスで DataWedge を有効化するには、次の手順に従います。

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。
3.  をタッチします。
4. **[Settings]** (設定) をタッチします。
5. **[DataWedge enabled]** (DataWedge の有効化) チェックボックスをタッチします。青色のチェックマークがチェックボックスに表示されます。これは、DataWedge が有効になったことを示します。
6.  をタッチします。

DataWedge の無効化

Windows CE または Embedded Handheld デバイスで DataWedge を無効化するには、次の手順に従います。

1. Windows CE デバイスで、デスクトップ上のアイコンをダブルタップするか、または **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Control Panel]** (コントロール パネル) > **[DataWedge]** をタップします。または Windows Embedded Handheld デバイスで、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) > **[DataWedge]** をタップします。
2. **[Running]** (実行中) オプションをタップして、DataWedge プロセスを終了します。DataWedge ステータスが **[Stopped]** (停止) に変わります。
3. **[OK]** をタップします。

Android デバイスで DataWedge を無効化するには、次の手順に従います。

1.  をタッチします。
2.  をタッチします。

3.  をタッチします。
4. **[Settings]** (設定) をタッチします。
5. **[DataWedge enabled]** (DataWedge の有効化) チェックボックスをタッチします。チェックボックスから青色のチェックマークが消えます。これは、DataWedge が無効になったことを示します。
6.  をタッチします。

ScanSample

✓ **注** ScanSample は、Windows CE デバイスのみで使用できます。

ScanSample を起動するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Programs]** (プログラム) > **[Samples]** (サンプル) の順にタップします。
2. **[Scan]** (スキャン) アイコンをダブルタップします。
3. 1 キーを押すか、**[Scan]** (スキャン) をタップします。

ScanSample アプリケーションを終了するには、次の手順に従います。

1. 0 キーを押すか、**[Back]** (戻る) をタップします。
2. 0 キーを押すか、**[Exit]** (終了) をタップします。

RS507 のハンズフリー イメージャーの使用

RS507 のハンズフリー イメージャーを MC92N0-G で使用して、バーコードデータを収集できます。

✓ **注** MC92N0-G と同時にペアリングできる RS507 は 1 台だけです。

RS507 を設定するには、次の手順に従います。

1. Windows CE デバイスの場合は、**[Start]** (スタート) > **[Programs]** (プログラム) > **[BTScannerCtlPanel]** (BT スキャナ コントロール パネル) をタップします。Windows Embedded Handheld デバイスの場合は、**[Start]** (スタート) > **[BTScannerCtlPanel]** (BT スキャナ コントロール パネル) をタップします。
2. 必要に応じて、**[BT Scanner]** (BT スキャナ) チェックボックスをオンにしてから、ドロップダウン リストから適切な COM ポートを選択します。
3. **[Save and Exit]** (保存して終了) をタップします。
4. Windows CE デバイスの場合は、**[Start]** (スタート) > **[Programs]** (プログラム) > **[MotoBTUI]** をタップします。Windows Embedded Handheld デバイスの場合は、**[Start]** (スタート) > **[MotoBTUI]** をタップします。

5. **[Pairing Barcode]** (バーコードをペアリング) をタップします。バーコードが表示されます。

- ✓ **注** Windows CE が搭載された MC92N0-G が VGA モードに設定されている場合は、バーコード サイズが小さいため、RS507 がバーコードを読み取ることができません。ペアリング バーコードの印刷方法については、『**RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide**』を参照してください。

6. RS507 をバーコードに向けます。RS507 がバーコードを読み取り、MC92N0-G とのペアリングを開始します。詳細については、『**RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide**』を参照してください。

Android HID を使用した RS507 ハンズフリー イメージャーのペアリング

RS507 のハンズフリー イメージャーをデバイスで使用して、バーコードデータを収集できます。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
3. 2つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
4. RS507 をヒューマン インタフェース デバイス (HID) モードに設定します。RS507 がすでに HID モードである場合は、手順 5 に進みます。
 - a. バッテリーを RS507 から取り出します。
 - b. 復元キーを押し続けます。
 - c. バッテリーを RS507 に取り付けます。
 - d. チャープ音が鳴り、スキャン LED が緑色に点滅するまで、復元キーを約 5 秒間押し続けます。
 - e. 以下のバーコードをスキャンして、RS507 を HID モードに設定します。



図 4-6 RS507 Bluetooth HID バーコード

5. バッテリーを RS507 から取り出します。
6. バッテリーを RS507 に再度取り付けます。
7. MC9200-G で、 をタッチします。
8.  **[Bluetooth]** をタッチします。
9. **[SCAN FOR DEVICES]** (デバイスのスキャン) をタッチします。エリア内に検出できる Bluetooth デバイスがあるか検索が開始され、**[AVAILABLE DEVICES]** (使用可能なデバイス) にデバイスのリストが表示されます。
10. リストをスクロールし、RS507 を選択します。

デバイスは RS507 に接続し、デバイス名の下に **[Connected]** (接続済み) と表示されます。Bluetooth デバイスが **[Bluetooth devices]** (Bluetooth デバイス) リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

Android SSI を使用した RS507 ハンズフリー イメージャーのペアリング

RS507 のハンズフリー イメージャーをデバイスで使用して、バーコードデータを収集できます。

1. 2つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
2. RS507 にバッテリーを取り付けます。
3. MC92N0 で、 をタッチします。
4.  をタッチします。

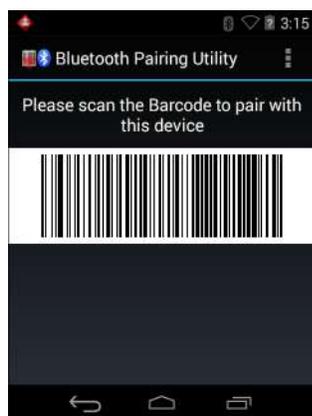


図 4-7 Bluetooth ペアリング ユーティリティ

5. RS507 を使用して、画面でバーコードをスキャンします。
RS507 で、高いビーブ音と低いビーブ音が交互に鳴ります。スキャン LED が緑色に点滅し、RS507 が MC92N0 との接続を確立しようとしていることを示します。接続が確立されると、スキャン LED が消灯し、RS507 で、低いビーブ音と高いビーブ音が続けて鳴ります。
6. MC92N0 で、 をタッチします。

第 5 章 WINDOWS デバイスでの BLUETOOTH の使用方法

はじめに

Bluetooth を装備しているデバイスは、周波数ホッピング方式スペクトル拡散 (FHSS: frequency-hopping spread spectrum) 無線周波数 (RF: radio frequency) を使用して 2.4GHz の産業科学医療用 (ISM: Industry Scientific and Medical) バンド (802.15.1) でデータを送受信することで、無線通信をすることができます。Bluetooth 無線テクノロジーは、短距離 (10m/32.8 フィート) 通信用に特別に開発された、低消費電力の通信技術です。

Bluetooth 機能を搭載した MC92N0-G は、電話機、プリンタ、アクセス ポイント、その他のモバイル コンピュータといった Bluetooth 対応デバイスと、情報 (ファイル、予定、タスクなど) を交換することができます。

Bluetooth テクノロジーを採用した MC92N0-G では、StoneStreet Bluetooth スタックまたは Microsoft Bluetooth スタックを使用します。StoneStreet One Bluetooth スタック API を使用するアプリケーションを作成する場合は、Enterprise Mobility Developer Kit (EMDK) Help を参照してください。

適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング (AFH: Adaptive Frequency Hopping) は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用することができます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク) 内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。重要な 802.11b 通信中は、Bluetooth 接続の確立や検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションから構成されています。

- チャンネル分類 - チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネル マスクで干渉を検出する方式です。
- リンク管理 - AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- ホップシーケンス修正 - ホッピング チャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- チャンネル メンテナンス - 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、Zebra 製のモバイル コンピュータはあらゆるインフラストラクチャで動作することができます。

MC92N0-G の Bluetooth 無線は、Class 2 デバイス パワー クラスとして動作します。最大出力は 2.5mW で、予想伝送距離は 32.8 フィート (10m) です。伝送距離は、出力やデバイスの違いや空間 (開放空間または閉鎖されたオフィス空間) によって左右されるため、パワー クラスに基づいて伝送距離を判断することは困難です。

- ✓ **注** 802.11b での高速な動作が求められる場合は、Bluetooth 無線テクノロジーの照会を実行することはお勧めしません。

セキュリティ

現在の Bluetooth 仕様は、リンク レベルでセキュリティを定義しています。アプリケーションレベルのセキュリティは指定されていません。このため、アプリケーション開発者は、各自のニーズに応じてカスタマイズしたセキュリティ メカニズムを定義することができます。リンクレベルのセキュリティは、ユーザー間ではなくデバイス間に適用されるのに対して、アプリケーションレベルのセキュリティはユーザーごとに実装することができます。Bluetooth の仕様では、デバイスの認証に必要なセキュリティ アルゴリズムとプロシージャ、および必要に応じてデバイス間で伝送されるデータを暗号化するためのセキュリティ アルゴリズムとプロシージャを定めています。デバイスの認証は、Bluetooth の必須の機能ですが、リンクの暗号化は任意の機能です。

Bluetooth デバイスのペアリングは、デバイスを認証して、デバイスのリンク キーを作成するための初期化キーを作成することで行われます。ペアリングしたデバイスの共通 PIN 番号を入力することで、初期化キーが生成されます。PIN 番号は無線で送信されません。デフォルトでは、Bluetooth スタックは、キーが要求されたときにキーなしで応答します (キー要求イベントに応答するかどうかはユーザー次第です)。Bluetooth デバイスの認証は、チャレンジレスポンス トランザクションをベースにしています。Bluetooth では、他の 128 ビットキーの作成に使用した PIN 番号またはパスキーをセキュリティ および暗号化のために使用することができます。暗号化キーは、ペアリング デバイスの認証に使用したリンク キーから導出されます。また、Bluetooth 無線の制限された伝送距離と高周波ホッピングにより、離れた場所からの盗聴が困難であることも特長の 1 つです。

推奨事項

- セキュリティ保護された環境でペアリングを行う
- PIN コードを公開しない。または PIN コードを MC92N0-G に保存しない
- アプリケーションレベルのセキュリティを実装する

Microsoft のスタックは Smart-pairing をサポートしています。詳細については、Microsoft MSDN を参照してください。

セキュリティ モード 3 (リンク レベル暗号化)

MC92N0-G はセキュリティ レベル 3 (リンク レベル暗号化) をサポートしています。リンク レベル暗号化は、2 つのデバイス間での転送時に、データ リンク レベルで情報を暗号化するデータ セキュリティ処理です。

Microsoft Bluetooth スタック

Microsoft Bluetooth UI を使用してリモート デバイスとペアリングするときは、セキュリティ レベル 3 (リンク レベル暗号化) が自動的に使用されます。Microsoft Bluetooth スタックを使用してアプリケーションを開発するときは、**BthSetEncryption** API コールを使用してセキュリティ モード 3 を有効にしてください。詳細については、Microsoft MSDN を参照してください。

StoneStreet One Bluetooth スタック

発信シリアル ポート接続にセキュリティ モード 3 を設定するには、[Settings] (設定) > [Security] (セキュリティ) タブで [Encrypt Link On All Outgoing Connections] (すべての送信接続でリンクを暗号化) チェックボックスをオンにします。詳細については、[5-2 ページの「セキュリティ」](#) を参照してください。

Bluetooth の設定

MC92N0-G は、デフォルトでは Microsoft スタックを使用するように設定されています。Microsoft Bluetooth スタックと StoneStreet One Bluetooth スタックを切り替える方法については、『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。

表 5-1 に、StoneStreet One Bluetooth スタックと Microsoft Bluetooth スタックでサポートされるサービスを示します。

表 5-1 Bluetooth サービス

Microsoft Bluetooth スタック		StoneStreet One Bluetooth スタック	
Windows Handheld	WinCE	Windows Handheld	WinCE
Serial Port Service (シリアルポートサービス)	Serial Port Service (シリアルポートサービス)	Serial Port Service (シリアルポートサービス)	Serial Port Service (シリアルポートサービス)
ダイヤルアップネットワーククライアントサービス		ダイヤルアップネットワーククライアントサービス	ダイヤルアップネットワーククライアントサービス
OBEX Object Push Service (OBEX オブジェクトプッシュサービス)		OBEX オブジェクトプッシュクライアント/ホストサービス	OBEX オブジェクトプッシュクライアント/ホストサービス
HID クライアントサービス		HID Client (HID クライアント) サービス	HID Client (HID クライアント) サービス
A2DP/AVRCP サービス		LAN クライアントサービス	LAN クライアントサービス
		ヘッドセット音声ゲートウェイクライアントサービス	Headset Audio Gateway Service (ヘッドセット音声ゲートウェイサービス)
Personal Area Networking (パーソナルエリアネットワーク) サービス		Personal Area Networking (パーソナルエリアネットワーク) サービス	Personal Area Networking (パーソナルエリアネットワーク) サービス
		ファイル転送クライアント/ホストサービス	ファイル転送クライアント/ホストサービス
		A2DP/AVRCP サービス	

表 5-2 に、StoneStreet One Bluetooth スタックと Microsoft Bluetooth スタックに使用できる COM ポートを示します。

表 5-2 COM ポート

Microsoft Bluetooth スタック	StoneStreet One Bluetooth スタック
COM5	COM5
COM9	COM9
	COM11
	COM21
	COM22
	COM23

Bluetooth の電源の状態

表 5-3 にウォームまたはコールド ブートの後の Bluetooth スタックの状態を示します。

表 5-3 Bluetooth の電源の状態

次の後	Windows Embedded Handheld Bluetooth スタック	Windows Embedded handheld Stone Street Bluetooth スタック	Windows CE Microsoft Bluetooth スタック	Windows CE Stone Street Bluetooth スタック
ウォーム ブート	状態を維持する	状態を維持する	状態を維持する	状態を維持する
コールド ブート	状態を維持する	状態を維持する	状態を維持しない	状態を維持しない

サスペンド

アクティブな Bluetooth 接続が確立されている場合、Bluetooth 無線は低電力モードに入り、アクティブな接続を保持します。アクティブな接続が確立されていない場合、Bluetooth 無線の電源がオフになります。

StoneStreet One Bluetooth スタックの場合

- ✓ **注** MC92N0-G と他の Bluetooth デバイス間でアクティブな Bluetooth 接続が確立されている場合、MC92N0-G はタイムアウトしません。ただし、MC92N0-G の電源ボタンを押すと MC92N0-G はサスペンド モードになり、リモートの Bluetooth デバイスからデータを受信するとサスペンド モードからウェイクアップします (たとえば、MC92N0-G に Bluetooth スキャナからデータが送信された場合)。

Microsoft Bluetooth スタックの場合

- ✓ **注** MC92N0-G と他の Bluetooth デバイス間でアクティブな Bluetooth 接続が確立されていて、データの通信状況がない場合、MC92N0-G はタイムアウトします。ただし、MC92N0-G の電源ボタンを押すと MC92N0-G はサスペンド モードになり、リモートの Bluetooth デバイスからデータを受信するとサスペンド モードからウェイクアップします (たとえば、MC92N0-G にヘッドセットからリダイヤル信号が送信された場合や Bluetooth スキャナからデータが送信された場合)。

再開

サスペンド前に Bluetooth がオンになっていた場合、MC92N0-G が再開されると Bluetooth はオンになります。

- MotoBTUI アプリケーション
- MotoBTUI アプリケーションを使用すると、次の操作を実行できます。
- Bluetooth 無線のオンとオフの切り替え
- デバイス情報の表示
- デバイス ステータスの制御
- ペ어링 バーコードの生成 (詳細については、4-7 ページの「RS507 のハンズフリー イメージャーの使用」を参照)
- FIPS キーの設定

[BTUI] ウィンドウ

デバイス情報

MC92N0-G の Bluetooth 情報を表示するには、次の手順に従います。

1. Windows Embedded デバイスで [Start] (スタート) > [MotoBTUI] をタップするか、Windows CE デバイスで [Start] (スタート) > [Programs] (プログラム) > [BTUI] をタップします。
2. [My Device Information] (マイ デバイス情報) をタップします。
3. デバイス情報が表示されます。
 - デバイス名
 - HCI バージョン番号
 - LMP バージョン番号
 - Bluetooth チップの製造業者名
 - BT UI バージョン番号
4. 戻るボタンをタップして、[MotoBTUI] ウィンドウに戻ります。

FIPS の構成

- ✓ **注** デフォルトで、MC92N0-G には FIPS キーがインストールされています。ユーザーは、必要に応じて新しい FIPS キーを生成できます。MC67 上で新しいキーを生成すると、他の Bluetooth デバイスでも同じキーを使用する必要があります。ユーザーは、キーを他のデバイスに転送する必要があります。

新しい FIPS キーを自動的に生成するには、次の手順に従います。

1. Windows Embedded デバイスで **[Start]** (スタート) > **[MotoBTUI]** をタップするか、Windows CE デバイスで **[Start]** (スタート) > **[Programs]** (プログラム) > **[MotoBTUI]** をタップします。
2. **[FIPS Configuration]** (FIPS 構成) をタップします。
3. **[Generate Key]** (キーを生成) ボタンをタップします。
4. **[Setup Key]** (キーを設定) ボタンをタップします。新しいキーが生成されます。**/Application** フォルダにキーファイル NewAESKey.reg が作成されます。
5. 戻るボタンをタップして、**[MotoBTUI]** ウィンドウに戻ります。

新しい FIPS キーを手動で生成するには、次の手順に従います。

1. Windows Embedded デバイスで **[Start]** (スタート) > **[MotoBTUI]** をタップするか、Windows CE デバイスで **[Start]** (スタート) > **[Programs]** (プログラム) > **[MotoBTUI]** をタップします。
2. **[FIPS Configuration]** (FIPS 構成) をタップします。
3. **[Enter Key]** (キーの入力) ボタンをタップします。
4. テキスト ボックスにキーを入力します。
5. **[Setup Key]** (セットアップ キー) ボタンをタップします。新しいキーが生成されます。**/Application** フォルダにキー ファイル NewAESKey.reg が作成されます。
6. 戻るボタンをタップして、**[MotoBTUI]** ウィンドウに戻ります。

新しい FIPS キーを別の Bluetooth デバイスに転送するには、次の手順に従います。

1. MC92N0-G から別の Bluetooth デバイスに、NewAESKey.reg ファイルをコピーします。ファイルを **/Application** フォルダに格納します。
2. **/Application** フォルダに移動します。
3. NewAESKey.reg ファイルを探して、ファイル名をタップします。**[RegMerge]** 確認ボックスが表示されます。
4. **[Yes]** (はい) をタップします。
5. ウォーム ブートを実行します。

デバイスの状況

[Device Status] (デバイスの状況) オプションを使用して、MC92N0-G が他の Bluetooth デバイスから見えるかどうかを設定します。**[Device Status]** (デバイスの状況) オプションにタッチすると、MC92N0-G が **[Hidden]** (非表示) から **[Discoverable]** (検出可能) に切り替わります。

Windows Embedded Handheld での Microsoft Bluetooth スタックの使用方法

このセクションでは、Windows Embedded Handheld オペレーティング システムで Microsoft Bluetooth スタックを使用する方法について説明します。

Bluetooth 無線モードのオン/オフの切り替え

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域 (航空機内など) に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスは MC92N0-G を検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。

✓ **注** 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。

Bluetooth の有効化

Bluetooth を有効にするには、次の手順に従います。

1. **[Wireless Manager]** (無線マネージャ) をタップしてから、**[Bluetooth]** バーをタップするか、または **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connections]** (接続) > **[Bluetooth]** アイコン > **[Mode]** (モード) タブをタップします。
2. **[Turn On Bluetooth]** (Bluetooth のオン) チェック ボックスをオンにします。
3. **[ok]** をタップします。

Bluetooth の無効化

Bluetooth を無効にするには、次の手順に従います。

1. **[Wireless Manager]** (無線マネージャ) をタップしてから、**[Bluetooth]** バーをタップするか、または **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connections]** (接続) > **[Bluetooth]** アイコン > **[Mode]** (モード) タブをタップします。
2. **[Turn On Bluetooth]** (Bluetooth のオン) チェック ボックスをオフにします。
3. **[ok]** をタップします。

Bluetooth デバイスを検出する

MC92N0-G は、検出されたデバイスと結合していなくても、そのデバイスから情報を受信することができます。ただし、結合しておく、Bluetooth 無線をオンにしたときに MC92N0-G と結合済みのデバイスは自動的に情報を交換します。詳細については、[5-33 ページの「検出したデバイスとのペアリング」](#)を参照してください。

通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。

- 2つのデバイスの距離が30フィート(10m)以下であることを確認します。
- [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Connections] (接続) タブ > [Bluetooth] アイコン > [Devices] (デバイス) タブをタップします。
- [Add new device] (新しいデバイスの追加) をタップします。MC92N0-G は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
- リストからデバイスを選択します。
- [Next] (次へ) をタップします。

✓ **注** スマートペアリングが設定されていて、定義済みの PIN の1つをデバイスが要求した場合は、[Enter Passcode] (パスコードの入力) ウィンドウは表示されません。

- 接続先デバイスのパスコードを入力します。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。
パスコードの入力を求めるメッセージが表示されます。デバイスに特定のパスコードがある場合は、それを [Passcode] (パスコード) フィールドに入力して [Next] (次へ) をタップします。デバイスに特定のパスコードがない場合は、任意のパスコードを [Passcode] (パスコード) フィールドに入力して [Next] (次へ) をタップします。Bluetooth 無線がそのデバイスとの接続を試行します。
- パスコードを作成した場合は、他方のデバイスで同じパスコードを入力するように要求されます。作成したパスコードを入力すると、ペアリング接続が確立されます (特定のパスコードを入力した場合は、接続先デバイスでの作業は必要ありません)。
- 接続が完了すると、マッチングリストとそのデバイスでサポートされているサービスが表示されます。
- 使用したいサービスを選択して、[Finish] (完了) をタップします。新しいデバイス上のサービスを選択する必要があります。そうしないと、デバイスのペアリングが確立されても、ペアリングにサービスが含まれません。サービスを選択しないと、パスコードを求めるメッセージが何度も表示されます。
- デバイスがメインウィンドウ上のリストに表示されます。
パスコードが両側で受け入れられると、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

使用可能なサービス

✓ **注** デバイスによっては、PIN を必要としないものもあります。必要とするかどうかは、デバイスの認証によって異なります。

Microsoft Bluetooth スタックおよび Windows Embedded Handheld が搭載された MC92N0-G は、次のサービスを提供します。

- ビームによる OBEX オブジェクト プッシュ
- シリアルポート
- パーソナルエリアネットワーク
- HID
- ダイアルアップネットワーク
- A2DP/AVRCP

これらのサービスについては、以降のセクションを参照してください。

Object Push Services via Beam (ビームによるオブジェクト プッシュ) サービス

✓ **注** ビーム機能で可能なのはリモート デバイスへのファイル送信だけです。

OBEX プッシュ サービスを使用して、別の Bluetooth デバイスにファイルや連絡先を送信できます。MC92N0-G と他の Bluetooth 対応デバイス間でファイルを転送するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. [Start] (スタート) > [Programs] (プログラム) > [File Explorer] (ファイル エクスプローラ) の順にタップします。
4. 転送するファイルに移動します。
5. ファイル名をタップし、ポップアップ メニューが表示されるまで押したままにします。



図 5-1 [File Explorer] (ファイル エクスプローラ) ウィンドウ

6. [Beam File] (ファイルのビーム) を選択します。MC92N0-G は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
7. ファイル送信先の Bluetooth デバイスの横にある [Tap to send] (タップして送信) をタップします。MC92N0-G はそのデバイスと通信しファイルを送信します。完了すると、[Tap to send] (タップして送信) が [Done] (完了) に変わります。

MC92N0-G と他の Bluetooth 対応デバイス間で連絡先を転送するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. [Start] (スタート) > [Contacts] (連絡先) をタップします。
4. 転送する連絡先に移動します。
5. その連絡先をタップし、ポップアップ メニューが表示されるまで押したままにします。
6. [Send Contact] (連絡先の送信) > [Beam] (ビーム) を選択します。MC92N0-G は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。

7. ファイル送信先の Bluetooth デバイスの横にある **[Tap to send]** (タップして送信) をタップします。MC92N0-G はそのデバイスと通信し連絡先を送信します。完了すると、**[Tap to send]** (タップして送信) が **[Done]** (完了) に変わります。

シリアルポート サービス

無線 Bluetooth シリアルポート接続は、物理的なシリアルケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアルポートに設定します。

シリアルポート接続を確立するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[Start]** (スタート) > **[Programs]** (プログラム) > **[BTScannerCtlPanel]** (BT スキャナ コントロール パネル) をタップします。
4. **[BT Scanner]** (BT スキャナ) チェックボックスをオンにしてから、ドロップダウン リストから適切な COM ポートを選択します。
5. **[Save and Exit]** (保存して終了) をタップします。
6. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Connections]** (接続) タブ > **[Bluetooth]** アイコン > **[Devices]** (デバイス) タブをタップします。
7. **[Add new device]** (新しいデバイスの追加) をタップします。MC92N0-G は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
8. リストからデバイスを選択します。
9. **[Next]** (次へ) をタップします。

✓ **注** スマートペアリングが設定されていて、定義済みの PIN の 1 つをデバイスが要求した場合は、**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウは表示されません。

10. パスコードを入力して **[Next]** (次へ) をタップします。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。
11. デバイス リストで、そのシリアル デバイスをタップします。 **[Partnership Settings]** (パートナーシップの設定) ウィンドウが表示されます。
12. **[Serial Port]** (シリアルポート) チェックボックスをオンにします。
13. **[Save]** (保存) をタップします。
14. **[COM Ports]** (COM ポート) タブをタップします。
15. **[New Outgoing Port]** (新しい発信ポート) をタップします。
16. リストでシリアル デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。
17. ドロップダウン リストから COM ポートを選択します。
18. **[Finish]** (完了) をタップします。

- ✓ **注** この時点では接続は確立されていません。Microsoft Bluetooth スタックが接続を開始するには、選択した COM ポートをアプリケーションで開く必要があります。

シリアルポートサービスを使用した ActiveSync

ActiveSync 用の無線 Bluetooth シリアルポート接続は、物理的なシリアルケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアルポートに設定する必要があります。

Bluetooth ActiveSync 接続を設定するには、次の手順に従います。

Bluetooth ActiveSync 接続を設定する前に、デバイスに Bluetooth 機能を設定してください。

- ✓ **注** セキュリティを確保するには、コンピュータに接続してインターネットまたはネットワークへのパススルーを行う前に、コンピュータのネットワークブリッジングを無効にします (特にリモート NDIS アダプタへのブリッジング)。ネットワークブリッジングについての詳細は、ご使用のコンピュータの **Windows ヘルプ** を参照してください。

以下の手順は、Windows XP SP2 以降のバージョンのオペレーティングシステムをサポートするコンピュータに適用されます。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
3. コンピュータで、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Control Panel] (コントロールパネル) をクリックします。
4. [Bluetooth Devices] (Bluetooth デバイス) をダブルクリックします。
5. [Options] (オプション) タブで、[Turn discovery on] (発見機能を有効にする) と [Allow Bluetooth devices to connect to this computer] (Bluetooth デバイスによる、このコンピュータへの接続を許可する) のチェックボックスをオンにします。

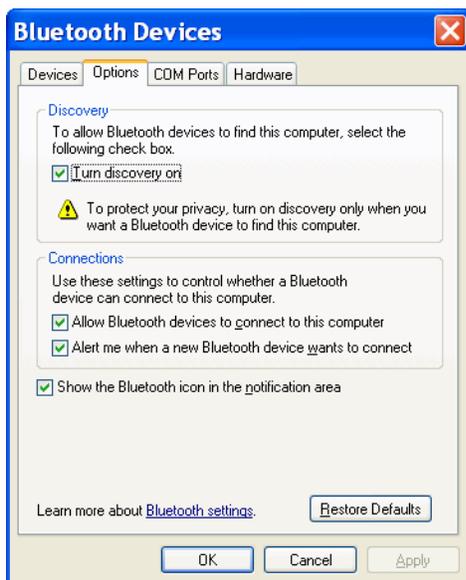


図 5-2 コンピュータの [Bluetooth Devices] (Bluetooth デバイス) ウィンドウ

6. [COM Ports] (COM ポート) タブで、[Add] (追加) をクリックします。
7. [Incoming (device initiates the connection)] (着信 (デバイスが接続を開始する)) オプションを選択して、[OK] をクリックします。
追加された COM ポートの番号を書き留めます。
8. [OK] をクリックします。
9. [Start] (スタート) > [All Programs] (すべてのプログラム) > [Microsoft ActiveSync] をクリックします。
10. [File] (ファイル) > [Connection Settings] (接続の設定) をクリックします。
11. [Allow connections to one of the following] (以下のいずれかの接続を有効にする) ドロップダウン リストで、先ほど書き留めた番号の COM ポートを選択します。
12. MC92N0-G で、[Start] (スタート) > [Programs] (プログラム) > [ActiveSync] をタップします。
13. [Menu] (メニュー) > [Connect via Bluetooth] (Bluetooth 経由で接続) をタップします。
自動的に同期が開始されます。[Today] (今日) 画面の右下に **ActiveSync** アイコンが表示されます。
認証が必要な場合は、[Enter Passcode] (パスコードの入力) 画面が表示されるので、英数字のパスキー (PIN コード) を入力して、[Next] (次へ) をタップします。もう一方のデバイスと同じパスキーを入力してください。
セキュリティを強化するため、パスキーの使用を推奨します。パスキーは 1 ~ 16 文字の英数字で指定してください。
パスキーを使用しない場合は、[Next] (次へ) をタップします。
14. ActiveSync 接続を切断するには、[Today] (今日) 画面の **ActiveSync** アイコンをタップします。
15. [Disconnect] (切断) をタップします。

Windows CE での Microsoft Bluetooth スタックの使用法

このセクションでは、Windows CE オペレーティング システムで Microsoft Bluetooth スタックを使用する方法について説明します。

電力モード

Bluetooth 無線では、通常の電力モードと低電力モードが自動的に切り替わります。データ転送が必要になると、無線は通常モードになります。非アクティブな状態が 5 秒間続くと、無線は低電力モードになります。

Bluetooth デバイスを検出する

MC92N0-G は、検出されたデバイスと結合していなくても、そのデバイスから情報を受信することができます。ただし、結合しておく、Bluetooth 無線をオンにしたときに MC92N0-G と結合済みのデバイスは自動的に情報を交換します。詳細については、[5-33 ページの「検出したデバイスとのペアリング」](#)を参照してください。

通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
4. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Control Panel]** (コントロール パネル) > **[Bluetooth Device Properties]** (Bluetooth デバイスのプロパティ) アイコンをタップします。



図 5-3 Bluetooth Manager

5. **[Scan Device]** (デバイスのスキャン) ボタンをタップします。MC92N0-G は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。検出されたデバイスは、リストに表示されます。
6. リストでデバイスをダブルタップします。ポップアップ メニューが表示されます。
7. **[Trusted]** (信頼あり) をタップします。
8. **[Yes]** (はい) をタップします。
9. PIN を入力してから **[OK]** をタップします。

10. 接続先デバイスの PIN を入力します。

PIN の入力を求めるメッセージが表示されます。デバイスに特定の PIN がある場合は、それを [PIN] フィールドに入力して [Next] (次へ) をタップします。デバイスに特定の PIN がない場合は、任意の PIN を [PIN] フィールドに入力して [Next] (次へ) をタップします。

11. メイン ウィンドウのリストに、デバイスとその横にキーが表示されます。

PIN が両側で受け入れられると、信頼された (ペアリングされた) 接続が作成されます。

- ✓ **注** デバイスによっては、PIN を必要としないものもあります。必要とするかどうかは、デバイスの認証によって異なります。

使用可能なサービス

- ✓ **注** Bluetooth デバイスに接続するには、アプリケーションでリモート デバイスとの接続を作成する必要があります。詳細については、MSDN のヘルプを参照してください。

Microsoft Bluetooth スタックおよび Windows CE が搭載された MC92N0-G は、シリアル ポート サービスのみをサポートします。

Bluetooth StoneStreet One Bluetooth スタックの使用方法

以降のセクションでは、Stone Street One Bluetooth スタックの使い方について説明します。

Bluetooth 無線モードのオン/オフの切り替え

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域 (航空機内など) に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスは MC92N0-G を検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。

- ✓ **注** 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。

Bluetooth の無効化 (Windows CE)

Bluetooth を無効にするには、**Bluetooth アイコン** > [Disable Bluetooth] (Bluetooth の無効化) をタップします。**Bluetooth アイコン**が変わり、Bluetooth が無効になったことを示します。



図 5-4 Bluetooth の無効化

Bluetooth の有効化 (Windows CE)

Bluetooth を有効にするには、**Bluetooth** アイコン > **[Enable Bluetooth]** (Bluetooth の有効化) をタップします。**Bluetooth** アイコンが変わり、Bluetooth が有効になったことを示します。

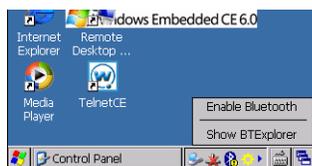


図 5-5 Bluetooth の有効化

Bluetooth の無効化 (Windows Embedded Handheld)

Bluetooth を無効にするには、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Connections]** (接続) > **[Wireless Manager]** (ワイヤレス マネージャー) をタップします。**[Bluetooth]** バーをタップして、Bluetooth を無効にします。

Bluetooth の有効化 (Windows Embedded Handheld)

Bluetooth を有効にするには、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Connections]** (接続) > **[Wireless Manager]** (ワイヤレス マネージャー) をタップします。**[Bluetooth]** バーをタップして、Bluetooth を有効にします。

モード

BTE Explorer アプリケーションには、**[Wizard Mode]** (ウィザード モード) と **[Explorer Mode]** (エクスプローラ モード) という 2 つの Bluetooth 接続管理モードがあります。**[Wizard Mode]** (ウィザード モード) は、Bluetooth を初めて使用するユーザー向けのモードで、**[Explorer Mode]** (エクスプローラ モード) は Bluetooth に精通しているユーザー向けのモードです。モードを切り替えるには、**[View]** (表示) > **[Wizard Mode]** (ウィザード モード) または **[View]** (表示) > **[Explorer Mode]** (エクスプローラ モード) を選択します。

[Wizard Mode] (ウィザード モード)

[Wizard Mode] (ウィザード モード) では、Bluetooth デバイスを検出して接続するための簡単な手順が示されます。

- ✓ **注** [Wizard Mode] (ウィザード モード) と [Explorer Mode] (エクスプローラ モード) の切り替えを行うと、確立されているすべての接続が切断されます。

[Wizard Mode] (ウィザード モード) では、ウィザードの手順に従って作成した簡潔な [Favorites] (お気に入り) ビューにデバイスとサービスが表示されます。

[Explorer Mode] (エクスプローラ モード)

[Explorer Mode] (エクスプローラ モード) ウィンドウは、容易にナビゲートすることができ、Bluetooth に精通しているユーザーに優れた制御機能を提供します。メニューバーから、デバイスの接続に使用するオプションとツールにすばやくアクセスできます。**[Explorer Mode]** (エクスプローラ モード) にアクセスするには、**[View]** (表示) > **[Explorer Mode]** (エクスプローラ モード) をタップします。

項目を「タップして押し続ける」ことで、使用可能なオプションを表示することもできます。スクロールバーと表示オプションは、Windows デスクトップのものに類似しています。ツリー構造で、次のサブ項目が表示されます。

- [Local Device] (ローカル デバイス) - このデバイス
- [Remote Device] (リモート デバイス) - 他の Bluetooth デバイス
 - [Trusted Devices] (信頼されたデバイス) - 結合済みの (ペアリングされた) Bluetooth デバイス
 - [Untrusted Devices] (信頼されていないデバイス) - 検出されたが結合されていないデバイス
- [Favorites] (お気に入り) - 選択し、すばやくアクセスできるようにお気に入りに設定したサービス。

✓ **注** [Wizard Mode] (ウィザード モード) と [Explorer Mode] (エクスプローラ モード) の切り替えを行うと、確立されているすべての接続が切断されます。

Bluetooth デバイスを検出する

MC92N0-G は、検出されたデバイスと結合していなくても、そのデバイスから情報を受信することができます。ただし、結合しておく、Bluetooth 無線をオンにしたときに MC92N0-G と結合済みのデバイスは自動的に情報を交換します。詳細については、[5-33 ページの「検出したデバイスとのペアリング」](#)を参照してください。

通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. MC92N0-G で必要なプロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[5-40 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ」](#)を参照してください。
4. 2つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
5. **Bluetooth** アイコンをタップして、**[Show BTEplorer]** (BTEplorer を表示) を選択します。

✓ **注** お気に入りの接続をすでに作成した場合は、**[Favorites]** (お気に入り) 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、**[New Connection Wizard]** (新規接続ウィザード) 画面が表示されます。

6. **[Menu]** (メニュー) > **[New Connection]** (新規接続) をタップします。**[New Connection Wizard]** (新規接続ウィザード) が表示されます。



図 5-6 [BTExplorer] ウィンドウ

7. ドロップダウン リストから [Explore Services on Remote Device] (リモート デバイス上のサービスを検索) または他のオプションを選択して、[Next] (次へ) をタップします。

✓ **注** デバイス検出操作を以前に実行したことがない場合は、デバイスの検出が自動的に開始されます。デバイスの検出を以前に実行したことがある場合は、デバイスの検出処理がスキップされ、以前に検出されたデバイスのリストが表示されます。新たにデバイスの検出を実行するには、ウィンドウをタップして押し続け、ポップアップメニューから [Discover Devices] (デバイスの検出) を選択します。

8. BTExplorer は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。



図 5-7 [Discover Devices] (デバイスの検出) ダイアログ ボックス

[Select Remote Device] (リモート デバイスの選択) ウィンドウに、検出されたデバイスが表示されます。

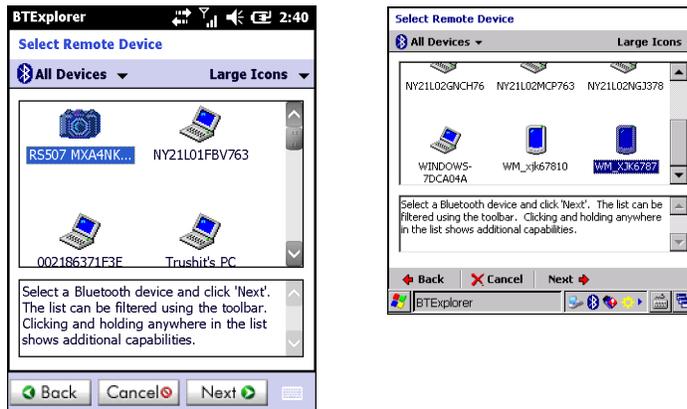


図 5-8 [Select Remote Device] (リモート デバイスの選択) ウィンドウ

- リストからデバイスを選択して、[Next] (次へ) をタップします。MC92N0-G は、選択した Bluetooth デバイス上でサービスを検索します。

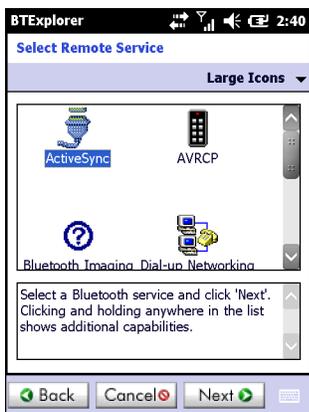


図 5-9 デバイスのサービス

- ✓ **注** MC92N0-G がサービスを検出したが、そのサービスをサポートしていない場合、サービス アイコンは淡色表示されます。

- リストからサービスを選択して、[Next] (次へ) を押します。



図 5-10 [Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション) ウィンドウ

11. [Favorite Name] (お気に入りの名前) テキスト ボックスで、このサービスの名前を入力します。この名前は、[Favorite] (お気に入り) ウィンドウに表示されます。そして、[Next] (次へ) をタップします。
12. [Connect] (接続) をタップして、サービスを [Favorite] (お気に入り) ウィンドウに追加して、サービスに接続します。

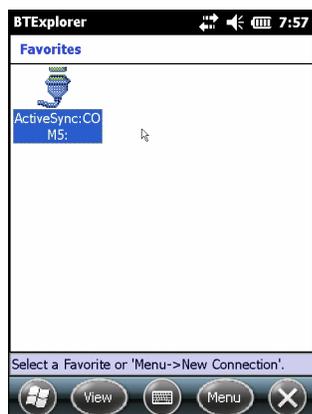


図 5-11 [Favorite] (お気に入り) ウィンドウ

使用可能なサービス

- ✓ **注** デバイスによっては、PIN を必要としないものもあります。必要とするかどうかは、デバイスの認証によって異なります。

これらのサービスについては、以降のセクションを参照してください。

File Transfer Service (ファイル転送サービス)

- ✓ **注** 共有フォルダは、セキュリティ上のリスクとなります。

MC92N0-G と他の Bluetooth 対応デバイス間でファイルを転送するには、次の手順に従います。

1. MC92N0-G で OBEX File Transfer (OBEX ファイル転送) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[5-40 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ」](#)を参照してください。

✓ **注** お気に入りの接続をすでに作成した場合は、**[Favorites]** (お気に入り) 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、**[New Connection Wizard]** (新規接続ウィザード) 画面が表示されます。

2. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Bluetooth デバイスを検索します。
3. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。**[Select Remote Service]** (リモート サービスの選択) ウィンドウが表示されます。
4. **[File Transfer]** (ファイル転送) を選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Favorite Options]** (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
5. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Summary]** (接続の概要) ウィンドウが表示されます。
6. **[Connect]** (接続) をタップします。リモート デバイスのアクセス可能なフォルダが表示されます。

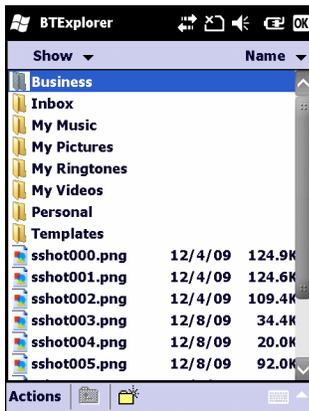


図 5-12 [File Transfer] (ファイル転送) ウィンドウ

7. コピーするファイルをダブルタップします。**[Save Remote File]** (リモート ファイルの保存) ウィンドウが表示されます。

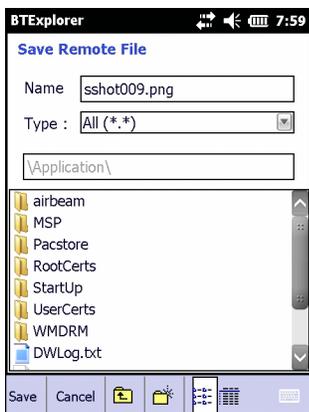


図 5-13 [Save Remote File] (リモート ファイルの保存) ウィンドウ

8. ファイルをタップして押し続けます。ポップアップ メニューが表示されます。

9. 実行する操作を選択します。

- **New** (新規) - リモート デバイス上にファイルまたはフォルダを新規作成します。
- **Delete** (削除) - リモート デバイス上の選択したファイルを削除します。
- **Get File** (ファイルを取得) - リモート デバイスから MC92N0-G にファイルをコピーします。
- **Put File** (ファイルをプット) - MC92N0-G からリモート デバイス にファイルをコピーします。

ファイルまたはフォルダの新規作成

リモート デバイス上にファイルまたはフォルダを新規作成するには、次の手順に従います。

1. 画面上をタップして押し続け、**[New]** (新規) > **[Folder]** (フォルダ) または **[New]** (新規) > **[File]** (ファイル) を選択します。**[Create New Folder]** (フォルダの新規作成) または **[Create New File]** (ファイルの新規作成) ウィンドウが表示されます。
2. 新しいフォルダまたはファイルの名前を入力します。
3. **[OK]** をタップして、リモート デバイス上にフォルダまたはファイルを新規作成します。

ファイルの削除

リモート デバイスからファイルを削除するには、次の手順に従います。

1. 削除するファイルをタップして押し続け、**[Delete]** (削除) を選択します。
2. **[Delete Remote Device File]** (リモート デバイスのファイルの削除) ダイアログ ボックスで、**[Yes]** (はい) をタップします。

ファイルの取得

リモート デバイスからファイルをコピーするには、次の手順に従います。

1. ファイルをダブルタップするか、タップして押し続けて、**[Get]** (取得) を選択します。
2. ファイルを保存するディレクトリへ移動します。
3. **[Save]** (保存) をタップします。リモート デバイスから MC92N0-G にファイルが転送されます。

ファイルのコピー

ファイルをリモート デバイスにコピーするには、次の手順に従います。

1. **[Action]** (操作) > **[Put]** (プット) をタップします。
2. ファイルを保存するディレクトリに移動して、ファイルを選択します。
3. **[Open]** (開く) をタップします。MC92N0-G からリモート デバイスにファイルがコピーされます。

アクセス ポイントを使用したインターネットへの接続

ここでは、ネットワーク接続用の Bluetooth 対応 LAN アクセス ポイント (AP) にアクセスする方法について説明します。Internet Explorer を使用してサーバーに接続します。

1. MC92N0-G が検出可能および接続可能になっていることを確認します。5-35 ページの「**[Device Info] (デバイス情報) タブ**」を参照してください。
2. MC92N0-G で **Personal Area Networking** (パーソナル エリア ネットワーク) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、5-40 ページの「**[Profiles] (プロファイル) タブ**」を参照してください。
3. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Bluetooth AP を検索します。

✓ **注** お気に入りの接続をすでに作成した場合は、**[Favorites]** (お気に入り) 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、**[New Connection Wizard]** (新規接続ウィザード) 画面が表示されます。

4. **[Personal Area Network]** (パーソナル エリア ネットワーク) または **[Network Access]** (ネットワーク アクセス) サービスを選択して、ポップアップ メニューから **[Connect]** (接続) を選択します。MC92N0-G は、アクセス ポイント経由で接続します。
5.  > **[Internet Explorer]** をタップします。
6. アドレス フィールドにインターネット アドレスを入力して、**[Enter]** ボタンをタップします。Web ページが読み込まれます。

✓ **注** Network Access Profile (ネットワーク アクセス プロファイル) はサポートしていません。

Dial-Up Networking Service (ダイヤルアップ ネットワーク サービス)

ダイヤルアップ ネットワークにより、MC92N0-G を Bluetooth 電話に接続して、この Bluetooth 電話をオフィスのネットワークや ISP に接続するモデムとして使用することができます。

ダイヤルアップ ネットワークの設定を行う前に、オフィスのネットワークまたは ISP に接続するのに必要なダイヤルアップ情報およびその他の必要な設定 (ユーザー名、パスワード、ドメイン名など) を取得してください。

新しい Bluetooth 接続を作成するには、次の手順に従います。

1. Bluetooth 電話が検出可能および接続可能になっていることを確認します。
2. MC92N0-G で **Dial-Up Networking** (ダイヤルアップ ネットワーク) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、5-40 ページの「**[Profiles] (プロファイル) タブ**」を参照してください。
3. **[Menu]** (メニュー) > **[New Connection]** (新規接続) をタップします。
4. ドロップダウン リストから **[Explore Services on Remote Device]** (リモート デバイス上のサービスを検索) または他のオプションを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。
5. **BTE Explorer** は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
[Select Remote Device] (リモート デバイスの選択) ウィンドウに、検出されたデバイスが表示されます。
6. リストから Bluetooth 電話を選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。MC92N0-G は、選択した Bluetooth 電話上でサービスを検索します。

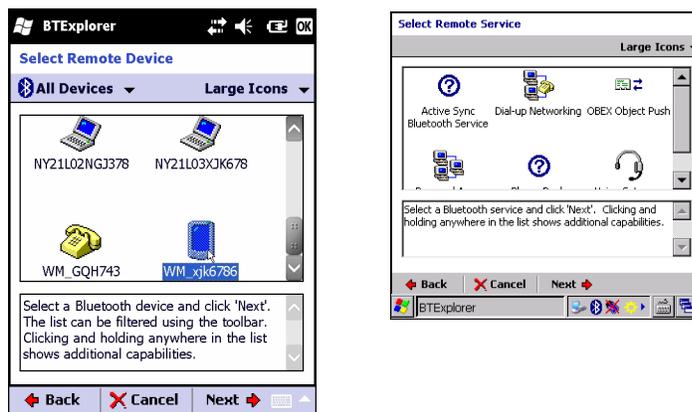


図 5-14 [Select Remote Service] (リモート サービスの選択) ウィンドウ

7. リストから [Dial-up Networking Gateway] (ダイヤルアップ ネットワーク ゲートウェイ) サービスを選択して、[Next] (次へ) をタップします。[Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。



図 5-15 [Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション) ウィンドウ

8. [Favorite Name] (お気に入りの名前) テキスト ボックスで、このサービスの名前を入力します。この名前は、[Favorite] (お気に入り) ウィンドウに表示されます。
9. [Next] (次へ) をタップします。[Connection Summary] (接続の概要) ウィンドウが表示されます。
10. [Connect] (接続) をタップします。[Select Dial-up Networking Entry] (ダイヤルアップ ネットワーク エントリの選択) ウィンドウが表示されます。

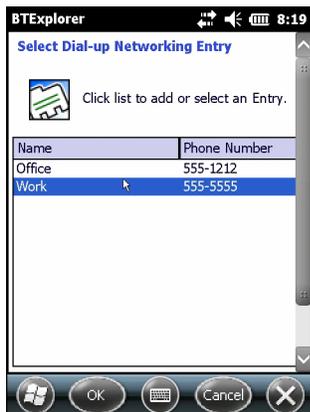


図 5-16 [Select Dial-up Networking Entry] (ダイヤルアップ ネットワーク エントリの選択) ウィンドウ

11. エントリを選択して、[OK] をタップします。MC92N0-G が Bluetooth 電話との通信を開始します。必要に応じて、MC92N0-G との通信許可が電話から要求されます。
12. 電話で接続を確認します。
13. [User name] (ユーザー名) テキスト ボックスにこの接続のユーザー名を入力します。
14. [Password] (パスワード) テキスト ボックスにこの接続のパスワードを入力します。
15. 必要に応じて、[Domain] (ドメイン) テキスト ボックスにこの接続のドメイン名を入力します。
16. [Finish] (完了) または [Connect] (接続) をタップします。
17. 電話がダイヤルを開始してネットワークに接続します。
18. セッションを終了するには、[Connection] (接続) アイコンをタップし、ダイアログ ボックスで [Disconnect] (切断) をタップします。

ダイヤルアップ エントリの追加

ダイヤルアップ エントリを追加するには、次の手順に従います。

1. [Select Dial-up Networking Entry] (ダイヤルアップ ネットワーク エントリの選択) ウィンドウをタップして押し続け、ポップアップ メニューから [Add Entry] (エントリを追加) を選択します。



図 5-17 [Select Dial-up Networking Entry] (ダイヤルアップ ネットワーク エントリの選択) ウィンドウ

2. [Add Phone Book Entry] (電話帳エントリの追加) ウィンドウが表示されます。

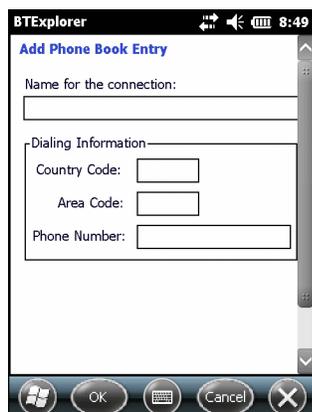


図 5-18 [Add Phone Book Entry] (電話帳エントリの追加) ウィンドウ

3. [Name for the Connection] (接続の名前) テキスト ボックスにこの接続の名前を入力します。
4. [Country Code] (国コード) テキスト ボックスに発信先の国コードを入力します。
5. [Area Code] (市外局番) テキスト ボックスに市外局番を入力します。
6. [Phone Number] (電話番号) テキスト ボックスに電話番号を入力します。
7. [OK] をタップします。

Object Exchange Push Services (オブジェクト交換プッシュ サービス)

Object Exchange (OBEX) は、Bluetooth を使用して連絡先や画像などのオブジェクトを 共有できるようにする一連のプロトコルです。

他の Bluetooth 対応デバイスと連絡先情報を交換するには、次の手順に従います。

1. MC92N0-G が検出可能および接続可能になっていることを確認します。5-35 ページの「[Device Info] (デバイス情報) タブ」を参照してください。

2. MC92N0-G で **OBEX Object Push** (OBEX オブジェクト プッシュ) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[5-40 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ」](#)を参照してください。

✓ **注** お気に入りの接続をすでに作成した場合は、**[Favorites]** (お気に入り) 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、**[New Connection Wizard]** (新規接続ウィザード) 画面が表示されます。

3. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Bluetooth デバイスを検索します。
4. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。
5. **[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) サービスを選択して **[Next]** (次へ) を選択します。
6. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Summary]** (接続の概要) ウィンドウが表示されます。
7. **[Connect]** (接続) をタップします。**[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウが表示されます。
8. **[Action]** (操作) ドロップダウン リストで、次のいずれかのオプションを選択します。**[Send Contact Information]** (連絡先情報の送信)、**[Swap Contact Information]** (連絡先情報の入れ替え)、**[Fetch Contact Information]** (連絡先情報の取得)、**[Send a Picture]** (画像の送信)。

連絡先の送信

他のデバイスに連絡先を送信するには、次の手順に従います。

✓ **注** 連絡先を送信および受信する前に、デフォルトの連絡先を設定する必要があります。

1. **[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) をタップして押し続けて、**[Connect]** (接続) を選択します。



図 5-19 **[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウ

2. **[Action]** (操作) ドロップダウン リストで、**[Send Contact Information]** (連絡先情報の送信) を選択します。
3. **[...]** をタップします。
4. 他のデバイスに送信する連絡先を選択します。
5. **[OK]** をタップします。

6. [OK] をタップして、他のデバイスに連絡先を送信し、連絡先を受け付けるための確認ダイアログ ボックスを他のデバイスに表示します。[Send Contact] (連絡先の送信) ダイアログ ボックスが表示されます。
7. [OK] をタップします。

連絡先の入れ替え

他のデバイスと連絡先を入れ替えるには、次の手順に従います。

- ✓ **注** 連絡先を入れ替える場合は、連絡先を送信する前にデフォルトの連絡先を設定する必要があります。
MC92N0-G が接続可能になっていることを確認します。

1. [OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) をタップして押し続けて、[Connect] (接続) を選択します。
[OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウが表示されます。



図 5-20 [OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウ

2. [Action] (操作) ドロップダウン リストで、[Swap Contact Information] (連絡先情報の入れ替え) を選択します。
3. [...] をタップします。
4. 他のデバイスに送信する連絡先を選択します。
5. [OK] をタップします。
6. [OK] をタップして、他のデバイスと連絡先を入れ替えて、連絡先を受け付けるための確認ダイアログ ボックスを他のデバイスに表示します。
7. [OK] をタップします。

連絡先の取得

他のデバイスから連絡先を取得するには、次の手順に従います。

- ✓ **注** 連絡先を送信および受信する前に、デフォルトの連絡先を設定する必要があります。
MC92N0-G が接続可能になっていることを確認します。

1. **[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) をタップして押し続けて、**[Connect]** (接続) を選択します。**[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウが表示されます。

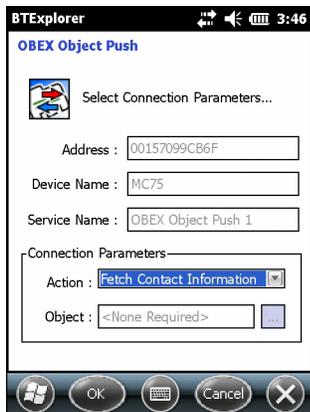


図 5-21 **[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウ

2. **[Action]** (操作) ドロップダウン リストで、**[Fetch Contact Information]** (連絡先情報の取得) を選択します。
3. **[OK]** をタップします。他のデバイス上の連絡先がコピーされます。

画像の送信

他のデバイスへ画像を送信するには、次の手順に従います。

1. **[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) をタップして押し続けて、**[Connect]** (接続) を選択します。**[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウが表示されます。

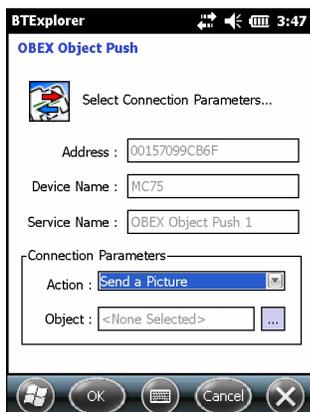


図 5-22 **[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウ

2. **[Action:]** (操作:) ドロップダウン リストで、**[Send A Picture]** (画像の送信) を選択します。
3. **[...]** をタップします。**[Send Local Picture]** (ローカルの画像の送信) ウィンドウが表示されます。

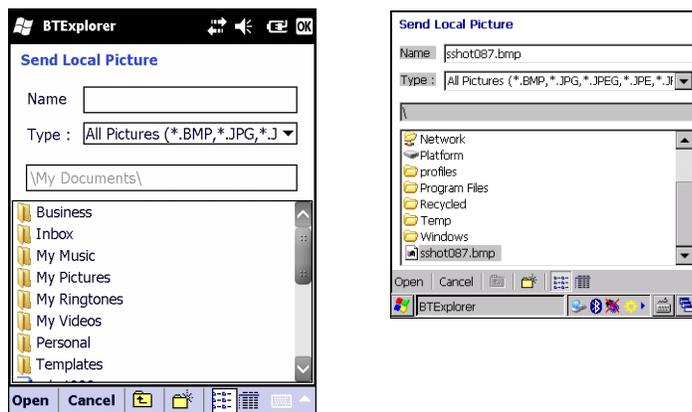


図 5-23 [Send Local Picture] (ローカルの画像の送信) ウィンドウ

4. 他のデバイスに送信する画像を選択します。
5. **[Open]** (開く) をタップします。
6. **[OK]** をタップして、他のデバイスに画像を送信します。送信先のデバイスに、画像を受け付けるための確認ダイアログ ボックスが表示されます。**[Send Picture]** (画像の送信) ダイアログ ボックスが表示されます。
7. **[OK]** をタップします。

ヘッドセット サービス

Bluetooth ヘッドセットに接続するには、次の手順に従います。

- ✓ **注** 最近の Bluetooth ヘッドセットは、デバイス依存型で、前回接続したデバイスを記憶しています。ヘッドセットの接続時に問題が発生した場合は、ヘッドセットを検出モードにしてください。詳細については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

1. MC92N0-G が接続可能になっていることを確認します (自動再接続の開始時に必要です)。5-35 ページの「**[Device Info]** (デバイス情報) タブ」を参照してください。
2. MC92N0-G で **Headset** (ヘッドセット) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、5-40 ページの「**[Profiles]** (プロファイル) タブ」を参照してください。
3. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Bluetooth ヘッドセットを検索します。
4. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。
5. **[Headset]** (ヘッドセット) サービス名を選択して、**[Connect]** (接続) を選択します。MC92N0-G がヘッドセットに接続されます。Bluetooth デバイスとの通信に関する指示については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

- ✓ **注** Bluetooth ヘッドセットと Headset Service (ヘッドセット サービス) を使用している場合、ヘッドセットで通話を受けたり終了させることはできません。MC92N0-G で通話を受けたり終了させたりする必要があります。

6. ヘッドセットの通信ボタンを押します。これにより、システム音声ヘッドセットに送信されます。
7. 音声を MC92N0-G に戻すには、ヘッドセットの通信ボタンを押します。

シリアルポート サービス

無線 Bluetooth シリアル ポート接続は、物理的なシリアル ケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアル ポートに設定します。

シリアル ポート接続を確立するには、次の手順に従います。

1. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Bluetooth シリアル デバイスを検索します。
2. デバイスを選択して、[Next] (次へ) をタップします。[Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
3. [Local COM Port:] (ローカル COM ポート:) ドロップダウン リストで、COM ポートを選択します。
4. [Finish] (完了) をタップします。

シリアルポートサービスを使用した ActiveSync

- ✓ **注** デフォルトでは、COM ポート COM5、COM9、COM11、COM21、COM22、および COM23 が Bluetooth 仮想ポートです。アプリケーションがこれらのいずれかのポートを開くと、Bluetooth ドライバが有効になり、Bluetooth 接続を確立するための手順が表示されます。

ActiveSync 用の無線 Bluetooth シリアル ポート接続は、物理的なシリアル ケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアル ポートに設定する必要があります。



図 5-24 PC の [ActiveSync Connection Settings] (ActiveSync 接続設定) ウィンドウ

ActiveSync 接続を確立するには、次の手順に従います。

- ✓ **注** ActiveSync 接続を作成するときは、ウィザード モードで StoneStreet One Bluetooth エクスプローラだけを使用します。

1. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、PC などの Bluetooth デバイスを検索します。ドロップダウン リストで、[ActiveSync via Bluetooth] (Bluetooth 経由で ActiveSync) を選択します。
2. デバイスを選択して、[Next] (次へ) をタップします。[Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。

3. **[Connect]** (接続) をタップします。**[Remote Service Connection]** (リモート サービス接続) ウィンドウが表示されます。

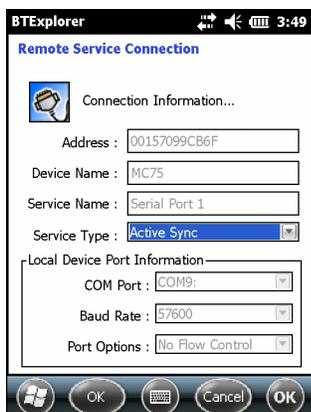


図 5-25 **[Remote Service Connection]** (リモート サービス接続) ウィンドウ

4. **[Service Type]** (サービスのタイプ) ドロップダウン リストで、**[ActiveSync]** を選択します。
5. **[OK]** をタップします。MC92N0-G が PC への接続を確立し、ActiveSync セッションが開始されます。
6. **[Finish]** (完了) をタップします。**[Connection Favorite Options]** (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
7. セッションを終了するには、**[Favorite]** (お気に入り) ウィンドウで ActiveSync アイコンをタップして、ポップアップ ウィンドウから **[Disconnect]** (切断) を選択します。

パーソナル エリア ネットワーク サービス

- ✓ **注** このプロファイルは、アドホックおよび PAN ユーザーをサポートしています。ネットワーク アクセス プロファイルはサポートしていません。

複数の Bluetooth デバイスを接続して、ファイルを共有したり、共同作業を行ったり、マルチプレイヤー ゲームをプレイしたりすることができます。パーソナル エリア ネットワーク接続を確立するには、次の手順に従います。

1. MC92N0-G で **Personal Area Networking** (パーソナル エリア ネットワーク) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[5-40 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ](#)を参照してください。
2. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Bluetooth デバイスを検索します。
3. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Favorite Options]** (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
4. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Summary]** (接続の概要) ウィンドウが表示されます。
5. **[Connect]** (接続) をタップします。MC92N0-G が Bluetooth デバイ스에接続されます。

A2DP/AVRCP サービス

A2DP/AVRCP は高品質ステレオ ヘッドセットに接続する場合に使用します。

1. MC92N0-G が接続可能になっていることを確認します (自動再接続の開始時に必要です)。 [5-35 ページの「\[Device Info\] \(デバイス情報\) タブ](#)を参照してください。

2. リモート Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。手順はデバイスのユーザー マニュアルを参照してください
3. MC92N0-G で **A2DP/AVRCP** プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[5-40 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ](#)」を参照してください。
4. **[Menu]** (メニュー) > **[Settings]** (設定) > **[Services]** (サービス) タブをタップします。
5. **[Add]** (追加) ボタンをタップします。
6. **Advanced Audio Distribution Services** (高品質オーディオ配信サービス) を選択します。
7. **[OK]** を 3 回タップします。
8. **[Menu]** (メニュー) > **[New Connection]** (新規接続) をタップします。
9. ドロップダウン リストから **[Connect to High-Quality Audio]** (高品質オーディオ デバイスに接続) を選択します。
10. **[Next]** (次へ) をタップします。
11. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。
12. リモート デバイスの PIN コードを入力して **[OK]** をタップします。
13. **[Next]** (次へ) をタップします。
14. **[Connect]** (接続) をタップします。MC92N0-G が高品質オーディオ ヘッドセットに接続されます。

HID デバイスの接続

MC92N0-G は、Bluetooth キーボードなどのヒューマン インタフェース デバイス (HID) を接続できます。

1. MC92N0-G が接続可能になっていることを確認します (自動再接続の開始時に必要です)。 [5-35 ページの「\[Device Info\] \(デバイス情報\) タブ](#)」を参照してください。
2. リモート Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。手順はデバイスのユーザー マニュアルを参照してください
3. MC92N0-G で **HID Client** (HID クライアント) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[5-40 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ](#)」を参照してください。
4. **[Menu]** (メニュー) > **[New Connection]** (新規接続) をタップします。
5. ドロップダウン リストから **[Explore Services on Remote Device]** (リモート デバイス上のサービスを検索) を選択します。
6. **[Next]** (次へ) をタップします。
7. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。
8. サービス を選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。
9. **[Next]** (次へ) をタップします。
10. **[Connect]** (接続) をタップします。MC92N0-G が HID デバイスに接続されます。

検出したデバイスとのペアリング

ペアリングとは、セキュリティ保護された方法で情報を交換するために、MC92N0-G と他の Bluetooth デバイス間で構築される関係です。ペアリングには、2 つのデバイスに同じ PIN を入力することが含まれます。ペアリングして Bluetooth 無線をオンにすると、デバイスはペアリングを認識し、再度 PIN を入力することなく情報を交換することができます。

検出された Bluetooth デバイスとペアリングするには、次の手順に従います。

✓ **注** お気に入りの接続をすでに作成した場合は、[Favorites] (お気に入り) 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、[New Connection Wizard] (新規接続ウィザード) 画面が表示されます。

1. **Bluetooth** アイコンをタップして、[Show BTE Explorer] (BTE Explorer を表示) を選択します。[BTE Explorer] ウィンドウが表示されます。
2. [Menu] (メニュー) > [New Connection] (新規接続) をタップします。[New Connection Wizard] (新規接続ウィザード) が表示されます。
3. ドロップダウン リストで [Pair with Remote Device] (リモート デバイスとペアリング) を選択します。
4. [Next] (次へ) をタップします。[Select Remote Device] (リモート デバイスの選択) ウィンドウが表示されます。

✓ **注** 時間を節約するために、以前に検出されたデバイスが表示されます。新たにデバイスの検出を実行するには、リスト領域をタップして押し続け、ポップアップメニューから [Discover Devices] (デバイスの検出) を選択します。



図 5-26 [Select Remote Device] (リモート デバイスの選択) ウィンドウ

5. リストからデバイスを選択して、[Next] (次へ) をタップします。[PIN Code Request] (PIN コード要求) ウィンドウが表示されます。

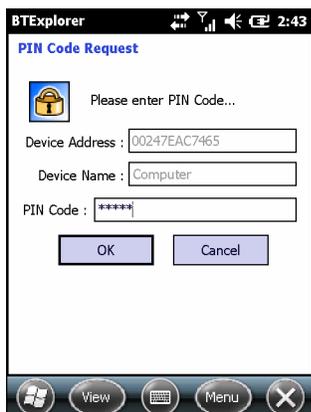


図 5-27 [PIN Request] (PIN 要求) ウィンドウ

6. [PIN Code] (PIN コード) フィールドに PIN コードを入力します。
7. [OK] をタップします。[Pairing Status] (ペアリングのステータス) ウィンドウが表示されます。
8. [Finish] (完了) をタップします。デバイスが正常にペアリングされます。デバイス名が [Trusted Devices] (信頼されたデバイス) ウィンドウに移動します。

ペアリングされたデバイスの削除

不要になったデバイスを削除するには、次の手順に従います。

1. Bluetooth アイコンをタップして、[Show BTExplorer] (BTExplorer を表示) を選択します。[BTExplorer] ウィンドウが表示されます。
2. [Menu] (メニュー) > [Trusted Devices] (信頼されたデバイス) をタップします。[Trusted Devices] (信頼されたデバイス) ウィンドウが表示されます。
3. デバイスをタップして押し続け、ポップアップメニューで [Delete Link Key] (リンク キーの削除) を選択します。
4. 確認ダイアログ ボックスが表示されます。[Yes] (はい) をタップします。

ペアリングの了承

リモートデバイスが MC92N0-G とペアリングすることを求めている場合、PIN を入力して権限を与えます。

1. MC92N0-G が検出可能および接続可能になっていることを確認します。5-35 ページの「Bluetooth の設定」を参照してください。リモート デバイスとのペアリングが求められると、[PIN Code Request] (PIN コード要求) ウィンドウが表示されます。



図 5-28 [PIN Code Request] (PIN コード要求) ウィンドウ

2. **[PIN Code:]**(PIN コード:) テキスト ボックスに、ペアリングを求めているデバイスと同じ PIN を入力します。PIN は、1 ~ 16 文字でなければなりません。
3. 必要に応じて、**[Device Name:]** (デバイス名:) テキスト ボックスで、ペアリングを求めているデバイスの名前を編集します。
4. **[OK]** をタップして、ペアリングを構築します。これで MC92N0-G は、他のデバイスと情報を交換することができます。

Bluetooth の設定

[BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) ウィンドウを使用して、**BTExplorer** アプリケーションの動作を設定します。**[Menu]** (メニュー) > **[Settings]** (設定) をタップします。

[Device Info] (デバイス情報) タブ

[Device Info] (デバイス情報) タブを使用して、MC92N0-G の Bluetooth 接続モードを設定します。

- **[Device Name]** (デバイス名) - MC92N0-G の名前が表示されます。
- **[Discoverable Mode]** (検出可能モード) - 他の Bluetooth デバイスが MC92N0-G を検出できるようにするかどうかを選択します。
- **[Connectable Mode]** (接続可能モード) - 他の Bluetooth デバイスが MC92N0-G に接続できるようにするかどうかを選択します。

[Services] (サービス) タブ

- ✓ **注** リモート デバイスで MC92N0-G サービスを使用するときは、MC92N0-G が検出可能で接続可能になっていることを確認してください。

[Services] (サービス) タブを使用して、Bluetooth サービスを追加または削除します。

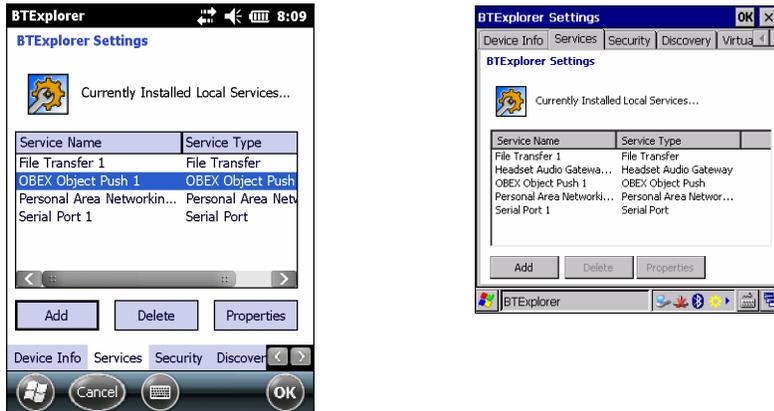


図 5-29 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Services] (サービス) タブ

サービスを追加するには、次の手順に従います。

1. [Add] (追加) をタップします。[Add Local Service] (ローカル サービスの追加) ウィンドウが表示されます。



図 5-30 [Add Local Service] (ローカル サービスの追加) ウィンドウ

2. リストで、追加するサービスを選択します。
3. [OK] をタップします。選択したサービスの [Edit Local Service] (ローカル サービスの編集) ウィンドウが表示されます。
4. 適切な情報を選択して、[OK] をタップします。使用可能なサービスについては、以降のセクションを参照してください。

Dial-Up Networking Service (ダイヤルアップ ネットワーク サービス)

Dial-Up Networking Service (ダイヤルアップ ネットワーク サービス) により、他の Bluetooth デバイスがダイヤルアップ モデムにアクセスできるようになります。

- [Service Name] (サービス名) - サービス名が表示されます。
- [Service Security] (サービス セキュリティ) - ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。[None] (なし)、[Authenticate] (認証)、または [Authenticate/Encrypt] (認証/暗号化) を選択できます。
- [Local COM Port] (ローカル COM ポート) - COM ポートを選択します。

- **[Local Baud Rate]** (ローカル ボーレート) - 通信ボーレートを選択します。
- **[Local Port Options]** (ローカル ポートのオプション) - ポートのオプションを選択します。

File Transfer Service (ファイル転送サービス)

File Transfer Service (ファイル転送サービス) により、他の Bluetooth デバイスがファイルを参照できるようになります。



図 5-31 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [File Transfer Information] (ファイル転送情報)

- **[Service Name]** (サービス名) - サービス名が表示されます。
- **[Service Security]** (サービス セキュリティ) - ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。**[None]** (なし)、**[Authenticate]** (認証)、または **[Authenticate/Encrypt]** (認証/暗号化) を選択できます。
- **[Root Directory]** (ルート ディレクトリ) - 他の Bluetooth デバイスがアクセスすることができるディレクトリを選択します。
- **[File Permissions]** (ファイル権限) - 選択したディレクトリのファイル権限を選択します。適切なボックスをオンにして、読み取りアクセス権、書き込みアクセス権、および削除アクセス権を与えます。

Headset Audio Gateway Service (ヘッドセット音声ゲートウェイ サービス)

Headset Audio Gateway Service (ヘッドセット音声ゲートウェイ サービス) により、ヘッドセット デバイスに接続できるようになります。

- **[Service Name]** (サービス名) - 音声サービスの名前が表示されます。

OBEX Object Push Service (OBEX オブジェクト プッシュ サービス)

OBEX オブジェクト プッシュ サービスにより、他の Bluetooth デバイスが連絡先、名刺、画像、予定、およびタスクを MC92N0-G にプッシュできるようになります。

- **[Service Name]** (サービス名) - サービス名が表示されます。
- **[Service Security]** (サービス セキュリティ) - ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。**[None]** (なし)、**[Authenticate]** (認証)、または **[Authenticate/Encrypt]** (認証/暗号化) を選択できます。
- **[Do not allow clients to push objects]** (クライアントがオブジェクトをプッシュするのを許可しない) - クライアントがオブジェクトを MC92N0-G にプッシュできないようにします。

- **[Inbox Directory]** (受信ディレクトリ) - 他の Bluetooth デバイスがファイルを保存することができるディレクトリを選択します。

Personal Area Networking Service (パーソナルエリア ネットワーク サービス)

Personal Area Networking Service (パーソナル エリア ネットワーク サービス) は、他の Bluetooth デバイスと通信することができるパーソナル エリア ネットワークをホストします。

- **[Service Name]** (サービス名) - サービス名が表示されます。
- **[Service Security]** (サービス セキュリティ) - ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。**[None]** (なし)、**[Authenticate]** (認証)、または **[Authenticate/Encrypt]** (認証/暗号化) を選択できます。
- **[Support Group Ad-Hoc Networking]** (グループアドホック ネットワークをサポート) - 選択すると、アドホック ネットワークが有効になります。

Serial Port Service (シリアル ポート サービス)

Serial Port Service (シリアル ポート サービス) により、他の Bluetooth デバイスが COM ポートにアクセスできるようになります。

- **[Service Name]** (サービス名) - サービス名が表示されます。
- **[Service Security]** (サービス セキュリティ) - ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。**[None]** (なし)、**[Authenticate]** (認証)、または **[Authenticate/Encrypt]** (認証/暗号化) を選択できます。
- **[Local COM Port]** (ローカル COM ポート) - COM ポートを選択します。
- **[Local Baud Rate]** (ローカル ボーレート) - 通信ボーレートを選択します。
- **[Local Port Options]** (ローカル ポートのオプション) - ポートのオプションを選択します。

Advanced Audio Distribution Service (高品質オーディオ配信サービス)

Advanced Audio Distribution (高品質オーディオ配信) サービスは、高品質ステレオ オーディオをサポートする Bluetooth デバイスとの接続を提供します。

- **[Service Name]** (サービス名) - 音声サービスの名前が表示されます。

Audio Video Remote Control Service (オーディオ ビデオ リモートコントロール サービス)

Audio Video Remote Control (オーディオ ビデオ リモート コントロール) は、オーディオ リモート コントロール 機能をサポートする Bluetooth デバイスとの接続を提供します。

- **[Service Name]** (サービス名) - 音声サービスの名前が表示されます。

[Security] (セキュリティ) タブ

セキュリティ設定では、Bluetooth のグローバル セキュリティ ポリシーを設定できます。これらの設定は、**[Authenticate]** (認証) または **[Authenticate/Encryption]** (認証/暗号化) に設定したローカル サービスでのみ有効です。ローカル サービスの認証は、**[Services]** (サービス) タブで設定できます。

個別のサービスのセキュリティ設定を調整するには、**[Services]** (サービス) タブを選択し、個別のサービスを選択して、**[Properties]** (プロパティ) を選択します。



図 5-32 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Security] (セキュリティ)

- ✓ **注** PIN コードを使用するには、各ローカル サービスの [Service Security] (サービスのセキュリティ) ドロップダウン リストで [Authenticate] (認証) または [Authenticate/Encryption] (認証/暗号化) を選択します。
- [Use PIN Code (Incoming Connection)] (PIN コードを使用 (受信接続)) - オンにすると、[PIN Code] (PIN コード) テキスト ボックスに入力した PIN コードを自動的に使用します。この自動 PIN コード機能は使用しないことをお勧めします。詳細については、[5-2 ページの「セキュリティ」](#)を参照してください。
 - [PIN Code] (PIN コード) - PIN コードを入力します。
 - [Encrypt Link On All Outgoing Connections] (すべての送信接続でリンクを暗号化) - 他の Bluetooth デバイスへの送信接続で暗号化を有効にするかまたは無効にするかを選択します。

[Discovery] (検出) タブ

[Discovery] (検出) タブを使用して、検出されたデバイスを設定または変更します。



図 5-33 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Discovery] (検出)

- [Inquiry Length] (照会時間) - MC92N0-G がエリア内の Bluetooth デバイスを検出する時間を設定します。
- [Name Discovery Mode] (名前検出モード) - [Automatic] (自動) または [Manual] (手動) を選択して、Bluetooth デバイスを検出した後にデバイス名を自動的に検出するかどうかを指定します。

- **[Discovered Devices]** (検出されたデバイス) - **[Delete Devices]** (デバイスの削除) - 検出されたすべてのデバイスとリンク キーをメモリから削除します。
- **[Discovered Devices]** (検出されたデバイス) - **[Delete Linked Keys]** (リンク キーの削除) - リモートの Bluetooth デバイスからすべてのペアリングを削除し、すべてのデバイスを信頼されていないデバイスにします。

[Virtual COM Port] (仮想 COM ポート) タブ

[Virtual COM Port] (仮想 COM ポート) では、BTExplorer が仮想 COM ポートに使用する COM ポートを定義します。仮想 COM ポートとして使用するポートのチェックボックスをオンにします。設定が完了したら、**[Apply]** (適用) を選択して変更を適用するか、**[Revert]** (元に戻す) を選択して元の設定に戻します。

- **[COM5:Bluetooth]** - COM ポート 5 の有効/無効を切り替えます。
- **[COM9:Bluetooth]** - COM ポート 9 の有効/無効を切り替えます。
- **[COM11:Bluetooth]** - COM ポート 11 の有効/無効を切り替えます。
- **[COM21:Bluetooth]** - COM ポート 21 の有効/無効を切り替えます。
- **[COM22:Bluetooth]** - COM ポート 22 の有効/無効を切り替えます。
- **[COM23:Bluetooth]** - COM ポート 23 の有効/無効を切り替えます。

[HID] タブ

[HID] タブを使用して、ヒューマン インタフェース デバイスを設定します。Human Interface Device Profile (ヒューマン インタフェース デバイス プロファイル) プログラミング インタフェースは、HID の機能を実装するためのプロトコルとプロシージャを定義します。

マウス、ジョイスティック、キーボードなどのデバイスのサポートを提供します。

- **[Enable Key Repeat]** (キー リピートを有効にする) - キー リピートが有効になります。
- **[Delay]** (待ち時間) - キー リピートの待ち時間を長くするには、**[Delay]** (待ち時間) スライダを右にドラッグします。キー リピートの待ち時間を短くするには、**[Delay]** (待ち時間) スライダを左にドラッグします。
- **[Rate]** (速度) - キー リピート速度を速くするには、**[Rate]** (速度) スライダを左にドラッグします。キー リピート速度を遅くするには、**[Rate]** (速度) スライダを右にドラッグします。

[Profiles] (プロファイル) タブ

[Profiles] (プロファイル) タブを使用して、Bluetooth サービス プロファイルの読み込みまたは削除を行います。使用していないプロファイルを削除すれば、メモリを節約できます。

1. プロファイルを読み込む (有効にする) には、プロファイルの横にあるチェックボックスをタップします。
[Serial Port] (シリアル ポート) プロファイルは、常に有効になっていて、削除することはできません。
2. すべてのプロファイルを選択する場合は **[Select All]** (すべて選択) をタップし、すべてのプロファイルを選択解除する場合は **[Deselect All]** (すべて選択解除) をタップします。
3. **[Apply]** (適用) をタップしてプロファイルを有効にして、**[Close]** (閉じる) をタップしてアプリケーションを終了します。

[System Parameters] (システムパラメータ) タブ

- [Page Timeout] (ページタイムアウト) - MC92N0-G がデバイスを検索する時間を設定します。この時間が経過すると、次のデバイスが検索されます。
- [Link Supervision Timeout] (リンク監視タイムアウト) - デバイスが通信圏外になってから通信圏内に戻るまで MC92N0-G が待機する時間を設定します。設定時間内にデバイスが通信圏内に戻ってこない場合、MC92N0-G は接続を切断します。

[Miscellaneous] (その他) タブ

- [Highlight Connections] (接続を強調表示) - 接続されたときに強調表示する接続の種類を選択します。[Wizard Mode] (ウィザードモード) の場合は、[Favorites] (お気に入り) と [None] (なし) を選択できます。[Explorer Mode] (エクスプローラモード) の場合は、[None] (なし)、[Tree View Only] (ツリービューのみ)、[List View Only] (リストビューのみ)、[Tree and List View] (ツリービューとリストビュー) を選択できます。
- [Apply Text Style] (テキストのスタイルを適用する) - 接続テキストに適用するテキストのスタイルを選択します。
- [Apply Text Color] (テキストの色を適用する) - 接続テキストに適用するテキストの色を選択します。

第 6 章 ANDROID デバイスでの BLUETOOTH の使用方法

はじめに

Bluetooth を装備しているデバイスは、周波数ホッピング方式スペクトル拡散 (FHSS: frequency-hopping spread spectrum) 無線周波数 (RF: radio frequency) を使用して 2.4GHz の産業科学医療用 (ISM: Industry Scientific and Medical) バンド (802.15.1) でデータを送受信することで、無線通信をすることができます。Bluetooth 無線テクノロジーは、短距離 (10m/32.8 フィート) 通信用に特別に開発された、低消費電力の通信技術です。

Bluetooth 機能を搭載したデバイスは、プリンタ、アクセス ポイント、その他のモバイル デバイスといった Bluetooth 対応デバイスと、情報 (ファイル、予定、タスクなど) を交換することができます。

適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング (AFH: Adaptive Frequency Hopping) は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用することができます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク) 内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。重要な 802.11b 通信中は、Bluetooth 接続の確立や検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションから構成されています。

- **チャンネル分類** - チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネル マスクで干渉を検出する方式です。
- **リンク管理** - AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- **ホップシーケンス修正** - ホッピングチャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- **チャンネルメンテナンス** - 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、エンタープライズ デバイスはあらゆるインフラストラクチャで動作することができます。

このデバイスの Bluetooth 無線は、Class 2 デバイス パワー クラスとして動作します。最大出力は 2.5mW で、予想伝送距離は 10m (32.8 フィート) です。伝送距離は、出力やデバイスの違いや空間 (開放空間または閉鎖されたオフィス空間) によって左右されるため、パワー クラスに基づいて伝送距離を判断することは困難です。

- ✓ **注** 802.11b での高速な動作が求められる場合は、Bluetooth 無線テクノロジーの照会を実行することはお勧めしません。

セキュリティ

現在の Bluetooth 仕様は、リンク レベルでセキュリティを定義しています。アプリケーションレベルのセキュリティは指定されていません。このため、アプリケーション開発者は、各自のニーズに応じてカスタマイズしたセキュリティ メカニズムを定義することができます。リンクレベルのセキュリティは、ユーザー間ではなくデバイス間に適用されるのに対して、アプリケーションレベルのセキュリティはユーザーごとに実装することができます。Bluetooth の仕様では、デバイスの認証に必要なセキュリティ アルゴリズムとプロシージャ、および必要に応じてデバイス間で伝送されるデータを暗号化するためのセキュリティ アルゴリズムとプロシージャを定めています。デバイスの認証は、Bluetooth の必須の機能ですが、リンクの暗号化は任意の機能です。

Bluetooth デバイスのペアリングは、デバイスを認証して、デバイスのリンク キーを作成するための初期化キーを作成することで行われます。ペアリングしようとするデバイスの共通個人識別番号 (PIN) を入力することで、初期化キーが生成されます。PIN は無線で送信されません。デフォルトでは、Bluetooth スタックは、キーが要求されたときにキーなしで応答します (キー要求イベントに応答するかどうかはユーザー次第です)。Bluetooth デバイスの認証は、チャレンジレスポンス トランザクションをベースにしています。Bluetooth では、他の 128 ビットキーの作成に使用した PIN またはパスキーをセキュリティおよび暗号化のために使用できます。暗号化キーは、ペアリング デバイスの認証に使用したリンク キーから導出されます。また、Bluetooth 無線の制限された伝送距離と高周波ホッピングにより、離れた場所からの盗聴が困難であることも特長の 1 つです。

推奨事項

- セキュリティ保護された環境でペアリングを行う
- PIN コードを公開しない。および PIN コードをデバイスに保存しない
- アプリケーションレベルのセキュリティを実装する

Bluetooth プロファイル

デバイスでは、次の Bluetooth サービスがサポートされます。

- **サービス検索プロトコル (SDP)** - 既知のサービスと特殊なサービス、および一般サービスを検索します。
- **シリアル ポート プロファイル (SPP)** - 2 台の Bluetooth ピア デバイス間のシリアル ケーブル接続をエミュレートする、RFCOMM プロトコルを使用できるようにします。たとえば、デバイスをプリンタに接続します。
- **オブジェクト プッシュ プロファイル (OPP)** - デバイスとプッシュ サーバーの間で、オブジェクトのプッシュとプルを可能にします。
- **高品質オーディオ配信プロファイル (A2DP)** - デバイスがステレオ品質のオーディオ ストリームを無線ヘッドセットまたは無線ステレオ スピーカーに配信できるようにします。
- **Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)** - デバイスでユーザーがアクセスできる A/V 機器を制御できるようにします。A2DP と合わせて使用する場合があります。
- **パーソナル エリア ネットワーク (PAN)** - Bluetooth リンク経由でレイヤ 3 ネットワーク機能を実現する、Bluetooth ネットワーク カプセル化プロトコルを使用できるようにします。PANU ロールのみがサポートされます。
- **ヒューマン インタフェース デバイス プロファイル (HID)** - Bluetooth キーボード、ポインティング デバイス、ゲーム デバイス、およびリモート デバイスをデバイスに接続します。

- **ヘッドセット プロファイル (HSP)** - Bluetooth ヘッドセットのようなハンズフリー デバイスを使用して、デバイスで発信と着信を行えるようにします。
- **ハンズフリー プロファイル (HFP)** - カー ハンズフリー キットと車内のデバイスの間の通信を可能にします。

Bluetooth の電源の状態

Bluetooth 無線はデフォルトではオフです。

- **[Suspend]** (サスペンド) - MC9200 がサスペンド モードに移行すると、Bluetooth 無線はオンのままとなります。
- **[Airplane Mode]** (航空機モード) - MC9200 を [Airplane Mode] (航空機モード) に設定すると、Bluetooth 無線がオフになります。機内モードが無効になっている場合、Bluetooth 無線は前の状態に戻ります。機内モードのとき、必要に応じて Bluetooth 無線を元の状態に戻すことができます。

Bluetooth 無線の電源

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域 (航空機内など) に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスはデバイスを検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。

注 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。

Bluetooth の有効化

1.  をタッチします。
2. Bluetooth スイッチを **[ON]** (オン) の位置にスライドさせます。  もステータス バーに表示されます。
3.  をタッチします。

Bluetooth の無効化

1.  をタッチします。
2. Bluetooth スイッチを **[OFF]** (オフ) の位置にスライドさせます。
3.  をタッチします。

Bluetooth デバイスを検出する

MC9200 は、検出されたデバイスと結合していなくても、そのデバイスから情報を受信できます。ただし、結合しておく、Bluetooth 無線をオンにしたときに MC9200 と結合済みのデバイスは自動的に情報を交換します。通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
3. 2つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
4.  をタッチします。
5.  [Bluetooth] をタッチします。
6. [SCAN FOR DEVICES] (デバイスのスキャン) をタッチします。通信圏内の検出可能 Bluetooth デバイスの検索が開始され、[AVAILABLE DEVICES] (利用可能なデバイス) にデバイスのリストが表示されます。
7. リストをスクロールし、デバイスを選択します。[Bluetooth pairing request] (Bluetooth ペアリングの依頼) ダイアログ ボックスが表示されます。

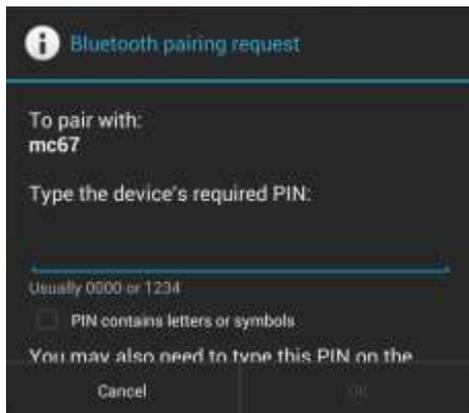


図 6-1 Bluetooth のペアリング - PIN の入力

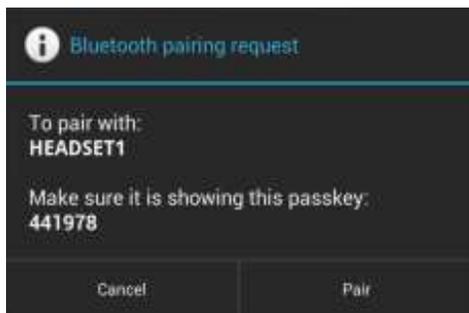


図 6-2 Bluetooth のペアリング - シンプル ペアリング

8. テキスト ボックスに PIN を入力して、[OK] をタッチします。接続先デバイスに同じ PIN を入力します。

9. シンプル ペ어링の場合は、両方のデバイスで **[Pair]** (ペア) をタッチします。
10. Bluetooth デバイスが **[Bluetooth devices]** (Bluetooth デバイス) リストに追加され、信頼された (ペ어링された) 接続が確立されます。

Bluetooth の名前の変更

デフォルトで、MC9200 では汎用の Bluetooth 名が使用され、他のデバイスに接続されるとそのデバイスに表示されます。

1.  をタッチします。
2.  **[Bluetooth]** をタッチします。
3. Bluetooth の電源がオンになっていない場合は、スイッチを **[ON]** (オン) の位置までスライドさせます。
4.  をタッチします。
5. **[Rename device]** (デバイスの名前変更) をタッチします。
6. 名前を入力して、**[Done]** (完了) をタッチします。
7.  をタッチします。

Bluetooth デバイスへの接続

ペ어링が完了したら、Bluetooth デバイスに接続します。

1.  をタッチします。
2.  **[Bluetooth]** をタッチします。
3. Bluetooth の電源がオンになっていない場合は、スイッチを **[ON]** (オン) の位置までスライドさせます。
4. **[PAIRED DEVICES]** (ペ어링済みデバイス) リストで、メニューが表示されるまで、接続されていない Bluetooth デバイスをタッチし、その状態をしばらく維持します。
5. **[Connect]** (接続) をタッチします。接続されると、そのデバイスがリスト内に接続済みとして表示されます。

Bluetooth デバイスでのプロファイルの選択

一部の Bluetooth デバイスには複数のプロファイルが含まれています。プロファイルを選択するには、次の手順に従います。

1.  をタッチします。
2.  **[Bluetooth]** をタッチします。

3. **[PAIRED DEVICES]** (ペアリング済みデバイス) リストで、デバイス名の隣にある  をタッチします。
4. **[PROFILES]** (プロファイル) の下で、プロファイルをオンまたはオフにして、デバイスがプロファイルを使用できるようにします。
5.  をタッチします。

Bluetooth デバイスのペアリング解除

Bluetooth デバイスのペアリングを解除してすべてのペアリング情報を消去するには、次の手順に従います。

1.  をタッチします。
2.  **[Bluetooth]** をタッチします。
3. **[PAIRED DEVICES]** (ペアリング済みデバイス) リストで、デバイス名の隣にある  をタッチします。
4. **[Unpair]** (ペアリング解除) をタッチします。
5.  をタッチします。

第 7 章 アクセサリ

はじめに

MC92N0-G のアクセサリは、製品をサポートするさまざまな機能を備えています。表 7-1 に、利用可能なアクセサリを示します。

表 7-1 MC92N0-G のアクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
クレードル		
シングル スロット シリアル /USB クレードル	CRD9000-1001SR	MC92N0-G のメイン バッテリと予備バッテリを充電します。また、シリアルまたは USB 接続によって、MC92N0-G をホスト コンピュータと同期します。
4 スロット 充電専用クレードル	CHS9000-4001CR	MC92N0-G のメイン バッテリを充電します。
	CRD9101-4001CR	
4 スロット イーサネット クレードル	CRD9000-4001ER	MC92N0-G のメイン バッテリを充電し、イーサネット接続によって MC92N0-G をホスト コンピュータと同期します。
	CRD9101-4001ER	
フォーク リフト クレードル	FLC9000-1000R	MC92N0-G をしっかりと固定します。クレードルには耐久性のある RS232 および USB ポートが装備され、接続されたデバイスへの電源供給と通信が可能です。
充電器		
4 スロット 予備バッテリ充電器	SAC9000-4000R	最大 4 個の MC92N0-G の予備バッテリを充電します。
ユニバーサル充電器アダプタ	21-32665-48R	スタンドアロン充電器として、または UBC2000 ベースと組み合わせて、予備バッテリを充電します。

表 7-1 MC92N0-G のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
UBC 4 スロット ベース	UBC2000-I500DR	UBC アダプタを使用して、最大 4 個のバッテリーを充電します。
12V 車用充電ケーブル	VCA9001-12R	12V のシガー ライターに接続し、走行中に MC92N0-G を充電します。ケーブル アダプタ (ADP9000-100R) が必要です。
24V 車用充電ケーブル	VCA9000-24R	24V のシガー ライターに接続し、走行中に MC92N0-G を充電します。ケーブル アダプタ (ADP9000-100R) が必要です。
予備リチウム イオン バッテリ	KT-2161261-01	交換用バッテリー
UBC アダプタ電源キット	KT-32665-02R	UBC アダプタに電力を供給します。
電源	PWRS-14000-148R	シングル スロット シリアル/USB クレードルに電力を供給します。入力 100 ~ 240VAC、出力 12VDC 3.33 A。
電源	PWRS-14000-242R	入力 85 ~ 264VAC、出力 12VDC 3.33A。
電源	PWRS-14000-241R	4 スロット充電専用クレードル、および 4 スロットイーサネット クレードルに電力を供給します。入力 90 ~ 264VAC、出力 12VDC 9A。
フォーク リフト高電圧変換器	PWRS-14000-251R	フォーク リフト クレードルに電力を供給します。
フォーク リフト低電圧変換器	PWRS-14000-252R	フォーク リフト クレードルに電力を供給します。
ケーブル		
DC 電源コード	50-16002-029R	4 スロット充電専用クレードル、およびイーサネット クレードルに電源から電力を供給します。
DC 電源コード	25-72614-01R	4 スロット充電専用クレードルおよび 4 スロットイーサネット クレードルに電源から電力を供給します。
フォーク リフト電源入力ケーブル	25-103872-01R	フォーク リフト クレードルに電源から電力を供給します。
USB 同期ケーブル	25-64396-01R	シングル スロット シリアル/USB クレードル経由で、ホストコンピュータとの USB 通信を提供します。
RS232 ケーブル	25-62164-01R	ホストコンピュータまたはプリンタへのシリアル通信を提供します。ケーブル アダプタ モジュール (ADP9000-100R) 経由で、AC 充電に使用できます。
USB ケーブル	25-62166-01R	ケーブル アダプタ モジュール (ADP9000-100R) 経由で、ホストとの USB 通信を提供します。

表 7-1 MC92N0-G のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
フローティング ジャック ネジ付き DEX ケーブル	25-62167-03R	ケーブル アダプタ モジュール (ADP9000-100R) 経由で、ホストとの電子データ交換通信を提供します。
Paxar プリンタ ケーブル	25-62168-01R	MC92N0-G を Paxar プリンタに接続します。
O'Neil プリンタ ケーブル	25-62169-01R	MC92N0-G を O'Neil プリンタに接続します。
Zebra プリンタ ケーブル	25-62170-02R	MC92N0-G を Zebra プリンタに接続します。
モデム ケーブル	25-63856-01R	シングル スロット シリアル/USB クレードルをモデム クレードルとして使用できます。
シリアル ケーブル	25-63852-01R	シングル スロット シリアル/USB クレードルからホスト コンピュータへのシリアル通信を提供します。
ソフトグッツ		
ホルスター	SG-MC91212112-01R	未使用時に MC92N0-G を固定します。
ヒーター内蔵ブーツ	SG-MC9024242-01R	冷凍環境で MC92N0-G の動作温度を維持します。
ハンドストラップ	KT-66447-03R	ハンドストラップ 3 つのパッケージ。
ベルト	11-08062-02R	ホルスタと組み合わせて使用します。
保護ブーツ	11-67218-04R	MC9XXX-G を強い衝撃から保護します。
ショルダー ストラップ	58-40000-007R	ホルスタ用の汎用ショルダー ストラップ。
スナップオン		
ケーブル アダプタ モジュール (CAM)	ADP9000-120R	MC92N0-G の底面に固定し、Apriva BT200 Reader へのケーブル接続時の電力 (5 VDC 350mA) を供給します。
ケーブル アダプタ モジュール (CAM)	ADP9000-110R	MC92N0-G の底面に固定し、LS3408ER スキャナ使用時の電力 (5VDC 350mA) を供給します。
ケーブル アダプタ モジュール (CAM)	ADP9000-100R	MC92N0-G の底面に固定して、MC92N0-G の動作中充電用の電力を供給し、シリアル通信を提供します。
磁気ストライプ リーダー (MSR)	MSR9001-100R	MC92N0-G に装着して、磁気ストライプを読み取ることができます。
モデム ドングル	MDM9000-100R	MC92N0-G またはシングル スロット シリアル/USB クレードル経由でモデム接続を提供します。
キーパッド		
28 キー キーパッド	KYPD-MC9XMR000-01R	交換用 28 キー キーパッド。
53 キー キーパッド	KYPD-MC9XMS000-01R	交換用 53 キー キーパッド。

表 7-1 MC92N0-G のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
43 キー キーパッド	KYPD-MC9XMT000-01R	交換用 43 キー キーパッド。
53 キー VT キーパッド	KYPD-MC9XMU000-01R	交換用 53 キー VT キーパッド。
53 キー 3270 キーパッド	KYPD-MC9XMV000-01R	交換用 53 キー 3270 キーパッド。
53 キー 5250 キーパッド	KYPD-MC9XMW000-01R	交換用 53 キー 5250 キーパッド。
53 キーの見やすいキーパッド	KYPD-MC9XMS000-01R	白色キーの交換用 53 キー キーパッド。
その他		
MC90XX 壁面用マウント ブラケット	KT-61498-01R	シングル スロット クレードル用に 1 つ、SAC9000 用に 1 つご注文ください。4 スロット クレードル用には 2 つご注文ください。壁面用マウント ブラケットを取り付けるためのクレードル ブラケットは、別途ご注文ください。
MC90XX クレードル ブラケット	KT-61499-01R	シングル スロット クレードル用に 1 つ、SAC9000 用に 1 つご注文ください。4 スロット クレードル用には 2 つご注文ください。クレードルの底面に取り付けます。
スクリーン保護シート	KT-151827-03R	MC9XXX の画面を傷から強力に保護します (3 枚パック)。
スタイラス キット	KT-81680-50R	MC92N0-G 用交換用グレー スタイラスおよびストラップ (50 本組)。
スタイラス キット	KT-81680-03R	MC92N0-G 用交換用グレー スタイラスおよびストラップ (3 本組)。
ベルト クリップ	KT-70147-01R	ユーザーのベルトに取り付けます。
GSM ヘッドセット	50-11300-050R	使い易く利便性を高める有線接続式ヘッドセット。
高耐久性ケーブル付きヘッドセット	RCH50	高耐久性ヘッドセット。
RCH50 アダプタ ケーブル	25-124387-01R	MC92N0-G で使用する標準 3 ピン、2.5mm ミニジャック用 RCH50 アダプタ ケーブル。
UBC2000 壁面用マウント キット	KT-32665-01R	UBC2000 を壁面に取り付けるために使用します。
USB アダプタ ESD	KT-88330-03R	ノートブック用の静電気放電に使用します (3 組)。
スタイラス キット	KT-68144-10R	MC92N0-G 用交換用グレー スタイラス (10 本組)。

表 7-1 MC92N0-G のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
スタイラス キット	KT-68144-50R	MC92N0-G 用交換用グレー スタイラス (50 本組)。
スタイラス キット	11-42794-03R	交換用グレー ストラップ付きスタイラス (3 本組)。
スタイラス キット	11-42794-50R	交換用グレー ストラップ付きスタイラス (50 本組)。

SD (Secure Device) カード

SD カードを不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。SD カードはキーパッドの下にあります。



注意

MC92N0-G の通電中はキーパッドを取り外さないでください。また、キーパッドを外した状態で MC92N0-G を動作させないでください。SD カードを損傷しないように、ESD に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上で作業を実施することや作業者を適切に接地することなどが含まれます。

SD カードを挿入するには、次の手順に従います。

1. MC92N0-G をサスペンドします。
2. 2 本のキーパッド ネジを取り外し、キーパッドを下にずらして持ち上げます。
3. SD カード固定ドアを持ち上げます。
4. 端子部分を下に向けて、SD カードを SD カード ホルダーに取り付けます。ストレージ カードの角にある切れ込みを正しい方向に入れないとホルダーにはまりません。カチッと音がするまで固定ドアを閉じます。

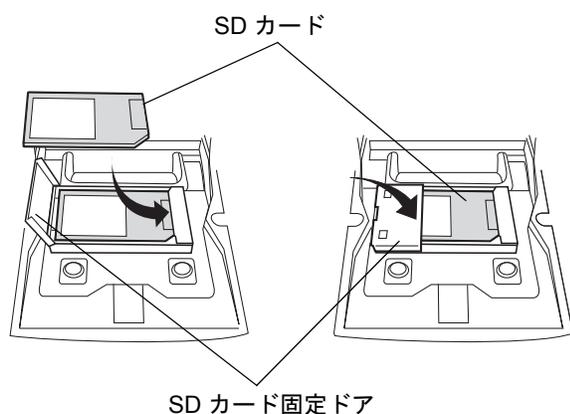


図 7-1 SD カードの挿入



注意

キーパッド ネジの締め付けトルクは 4 in-lbs 以下にしてください。

5. キーパッドを元に戻し、2本のネジを再び取り付けます。
6. ウォーム ブートを実行します。

シングル スロット シリアル/USB クレードル



注意 8-1 ページの「**バッテリーの安全に関するガイドライン**」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

ここでは、MC92N0-G とシングル スロット シリアル/USB クレードル (図 7-2) との使用方法について説明します。シリアルおよび USB 通信のセットアップ手順については、『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。

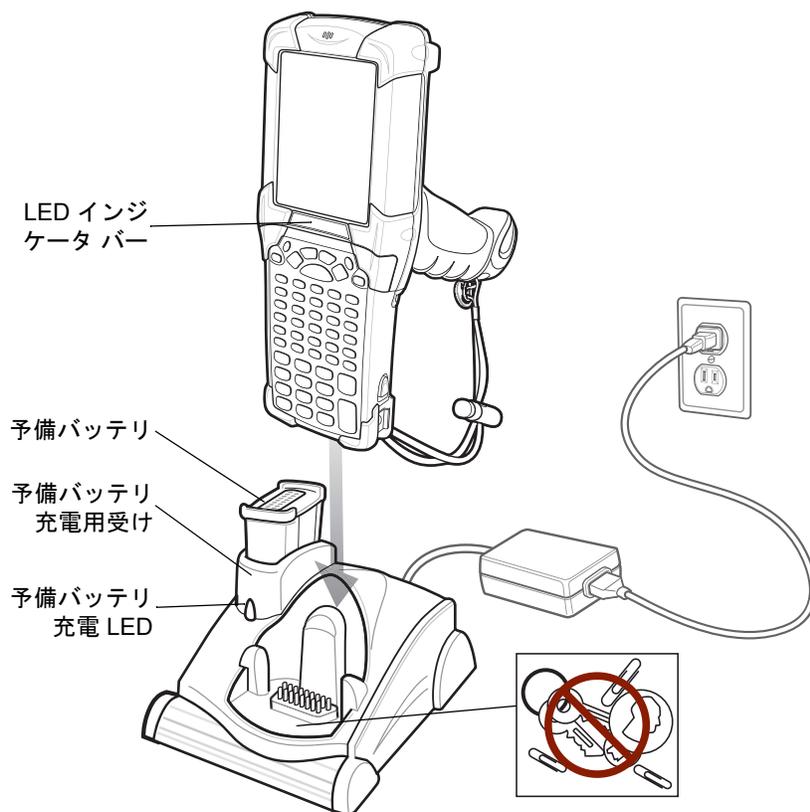


図 7-2 シングル スロット シリアル/USB クレードル



注意 クレードル内部にコイン、鍵、ペーパー クリップを入れないでください。

シングル スロット シリアル/USB クレードルには次の特性があります。

- MC92N0-G の動作に必要な DC 12 V の電力を供給する。
- MC92N0-G とホスト コンピュータやその他のシリアル デバイス (プリンタなど) の間のデータ通信用にシリアル ポート (Windows デバイスのみ) と USB ポートを提供する。

✓ **注** Windows Embedded Handheld を搭載した MC92N0-G をクレードルに置き、ActiveSync 接続が行われると、WLAN の無線 (該当する場合) が無効になります。これは、Microsoft のセキュリティ機能によって 2 つのネットワークへの同時接続ができないように設定されているためです。

- MC92N0-G とホスト コンピュータの間で情報を同期する (カスタマイズされたソフトウェアやサードパーティ製のソフトウェアを使用すれば、MC92N0-G と会社のデータベースを同期することも可能です)。
- MC92N0-G のバッテリーを充電する。
- 予備バッテリーを充電する。

シングル スロット シリアル/USB クレードルでは、MC92N0-G のメイン バッテリーと予備バッテリーを同時に充電できます。

MC92N0-G のインジケータ LED バーにある黄色の充電 LED に、MC92N0-G のバッテリーの充電状態が表示されま
す。充電の状態の表示については、[1-4 ページの表 1-1](#) を参照してください。

クレードルにある黄色の予備バッテリー充電 LED ([7-6 ページの図 7-2](#) 参照) は、クレードルでの予備バッテリーの充
電状態を示しています。充電の状態の表示については、[表 7-3](#) を参照してください。

通常、バッテリーは 4 時間以内に充電が完了します。

表 7-2 予備バッテリー LED の充電インジケータ

予備バッテリー LED (クレードル上)	意味
消灯	受けに予備バッテリーが挿入されていない、予備バッテリーが正しく挿入されていない、 クレードルの電源が入っていない。
黄色で速く点滅	充電中のエラー。予備バッテリーが正しく挿入されているか確認してください。
黄色でゆっくり点滅	予備バッテリーが充電中。
黄色で点灯	充電が完了しました。

4 スロット イーサネット クレードル



注意 8-1 ページの「バッテリーの安全に関するガイドライン」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

ここでは、4 スロット イーサネット クレードルの使用方法について説明します。



注 Android デバイスは、イーサネット通信をサポートしません。

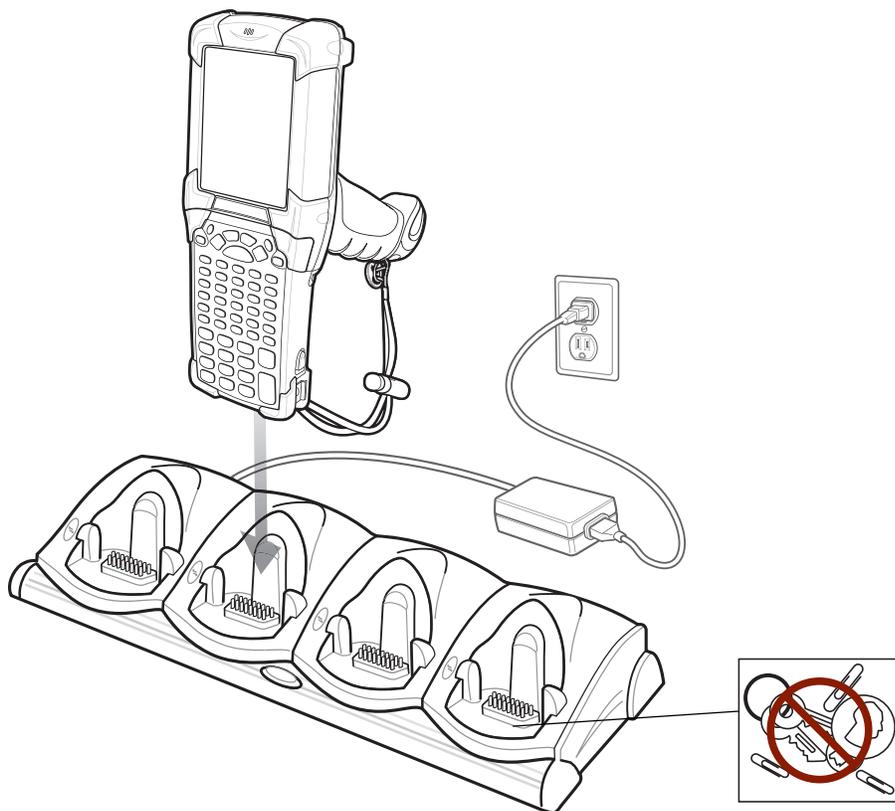


図 7-3 4 スロット イーサネット クレードル



注意 クレードル内部にコイン、鍵、ペーパークリップを入れないでください。

4 スロット イーサネット クレードルには、次のような機能があります。

- MC92N0-G の動作に必要な DC 12 V の電力を供給する。
- MC92N0-G (最大 4 台) とホスト コンピュータがイーサネット ネットワークでデータ通信可能 (標準的な 10Base-T イーサネット ケーブル使用)。
- MC92N0-G とホスト コンピュータの間で情報を同期する (カスタマイズされたソフトウェアやサードパーティ製のソフトウェアを使用すれば、MC92N0-G と会社のデータベースを同期することも可能です)。
- MC92N0-G で最大 4 個のバッテリーを同時に充電する。

MC92N0-G のインジケータ LED バーにある黄色の充電 LED に、MC92N0-G のバッテリーの充電状態が表示されます。充電の状態の表示については、[1-4 ページの表 1-1](#) を参照してください。

通常、バッテリーは 4 時間以内に充電が完了します。

4 スロット充電専用クレードル



注意 [8-1 ページの「バッテリーの安全に関するガイドライン」](#) で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

ここでは、4 スロット充電専用クレードルの使用方法について説明します。

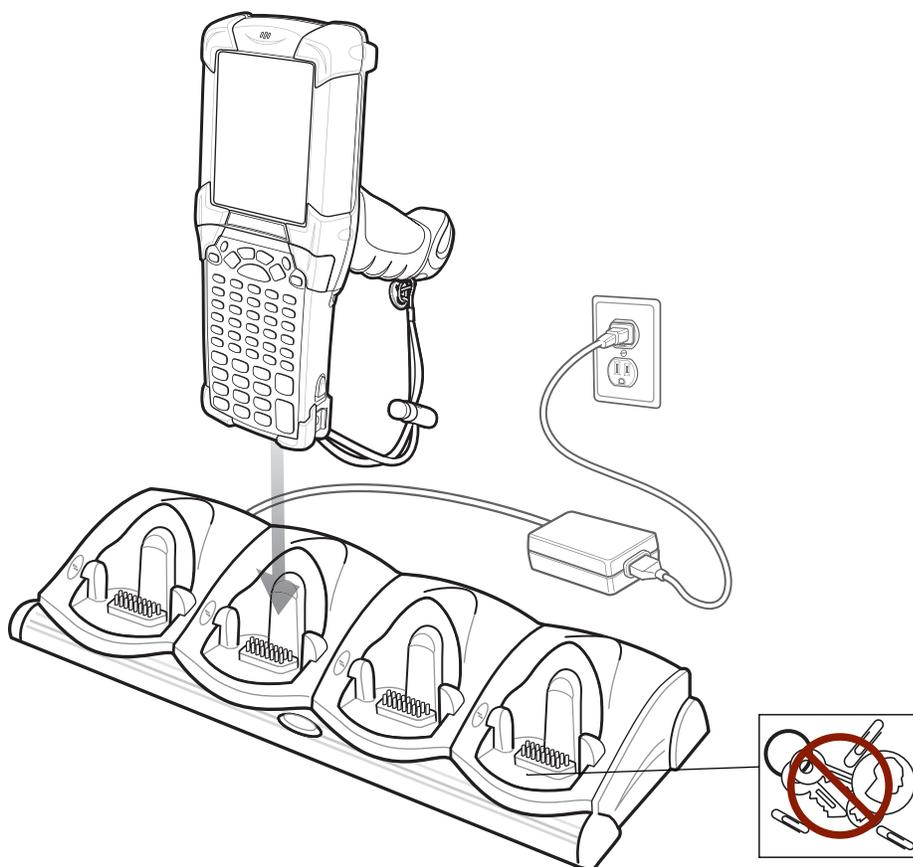


図 7-4 4 スロット充電専用クレードル



注意 クレードル内部にコイン、鍵、ペーパークリップを入れないでください。

4 スロット充電専用クレードルの機能を、次に示します。

- MC92N0-G の動作に必要な DC 12 V の電力を供給する。
- MC92N0-G で最大 4 個のバッテリーを同時に充電する。

MC92N0-G のインジケータ LED バーにある黄色の充電 LED に、MC92N0-G のバッテリーの充電状態が表示されます。充電の状態の表示については、[1-4 ページの表 1-1](#) を参照してください。

通常、バッテリーは 4 時間以内に充電が完了します。

4 スロット予備バッテリー充電器



注意 [8-1 ページの「バッテリーの安全に関するガイドライン」](#) で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

ここでは、4 スロット予備バッテリー充電器を使用して、4 つの MC9200 予備バッテリーを充電する方法について説明します。

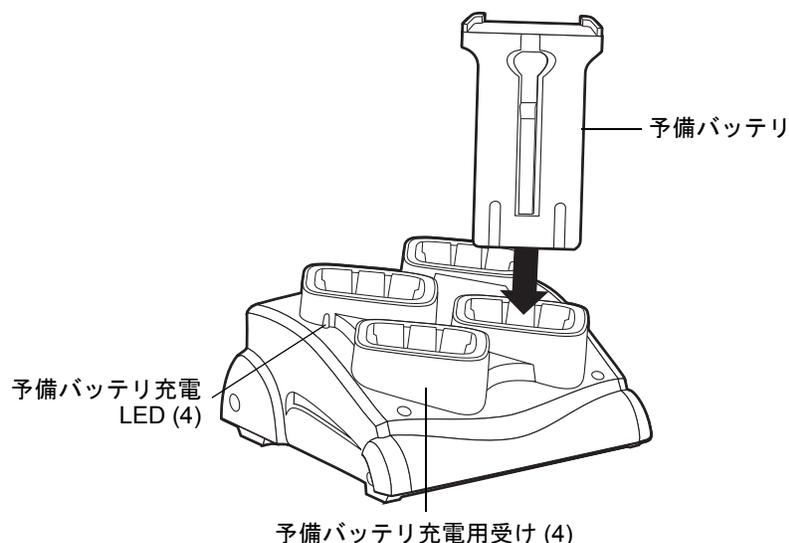


図 7-5 4 スロット予備バッテリー充電器

バッテリーを予備バッテリー受けに差し込み、バッテリーをゆっくり押し下げて正しく接触するようにします。

黄色の LED に、各バッテリーの充電状態が表示されます。充電の状態の表示については、[表 7-2](#) を参照してください。

通常、バッテリーは 4 時間以内に充電が完了します。

表 7-3 予備バッテリー LED の充電インジケータ

LED	意味
消灯	スロットに予備バッテリーが挿入されていないか、予備バッテリーが正しく挿入されていないか、あるいはクレードルの電源が入っていません。
黄色で速く点滅	充電中のエラー。予備バッテリーが正しく挿入されているか確認してください。
黄色でゆっくり点滅	予備バッテリーが充電中。
黄色で点灯	充電が完了しました。

磁気ストライプリーダー

ここでは、スナップオン MSR をセットアップして MC92N0-G と一緒に使用方法について説明します。MSR は MC92N0-G の底面に取り付け、使用しないときは簡単に取り外せます。

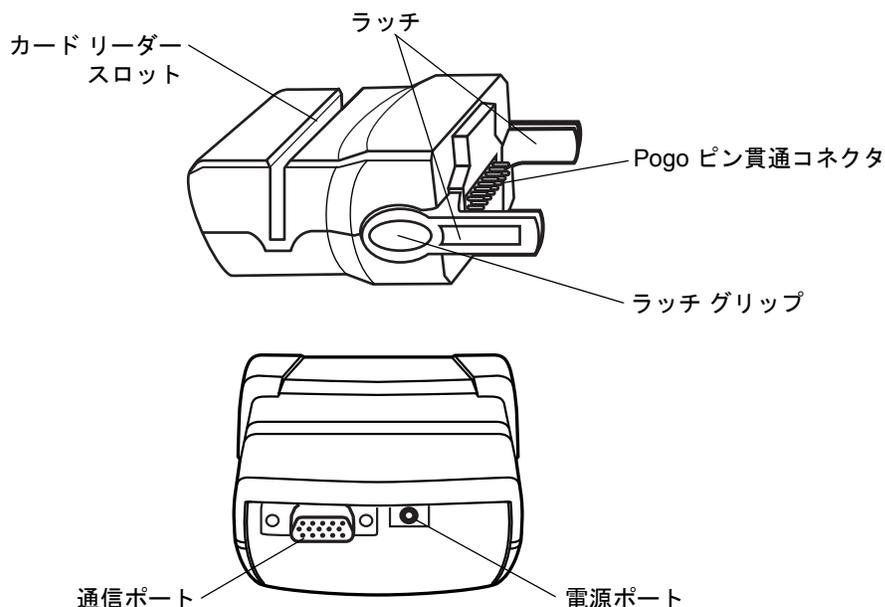


図 7-6 磁気ストライプリーダー

MC92N0-G に接続された MSR には、次のような機能があります。

- 適切な電源接続によって、MC92N0-G の動作の電源を提供する。
 - MC92N0-G が磁気ストライプ カードからデータを取り込めるようになる (MSR データ収集ソフトウェアをダウンロードするには、<http://www.zebra.com/support> を参照してください)。
- ✓ **注** Windows Embedded Handheld を搭載した MC92N0-G を MSR 経由でホスト コンピュータに接続し、ActiveSync 接続が行われると、WLAN の無線 (該当する場合) が無効になります。これは、Microsoft のセキュリティ機能によって 2 つのネットワークへの同時接続ができないように設定されているためです。
- ホスト コンピュータなどのシリアル デバイスとの通信に、シリアル パススルー ポート経由でシリアル接続を行う (Windows デバイスのみ)。
 - ホスト コンピュータなどの USB デバイスとの通信に、USB パススルー ポート経由で USB 接続を行う。
 - 適切な電源が使用された場合、MC92N0-G のバッテリーを充電する。

取り付けと取り外し

取り付けるには、MSR を MC92N0-G の底面にはめ込みます。

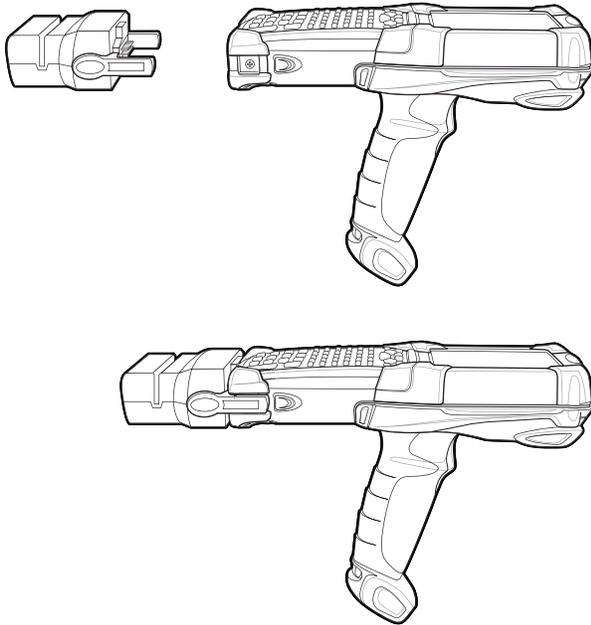


図 7-7 MSR の取り付け

取り外すには、ラッチ グリップを握り、MC92N0-G から MSR を引き抜きます。

✓ **注** 充電および通信用のクレードルを使用するには、その前に MC92N0-G の底面から MSR を取り外してください。

セットアップ

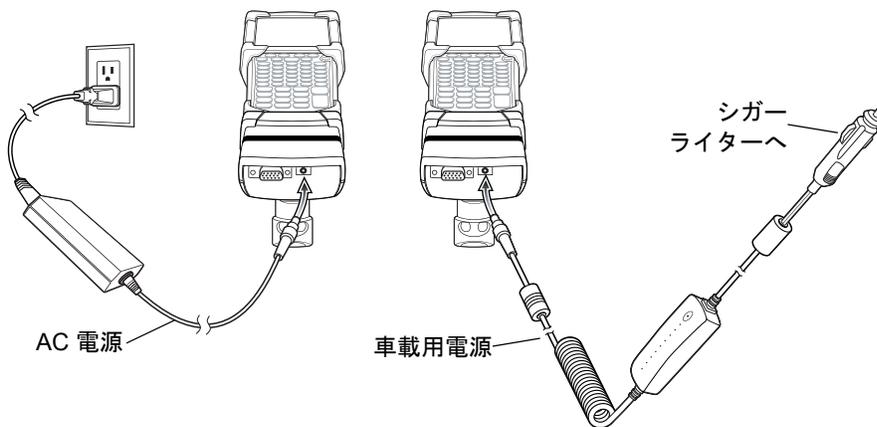


図 7-8 MSR の電源接続

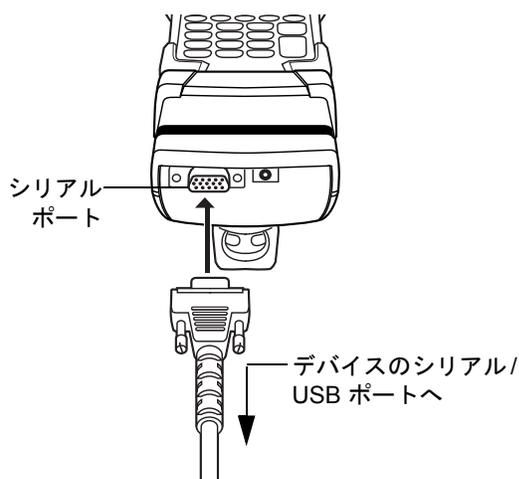


図 7-9 MSR のシリアル/USB 接続

バッテリー充電インジケータ

MSR を経由して MC92N0-G のバッテリーを充電するには、電源を MSR に接続してから (7-12 ページの図 7-8 参照)、MSR を MC92N0-G に取り付けます。MC92N0-G の充電が自動的に始まります。

✓ **注** バッテリーの充電は、気温が 0° ~ +40° の環境で行ってください。

MC92N0-G のインジケータ LED バーにある黄色の充電 LED に、MC92N0-G のバッテリーの充電状態が表示されます。充電の状態の表示については、1-4 ページの表 1-1 を参照してください。

通常、MC92N0-G の未使用時はバッテリーが 4 時間以内に充電完了します。

シリアル/USB 接続

✓ **注** Android デバイスはシリアル通信をサポートしません。

MSR は、シリアルポート経由でプリンタやホストコンピュータなどのシリアル/USB デバイスに接続して通信できます。

MSR をシリアル/USB デバイスに接続するには、シリアルデバイスケーブルの一方のコネクタを MSR のシリアルポートに接続し、もう一方のコネクタをデバイスのシリアル/USB ポートに接続します。

MSR の使用

Windows デバイスでは、MSR と連携するように **MSR9000** サンプルアプリケーションが設計されています。このサンプルアプリケーションは、アプリケーションプログラムによる MSR 入力の処理方法を示しています。

Android デバイスでは、MSR と連携するように **DWDEMO** アプリケーションが設計されています。このサンプルアプリケーションは、アプリケーションプログラムによる MSR 入力の処理方法を示しています。

✓ **注** 磁気ストライプの読み取りでは、MSR を電源に接続する必要がありません。

MSR を使用するには、次の手順を実行します。

1. MSR を MC92N0-G に取り付けます (7-12 ページの「取り付けと取り外し」参照)。
2. MC92N0-G の電源をオンにします。
3. MSR 対応アプリケーションを起動します。
4. 磁気ストライプカードを、磁気ストライプの側を MC92N0-G に向けて MSR に通します。カードは、左から右へ通しても右から左へ通してもかまいません。最適な結果を得るためには、通すときにカードを軽く下に押し付け、リーダーの底面にカードが確実に触れるようにします。

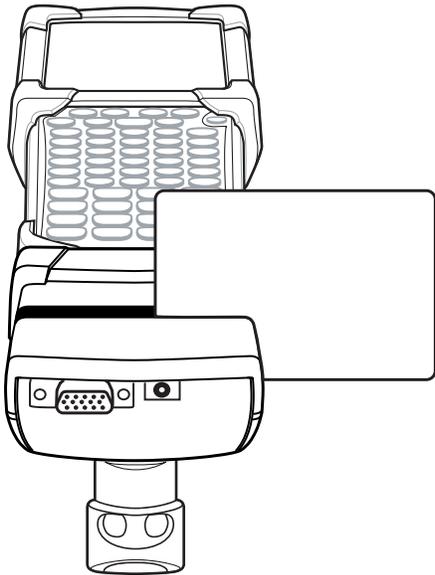


図 7-10 磁気ストライプカードを通す操作

ケーブルアダプタ モジュール

ここでは、スナップオン CAM をセットアップして MC92N0-G と一緒に使用方法について説明します。CAM は MC92N0-G の底面に取り付け、使用しないときは簡単に取り外せます。

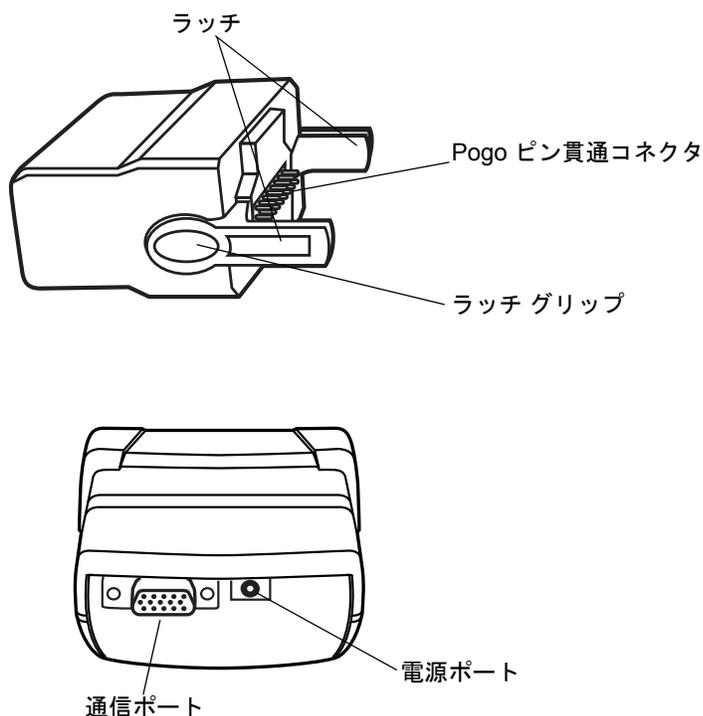


図 7-11 ケーブルアダプタ モジュール

MC92N0-G に接続された CAM には、次のような機能があります。

- 適切な電源接続によって、MC92N0-G の動作用の電源を提供する。
- ✓ **注** Windows Embedded Handheld を搭載した MC92N0-G を CAM 経由でホストコンピュータに接続し、ActiveSync 接続が行われると、WLAN の無線 (該当する場合) が無効になります。これは、Microsoft のセキュリティ機能によって 2 つのネットワークへの同時接続ができないように設定されているためです。
- ホストコンピュータなどのシリアル デバイスとの通信に、シリアル パススルー ポート経由でシリアル接続を行う (Windows デバイスのみ)。
 - ホストコンピュータなどの USB デバイスとの通信に、USB パススルー ポート経由で USB 接続を行う。
 - 適切な電源が使用された場合、MC92N0-G のバッテリーを充電する。

取り付けと取り外し

取り付けるには、CAM を MC92N0-G の底面にはめ込みます。

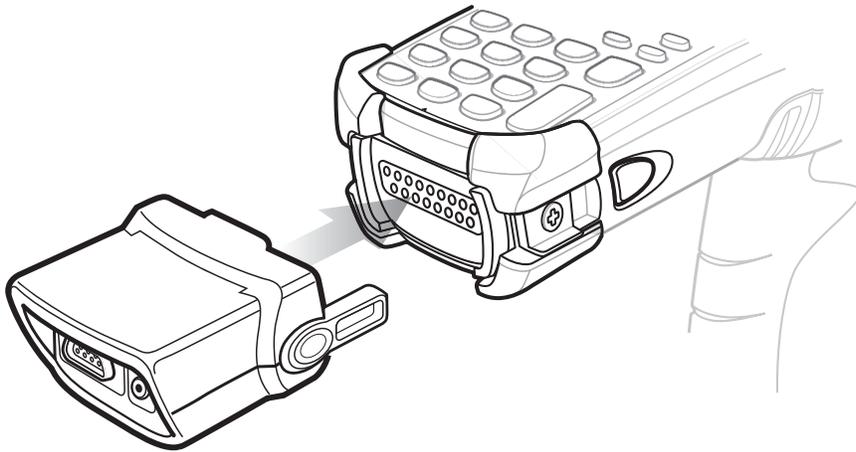


図 7-12 CAM の取り付け

取り外すには、ラッチ グリップを握り、MC92N0-G から CAM を引き抜きます。

✓ **注** 充電および通信用のクレードルを使用するには、その前に MC92N0-G の底面から CAM を取り外してください。

セットアップ

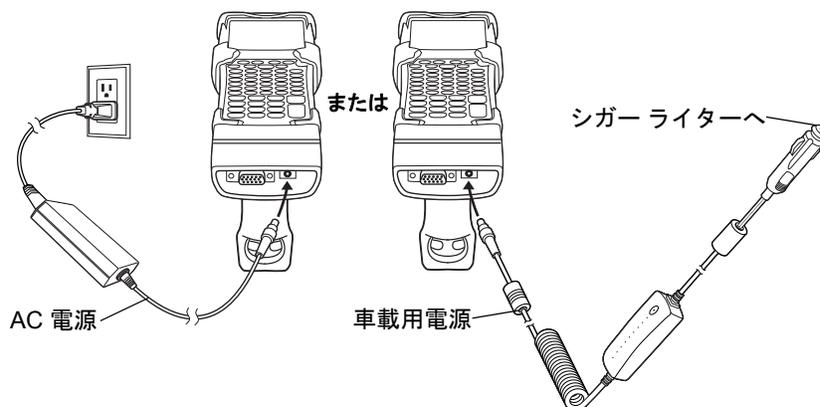


図 7-13 CAM の電源接続

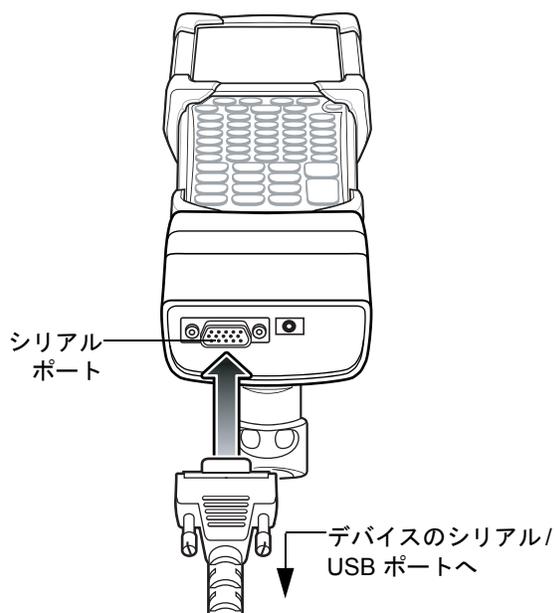


図 7-14 CAM のシリアル接続

バッテリー充電インジケータ

CAM を経由して MC92N0-G のバッテリーを充電するには、電源を CAM に接続してから (7-16 ページの図 7-13 参照)、CAM を MC92N0-G に取り付けます。MC92N0-G の充電が自動的に始まります。

✓ **注** バッテリーの充電は、気温が 0° ~ +40° の環境で行ってください。

MC92N0-G のインジケータ LED バーにある黄色の充電 LED に、MC92N0-G のバッテリーの充電状態が表示されます。充電の状態の表示については、1-4 ページの表 1-1 を参照してください。

通常、MC92N0-G の未使用時はバッテリーが 4 時間以内に充電完了します。

シリアル/USB 接続

✓ **注** Android デバイスはシリアル通信をサポートしません。

CAM は、シリアルポート経由でプリンタやホストコンピュータなどのシリアル/USB デバイスに接続して通信できます。

CAM をシリアル/USB デバイスに接続するには、シリアルデバイスケーブルの一方のコネクタを CAM のシリアルポートに接続し、もう一方のコネクタをデバイスのシリアル/USB ポートに接続します。

ユニバーサル充電器 (UBC) アダプタ



注意 8-1 ページの「**バッテリーの安全に関するガイドライン**」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

ここでは、UBC アダプタを使用して予備バッテリーを充電する方法について説明します。

UBC は、電源につなげばスタンドアロンの予備バッテリー充電器として使用でき、4 ステーション UBC2000 と組み合わせれば最大 4 個の予備バッテリーを同時に充電することができます。UBC2000 の詳細については、『**UBC 2000 Universal Battery Charger Product Guide**』 (p/n 70-33188-xx) を参照してください。

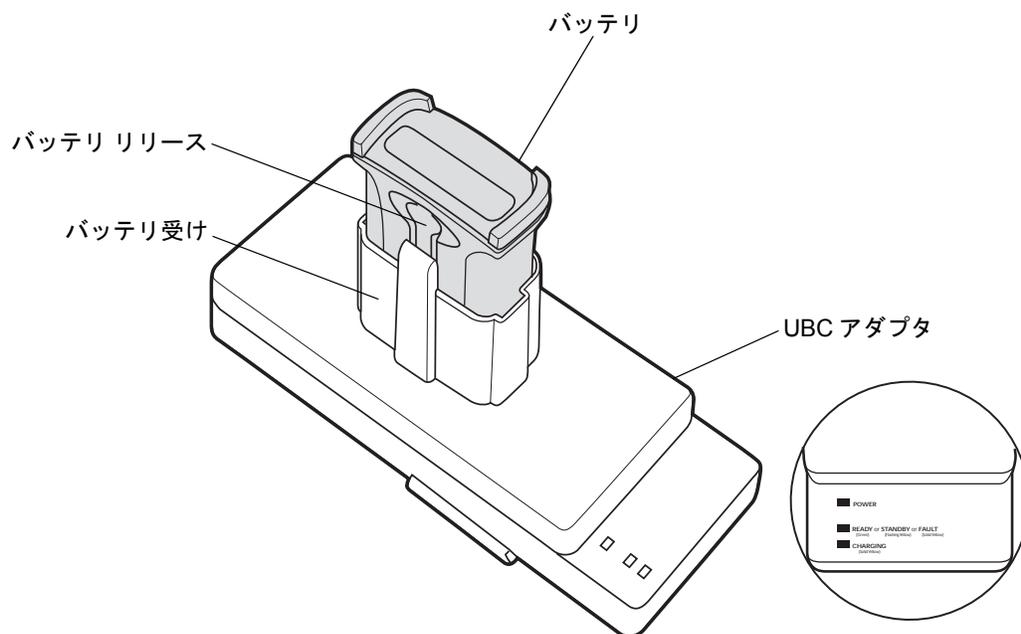


図 7-15 UBC アダプタ

バッテリーの挿入と取り外し

充電用接点を下に向けて (充電ピンに合わせて) バッテリーをバッテリー受けに挿入し、バッテリーをゆっくり押し下げて正しく接触するようにします。

バッテリーを取り外すには、バッテリー リリースを押してバッテリーを受けから取り出します。

バッテリー充電インジケータ

UBC アダプタを使用して予備バッテリーを充電するには、電源を UBC に接続してから、予備バッテリーを挿入します。予備バッテリーの充電が自動的に開始されます。

UBC の充電 LED は (図 7-16 参照)、アダプタのバッテリー充電状態を示します。表 7-2 に、バッテリーの充電状態の表示を示します。

通常、バッテリーは約 3 時間で充電が完了します。

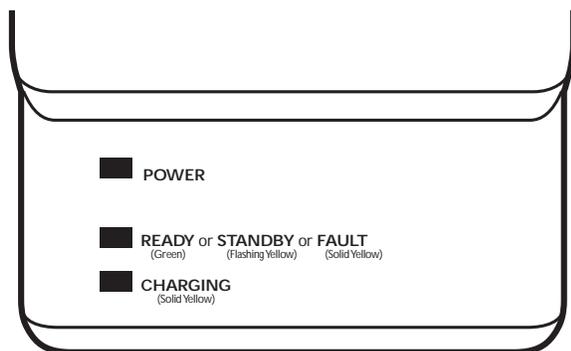


図 7-16 UBC アダプタの LED

表 7-4 UBC アダプタの充電 LED が示す充電状態

LED	意味	説明
POWER (電源)	緑色	UBC アダプタに電源が接続されている。
READY (完了)	緑色	充電が完了しました。
STANDBY (スタンバイ)	黄色で点滅	バッテリーが著しく放電しており、電圧を作動レベルに引き上げるためにトリクル充電中。作動電圧レベルに達した後は、通常のバッテリー充電になります。
FAULT (エラー)	黄色	充電エラー。MC92N0-G/ 予備バッテリーが正しく挿入されているかどうかを確認してください。
CHARGING (充電)	黄色	通常充電中。

モデム ドングル

✓ **注** Windows デバイスのみ。

ここでは、MDM9000 モデム ドングルのセットアップ方法と使用方法について説明します。

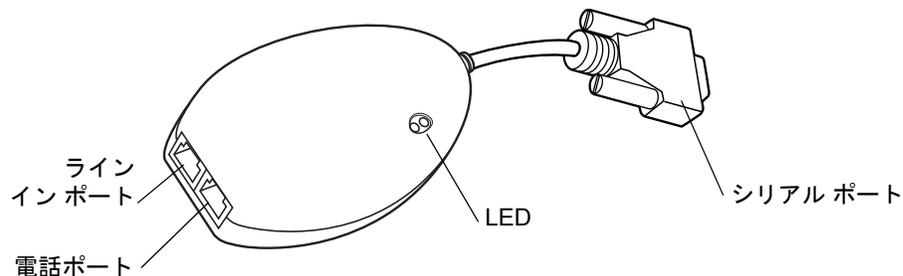


図 7-17 モデム ドングル

モデム ドングルを使用すると、MC92N0-G とホスト コンピュータが電話回線を経由してリモート データ通信できるようになり、MC92N0-G とホスト コンピュータの間で情報を同期できます。

モデム接続には、次のものがが必要です。

- ダイヤルイン サーバー管理者から入手した、電話番号、IP アドレスおよび DNS/WINS アドレス情報
- ユーザー ID やパスワードなど、ホスト システムのダイヤルイン アカウント
- RJ11 または RJ12 モデム ケーブル
- プラグイン モデムをサポートし、ローカル電話システムに接続された電話ジャック
- 現地国の電話網でモデムを使用するための国コードのセットアップ

通信には、次のものがが必要です。

- MC92N0-G
- CAM (Cable Adapter Module)、Zebra p/n ADP9000-100 (7-15 ページの「ケーブル アダプタ モジュール」参照)
- シリアル アダプタ ケーブル (クレードル経由の通信用)、Zebra p/n 25-63856-01
- Microsoft ActiveSync
- ホスト コンピュータと MC92N0-G のセットアップ

セットアップ

MC92N0-G への接続

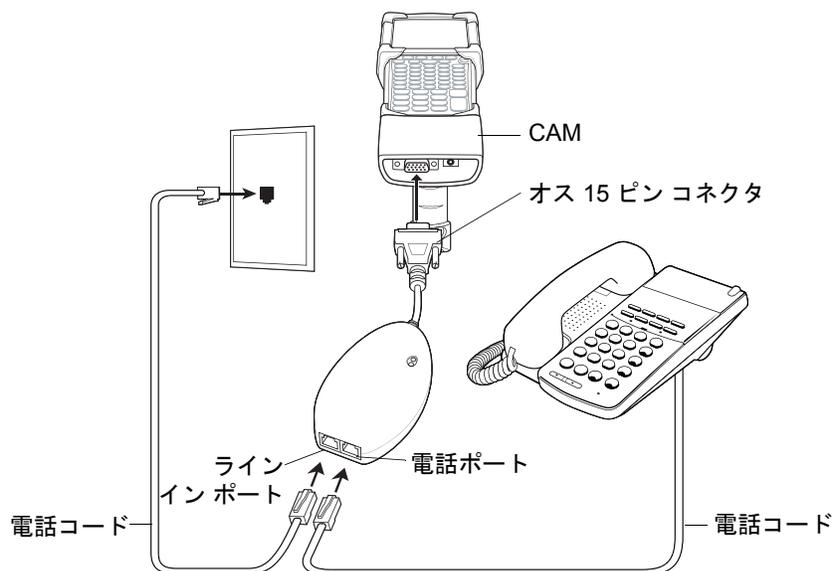


図 7-18 モデム ドングルの接続 - MC92N0-G



注意 モデムの 15 ピン コネクタを、ホスト コンピュータの VGA ポートに接続しないでください。

正しい電話回線タイプの使用

一般家庭用の、標準アナログ電話回線を使用します。オフィスでは、ファックス機またはモデムに接続された回線を使用します。ホテルでは、標準電話回線またはデータポートのある部屋を利用してください。必要に応じて現地の電話会社または管理者に問い合わせて、正しいタイプであることを確認してから、データを送信してください。

シングルスロット シリアル/USB クレードルへの接続

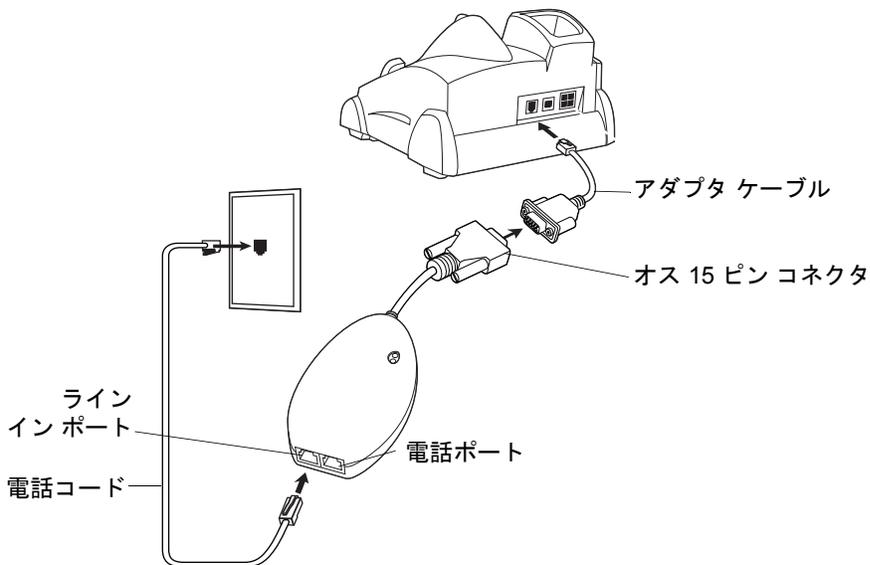


図 7-19 モデム モジュールの接続 - シングル スロット シリアル/USB クレードル



注意 モデムの 15 ピン コネクタを、ホスト コンピュータの VGA ポートに接続しないでください。



注 電話を使用する場合は、電話機のコードをモデムの電話ポートに接続します。

表 7-5 モデムの LED インジケータ

LED	意味
消灯	モデムが正しく MC92N0-G に接続されていない、モデムに電源が供給されていない。
緑色	モデムが MC92N0-G に接続され、モデムに電源が供給されている。
黄色で点灯	MC92N0-G がホスト コンピュータと通信している。

フォークリフト クレードル

フォークリフト クレードルには、次のような機能があります。

- MC92N0-G をしっかりと固定します。
- MC92N0-G の動作に必要な電力を供給します。
- 装着した MC92N0-G を充電できます。
- シリアルポートまたは USB ポートを使用して、装着した MC92N0-G と外部デバイス (スキャナ、プリンタ等) との間でデータ通信を行うことができます。Android デバイスは USB のみサポートすることに注意してください。
- 各ポートから電力が供給されます (5V 500mA)。両方のポートを同時に使用することが可能です。

電圧変換機なしで設置すると、クレードルが MC92N0-G をしっかりと固定します。

電圧変換器は、フォークリフトのクレードル用バッテリー電力を調節します。高電圧変換器と低電圧変換器の 2 種類がありますので、お求めになられたコンバータが正しい種類のものであることを確認してください。

- 低電圧 (モデル: 50-14000-252R) - 公称入力電圧 12V または 24V システム用
- 高電圧 (モデル: 50-14000-251R) - 公称入力電圧 36V、48V、および 60V システム用

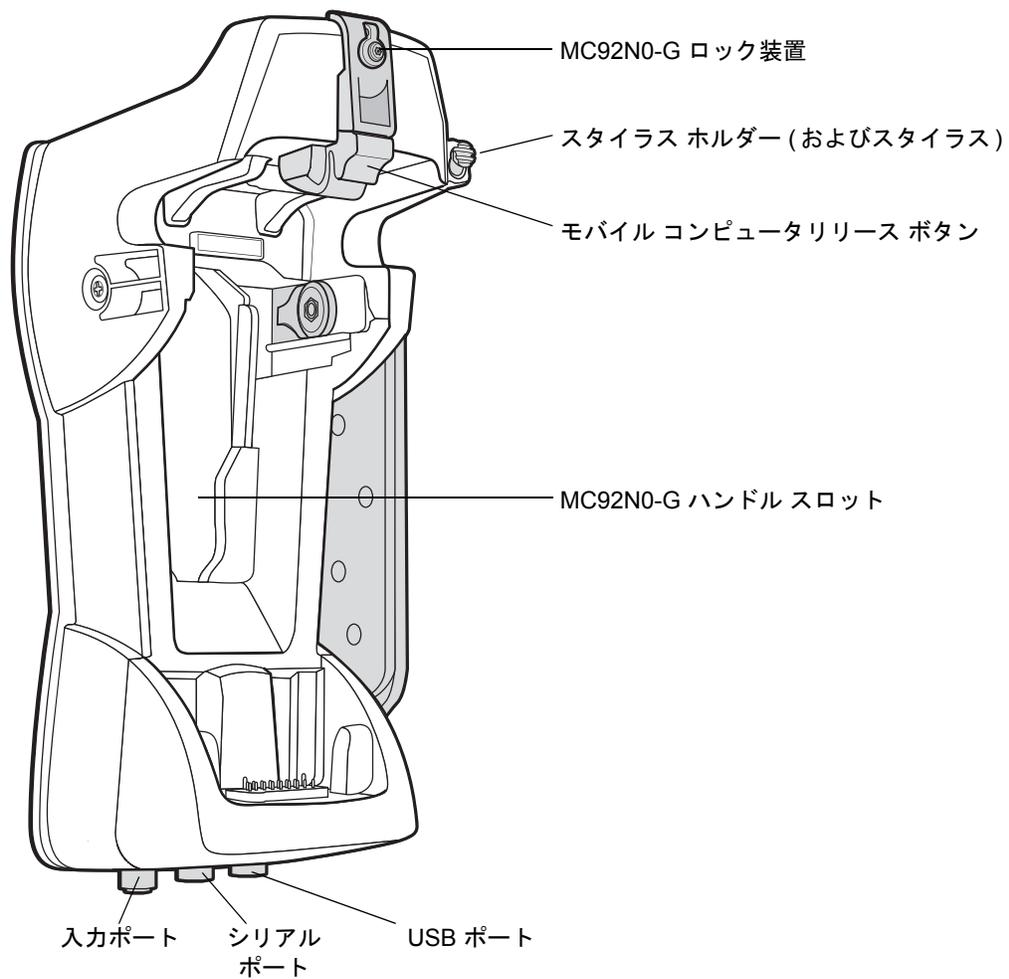


図 7-20 フォークリフト クレードル

MC92N0-G の挿入と取り外し

MC92N0-G をフォーク リフト クレードルに挿入するには、MC92N0-G の底面をフォーク リフト クレードルの底面に設置します。次に、リリース ボタンがロックされるまで MC92N0-G をクレードルに押し込みます。



警告

MC92N0-G をフォーク リフト クレードルに押し込む前に、MC92N0-G の底面が完全にカップの底面に接触していることを確認してください。この確認を怠った場合、物的損傷を生じるおそれがあります。

MC92N0-G が完全にフォーク リフト クレードルに挿入され、リリース ボタンによってしっかり固定されていることを確認してください。これを確かめるには、MC92N0-G を引っ張ってみます。正しく挿入されていない場合、物的損傷または身体的損傷の原因となるおそれがあります。

運転中に本製品を使用しないでください。

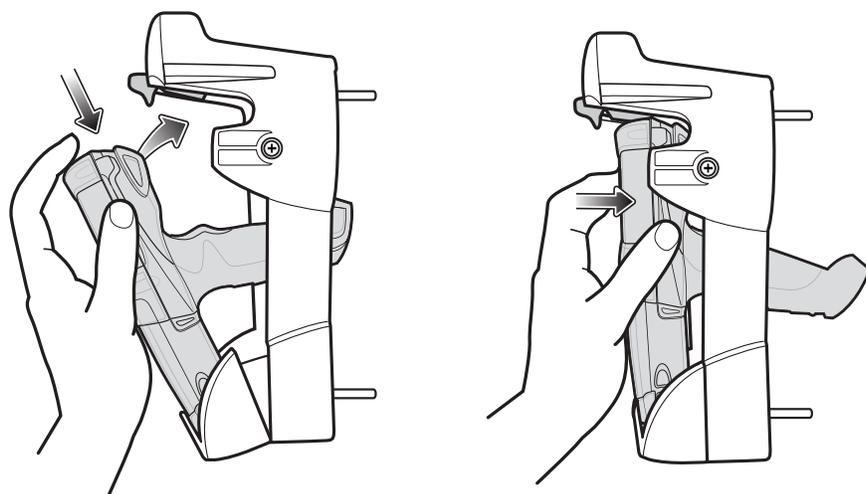


図7-21 フォークリフト クレードルへの MC92N0-G の挿入

フォーク リフト クレードルから MC92N0-G を取り外すには、リリース ボタンを持ち上げ、MC92N0-G をクレードルから持ち上げます。人差し指でリリース ボタンを押し上げ、親指と他の指で MC92N0-G を取り外せば、片手で取り外すことができます。

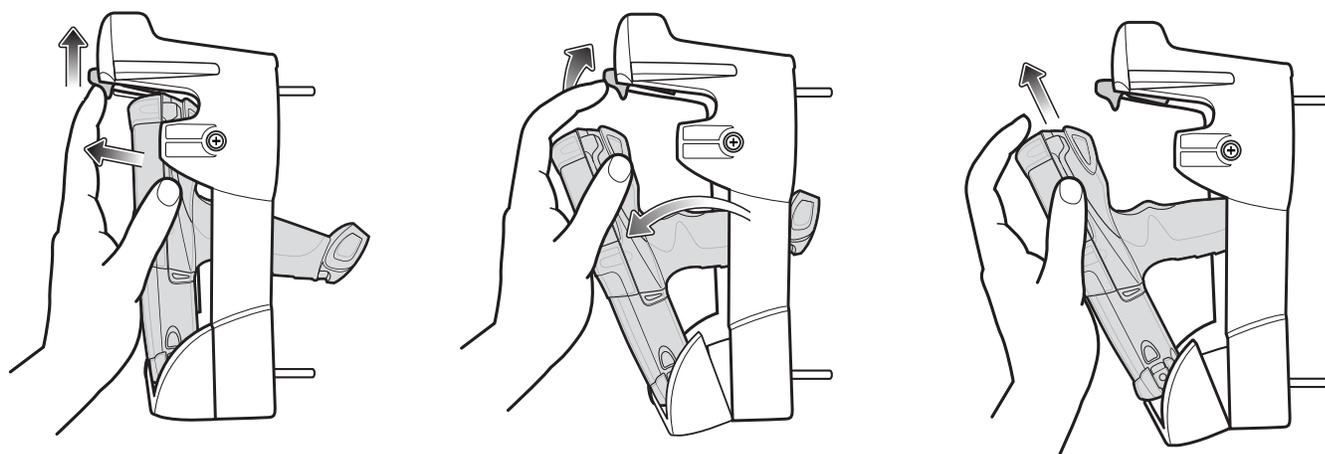


図7-22 フォークリフト クレードルからの MC92N0-G の取り外し

ロック装置の使用

ロック装置を使用すると、フォーク リフト クレードルから MC92N0-G を取り外すことができなくなります。ロック装置を使用するには、フォーク リフト クレードルに MC92N0-G が挿入された状態で、ロック装置をリリースボタンの後ろの位置に設置します。付属のネジでロック装置を固定します。ロック装置を取り外すには、ロック装置を固定しているネジを緩めます。

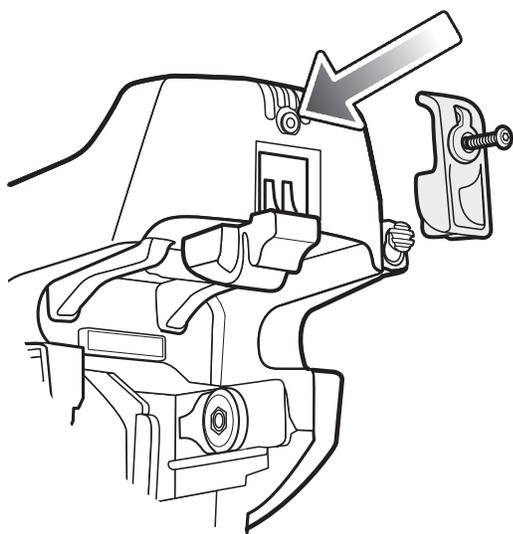


図 7-23 ロック装置

外部デバイスの接続

フォーク リフト クレードルのポートを使用すると、装着された MC92N0-G とスキャナやプリンタなどの外部デバイスとの間での通信が可能になります。

シリアルポート (Windows デバイスのみ) と USB ポートを使用できます。ケーブル (シリアルまたは USB ケーブル) の一端をフォーク リフト クレードルのポートに接続し、もう一端を外部デバイスのポートに接続します。ケーブルはそれぞれ個別に必要です。

✓ **注** USB クライアント デバイスを使用している場合、MC92N0-G の設定を USB ホストにする必要があります。

MC92N0-G をホスト モードにするには

1. Windows デバイスでは、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Control Panel] (コントロール パネル) > [USBConfig] (USB 構成) アイコンの順にタップします。

Android デバイスでは、 > [USBConfig] (USB 構成) をタッチします。

2. [USB Host Mode] (USB ホスト モード) ラジオ ボタンをタップします。
3. [OK] をタップします。

通信を開始するには

1. MC92N0-G をフォーク リフト クレードルに挿入します。
2. 使用するアプリケーションの操作方法に従って、通信を開始します。

**注意**

通信中に MC92N0-G を取り外すと、MC92N0-G と接続先デバイスの通信が中断されます。

サポートされているスキャナ

フォークリフト クレードルは、以下のスキャナをサポートしています。

- LS3408-FZ20005R (USB ケーブル 25-71918-01R または シリアル ケーブル 25-71917-02R 要)
- LS3408-ER20005R (USB ケーブル 25-71918-01R または シリアル ケーブル 25-71917-02R 要)
- LS3478 スキャナ (FLB3478-C0007WR クレードル付属) (USB ケーブル 25-71918-01R またはシリアル ケーブル 25-71917-02R 要)
- LS3578 **Bluetooth**® スキャナ (FLB3508-C007WR クレードル付属) (USB ケーブル 25-71918-01R またはシリアル ケーブル 25-71917-02R 要) Android デバイスは USB のみサポートすることに注意してください。
- LS3578 **Bluetooth**® スキャナ (FLB3578-C007WR クレードル付属) (USB ケーブル 25-71918-01R またはシリアル ケーブル 25-71917-02R 要) Android デバイスは USB のみサポートすることに注意してください。
- LS3203 (シリアル ケーブル 25-71916-01R 要) Android デバイスは USB のみサポートすることに注意してください。
- LS42XX (USB ケーブル 25-71918-01R または シリアル ケーブル 25-71917-02R 要) Android デバイスは USB のみサポートすることに注意してください。

第 8 章 メンテナンスとトラブル シューティング

はじめに

この章では、MC92N0-G のクリーニングと保管方法、および MC92N0-G の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

MC92N0-G の保守

トラブルを避けるため、MC92N0-G の使用中は次の注意事項を守ってください。

- MC92N0-G は極度の高温または低温にさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ほこりや湿気が多い場所では、MC92N0-G の保管や利用を避けてください。
- MC92N0-G をクリーニングするには、レンズ用の柔らかい布を使用してください。MC92N0-G のディスプレイが汚れた場合は、柔らかい布に薄めた窓ガラス洗剤を湿らせてクリーニングします。
- バッテリーの寿命と製品の性能を最大限に活用するために、充電式リチウム イオン バッテリーは定期的に交換してください。バッテリーの寿命は、ユーザーの利用状況によって異なります。
- MC92N0-G のスクリーンに傷を付けないように注意してください。MC92N0-G の操作中は、付属のスタイラス、またはタッチスクリーンでの使用を目的とした先端がプラスチックのペンをご使用ください。MC92N0-G の画面の表面で、実際のペンや鉛筆、その他の鋭いものを使用しないでください。
- MC92N0-G のタッチスクリーンにはガラスが使用されています。MC92N0-G を落としたり、強い衝撃を与えたりしないよう注意してください。

バッテリーの安全に関するガイドライン

- 機器を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質および薬品を置かないでください。業務環境以外で機器を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、ユーザー ガイドに記載されているガイドラインに従ってください。

- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。
- モバイル デバイス バッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を、0°C ~ +40°C (32°F ~ 104°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れ、またはその他の事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合は、Zebra グローバル カスタマー サポートにお問い合わせください。
- USB ポートを充電用の電源として利用する機器は、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンス プログラムで認証された製品のみ接続することができます。
- 分解または外殻を開くこと、粉碎、屈曲または変形、穿孔、もしくは切断を行わないでください。
- バッテリー駆動式の機器を硬い地面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー ターミナルに接触させたりしないでください。
- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露、または火、爆発あるいはその他の危険物への暴露を行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジエータやその他の熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れしないでください。
- 児童がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に従ってすみやかに廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- バッテリーを飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。
- バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーの破損が疑われる場合は、Zebra サポートに検査を依頼してください。

クリーニング



注意

必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコールに関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、Zebra に詳細をお問い合わせください。



警告

高温の油やその他の可燃性の液体に製品を触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従ってただちに製品をクリーニングしてください。

使用可能な洗剤の活性成分

どのような洗剤であってもその活性成分は、イソプロピル アルコール、漂白剤/次亜塩素酸ナトリウム、過酸化水素、中性食器洗剤のいずれか、またはこれらの組み合わせのみで構成されている必要があります。

有害成分

化学薬品の中には、MC92N0-G の樹脂部分を冒すことが判明しているために、デバイスに接触しないような配慮が必要な場合があります。このような化学薬品として、アンモニア溶液、アミンまたはアンモニアの化合物、アセトン、ケトン、エーテル、芳香族炭化水素および塩素化炭化水素、アルカリのアルコール溶液または水溶液、エタノールアミン、トルエン、トリクロロエチレン、ベンゼン、石炭酸、および TB- リゾフォルムがあります。

クリーニング方法

MC92N0-G に液体を直接塗布しないでください。柔らかい布にしみ込ませて使用するか、ウェット ティッシュを使用してください。布やウェット ティッシュにデバイスをくまらず、力を入れずにゆっくりと表面を拭きます。ディスプレイの周辺などに液体がたまらないように注意してください。デバイスは、自然乾燥させてから使用してください。

クリーニングの際の注意事項

多くのビニール製手袋には、医療用途にはお勧めできないフタレート系の添加剤が含有されており、MC92N0-G の筐体には有害であることがわかっています。フタレートを含有する手袋を着用して MC92N0-G を扱わないようにしてください。また、手袋を外した後は、手を洗って汚染残留物を除去してから MC92N0-G を扱ってください。MC92N0-G を扱う前に、エタノールアミンを含有する除菌ローションなど、上記の有害成分を含有する製品を使用していた場合は、樹脂部の損傷を防止するために、手を完全に乾燥させてから MC92N0-G を扱うようにしてください。

必要な材料

- アルコール脱脂綿
- レンズ用ティッシュ ペーパー
- 綿棒
- イソプロピル アルコール
- 管つき圧縮空気の缶

MC92N0-G のクリーニング

筐体

アルコール脱脂綿で筐体を拭きます。キーやキーの間の部分も拭きます。

ディスプレイ

ディスプレイはアルコール脱脂綿で拭いてもかまいません。ただし、ディスプレイの端の周囲に液体がたまらないように注意してください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

スキャナ ウィンドウ

レンズ用ティッシュ ペーパーまたはメガネなど光学材料のクリーニングに適した用具で定期的にスキャナ ウィンドウを拭いてください。

バッテリー端子

1. MC92N0-G からメイン バッテリーを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピル アルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、バッテリーの下部のバッテリーの端子部分を軽くこすります。端子にコットンの屑が残らないようにしてください。
4. これを 3 回以上繰り返します。
5. アルコールに浸した綿棒で、コネクタ部付近の油分やほこりを拭き取ります。
6. 乾いた綿棒を使用して、ステップ 3 ~ 5 を繰り返します。
7. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。



注意 ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

8. コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。
9. MC92N0-G のバッテリーを交換します。

クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. クレードルから DC 電源ケーブルを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピル アルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタのピンに沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. コネクタのすべての面も、綿棒で拭く必要があります。
5. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。



注意 ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

6. 綿棒の屑が残っていないことを確認し、屑が残っていれば取り除きます。
7. クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
8. アルコールが蒸発するまで 10 ~ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないでください。

気温が低く湿度が高い場合は、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合は、乾燥時間が短くて済みます。

クリーニングの頻度

モバイル デバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーが判断してください。必要に応じた頻度でクリーニングを行うことができます。ただし、埃の多い環境で使用する場合は、スキャンのパフォーマンスを最適に保つため、スキャナ ウィンドウを定期的にクリーニングすることをお勧めします。

トラブルシューティング

MC92N0-G

表 8-1 MC92N0-G のトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
MC92N0-G がオンにならない。	リチウム イオン バッテリーが充電されていない。	MC92N0-G のリチウム イオン バッテリーを充電または交換します。
	リチウム イオン バッテリーが正しく取り付けられていない。	バッテリーが正しく取り付けられているかどうかを確認してください。 1-2 ページの「メインバッテリーの取り付け」 を参照してください。
	システムがクラッシュしている。	ウォーム ブートを実行します。この方法でも、MC92N0-G がオンにならない場合は、コールド ブートを実行します。Windows デバイスの場合は 2-25 ページの「MC92N0-G のリセット」 、Android デバイスの場合は 3-15 ページの「Android デバイスのリセット」 を参照してください。
充電式リチウム イオン バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	バッテリーを交換してください。それでも MC92N0-G が動作しない場合は、ウォーム ブートを試行し、その後コールド ブートを試行します。Windows デバイスの場合は 2-25 ページの「MC92N0-G のリセット」 、Android デバイスの場合は 3-15 ページの「Android デバイスのリセット」 を参照してください。
	バッテリーの充電中に MC92N0-G をクレードルから取り外した。	MC92N0-G をクレードルに差し込み、充電を開始します。リチウム イオン バッテリーは 4 時間以内にフル充電が完了します。
ディスプレイの文字が見えない。	MC92N0-G の電源がオンになっていない。	電源 ボタンを押します。

表 8-1 MC92N0-G のトラブルシューティング (続き)

問題	原因	対処方法
データ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全だった。	通信中に、MC92N0-G をクレードルから取り外したか、ホストコンピュータから切断した。	MC92N0-G をクレードルに置き直すか、同期ケーブルをつなぎ直して再度転送を行います。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアのインストールや構成が正しくない。	<p>セットアップを実行します。詳細については『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。</p> <p>Windows デバイスの場合は、Microsoft ActiveSync 4.5 以上または Windows Mobile Device Center (WMDC) がホストコンピュータにインストールされていることを確認してください。Android デバイスの場合は、MTP ドライバがインストールされていることを確認してください。</p>
音が聞こえない。	音量設定が低いかオフになっている。	音量を調節します。音量を増減するためのキーの組み合わせについては、 B-26 ページの「キーボードの特殊機能」 を参照してください。
MC92N0-G の電源が勝手に切れる。	MC92N0-G が非アクティブになっている。	<p>MC92N0-G は一定の時間非アクティブになっていると電源がオフになります。</p> <p>Windows Embedded Handheld デバイスでは、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Power] (電源) > [Advanced] (詳細) の順にタップして電源設定を確認します。</p> <p>Windows CE デバイスでは、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Control Panel] (コントロールパネル) > [Power] (電源) > [Advanced] (詳細) の順にタップして電源設定を確認します。</p> <p>Android デバイスでは、 > [Display] (ディスプレイ) > [Sleep] (スリープ) をタッチします。</p> <p>自動シャットオフ機能が動作するまでの時間設定を長くする必要がある場合は、設定を変更します。</p>
	バッテリーが完全に放電している。	バッテリーを交換します。
ウィンドウのボタンやアイコンをタップしても、対応する機能が動作しない。	LCD スクリーンが正しく位置合わせされていない。	スクリーンを再調整します。
	システムがハングしている。	システムをウォーム ブートします。ウォーム ブートを実行するには、Windows デバイスの場合は 2-25 ページの「MC92N0-G のリセット」 、Android デバイスの場合は 3-15 ページの「Android デバイスのリセット」 を参照してください。

表 8-1 MC92N0-G のトラブルシューティング (続き)

問題	原因	対処方法
MC92N0-G のメモリが満杯というメッセージが表示される。	MC92N0-G に保存されているファイルが多すぎる。	使用しないメモや記録を削除します。記録はホストコンピュータに保存できます。
	MC92N0-G にインストールされているアプリケーションが多すぎる。	<p>アプリケーションを MC92N0-G に追加インストールした場合は、それを削除してメモリを復元します。</p> <p>Windows Embedded Handheld デバイスでは、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Remove Programs] (プログラムの削除) をタップします。</p> <p>Windows CE デバイスでは、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Control Panel] (コントロールパネル) > [Remove Programs] (プログラムの削除) をタップします。</p> <p>使用していないプログラムを選択し、[Remove] (削除) をタップします。</p> <p>Android デバイスでは、 > [App] (アプリ) > [Downloaded] (ダウンロード済み) をタッチします。未使用のダウンロード済みアプリケーションを選択して、[Uninstall] (アンインストール) をタッチします。</p>
MC92N0-G でスキャンを実行できない。	スキャンアプリケーションがロードされていない。	装置にスキャンアプリケーションがロードされているかどうかを確認してください。4-5 ページの「DataWedge」を参照するか、システム管理者にお問い合わせください。
	バーコードを読み取れない。	コードに汚れがないことを確認します。
	出力ウィンドウとバーコードとの距離が適切ではない。	MC92N0-G が適切なスキャン範囲内にあるかどうかを確認してください。
	バーコード用に MC92N0-G が設定されていない。	スキャンしようとしているバーコードのタイプを読み取れるよう MC92N0-G がプログラムされているかどうかを確認してください。
	MC92N0-G がビープ音を鳴らすようにプログラムされていない。	正しく読み取ったときに鳴るはずのビープ音が聞こえない場合は、アプリケーションがそのように設定されているかどうかを確認してください。
	バッテリー残量が少なくなっている。	<p>スキャナのトリガを押したときにレーザー光線の放射が停止する場合は、バッテリーレベルを確認します。バッテリー残量が少なくなっていると、バッテリー残量が少ないことを MC92N0-G が通知する前に、スキャナがシャットオフします。</p> <p>注：この対処法を実行してもスキャナがコードを読み取らない場合は、代理店または Zebra にお問い合わせください。</p>

表 8-1 MC92N0-G のトラブルシューティング (続き)

問題	原因	対処方法
ActiveSync を使用して MC92N0-G がホストコンピュータに接続されたときに、WLAN 接続が切断された (Windows デバイスのみ)。	Microsoft のセキュリティ機能によって、2つの異なるネットワーク間の接続が阻止された。	ActiveSync を使用してホストコンピュータに接続する前に、WLAN から切断します。
MC92N0-G が近くの Bluetooth デバイスを検出できない。	他の Bluetooth デバイスから遠すぎる。	他の Bluetooth デバイスから 10m 以内に MC92N0-G を近づけます。
	近くの Bluetooth デバイスの電源がオンになっていない。	検出する Bluetooth デバイスの電源をオンにします。
	Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていない。	Bluetooth デバイスを検出可能なモードに設定します。必要に応じて、デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。
MC92N0-G が使用電力を落としてメモリの内容を保護しようとする。	MC92N0-G のバッテリー残量が少なくなっている。	バッテリーを充電してください。
リアルタイムデータを抽出できない (Windows デバイスのみ)。	MC92N0-G が応答しない。	ウォーム ブートを実行してから、F9 を押してデータを抽出します。

4 スロット予備バッテリー充電器

表 8-2 4 スロット予備バッテリー充電器のトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
バッテリーが充電されない。	バッテリーを充電器から取り外したり、充電器を AC 電源から抜いたりするのが早すぎた。	充電器に電力が供給されていることを確認してください。メインバッテリーが充電中であることを確認してください。バッテリーが完全に空になっている場合は、バッテリーのフル充電に最大 4 時間かかります。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	バッテリーの端子が充電器に接続されていない。	バッテリーが、端子を下にしてバッテリー受けに正しくセットされていることを確認します。

シングル スロット シリアル/USB クレードル

表 8-3 シングル スロット シリアル/USB クレードルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処方法
MC92N0-G のバッテリーまたは予備バッテリーを差し込んでも LED が点灯しない。	クレードルに電力が供給されていない。	電源ケーブルが、クレードルと AC 電源の両方にしっかり接続されていることを確認します。
	MC92N0-G がクレードルにしっかりセットされていない。	MC92N0-G をクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
	予備バッテリーがクレードルにしっかりセットされていない。	予備バッテリーを充電スロットから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
MC92N0-G のバッテリーが充電されない。	MC92N0-G をクレードルから、またはクレードルを AC 電源から抜くのが早すぎた。	クレードルに電力が供給されていることを確認します。 MC92N0-G が正しくセットされていることを確認してください。 メインバッテリーが充電中であることを確認してください。 MC92N0-G のバッテリーが完全に空になっている場合は、バッテリーのフル充電に最大 4 時間かかります (MC92N0-G がオフの場合。MC92N0-G が動作中の場合はさらに時間がかかります)。 Windows Embedded Handheld デバイスでは、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Power] (電源) の順にタップしてバッテリーの状態を表示します。 Windows CE デバイスでは、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Control Panel] (コントロール パネル) > [Power] (電源) の順にタップしてバッテリー状態を表示します。 Android デバイスでは、  > [Battery] (バッテリー) をタッチします。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC92N0-G がクレードルに完全にセットされていない。	MC92N0-G をクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
予備バッテリーが充電されない。	バッテリーが充電スロットに完全にセットされていない。	予備バッテリーをクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
	バッテリーが正しく差し込まれていない。	端子が下向きに差し込まれているかどうかを確認してください。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。

表 8-3 シングル スロット シリアル/USB クレードルのトラブルシューティング (続き)

症状	考えられる原因	対処方法
データ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全だった。	MC92N0-G が通信中にクレードルから取り外された。	MC92N0-G をクレードルに戻し、転送し直してください。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアが正しくインストールまたは設定されていない。	『MC92N0-G Integrator Guide』の説明のとおりセットアップを実行します。 Windows デバイスの場合は、Microsoft ActiveSync 4.5 以上または WMDC がホスト コンピュータにインストールされていることを確認してください。 Android デバイスの場合は、MTP ドライバがインストールされていることを確認してください。

ケーブルアダプタ モジュール

表 8-4 ケーブルアダプタ モジュール (CAM) のトラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処方法
MC92N0-G のバッテリーが充電されない。	MC92N0-G を CAM から、または CAM を AC 電源から抜くのが早すぎた。	CAM に電力が供給されていることを確認します。MC92N0-G が正しく接続されていることを確認してください。メインバッテリーが充電中であることを確認してください。MC92N0-G のバッテリーが完全に空になっている場合は、バッテリーのフル充電に最大 4 時間かかります (MC92N0-G がオフの場合)。MC92N0-G が動作中の場合はさらに時間がかかります。 Windows Embedded Handheld デバイスでは、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Power] (電源) の順にタップしてバッテリーの状態を表示します。 Windows CE デバイスでは、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Control Panel] (コントロール パネル) > [Power] (電源) の順にタップしてバッテリー状態を表示します。 Android デバイスでは、  > [Battery] (バッテリー) をタッチします。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC92N0-G が CAM にしっかり接続されていない。	MC92N0-G から CAM を抜いて差し込み直し、しっかり接続されていることを確認します。

表 8-4 ケーブルアダプタ モジュール (CAM) のトラブルシューティング (続き)

症状	考えられる原因	対処方法
データ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全だった。	通信中に MC92N0-G から CAM が外れた。	MC92N0-G を CAM に接続し直し、再転送します。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアが正しくインストールまたは設定されていない。	『MC92N0-G Integrator Guide』の説明のとおりセットアップを実行します。 Windows デバイスの場合は、Microsoft ActiveSync 4.5 以上または WMDC がホストコンピュータにインストールされていることを確認してください。 Android デバイスの場合は、MTP ドライバがインストールされていることを確認してください。
	Android デバイスはシリアル通信をサポートしない。	USB 接続を使用してください。

磁気ストライプリーダー

表 8-5 磁気ストライプリーダーのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処方法
MSR がカードを読み取れない。	カードを通している間に MC92N0-G が MSR から外れた。	MC92N0-G を MSR に接続し直し、カードを再び通してください。
	カードの磁気ストライプが壊れている。	システム管理者にお問い合わせください。
	MSR アプリケーションが正しくインストールまたは設定されていない。	MC92N0-G に MSR アプリケーションがインストールされていることを確認します。 MSR アプリケーションが正しく設定されていることを確認します。

表 8-5 磁気ストライプリーダーのトラブルシューティング (続き)

症状	考えられる原因	対処方法
MC92N0-G のバッテリーが充電されない。	MC92N0-G を MSR から、または MSR を AC 電源から抜くのが早すぎた。	MSR に電力が供給されていることを確認します。MC92N0-G が正しく接続されていることを確認してください。メインバッテリーが充電中であることを確認してください。MC92N0-G のバッテリーが完全に空になっている場合は、バッテリーのフル充電に最大 4 時間かかります (MC92N0-G がオフの場合。MC92N0-G が動作中の場合はさらに時間がかかります)。 Windows Embedded Handheld デバイスでは、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Power] (電源) の順にタップしてバッテリーの状態を表示します。 Windows CE デバイスでは、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Control Panel] (コントロールパネル) > [Power] (電源) の順にタップしてバッテリー状態を表示します。 Android デバイスでは、  > [Battery] (バッテリー) をタッチします。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC92N0-G が MSR にしっかり接続されていない。	MC92N0-G から MSR を抜いて差し込み直し、しっかり接続されていることを確認します。
データ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全だった。	通信中に MC92N0-G が MSR から外れた。	MC92N0-G を MSR に取り付け直し、再転送します。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアが正しくインストールまたは設定されていない。	『MC92N0-G Integrator Guide』の説明のとおりセットアップを実行します。
	Android デバイスはシリアル通信をサポートしない。	USB 接続を使用してください。

付録 A 仕様

技術仕様

次の表に、MC92N0-G の設計動作環境とハードウェアの一般技術仕様を示します。

MC92N0-G

次の表に、MC92N0-G の設計動作環境を示します。

表 A-1 技術仕様

項目	説明
外観・使用環境条件など	
寸法	23.1cm (高さ) x 9.1cm (幅) x 19.3cm (奥行) 9.1 インチ (L) x 3.6 インチ (W) x 7.6 インチ (H)
重量	765g (27 オンス)
キーボード	28 キー、43 キー、53 キー、見やすいキーパッド、および端末エミュレーション (5250、3270、VT)
ディスプレイ	16 ビット カラー 3.7 インチ、バックライトあり、65000 色。 QVGA モード: 240 (W) x 320 (L) (Windows CE のみ) VGA モード: 480 (W) x 640 (L)
電源	取り外し可能な充電式 7.4V リチウム イオン 2200mAh バッテリー パック、16.3 ワット時
性能特性	
CPU	Texas Instruments OMAP 4430 プロセッサ、1GHz
オペレーティングシステム	Microsoft Windows Embedded Compact 7.0 (Windows CE 7.0) Microsoft Windows Embedded Handheld Android ベース Android Open Source Project (AOSP) バージョン 4.4.4.

表 A-1 技術仕様 (続き)

項目	説明
メモリ	Standard: 512MB RAM/2GB FLASH (Windows のみ) Premium: 1GB RAM/2GB FLASH
拡張	SD カード (最大 32GB)
アプリケーション開発	Windows 開発の場合は PSDK および EMDK、Android 開発の場合は Android EMDK。 Zebra Support Central Web サイトから入手できます。
データ収集オプション	SE965: 1D 標準レンジ スキャン エンジン SE1524-ER: 1D 拡張レンジ スキャン エンジン (Windows のみ) SE4600-LR: 拡張レンジ オムニ 1D/2D イメージ エンジン。1D および 2D シンボルの読み取り用 (Windows のみ)。 SE4500-SR: オムニ 1D/2D イメージ エンジン。1D および 2D シンボルの読み取り用。 SE4500-DL: 1D/2D DL イメージ エンジン。運転免許証などの身分証明書類上のすべての 1D および 2D コード、および PDF コードの読み取り用 (Windows Premium のみ)。 SE4500-HD: 1D/2D DPM イメージ エンジン。ドットピーニング、レーザー エッチング、モールディング、スタンピング、キャストリングなど、金属、プラスチック、およびガラス表面上の各種 DPM マークの読み取り用 (Windows Premium のみ)。 SE4750-SR: 標準レンジ オムニ 1D/2D イメージ エンジン。1D および 2D シンボルの読み取り用 (Premium のみ)。 SE4750-MR: ミッドレンジ オムニ 1D/2D イメージ エンジン。1D および 2D シンボルの読み取り用 (Premium のみ)。
ユーザー環境	
動作温度	-4°F ~ 122°F (-20°C ~ 50°C)
保管温度	-22°F ~ 140°F (-30°C ~ 60°C)
バッテリー充電温度	32°F ~ 104°F (0°C ~ +40°C)
湿度	5% ~ 95% 結露なきこと
耐落下衝撃性能	動作温度の範囲内で 6 フィート (1.8 メートル) の高さからコンクリートの床への複数回落下試験に合格 (MIL-STD 810G 適合)
転倒	室温環境下で 1 メートルの高さから 2,000 回の転倒後、動作可能 (4,000 回の打撃に相当)、適用される IEC 耐転倒衝撃仕様に適合
環境シーリング	IP64 (電子製品筐体、ディスプレイ、キーパッド) IEC シーリング規格に適合
ESD	+/-15kVDC 大気放電 +/-8kVDC 直接放電 +/-8kVDC 間接放電

表 A-1 技術仕様 (続き)

項目	説明
WLAN 無線データ通信	
WLAN 無線通信	802.11a/b/g/n
出力	100mW 米国 および各国
データ速度	802.11a: 最大 54Mb/秒 802.11b: 最大 11Mb/秒 802.11g: 最大 54Mb/秒 802.11n: 最大 72.2Mb/秒
周波数範囲	各国で異なる: 802.11a - 5GHz、802.11b - 2.4GHz、802.11g - 2.4GHz 802.11n - 2.4Ghz/5Ghz
アンテナ	内蔵ダイバーシティ アンテナ
WLAN セキュリティ	WPA2 Enterprise、802.1x。EAP-TLS。TTLS (CHAP、MS-CHAP、MS-CHAPv2、PAP または MD5)。PEAP (TLS、MSCHAPv2、EAP-GTC)。LEAP、EAP-FAST (TLS、 MS-CHAPv2、EAP-GTC)、WPA2/AES、CCX v4、FIPS 140-2 準拠および IPv6
WPAN 無線データ通信	
Bluetooth	Microsoft Bluetooth スタック搭載の Windows: Bluetooth バージョン 2.1+EDR StoneStreet One Bluetooth スタック搭載の Windows: Bluetooth バージョン 4.0 Low Energy Android デバイス: Bluetooth バージョン 4.0 Low Energy
周辺装置とアクセサリ	
クレードル	1 スロット シリアル/USB、4 スロット イーサネット、4 スロット 充電専用、フォークリフト
プリンタ	Zebra 動作確認済みの広範なラインアップのプリンタをサポート
充電器	4 スロット バッテリー充電器、4 スロット ユニバーサル バッテリー充電器
その他の アクセサリ	ケーブル アダプタ モジュール、スナップオン磁気ストライプリーダー、モデム モジュール、ホルスター式、キーパッド モジュール、スタイラス式、ケーブル式、政府機関での使用に適した Zebra 承認済み CAC リーダー、GSM、高耐久性のケーブル付きヘッドセット

表 A-2 データ収集オプション

項目	説明		
レーザー読み取り機能	Code 39 Codabar Interleaved 2 of 5 MSI UPC/EAN supplementals Webcode RSS Expanded	Code 128 Code 11 EAN-8 UPCA Coupon Code RSS-14 Chinese 2 of 5	Code 93 Discrete 2 of 5 EAN-13 UPCE Trioptic 39 RSS Limited
イメージング読み取り機能	Code 39 Codabar Discrete 2 of 5 EAN-13 UPC/EAN supplementals Webcode Composite C Macro PDF-417 RSS Expanded Data Matrix US Planet Canadian 4-state Chinese 2 of 5 microQR	Code 128 Code 11 MSI UPCA Coupon Code TLC39 Micro PDF-417 (Macro) Micro PDF-417 RSS Limited Maxi Code UK 4-state Japanese 4-state USPS 4-state (US4CB)	Code 93 Interleaved 2 of 5 EAN-8 UPCE Trioptic 39 Composite AB PDF-417 QR Code RSS-14 US Postnet Australian 4-state Dutch Kix Aztec

付録 B キーパッド

はじめに

MC92N0-G には、次に示す交換可能なモジュラ式キーパッドがあります。

- 28 キー キーパッド
- 43 キー キーパッド
- 53 キー キーパッド/53 キー高可視性キーパッド
- 3270 エミュレータ
- 5250 エミュレータ
- VT エミュレータ

モジュラ式キーパッドは必要に応じて現場で交換可能で、特殊アプリケーションをサポートできます。取り付けおよび取り外して順については、『**MC92N0-G Integrator Guide**』を参照してください。

28 キー キーパッド

28 キーのキーパッドには、電源ボタン、アプリケーション キー、スクロール キー、ファンクション キーがあります。キーパッドは色分けされており、代替ファンクションキー (青) の値が示されています。アプリケーションによってキーパッドの機能が変換することがあるため、MC92N0-G のキーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。キーとボタンの説明については、[B-3 ページの表 B-1](#) を参照してください。キーパッドの特殊機能については、[B-26 ページの表 B-7](#) を参照してください。

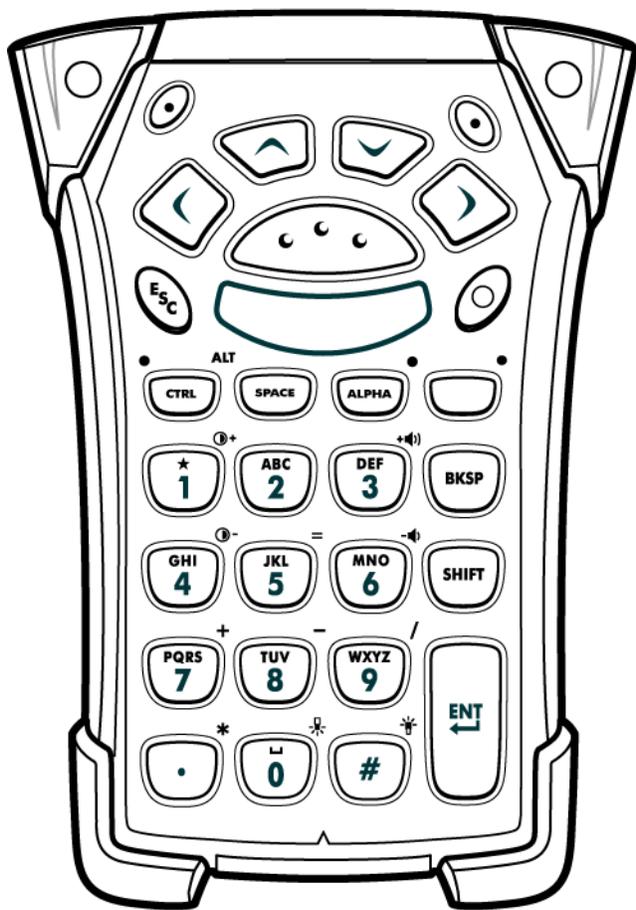


図 B-1 28 キー キーパッド

表 B-1 28 キー キーパッドの説明

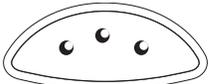
キー	説明
電源 (赤) 	MC92N0-G のオン/オフを切り替えます。 ウォーム ブートとコールド ブートを実行します。ウォーム ブートとコールド ブートの実行方法については、Windows デバイスの場合は 2-25 ページの「MC92N0-G のリセット」 、Android デバイスの場合は 3-15 ページの「Android デバイスのリセット」 を参照してください。
緑色/赤色のドット 	キーをキーボードのアプリケーション キー (APP キー) として使用するには、新しいキーボード リマップ テーブルを作成してインストールする必要があります。ただし、緑色/赤色のドット キーは、レジストリで APP キーとしてリマップできます。 次のエントリがある XML プロビジョニング ファイルを作成します。 Characteristic type = "HKEY_LOCAL_MACHINE\HARDWARE\DEVICEMAP\KEYBD" Parm name = "GreenKeyOverride" value = "xx"。xx は新しい APP キーのコード。 Parm name = "RedKeyOverride" value = "xx"。xx は新しい APP キーのコード XML プロビジョニングを使用したレジストリの更新方法については、『 MC92N0-G Integrator Guide 』を参照してください。 これによって、緑色または赤色のドットキーを押したときに、元のキー コードの代わりに APP キー コードが送られます。
スキャン (黄) 	スキャン対応アプリケーションでスキャナ/イメージャーがアクティブになります。
上/下ヘスクロール 	項目から項目へ、上下に移動します。 指定した値を増減します。
左/右ヘスクロール 	項目から項目へ、左右に移動します。 指定した値を増減します。
ESC 	実行中の操作を終了します。
オン/アスタリスク 	デフォルトの状態では、数字の 1 が入力されます。 アルファ状態では、アスタリスクが入力されます。

表 B-1 28 キー キーパッドの説明 (続き)

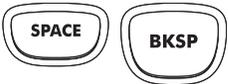
キー	説明
英数字 	<p>デフォルトの状態では、キーに示されている数値が入力されます。</p> <p>英字モードの場合は、キーに示されている英字が小文字で入力されます。キーを押すたびに、次の英字に切り替わります。たとえば、ALPHA キーを押して放してから [4] キーを 1 回押すと「g」が入力されます。ALPHA キーを押して放してから [4] キーを 3 回押すと、「i」が入力されます。</p> <p>英字モードで SHIFT キーを押すと、キーに示されている英字が大文字で入力されます。たとえば、ALPHA キーを押して放し、SHIFT キーを押して放してから [4] キーを 1 回押すと「G」が入力されます。SHIFT キーを押して放してから [4] キーを 3 回押すと「I」が入力されます。</p>
SPACE/BKSP 	<p>スペースおよびバックスペース機能。</p>
CTRL (コントロール) 	<p>キーパッドの代替 CTRL 機能を有効にするには、CTRL キーを押して放します。</p> <p>Windows Mobile および Windows CE デバイスではキーの上の LED が点灯し、 アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータスバーに表示されます。</p> <p>キーパッドの代替 ALT 機能を有効にするには、ブルー キーを押して CTRL キーを押します。Windows Mobile および Windows CE デバイスでは ALT アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータスバーに表示されます。</p>
ALPHA 	<p>デフォルトのキーパッドモードは Num-Lock (数値ロック) モードです。オレンジの ALPHA キーを押すと Num-Lock モードが無効になり、代替 ALPHA 文字 (キーパッドにオレンジ色で示されている文字) を使用できます。キーの上の LED が点灯します。Android デバイスの場合は  アイコンがステータスバーに表示されます。通常のキーパッド機能に戻すには、ALPHA キーを再度押して放します。</p>
ファンクション (ブルー) 	<p>ブルーのファンクション キーを押して放すと、キーパッドの代替機能 (キーパッドに青色で示されている機能) が有効になります。Windows Mobile および Windows CE デバイスではキーの上の LED が点灯し、 アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータスバーに表示されます。通常のキーパッド機能に戻すには、ファンクション キーを再度押して放します。</p>
SHIFT 	<p>キーパッドの代替 SHIFT 機能を有効にするには、SHIFT キーを押して放します。</p> <p>Windows Mobile および Windows CE デバイスでは  アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータスバーに表示されます。別のキーを押すと、キーパッドが SHIFT 以外の状態に戻ります。Shift Lock 状態を有効にするように Shift キーを設定する手順については、『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。</p>

表 B-1 28 キー キーパッドの説明 (続き)

キー	説明
ENT (Enter) 	選択した項目または機能を実行します。
ピリオド/小数点 	デフォルト状態では、英字入力の場合はピリオドが入力され、数字入力の場合は小数点が入力されます。 ファンクションキー状態では、アスタリスクが入力されます。 ファンクションキー状態で SHIFT キーを押すと、アスタリスクが入力されます。
ゼロ 	デフォルト状態では、ゼロが入力されます。 アルファ状態では、スペースが入力されます。
シャープ 	シャープ/数字記号が入力されます。

43 キー キーパッド

43 キーのキーパッドには、電源ボタン、アプリケーション キー、スクロール キー、ファンクション キーがあります。キーパッドは色分けされており、代替ファンクション キー (青) の値と代替 ALPHA キー (オレンジ) の値が示されています。アプリケーションによってキーパッドの機能が変換することがあるため、MC92N0-G のキーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。キーとボタンの説明については、[B-7 ページの表 B-2](#) を参照してください。キーパッドの特殊機能については、[B-26 ページの表 B-7](#) を参照してください。

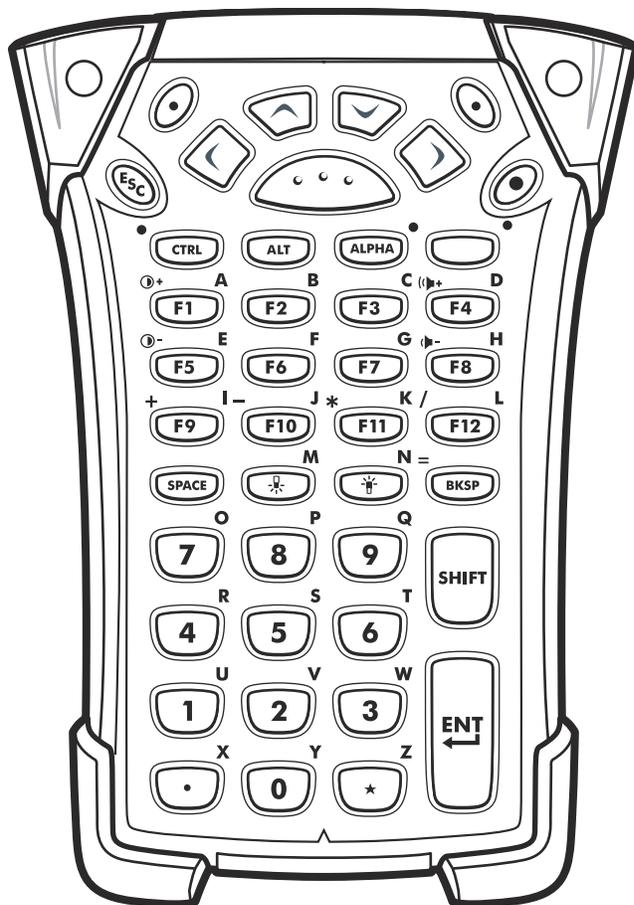


図 B-2 43 キー キーパッド

表 B-2 43 キー キーパッドの説明

キー	説明
電源 (赤) 	MC92N0-G のオン/オフを切り替えます。 ウォーム ブートとコールド ブートを実行します。ウォーム ブートとコールド ブートの実行方法については、Windows デバイスの場合は 2-25 ページの「MC92N0-G のリセット」 、Android デバイスの場合は 3-15 ページの「Android デバイスのリセット」 を参照してください。
緑色/赤色のドット 	キーをキーボードのアプリケーション キー (APP キー) として使用するには、新しいキーボード リマップ テーブルを作成してインストールする必要があります。ただし、緑色/赤色のドット キーは、レジストリで APP キーとしてリマップできます。 次のエントリがある XML プロビジョニング ファイルを作成します。 Characteristic type = "HKEY_LOCAL_MACHINE\HARDWARE\DEVICEMAP\KEYBD" Parm name = "GreenKeyOverride" value = "xx"。xx は新しい APP キーのコード。 Parm name = "RedKeyOverride" value = "xx"。xx は新しい APP キーのコード XML プロビジョニングを使用したレジストリの更新方法については、『 MC92N0-G Integrator Guide 』を参照してください。 これによって、緑色または赤色のドットキーを押したときに、元のキー コードの代わりに APP キー コードが送られます。
スキャン (黄) 	スキャン対応アプリケーションでスキャナ/イメージャーがアクティブになります。
上/下ヘスクロール 	項目から項目へ、上下に移動します。 指定した値を増減します。
左/右ヘスクロール 	項目から項目へ、左右に移動します。 指定した値を増減します。
ESC 	実行中の操作を終了します。
SPACE/BKSP 	スペースおよびバックスペース機能。
数字/英字 	数字または英字の値は、ALPHA キーの状態によって変化します。

表 B-2 43 キー キーボードの説明 (続き)

キー	説明
アルファ/アプリケーション 	<p>これらのキーは、そのファンクション値にアプリケーションが割り当てられ、ALPHA ファンクション キーと組み合わせて使用するとアルファ値が割り当てられます。</p> <p>Windows Embedded Handheld デバイスの場合: F6 および F7 キーはリマップできず、オペレーティング システムで音量制御用となっています。これらのキーを押すと Shell.exe によってトラップされ、音量調整ウィンドウが表示されます。これらのキーをアプリケーションで取得するには、アプリケーションの最初で GXOpenInput() を呼び出し、アプリケーションの最後で GXCloseInput() を呼び出します。その結果、F6 および F7 キーを含むすべてのキー イベントがアプリケーションにリダイレクトされます。</p> <p>注: GXCloseInput() が呼び出されるまで、他のアプリケーションはキー イベントをまったく受け取ることができません。たとえば、お客様が APP1 キーを使用して Calc.exe を実行した場合、実行中は APP1 キーが無効になります。</p>
ファンクション (ブルー) 	<p>ブルーのファンクション キーを押して放すと、キーボードの代替機能 (キーボードに青色で示されている機能) が有効になります。Windows Mobile および Windows CE デバイスではキーの上の LED が点灯し、 アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。通常のキーボード機能に戻すには、ファンクション キーを再度押して放します。</p>
コントロール 	<p>キーボードの代替 CTRL 機能を有効にするには、CTRL キーを押して放します。Windows Mobile および Windows CE デバイスではキーの上の LED が点灯し、 アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。</p>
ALT 	<p>キーボードの代替 ALT 機能を有効にするには、ALT キーを押します。Windows Mobile および Windows CE デバイスでは ALT アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。</p>
ALPHA (オレンジ) 	<p>デフォルトのキーボード モードは Num-Lock (数値ロック) モードです。オレンジの ALPHA キーを押すと Num-Lock モードが無効になり、代替 ALPHA 文字 (キーボードにオレンジ色で示されている文字) を使用できます。キーの上の LED が点灯します。Android デバイスの場合は  アイコンがステータス バーに表示されます。通常のキーボード機能に戻すには、ALPHA キーを再度押して放します。</p>
Shift 	<p>英字小文字モードを英字大文字モードに切り替えます。このモードを一時的にアクティブにするには、SHIFT キーを 1 回押して別のキーを押します。Windows Mobile および Windows CE デバイスでは  アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。</p> <p>Android デバイスでは、SHIFT キーを 2 回押して放すと、Shift Lock 状態が有効になります。 アイコンがステータス バーに表示されます。SHIFT キーを 2 回押して放すと、Shift Lock 状態が有効になります。</p> <p>Windows デバイスで Shift Lock 状態を有効にするように Shift キーを設定する手順については、『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。</p>

表 B-2 43 キー キーパッドの説明 (続き)

キー	説明
ピリオド/小数点 	英字入力の場合はピリオド、数字入力の場合は小数点、ALPHA ファンクションキーが有効化されている場合は英字の X が入力されます。
アスタリスク 	アスタリスクが入力され、ALPHA ファンクション キーが有効化されている場合は英字の Z が入力されます。
Enter 	選択した項目または機能を実行します。

53 キー キーパッド

53 キー キーパッドには 2 種類の物理構成がありますが、どちらのキーパッドも機能は同じです。53 キーのキーパッドには、電源ボタン、アプリケーション キー、スクロール キー、ファンクション キーがあります。キーパッドは色分けされており、代替ファンクションキー (青) の値が示されています。アプリケーションによってキーパッドの機能が変換することがあるため、MC92N0-G のキーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。キーとボタンの説明については、[B-11 ページの表 B-3](#) を参照してください。キーパッドの特殊機能については、[B-26 ページの表 B-7](#) を参照してください。

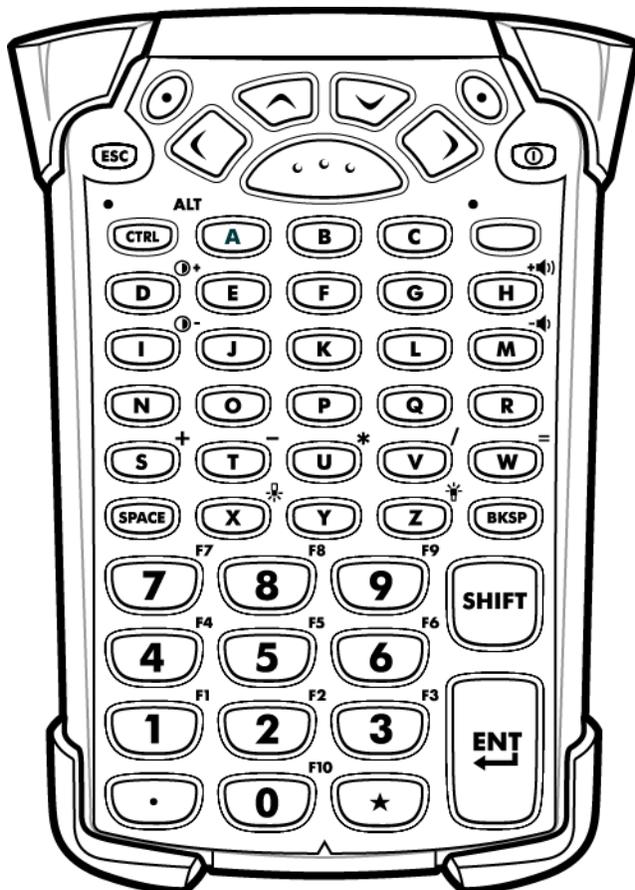


図 B-3 53 キー キーパッド

表 B-3 53 キー キーパッドの説明

キー	説明
電源 (赤) 	MC92N0-G のオン/オフを切り替えます。 ウォーム ブートとコールド ブートを実行します。ウォーム ブートとコールド ブートの実行方法については、Windows デバイスの場合は 2-25 ページの「MC92N0-G のリセット」 、Android デバイスの場合は 3-15 ページの「Android デバイスのリセット」 を参照してください。
緑色/赤色のドット 	キーをキーボードのアプリケーション キー (APP キー) として使用するには、新しいキーボード リマップ テーブルを作成してインストールする必要があります。ただし、緑色/赤色のドット キーは、レジストリで APP キーとしてリマップできます。次のエントリがある XML プロビジョニング ファイルを作成します。 Characteristic type = "HKEY_LOCAL_MACHINE\HARDWARE\DEVICEMAP\KEYBD" Parm name = "GreenKeyOverride" value = "xx"。xx は新しい APP キーのコード。 Parm name = "RedKeyOverride" value = "xx"。xx は新しい APP キーのコード XML プロビジョニングを使用したレジストリの更新方法については、『 MC92N0-G Integrator Guide 』を参照してください。 これによって、緑色または赤色のドットキーを押したときに、元のキー コードの代わりに APP キー コードが送られます。
スキャン (黄) 	スキャン対応アプリケーションでスキャナ/イメージャーがアクティブになります。
上/下へスクロール 	項目から項目へ、上下に移動します。 指定した値を増減します。
左/右へスクロール 	項目から項目へ、左右に移動します。 指定した値を増減します。
ESC 	実行中の操作を終了します。
ALPHA 	アルファ キーは英字用に使用します。
SPACE/BKSP 	スペースおよびバックスペース機能。

表 B-3 53 キー キーパッドの説明 (続き)

キー	説明
数字/アプリケーション 	<p>数値キーには、ファンクション キーとの組み合わせでアプリケーションを割り当てられます。</p> <p>Windows Embedded Handheld デバイスの場合: F6 および F7 キーはリマップできず、オペレーティング システムで音量制御用となっています。これらのキーを押すと Shell.exe によってトラップされ、音量調整ウィンドウが表示されます。これらのキーをアプリケーションで取得するには、アプリケーションの最初で GXOpenInput() を呼び出し、アプリケーションの最後で GXCloseInput() を呼び出します。その結果、F6 および F7 キーを含むすべてのキー イベントがアプリケーションにリダイレクトされます。</p> <p>注: GXCloseInput() が呼び出されるまで、他のアプリケーションはキー イベントをまったく受け取ることができません。たとえば、お客様が APP1 キーを使用して Calc.exe を実行した場合、実行中は APP1 キーが無効になります。</p>
ファンクション (ブルー) 	<p>ブルーのファンクション キーを押して放すと、キーパッドの代替機能 (キーパッドに青色で示されている機能) が有効になります。Windows Mobile および Windows CE デバイスではキーの上の LED が点灯し、 アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。通常のキーパッド機能に戻すには、ファンクション キーを再度押して放します。</p>
コントロール 	<p>キーパッドの代替 CTRL 機能を有効にするには、CTRL キーを押して放します。Windows Mobile および Windows CE デバイスではキーの上の LED が点灯し、 アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。</p> <p>キーパッドの代替 ALT 機能を有効にするには、ブルー キーを押して CTRL キーを押します。Windows Mobile および Windows CE デバイスでは ALT アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。</p>
Shift 	<p>キーパッドの代替 SHIFT 機能を有効にするには、SHIFT キーを押して放します。Windows Mobile および Windows CE デバイスでは  アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。別のキーを押すと、キーパッドが SHIFT 以外の状態に戻ります。</p> <p>Android デバイスでは、SHIFT キーを 2 回押して放すと、Shift Lock 状態が有効になります。アイコンがステータス バーに表示されます。SHIFT キーを 2 回押して放すと、Shift Lock 状態が有効になります。</p> <p>Windows デバイスで Shift Lock 状態を有効にするように Shift キーを設定する手順については、『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。</p>

表 B-3 53 キー キーパッドの説明 (続き)

キー	説明
ピリオド/小数点 	英字入力の場合はピリオドが入力され、数字入力の場合は小数点が入力されます。
アスタリスク 	アスタリスクが入力されます。
Enter 	選択した項目または機能を実行します。

3270 エミュレータ キーパッド

3270 エミュレータ キーパッドには 2 種類の物理構成がありますが、どちらのキーパッドも機能は同じです。3270 エミュレータ キーパッドには、電源ボタン、アプリケーション キー、スクロール キー、ファンクション キーがあります。キーパッドは色分けされており、代替ファンクションキー（青）の値が示されています。アプリケーションによってキーパッドの機能が変更されることがあるため、MC92N0-G のキーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。キーとボタンの説明については、[B-15 ページの表 B-4](#) を参照してください。キーパッドの特殊機能については、[B-26 ページの表 B-7](#) を参照してください。

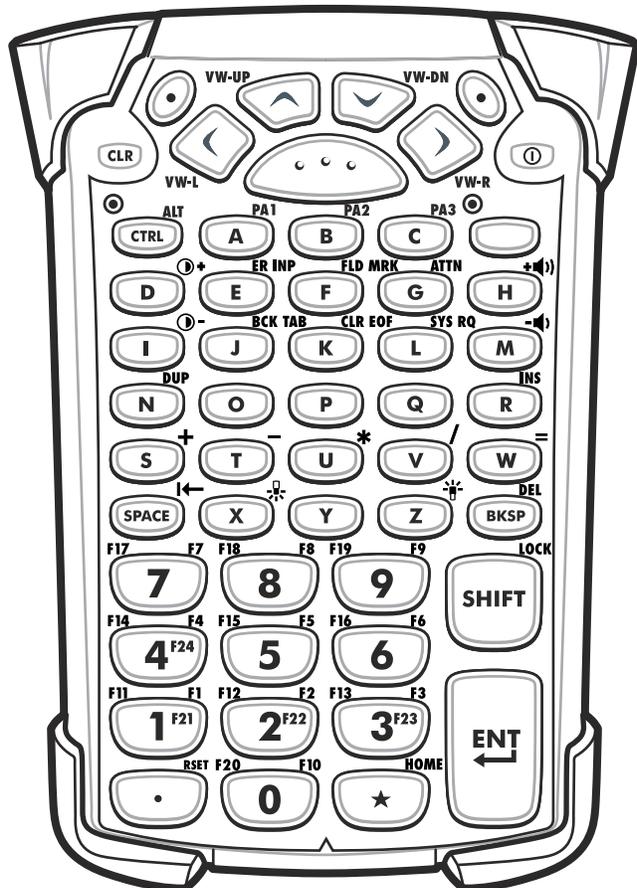


図 B-4 3270 エミュレータ キーパッド

- ✓ **注** 3270 エミュレータ キーパッドが使用されるのは、MC92N0-G で 3270 エミュレーション ソフトウェアを実行している場合のみです。Windows デバイスでは、MC92N0-G で 3270 エミュレーション ソフトウェアを実行していない場合、3270 キーパッドの機能は 53 キー キーパッドと同じになります。

表 B-4 3270 エミュレータの説明

キー	説明
電源 (赤) 	MC92N0-G のオン/オフを切り替えます。 ウォーム ブートとコールド ブートを実行します。ウォーム ブートとコールド ブートの実行方法については、Windows デバイスの場合は 2-25 ページの「MC92N0-G のリセット」 、Android デバイスの場合は 3-15 ページの「Android デバイスのリセット」 を参照してください。
緑色/赤色のドット 	キーをキーボードのアプリケーション キー (APP キー) として使用するには、新しいキーボード リマップ テーブルを作成してインストールする必要があります。ただし、緑色/赤色のドット キーは、レジストリで APP キーとしてリマップできません。 次のエントリがある XML プロビジョニング ファイルを作成します。 Characteristic type = "HKEY_LOCAL_MACHINE\HARDWARE\DEVICEMAP\KEYBD" Parm name = "GreenKeyOverride" value = "xx"。xx は新しい APP キーのコード。 Parm name = "RedKeyOverride" value = "xx"。xx は新しい APP キーのコード XML プロビジョニングを使用したレジストリの更新方法については、『 MC92N0-G Integrator Guide 』を参照してください。 これによって、緑色または赤色のドットキーを押したときに、元のキー コードの代わりに APP キー コードが送られます。
スキャン (黄) 	スキャン対応アプリケーションでスキャナ/イメージャーがアクティブになります。
上/下ヘスクロール 	項目から項目へ、上下に移動します。 指定した値を増減します。
左/右ヘスクロール 	項目から項目へ、左右に移動します。 指定した値を増減します。
CLR 	実行中の操作を終了します。
ALPHA 	アルファ キーは英字用に使用します。
SPACE/BKSP 	スペースおよびバックスペース機能。

表 B-4 3270 エミュレータの説明 (続き)

キー	説明
<p>アプリケーション</p> 	<p>これらのキーはアプリケーションに割り当てられます。</p> <p>Windows Embedded Handheld デバイスの場合: F6 および F7 キーはリマップできず、オペレーティング システムで音量制御用となっています。これらのキーを押すと Shell.exe によってトラップされ、音量調整ウィンドウが表示されます。これらのキーをアプリケーションで取得するには、アプリケーションの最初で GXOpenInput() を呼び出し、アプリケーションの最後で GXCloseInput() を呼び出します。その結果、F6 および F7 キーを含むすべてのキー イベントがアプリケーションにリダイレクトされます。</p> <p>注: GXCloseInput() が呼び出されるまで、他のアプリケーションはキー イベントをまったく受け取ることができません。たとえば、お客様が APP1 キーを使用して Calc.exe を実行した場合、実行中は APP1 キーが無効になります。</p>
<p>ファンクション (ブルー)</p> 	<p>ブルーのファンクション キーを押して放すと、キーパッドの代替機能 (キーパッドに青色で示されている機能) が有効になります。Windows Mobile および Windows CE デバイスではキーの上の LED が点灯し、 アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。通常のキーパッド機能に戻すには、ファンクション キーを再度押して放します。</p>
<p>コントロール</p> 	<p>キーパッドの代替 CTRL 機能を有効にするには、CTRL キーを押して放します。Windows Mobile および Windows CE デバイスではキーの上の LED が点灯し、 アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。</p> <p>キーパッドの代替 ALT 機能を有効にするには、ブルー キーを押して CTRL キーを押します。Windows Mobile および Windows CE デバイスでは ALT アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。</p>
<p>Shift</p> 	<p>キーパッドの代替 SHIFT 機能を有効にするには、SHIFT キーを押して放します。Windows Mobile および Windows CE デバイスでは  アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。別のキーを押すと、キーパッドが SHIFT が解除された状態に戻ります。</p> <p>Android デバイスでは、SHIFT キーを 2 回押して放すと、Shift Lock 状態が有効になります。 アイコンがステータス バーに表示されます。SHIFT キーを 2 回押して放すと、Shift Lock 状態が有効になります。</p> <p>Windows デバイスで Shift Lock 状態を有効にするように Shift キーを設定する手順については、『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。</p>

表 B-4 3270 エミュレータの説明 (続き)

キー	説明
ピリオド/小数点 	英字入力の場合はピリオドが入力され、数字入力の場合は小数点が入力されます。
アスタリスク 	アスタリスクが入力されます。
Enter 	選択した項目または機能を実行します。

5250 エミュレータ キーパッド

5250 エミュレータ キーパッドには 2 種類の物理構成がありますが、どちらのキーパッドも機能は同じです。5250 エミュレータ キーパッドには、電源ボタン、アプリケーション キー、スクロール キー、ファンクション キーがあります。キーパッドは色分けされており、代替ファンクションキー（青）の値が示されています。アプリケーションによってキーパッドの機能が変更されることがあるため、MC92N0-G のキーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。キーとボタンの説明については、[B-19 ページの表 B-5](#) を参照してください。キーパッドの特殊機能については、[B-26 ページの表 B-7](#) を参照してください。

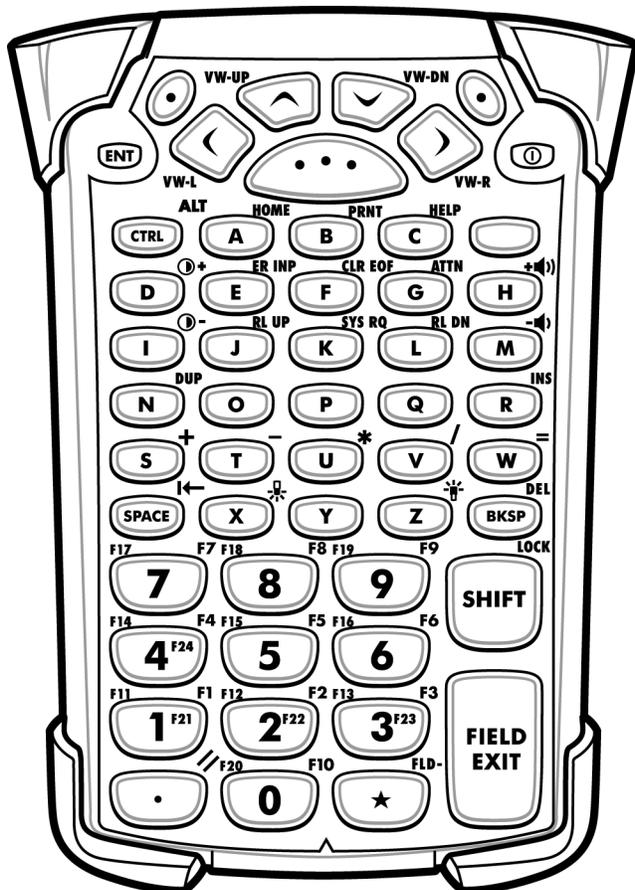


図 B-5 5250 エミュレータ キーパッド

- ✓ **注** 5250 エミュレータ構成が使用されるのは、MC92N0-G で 5250 エミュレーション ソフトウェアを実行している場合のみです。Windows デバイスでは、MC92N0-G で 5250 エミュレーション ソフトウェアを実行していない場合、5250 キーパッドの機能は 53 キー キーパッドと同じになります。

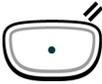
表 B-5 5250 エミュレータの説明

キー	説明
電源 (赤) 	MC92N0-G のオン/オフを切り替えます。 ウォーム ブートとコールド ブートを実行します。ウォーム ブートとコールド ブートの実行方法については、Windows デバイスの場合は 2-25 ページの「MC92N0-G のリセット」 、Android デバイスの場合は 3-15 ページの「Android デバイスのリセット」 を参照してください。
緑色/赤色のドット 	キーをキーボードのアプリケーション キー (APP キー) として使用するには、新しいキーボードリマップ テーブルを作成してインストールする必要があります。ただし、緑色/赤色のドット キーは、レジストリで APP キーとしてリマップできます。次のエントリがある XML プロビジョニング ファイルを作成します。 Characteristic type = "HKEY_LOCAL_MACHINE\HARDWARE\DEVICEMAP\KEYBD" Parm name = "GreenKeyOverride" value = "xx"。xx は新しい APP キーのコード。 Parm name = "RedKeyOverride" value = "xx"。xx は新しい APP キーのコード XML プロビジョニングを使用したレジストリの更新方法については、『 MC92N0-G Integrator Guide 』を参照してください。 これによって、緑色または赤色のドットキーを押したときに、元のキー コードの代わりに APP キー コードが送られます。
スキャン (黄) 	スキャン対応アプリケーションでスキャナ/イメージャーがアクティブになります。
上/下へスクロール 	項目から項目へ、上下に移動します。
左/右へスクロール 	項目から項目へ、左右に移動します。
ENT 	実行中の操作を終了します。
ALPHA 	アルファ キーは英字用に使用します。
SPACE/BKSP 	スペースおよびバックスペース機能。

表 B-5 5250 エミュレータの説明 (続き)

キー	説明
<p>アプリケーション</p> 	<p>これらのキーはアプリケーションに割り当てられます。</p> <p>Windows Embedded Handheld デバイスの場合: F6 および F7 キーはリマップできず、オペレーティング システムで音量制御用となっています。これらのキーを押すと Shell.exe によってトラップされ、音量調整ウィンドウが表示されます。これらのキーをアプリケーションで取得するには、アプリケーションの最初で GXOpenInput() を呼び出し、アプリケーションの最後で GXCloseInput() を呼び出します。その結果、F6 および F7 キーを含むすべてのキー イベントがアプリケーションにリダイレクトされます。</p> <p>注: GXCloseInput() が呼び出されるまで、他のアプリケーションはキー イベントをまったく受け取ることができません。たとえば、お客様が APP1 キーを使用して Calc.exe を実行した場合、実行中は APP1 キーが無効になります。</p>
<p>ファンクション (ブルー)</p> 	<p>ブルーのファンクション キーを押して放すと、キーパッドの代替機能 (キーパッドに青色で示されている機能) が有効になります。Windows Mobile および Windows CE デバイスではキーの上の LED が点灯し、 アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。通常のキーパッド機能に戻すには、ファンクション キーを再度押して放します。</p>
<p>コントロール</p> 	<p>キーパッドの代替 CTRL 機能を有効にするには、CTRL キーを押して放します。Windows Mobile および Windows CE デバイスではキーの上の LED が点灯し、 アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。</p> <p>キーパッドの代替 ALT 機能を有効にするには、ブルー キーを押して CTRL キーを押します。Windows Mobile および Windows CE デバイスでは ALT アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。</p>
<p>Shift</p> 	<p>キーパッドの代替 SHIFT 機能を有効にするには、SHIFT キーを押して放します。Windows Mobile および Windows CE デバイスでは  アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。別のキーを押すと、キーパッドが SHIFT 以外の状態に戻ります。</p> <p>Android デバイスでは、SHIFT キーを 2 回押して放すと、Shift Lock 状態が有効になります。 アイコンがステータス バーに表示されます。SHIFT キーを 2 回押して放すと、Shift Lock 状態が有効になります。</p> <p>Windows デバイスで Shift Lock 状態を有効にするように Shift キーを設定する手順については、『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。</p>

表 B-5 5250 エミュレータの説明 (続き)

キー	説明
ピリオド/小数点 	英字入力の場合はピリオドが入力され、数字入力の場合は小数点が入力されます。
アスタリスク 	アスタリスクが入力されます。
Enter 	選択した項目または機能を実行します。

VT エミュレータ キーパッド

VT エミュレータ キーパッドには、電源ボタン、アプリケーションキー、スクロールキー、ファンクションキーがあります。キーパッドは色分けされており、代替ファンクションキー（青）の値が示されています。アプリケーションによってキーパッドの機能が変更されることがあるため、MC92N0-G のキーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。キーとボタンの説明については、[B-23 ページの表 B-6](#) を参照してください。キーパッドの特殊機能については、[B-26 ページの表 B-7](#) を参照してください。

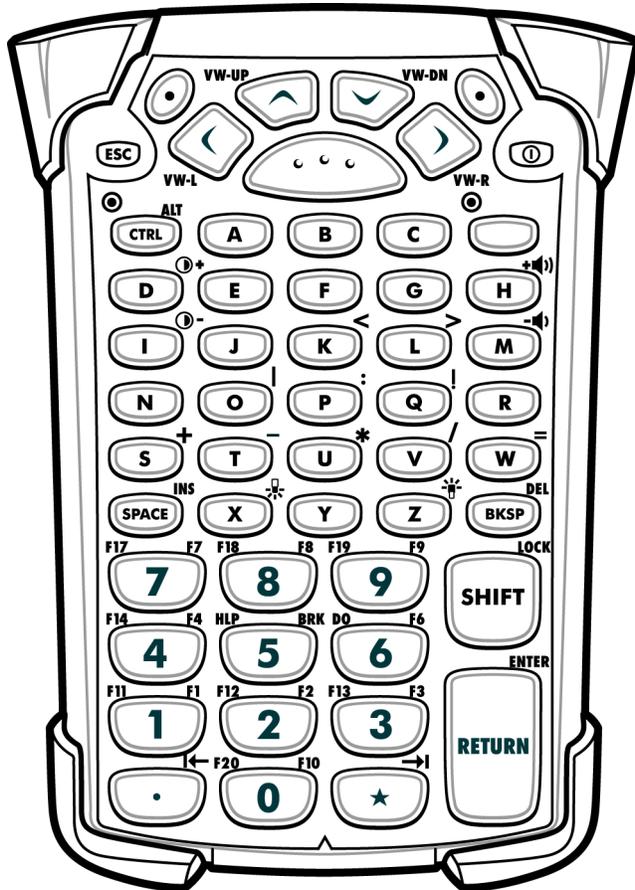


図 B-6 VT エミュレータ キーパッド

- ✓ **注** VT エミュレータ構成が使用されるのは、MC92N0-G で VT エミュレーション ソフトウェアを実行している場合のみです。Windows デバイスでは、MC92N0-G で VT エミュレーション ソフトウェアを実行していない場合、VT キーパッドの機能は 53 キー キーパッドと同じになります。

表 B-6 VT エミュレータの説明

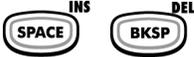
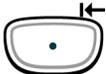
キー	説明
電源 (赤) 	MC92N0-G のオン/オフを切り替えます。 ウォーム ブートとコールド ブートを実行します。ウォーム ブートとコールド ブートの実行方法については、Windows デバイスの場合は 2-25 ページの「MC92N0-G のリセット」 、Android デバイスの場合は 3-15 ページの「Android デバイスのリセット」 を参照してください。
緑色/赤色のドット 	キーをキーボードのアプリケーション キー (APP キー) として使用するには、新しいキーボード リマップ テーブルを作成してインストールする必要があります。ただし、緑色/赤色のドット キーは、レジストリで APP キーとしてリマップできます。 次のエントリがある XML プロビジョニング ファイルを作成します。 Characteristic type = "HKEY_LOCAL_MACHINE\HARDWARE\DEVICEMAP\KEYBD" Parm name = "GreenKeyOverride" value = "xx"。xx は新しい APP キーのコード。 Parm name = "RedKeyOverride" value = "xx"。xx は新しい APP キーのコード XML プロビジョニングを使用したレジストリの更新方法については、『 MC92N0-G Integrator Guide 』を参照してください。 これによって、緑色または赤色のドットキーを押したときに、元のキー コードの代わりに APP キー コードが送られます。
スキャン (黄) 	スキャン対応アプリケーションでスキャナ/イメージャーがアクティブになります。
上/下へスクロール 	項目から項目へ、上下に移動します。
左/右へスクロール 	項目から項目へ、左右に移動します。
ESC 	実行中の操作を終了します。
ALPHA 	アルファ キーは英字用に使用します。
SPACE/BKSP 	スペースおよびバックスペース機能。

表 B-6 VT エミュレータの説明 (続き)

キー	説明
アプリケーション 	<p>これらのキーはアプリケーションに割り当てられます。</p> <p>Windows Embedded Handheld デバイスの場合: F6 および F7 キーはリマップできず、オペレーティング システムで音量制御用となっています。これらのキーを押すと Shell.exe によってトラップされ、音量調整ウィンドウが表示されます。これらのキーをアプリケーションで取得するには、アプリケーションの最初で GXOpenInput() を呼び出し、アプリケーションの最後で GXCloseInput() を呼び出します。その結果、F6 および F7 キーを含むすべてのキー イベントがアプリケーションにリダイレクトされます。</p> <p>注: GXCloseInput() が呼び出されるまで、他のアプリケーションはキー イベントをまったく受け取ることができません。たとえば、お客様が APP1 キーを使用して Calc.exe を実行した場合、実行中は APP1 キーが無効になります。</p>
ファンクション (ブルー) 	<p>ブルーのファンクション キーを押して放すと、キーパッドの代替機能 (キーパッドに青色で示されている機能) が有効になります。Windows Mobile および Windows CE デバイスではキーの上の LED が点灯し、 アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。通常のキーパッド機能に戻すには、ファンクション キーを再度押して放します。</p>
コントロール 	<p>キーパッドの代替 CTRL 機能を有効にするには、CTRL キーを押して放します。</p> <p>Windows Mobile および Windows CE デバイスではキーの上の LED が点灯し、 アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。</p> <p>キーパッドの代替 ALT 機能を有効にするには、ブルー キーを押して CTRL キーを押します。Windows Mobile および Windows CE デバイスでは ALT アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。</p>
Shift 	<p>キーパッドの代替 SHIFT 機能を有効にするには、SHIFT キーを押して放します。</p> <p>Windows Mobile および Windows CE デバイスでは  アイコンが画面下部に表示されます。Android デバイスでは  アイコンがステータス バーに表示されます。別のキーを押すと、キーパッドが SHIFT 以外の状態に戻ります。</p> <p>Android デバイスでは、SHIFT キーを 2 回押して放すと、Shift Lock 状態が有効になります。 アイコンがステータス バーに表示されます。SHIFT キーを 2 回押して放すと、Shift Lock 状態が有効になります。</p> <p>Windows デバイスで Shift Lock 状態を有効にするように Shift キーを設定する手順については、『MC92N0-G Integrator Guide』を参照してください。</p>

表 B-6 VT エミュレータの説明 (続き)

キー	説明
ピリオド/小数点 	英字入力の場合はピリオドが入力され、数字入力の場合は小数点が入力されます。
アスタリスク 	アスタリスクが入力されます。
Enter 	選択した項目または機能を実行します。

キーボードの特殊機能

キーボードの特殊機能はキーボード上に色分けして表示されています。たとえば、53 キー キーボードではディスプレイ バックライト アイコンがブルーで表示され、ディスプレイ バックライトにアクセスするには、先にブルーのファンクション キーを選択する必要があることが示されています。43 キー キーボードではディスプレイ バックライト アイコンが白で表示され、ディスプレイ バックライトがそのキーのデフォルト値であることが示されています。

表 B-7 キーボードの特殊機能

アイコン	28 キー キーボード	43 キー キーボード	53 キー、3270、 5250、VT キーボード	特殊機能
	ブルー キー + #	 キー	ブルー キー + Z	ディスプレイのバックライトをオン/オフします。
	ブルー キー + 0	 キー	ブルー キー + X	キーボードのバックライトをオン/オフします。
	ブルー キー + 1	ブルー キー + F1	ブルー キー + D	ディスプレイ バックライトの輝度を下げます。
	ブルー キー + 4	ブルー キー + F5	ブルー キー + I	ディスプレイ バックライトの輝度を下げます。
	ブルー キー + 3	ブルー キー + F4	ブルー キー + H	スキャン読み取りのビープ音の音量を上げます。
	ブルー キー + 6	ブルー キー + F8	ブルー キー + M	スキャン読み取りのビープ音の音量を下げます。
ALT	ブルー キー + CTRL	ブルー キー + CTRL	ブルー キー + CTRL	キーボードの代替機能を有効にします。
→	利用不可能	利用不可能	利用不可能	TAB 文字を入力します (前方タブ)。

✓ 注 ディスプレイおよびキーボードのバックライトを使用すると、バッテリーの持続時間が大幅に減少します。

特殊文字

キーパッドは必要に応じて選択可能で、特殊アプリケーションをサポートできます。キーパッドには、電源ボタン、アプリケーションキー、スクロールキー、ファンクションキーがあります。キーパッドは色分けされており、代替ファンクションキー（青）の値と代替 ALPHA キー（オレンジ）の値が示されています。特殊文字の入力については、[表 B-8](#) を参照してください。文字は、キーボード入力パネルを使用して入力することもできます。

表 B-8 特殊文字の入力マップ

特殊文字	28 キー キーパッド	43 キー キーパッド	53 キー キーパッド
[(左大括弧)			ブルー キー - E
] (右大括弧)			ブルー キー - F
/ (スラッシュ)	ブルー キー - 9	ブルー キー - F12	ブルー キー - L ブルー キー - V
\ (バックスラッシュ)			ブルー キー - G
= (等号)	ブルー キー - 5	ブルー キー - BKSP	ブルー キー - W
; (セミコロン)			ブルー キー - R
` (アポストロフィー)			ブルー キー - J
' (カンマ)			ブルー キー - A
. (ピリオド)			ブルー キー - B
! (感嘆符)			SHIFT - 1
@ (アットマーク)			SHIFT - 2
# (シャープ)			SHIFT - 3
\$ (ドル記号)			SHIFT - 4
% (パーセント)			SHIFT - 5
^ (カレット)			SHIFT - 6

表 B-8 特殊文字の入力マップ (続き)

特殊文字	28 キー キーパッド	43 キー キーパッド	53 キー キーパッド
& (アンパサンド)			SHIFT - 7
* (アスタリスク)	ブルー キー - .(ピリオド)、SHIFT - ブルー キー - .(ピリオド)		ブルー キー - U、 SHIFT - ブルー キー - U、 SHIFT - 8
((左小括弧)			SHIFT - 9
) (右小括弧)			SHIFT - 0
' (引用符)			ブルー キー - C
" (二重引用符)			SHIFT - ブルー キー - C
+ (プラス)	SHIFT - ブルー キー - 5、 ブルー キー - 7、 SHIFT - ブルー キー - 7	ブルー キー - F9、 SHIFT - ブルー キー - F9、SHIFT - ブルー キー - BKSP	ブルー キー - S、 SHIFT - ブルー キー - S、 SHIFT - ブルー キー - W
- (ダッシュ)	ブルー キー - 8	ブルー キー - F10、 SHIFT - ブルー キー - F10	ブルー キー - N、 ブルー キー - T、 SHIFT - ブルー キー - T
: (コロンの)			SHIFT - ブルー キー - R
< (小なり)			SHIFT - ブルー キー - A
> (大なり)			SHIFT - ブルー キー - B
? (疑問符)	SHIFT - ブルー キー - 9	SHIFT - ブルー キー - F12	SHIFT - ブルー キー - L、 SHIFT - ブルー キー - V
_ (アンダースコア)	SHIFT - ブルー キー - 8		SHIFT - ブルー キー - N
{ (左中括弧)			SHIFT - ブルー キー - E
} (右中括弧)			SHIFT - ブルー キー - F

表 B-8 特殊文字の入力マップ (続き)

特殊文字	28 キー キーパッド	43 キー キーパッド	53 キー キーパッド
~ (チルダ)			SHIFT - ブルー キー - J
 (パイプ)			SHIFT - ブルー キー - G
Tab	ブルー キー - スペース	ブルー キー - スペース	ブルー キー - スペース

索引

数字

12V 車用充電ケーブル	7-2
16 進キー	2-22
24V 車用充電ケーブル	7-2
28 キー キーパッド	7-3, B-2
2-D バーコード	4-3
3270 エミュレータ キーパッド	B-14
43 キー キーパッド	7-4, B-6
4 スロット イーサネット/USB	7-1
4 スロット イーサネット クレードル	7-8
4 スロット 充電専用	7-1
4 スロット 充電専用 クレードル	7-9
4 スロット 予備バッテリー充電器	7-1
5250 エミュレータ キーパッド	B-18
53 キー 3270 キーパッド	7-4
53 キー 5250 キーパッド	7-4
53 キー VT キーパッド	7-4
53 キー キーパッド	7-3, B-10
53 キー 白色キーパッド	7-4

A

ActiveSync	2-12
アイコン	2-8
AC 電源	7-13
AFH	5-1

B

Bluetooth	5-1
オフ	5-7, 5-14, 5-15
オン	5-7, 5-15
結合されたデバイスの削除	5-34
セキュリティ	5-2
通信中アイコン	2-2
適応型周波数ホッピング	5-1

デバイスの検出	5-7, 5-13, 5-16
無効アイコン	2-2
有効アイコン	2-2
bluetooth	
オン/オフの切り替え	5-7, 5-14
Bluetooth 結合の削除	5-34

C

CAM	7-3, 7-15
取り付け	7-16
Contacts	2-11
CPU	A-1

D

DataWedge	3-10
DC 電源コード	7-2
DEX ケーブル	7-3
DWDemo	3-10

E

EAP	3-33
Elemesz	3-31
ESD	7-5

G

GSM ヘッドセット	7-4
------------	-----

I

Internet Explorer Mobile	2-3, 2-11
IrDA	2-14

L

LED インジケータ バー 1-11

M

MC90XX クレードル ブラケット 7-4
 MC90XX 壁面用マウント ブラケット 7-4
 MC92N0c70 用 DCP xvii
 MC92N0c70 用 Device Configuration Package xvii
 MC92N0-G 用ストラップの取り付け 1-7
 Media Player 2-11
 MSP Agent 2-3, 2-13
 MSR 7-3, 7-11
 磁気ストライプ リーディング 7-13
 シリアル接続 7-13, 7-17
 電源接続 7-16
 取り付け 7-12
 バッテリー充電器 7-13, 7-18

O

O'Neil プリンタ ケーブル 7-3

P

Paxar プリンタ ケーブル 7-3
 PC との同期
 Bluetooth の使用 5-11
 PEAP-GTC 3-33
 PEAP-MSCHAPv2 3-33

R

Rapid deployment 2-3, 2-13
 RCH50 アダプタ ケーブル 7-4
 RS232 ケーブル 7-2

T

TLS 3-33
 TTLS
 TTLS-MSCHAP 3-33
 TTLS-MSCHAPv2 3-33
 TTLS-PAP 3-33

U

UBC 7-18
 UBC2000 壁面用マウント キット 7-4
 UBC 4 スロット ベース 7-2
 UBC アダプタ電源キット 7-2
 USB アダプタ ESD 7-4
 USB ケーブル 7-2

USB 同期ケーブル 7-2

V

VT エミュレータ キーパッド B-22

W

WEP 3-33
 Windows Live 2-12
 Windows Live Messenger 2-11
 Wireless 1-10
 Wireless Manager 1-10, 2-14
 WLAN 802.11a/b/g/n xiv
 WLAN 状態 2-2
 WPA 3-33
 WPAN Bluetooth xiv

Z

Zebra プリンタ ケーブル 7-3

あ

アイコン

ActiveSync 2-8
 ALT 2-2, 2-9
 Bluetooth 通信中 2-2
 Bluetooth 無効 2-2
 Bluetooth 有効 2-2
 CTRL 2-2, 2-9
 shift 2-2, 2-8
 英字モード 2-2
 機能 2-2, 2-8
 ステータス 2-9
 タスクトレイ 2-8, 2-10
 バッテリー 2-9
 無線ステータス 2-8

アクセサリ

12V 車用充電ケーブル 7-2
 24V 車用充電ケーブル 7-2
 28 キー キーパッド 7-3
 43 キー キーパッド 7-4
 4 スロット イーサネット/USB クレードル 7-1
 4 スロット イーサネット クレードル 7-8
 4 スロット 充電専用クレードル 7-1, 7-9
 4 スロット 予備バッテリー充電器 7-1
 53 キー 3270 キーパッド 7-4
 53 キー 5250 キーパッド 7-4
 53 キー VT キーパッド 7-4
 53 キー キーパッド 7-3
 53 キー 白色キーパッド 7-4
 CAM 7-3, 7-15
 取り付け 7-16

DC 電源コード	7-2
DEX ケーブル	7-3
GSM ヘッドセット	7-4
MC90XX クレードル ブラケット	7-4
MC90XX 壁面用マウント ブラケット	7-4
MSR	7-11
磁気ストライプ リーディング	7-13
シリアル接続	7-13, 7-17
電源接続	7-16
取り付け	7-12
バッテリー充電器	7-13, 7-18
O'Neil プリンタ ケーブル	7-3
Paxar プリンタ ケーブル	7-3
RCH50 アダプタ ケーブル	7-4
RS232 ケーブル	7-2
UBC	
バッテリーの挿入	7-18
UBC2000 壁面用マウント キット	7-4
UBC 4 スロット ベース	7-2
UBC アダプタ電源キット	7-2
USB アダプタ ESD	7-4
USB ケーブル	7-2
USB 同期ケーブル	7-2
Zebra プリンタ ケーブル	7-3
ケーブル	7-3
高耐久性ケーブル付きヘッドセット	7-4
磁気ストライプ リーダー	7-3
ショルダー ストラップ	7-3
シリアル/USB クレードル	7-1
シリアル ケーブル	7-3
シングル スロット シリアル/ USB クレードル	7-6, 7-22
LED インジケータ	7-7, 7-10
スクリーン保護シート	7-4
スタイラス キット	7-4
電源	7-2
ハンドストラップ	7-3
ヒーター内蔵ブーツ	7-3
フォーク リフト クレードル	7-1
フォーク リフト高電圧変換器	7-2
フォーク リフト低電圧変換器	7-2
フォーク リフト電源入力ケーブル	7-2
ベルト	7-3
ベルト クリップ	7-4
保護ブーツ	7-3
ホルスタ, クイック リリース	7-3
モデム ケーブル	7-3
モデム ドングル	7-3
ユニバーサル充電器 (UBC) アダプタ	7-1
予備バッテリー	7-2
予備バッテリー充電器	7-10
アプリケーション ショートカット	3-6
アプリケーション ロック管理者	3-11
アルバム	3-20

い

イメージャー	
イメージング	4-3
インターネット共有	2-12

う

ウェイクアップ条件	2-27
ウォーム ブート	2-18, 2-25, 2-26

え

エクスプローラー	2-12
----------	------

お

オペレーティング システム	xiv, A-1
音量	B-26

か

画像	2-11
カレンダー	2-11, 3-10
関連ソフトウェア	xvii
関連文書	xvii

き

技術仕様、モバイル コンピュータ 規則	A-1
表記	xvii
キーの説明	
28 キー	B-3
3270	B-15
43 キー	B-7
5250	B-19
53 キー	B-11
VT	B-23
特殊機能	B-26
キーパッド	xiv
28 キー	B-2
3270 エミュレータ	B-14
43 キー	B-6
5250 エミュレータ	B-18
53 キー	B-10
VT エミュレータ	B-22
種類	1-12, B-1
特殊機能	B-26
キーパッド機能	xvi
キーパッドのバックライト 電力の節約	1-9
キーパッド 28 キー キーパッド	7-3

43 キー キーパッド	7-4
53 キー 3270 キーパッド	7-4
53 キー 5250 キーパッド	7-4
53 キー VT キーパッド	7-4
53 キー キーパッド	7-3
53 キー白色キーパッド	7-4
キーボード	3-9, A-1
ギャラリー	3-10

く

クイック リリース ホルスタ	7-3
クリーニング	8-1
クレードル	
4 スロット イーサネット	7-8
4 スロット イーサネット/USB	7-1
4 スロット充電専用	7-1, 7-9
アクセサリ	
予備バッテリー充電器	7-10
シリアル/USB	7-1
シングル スロット	7-6, 7-22
LED インジケータ	7-7, 7-10
フォーク リフト	7-1

け

ケーブル	7-3
12V 車用充電ケーブル	7-2
24V 車用充電ケーブル	7-2
DC 電源コード	7-2
DEX ケーブル	7-3
O'Neil プリンタ ケーブル	7-3
Paxar プリンタ ケーブル	7-3
RCH50 アダプタ ケーブル	7-4
RS232 ケーブル	7-2
USB ケーブル	7-2
USB 同期ケーブル	7-2
Zebra プリンタ ケーブル	7-3
シリアル ケーブル	7-3
フォーク リフト電源入力ケーブル	7-2
モデム ケーブル	7-3
ケーブル アダプタ モジュール	7-3
現在時刻	2-2

こ

構成	xiv, 1-2
高耐久性ケーブル付きヘッドセット	7-4
ご使用の前に	1-2
コマンド バー	
アイコン	2-8, 2-10
コールド ブート	1-6, 2-18, 2-25, 2-26

さ

再開	5-5
サスペンド	2-18, 5-4

し

磁気ストライプ リーダー	7-3, 7-11
湿度	A-2
充電	
予備バッテリー	1-5
重量	A-1
仕様	A-1
情報、サービスに関する	xviii
ショルダー ストラップ	7-3
シリアル/USB クレードル	7-1
シリアル ケーブル	7-3
シングル スロット シリアル/ USB クレードル	7-6, 7-22
LED インジケータ	7-7, 7-10
診断	3-31

す

スキャン	
LED インジケータ	4-1
イメージング	4-3
インジケータ	4-1
角度	4-3
範囲	4-2
スキャン LED インジケータ	4-1
スキャン操作に関する考慮事項	4-2
スキャンの状態	4-1
スクリーン保護シート	7-4
スタイラス	1-2
スタイラス キット	7-4
ステータス	2-1
ステータス アイコン	2-1, 2-2, 2-9
バッテリー	2-9
ストラップ	1-2, 1-7
MC92N0-G への取り付け	1-7
ストレージ保護管理者	3-11
寸法	A-1

せ

静電気放電	
セキュリティ	
Bluetooth	5-2
設定	3-11
USB - PC	2-14
Wi-Fi	2-14
Wireless Manager	2-14
暗号化	2-14

エラー報告	2-14
オーナー情報	2-14
画面	2-15
キーライト	2-15
サウンドと通知	2-13
システム情報	2-15
証明書	2-14
接続	2-14
地域設定	2-15
電源	2-15
バージョン情報	2-14
ビーム	2-14
プログラムの削除	2-15
ボタン	2-14
メモリ	2-15
ユーザー フィードバック	2-14
ロック	2-13

そ

ソフトリセット	2-18, 2-25, 2-26, 3-15
---------	------------------------

た

耐落下衝撃性能	A-2
ダウンロード	3-10
タスク	2-12
タスクトレイ アイコン	2-8
タスクバー	2-1
ターミナル	
充電	2-2
ターミナルの充電	2-2
端末エミュレーション	3-32

て

ディスプレイ	xiv, A-1
ディスプレイのバックライト	
電力の節約	1-8
ディスプレイ バックライトの輝度	B-26
適応型周波数ホッピング	5-1
データ収集	xiv
2D バーコード	4-3
イメージャー動作モード	
画像読み取りモード	4-3
ピックアップモード	4-3
読み取りモード	4-3
イメージング	4-3
スキャン	4-4
データ収集、イメージングを参照	
電源	7-2
電源ボタン	2-18
電子メール	3-10
電卓	2-12, 3-10

電力設定	1-8
電力設定の変更	1-8

と

動作温度	A-2
動作環境、モバイル コンピュータ	A-1
特殊文字	B-27
時計	3-10
時計とアラーム	2-13
トラブルシューティング	8-5
4 スロット予備バッテリー充電器	8-8
ケーブル アダプタ モジュール	8-10
磁気ストライプリーダー	8-11
シングル スロット シリアル/ USB クレードル	8-9
モバイル コンピュータ	8-5

な

中黒	xvii
ナビゲーション バー	
アイコン	2-9

の

ノート	2-12
-----	------

は

バーコード	
2D	4-3
パスフレーズ	2-22
パスワード	2-17
バックアップ バッテリー	
充電	1-3
バックライト	B-26
バックライトの輝度	B-26
パッケージの開梱	1-2
バッテリー	
充電	1-3
取り外し	1-5
バックアップ充電	1-3
バッテリー アイコン	2-2, 2-9
バッテリー管理	1-7
バッテリー充電温度	A-2
バッテリー状態	2-2
バッテリーの充電	1-3
ハードリセット	1-6, 2-18, 2-25, 2-26
ハンドストラップ	7-3

ひ

ヒーター内蔵ブーツ	7-3
-----------	-----

日付/時刻	2-2
ビデオ	2-11
非表示文字	2-22
ビープ音	
音量	B-26

ふ

ファイル ブラウザ	3-10, 3-17
フォーク リフト クレードル	7-1
フォーク リフト高電圧変換器	7-2
フォーク リフト低電圧変換器	7-2
フォーク リフト電源入力ケーブル	7-2
フォルダの名前付け	3-7
ブート	
ウォーム	2-18, 2-25, 2-26
コールド	1-6, 2-18, 2-25, 2-26
ブラウザ	3-10

へ

ヘッドセット	1-13, 2-25
ヘッドセットの使用	1-13, 2-25
ベルト	7-3
ベルト クリップ	7-4

ほ

保管温度	A-2
保護ブーツ	7-3
ボタン	
電源	2-18
ホルスター	7-3

ま

マルチユーザー管理者	3-11
------------	------

む

無線	xiv
無線ステータス	2-8
無線ステータス アイコン	2-2
無線通信をオフにする方法	
WLAN	1-10

め

メイン バッテリ	
充電	1-2, 1-3
取り付け	1-2
メイン バッテリの取り外し	1-5
メッセージング	2-11
メモリ	xiv, A-2

メンテナンス	8-1
--------	-----

も

文字、特殊	B-27
モデム ケーブル	7-3
モデム ドングル	7-3
モバイル コンピュータ	
電源オン	2-18
モバイルコンピュータ	
スキャン	4-1
モバイル コンピュータの起動	1-2
モバイル コンピュータの構成	1-2
モバイル コンピュータの部品	1-1, 7-24
正面図	1-2

ゆ

ユニバーサル充電器	7-18
ユニバーサル充電器 (UBC) アダプタ	7-1

よ

予備バッテリー	7-2
充電	1-5
予備バッテリー充電器	7-10
予備バッテリーの充電	1-5

り

リセット	3-15
ソフト	2-18, 2-25, 2-26
ハード	1-6, 2-18, 2-25, 2-26
リチウム イオン バッテリ	1-2

れ

レーザー スキャン	4-2
連絡先一覧	3-11



Zebra Technologies Corporation
3 Overlook Point
Lincolnshire, IL 60069 USA
<http://www.zebra.com>

Zebra および図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

©2015 ZIH Corp and/or its affiliates. All rights reserved.